第10期せっつ高齢者かがやきプラン

（摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）

策定にかかるアンケート調査

報　告　書

令和８年３月

摂　津　市

目次

第１章　調査の概要.....1
１．調査目的.....3
２．調査の実施について.....3
３．報告書の見方.....3
第２章　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....5
回答者の属性.....7
１．ご家族や生活状況について.....9
２．からだを動かすことについて.....24
３．食べることについて.....39
４．毎日の生活について.....46
５．地域での活動について.....61
６．たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」について）.....70
７．健康について.....81
８．認知症支援について.....97
９．人生会議について.....110
10．災害時の対応について.....116
11．ICT の活用について.....121
12．その他について.....125
第３章　在宅介護実態調査.....141
調査対象者の属性.....143
１．対象者の属性.....144
２．家族等による介護について.....146
３．支援・サービスについて.....158
４．人生会議について.....179
５．その他について.....192
資料編.....209
【調査票】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....211
【調査票】在宅介護実態調査.....230

第１章　調査の概要

1. 調査目的

本調査は、第 10 期せっつ高齢者かがやきプラン（第 10 期摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定を行うにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズなどを把握するとともに、計画に反映させる基礎資料として活用することを目的としています。

2. 調査の実施について

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	50 歳以上 65 歳未満の方から 500 人、65 歳以上の方から 1,500 人を無作為抽出（要介護１～５の方を除く）	要支援・要介護認定を受けられている方から 1,200 人を無作為抽出
	※抽出時点：令和 7（2025）年 11 月 1 日	
調査期間	令和 7（2025）年 12 月 23 日（火）～令和 8（2026）年 1 月 23 日（金）	
調査方法	調査票の送付は郵送、回収は郵送又は WEB	
配布数	2,000 件	1,200 件
有効 回収数	1,328 件 （前回：1,309 件）	778 件 （前回：734 件）
有効 回収率	66.4% （前回：65.5%）	64.8% （前回：61.2%）
その他	回収率向上のため、お礼兼督促を実施	

3. 報告書の見方

１．図表中の「n（number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

２．回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第２位以下で四捨五入し、小数点第１位までを表記しています。このため、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを１つだけ選択する）の場合でも、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。

３．複数回答の場合、図中に「MA（Multiple Answer)」「3LA（3 Limited Answer)」「5LA（5 Limited Answer)」と記載しています。

・MA（Multiple Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

・3LA（3 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合

・5LA（5 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを 5 つ以内で選択する場合

また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。特に断りがない限り、単数回答形式の設問となっています。

４．介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、一部の調査項目により、運動器の低下などの各種リスクの判定を行います。リスク該当者の割合の算出にあたり、該当する設問の無回答により判定・評価が困難な場合は、母数から除いています。

５．一部の設問について、前回調査（令和４年度）の結果を掲載し、比較を行っています。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」については、前回調査の配布数は 2,000 件（65 歳以上 1,500 人、50～64 歳 500 人）です。

６．クロス集計に対する本文中の説明の中で、「区分」は同じ列での比較に対する説明、「項目」は同じ行での比較に対する説明となっています。

７．「項目」内で最も割合が多いものを濃い網掛けで着色し、２番目に割合が多いものを薄い網掛けで着色しています。また、「項目」内で「△」の印のあるものは「全体」の数値より+10 ポイント以上高い項目、「▼」は「全体」の数値より-10 ポイント以上低い項目となっています。

〈クロス集計表の見方〉

【例文】
○ 75歳以上では、「近隣」を除くほとんどの項目で74歳以下に比べて少なくなっています。

…75歳以上では、「近隣」以外の「配偶者」「友人」等のほとんどの項目で75歳未満と比べて少なくなっていることを示しています。

←「項目」→

単位：%

		母数(n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA) 配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7
「区分」 性・年齢	男性　50～64歳	116	70.7	15.5	17.2	26.7	0.9	41.4	5.2	4.3	0.9
	65～74歳	245	67.3	11.0	20.0	17.1	4.1	36.3	1.6	9.0	2.4
	75歳以上	230	71.3	10.9	31.3	19.6	5.2	29.1	2.6	4.3	0.9
	女性　50～64歳	127	50.4	37.0	29.1	42.5	5.5	67.7	4.7	6.3	0.8
	65～74歳	286	52.8	25.9	49.3	41.3	11.5	61.9	1.0	1.4	0.3
	75歳以上	305	31.1	17.4	39.7	29.5	13.1	46.6	3.3	3.3	3.6
「区分」 家族構成	１人暮らし	260	2.3	0.8	37.7	30.0	12.3	55.8	3.1	13.5	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	476	81.9	2.1	40.3	26.7	8.4	42.4	1.5	1.3	2.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	115	91.3	5.2	28.7	23.5	3.5	37.4	2.6	2.6	0.9
	息子・娘との２世帯	172	50.6	61.6	28.5	27.3	7.0	45.9	3.5	4.1	－
	その他	258	46.1	43.4	23.6	34.5	5.0	51.6	4.3	2.3	1.6

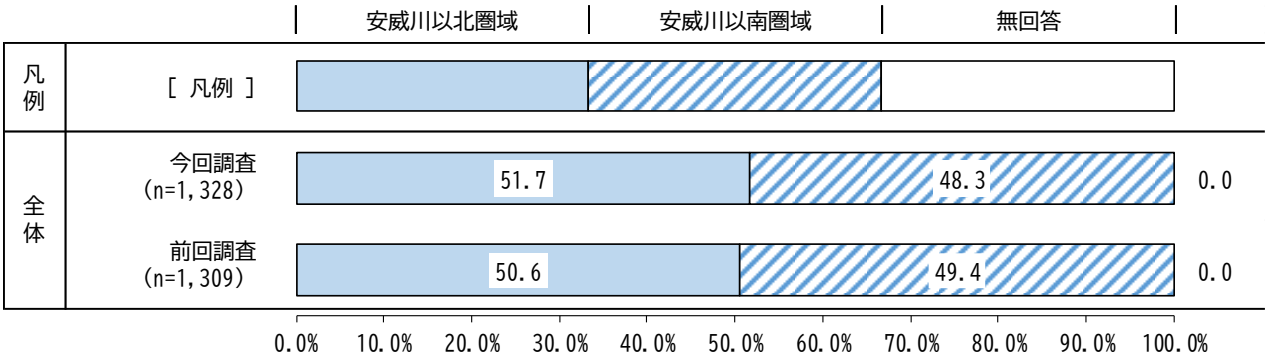
【例文】
○ １人暮らしでは、「そのような人はいない」が13.5%と他の区分に比べて多くなっています。

…1人暮らしは、他の家族構成と比べて「そのような人はいない」が多くなっていることを示しています。

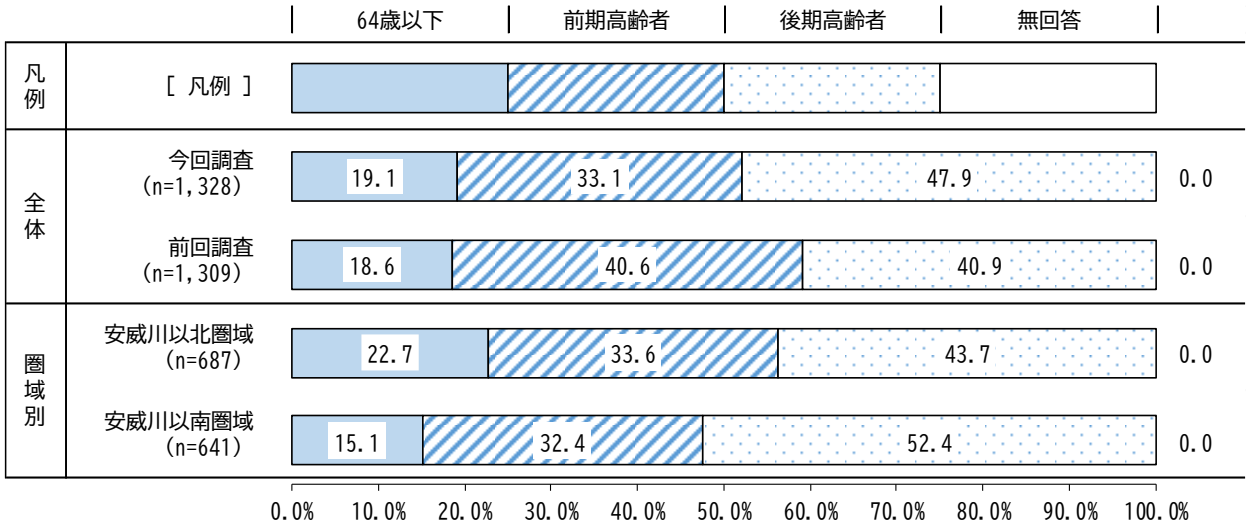
第２章　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者の属性

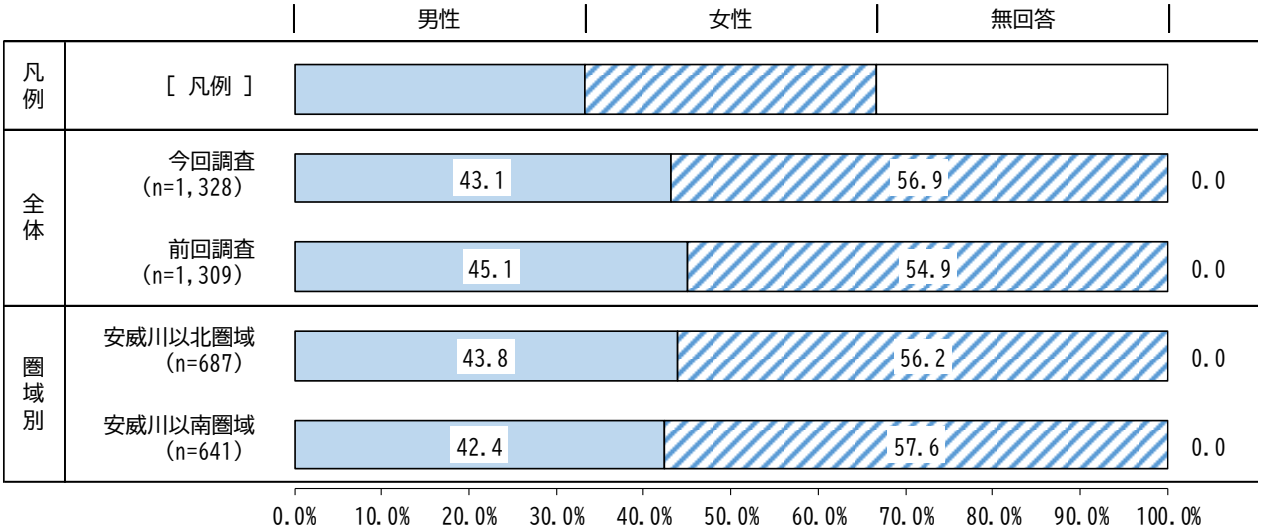
◆日常生活圏域



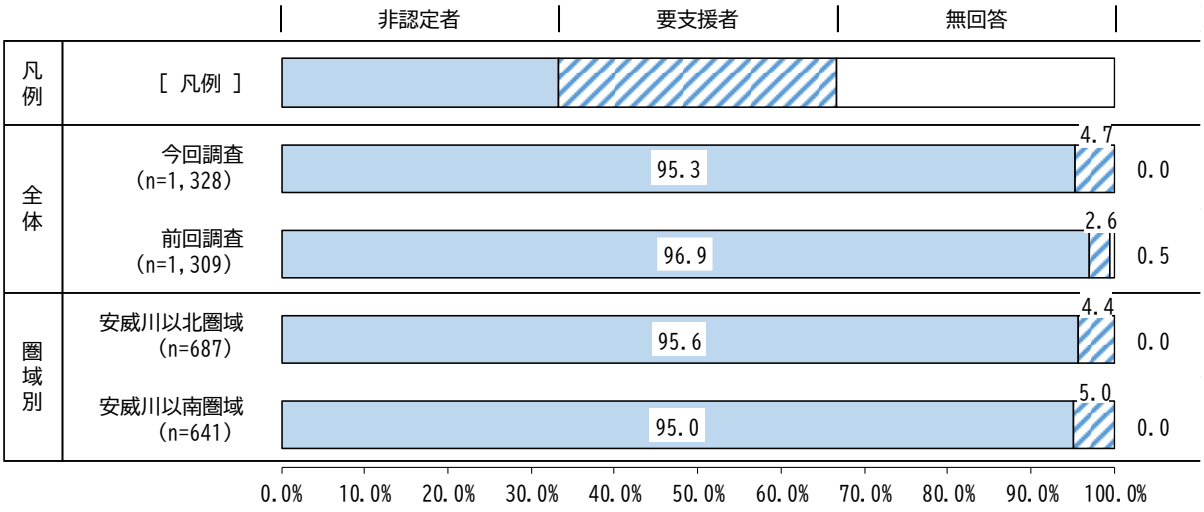
◆年齢



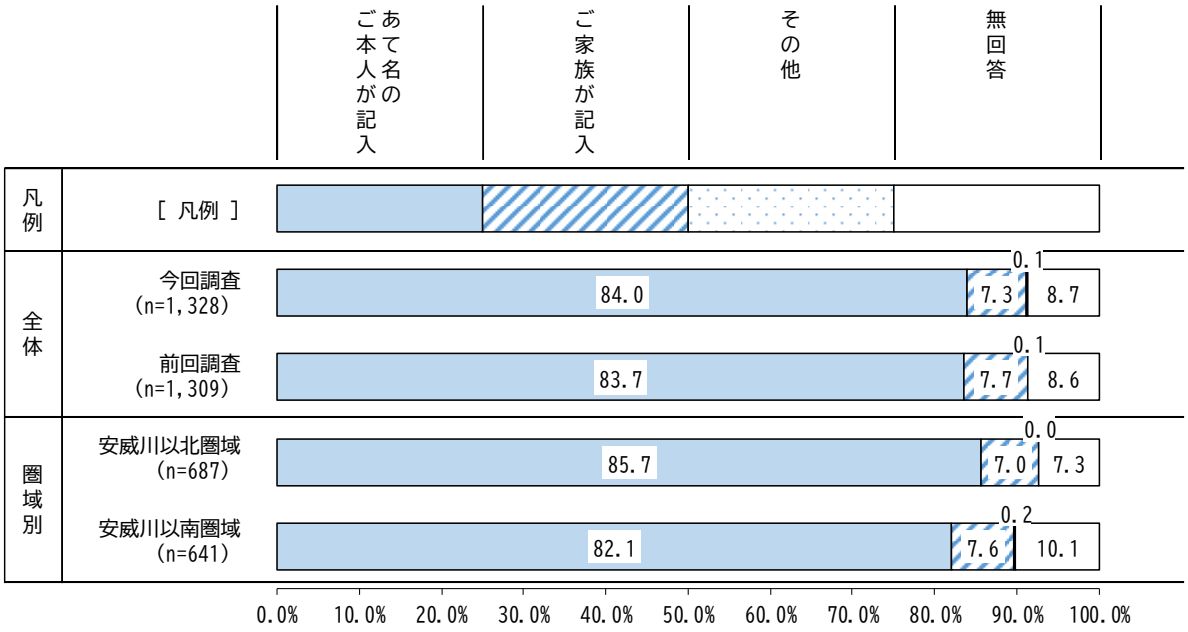
◆性別



◆認定状況



◆調査票の記入者



1. ご家族や生活状況について

◆問1.1　家族構成を教えてください。（１つだけ○）

【全体】

○　「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 34.4%で最も多く、次いで「息子・娘との２世帯」が 24.2%、「一人暮らし」が 21.6%となっています。

○　前回調査と比較すると、「息子・娘との２世帯」は 24.2%と、前回（13.1%）から 11.1 ポイント多くなっています。

【性・年齢別】

○　男性 75 歳以上では、「夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 50.4%と半数を占めています。

○　女性は年齢が上がるとともに「一人暮らし」が多くなっています。

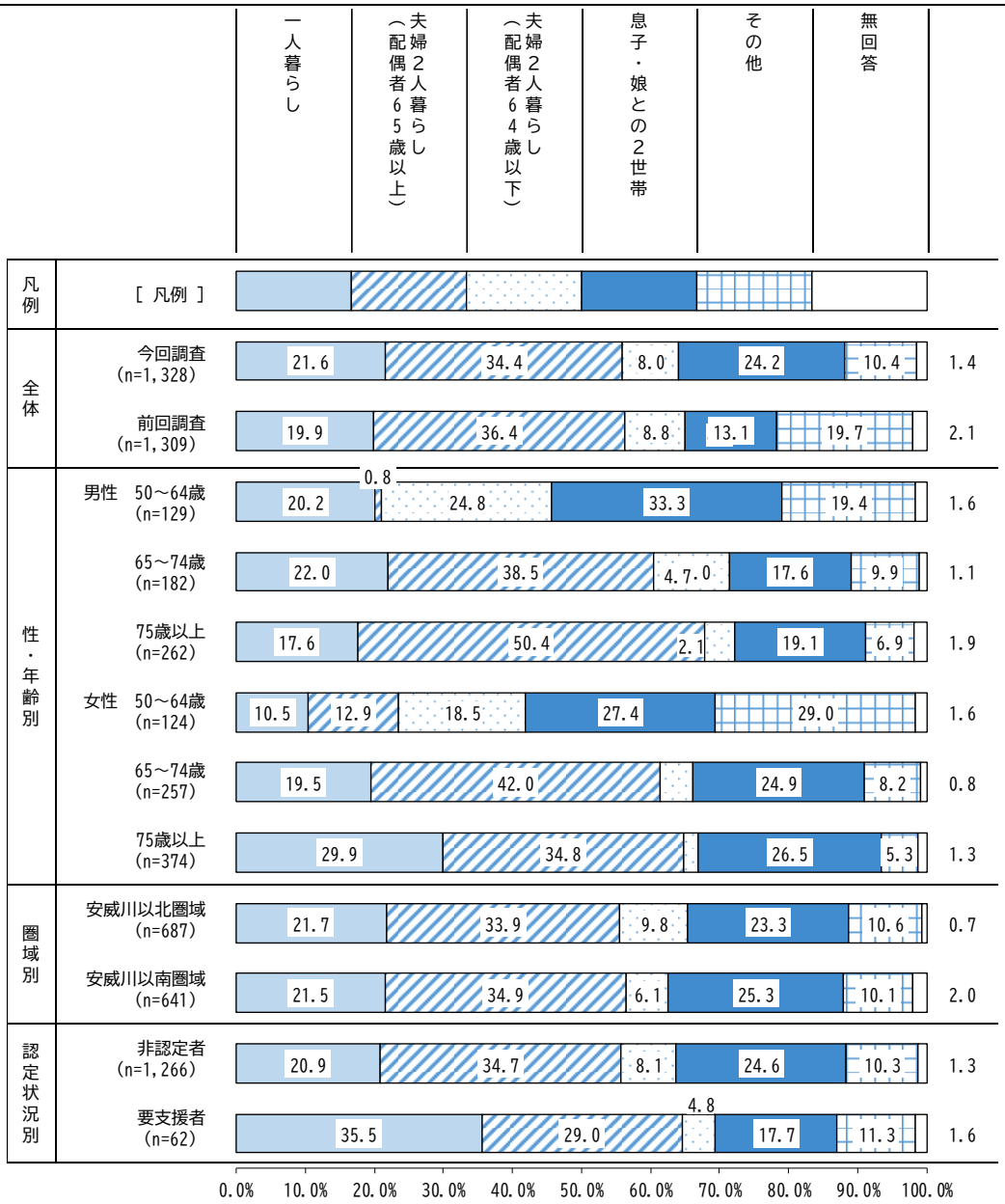
○　男女ともに 50～64 歳では、「息子・娘との２世帯」や「その他」の割合が多く、65 歳以上とは世帯構造に違いがみられます。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「一人暮らし」が 35.5%と非認定者（20.9%）と比較して 14.6 ポイント多くなっています。



◆問1.2　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ○）

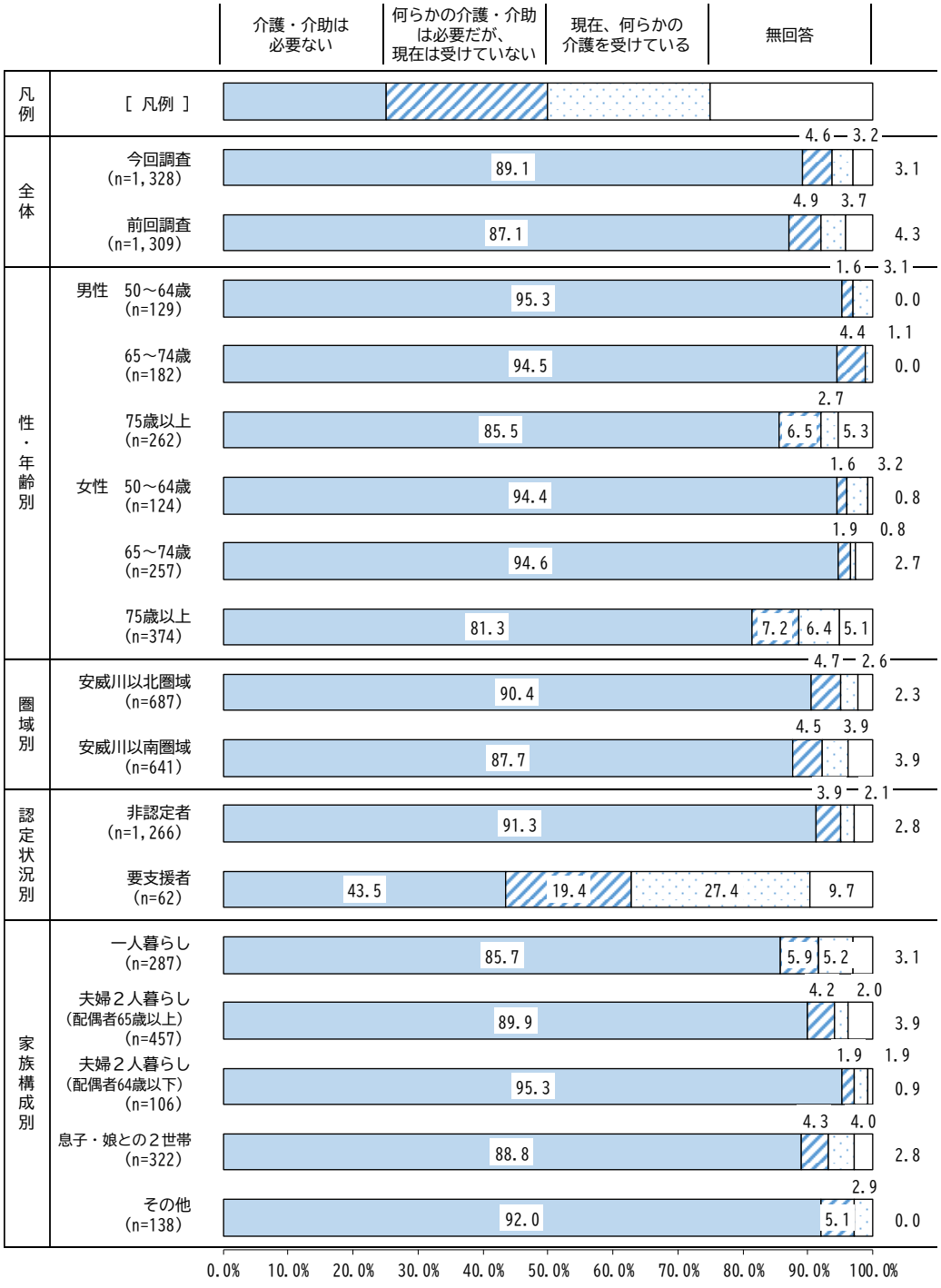
【全体】
○　「介護・介助は必要ない」が 89.1%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 4.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が 3.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　74 歳以下では、男女ともに「介護・介助は必要ない」が９割以上となっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「現在何らかの介護を受けている」が 27.4%となっています。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が約２割となっています。

【家族構成別】
○　家族構成別による大きな差はみられません。



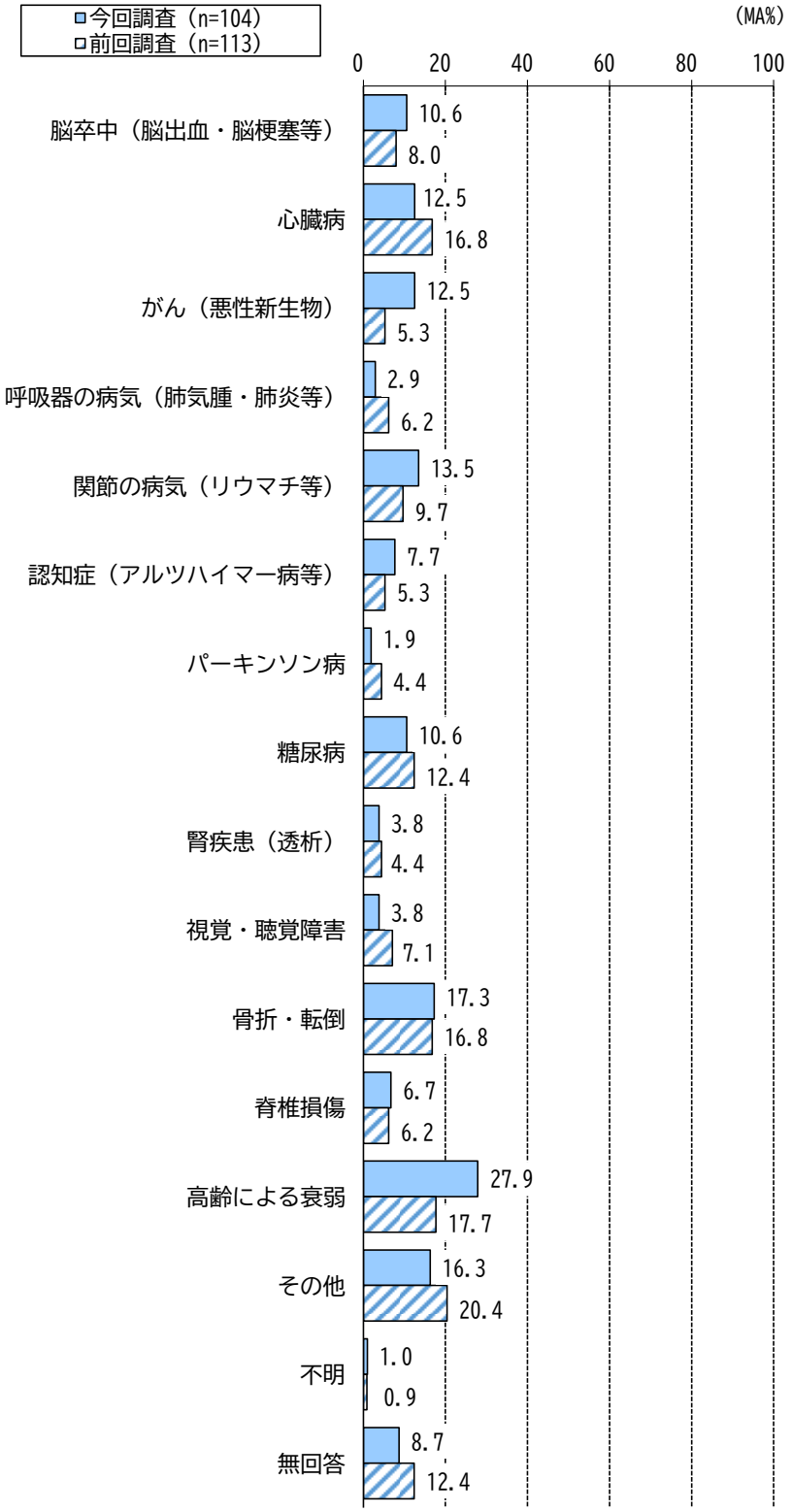
問 1.2 で､｢2｣または｢3｣と答えた方のみ

◆問1.2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

○　「高齢による衰弱」が 27.9%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 17.3%、「その他」が 16.3%となっています。

○　前回調査と比較すると、「高齢による衰弱」「がん（悪性新生物）」は前回から７ポイント以上多くなっています。



【性・年齢別】

○　男性では、65～74 歳で「心臓病」（40.0%）や「高齢による衰弱」（40.0%）、75 歳以上では「高齢による衰弱」（33.3%）や「がん（悪性新生物）」（20.8%）が多くなっています。

○　女性では、65～74 歳で「脳卒中」（42.9%）や「骨折・転倒」（28.6%）が全体と比較して多い一方、75 歳以上になると「高齢による衰弱」（27.5%）や「骨折・転倒」（23.5%）が多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「がん（悪性新生物）」が 20.0%、「骨折・転倒」が 22.0%となっており、安威川以南圏域と比較して、それぞれ 14.4 ポイント、9.0 ポイント多くなっています。

○　一方、安威川以南圏域では、「心臓病」が 16.7%となっており、安威川以北圏域と比較して 8.7 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「骨折・転倒」が 24.1%となっており、非認定者（14.7%）と比較して 9.4 ポイント多くなっています。

○　非認定者では、「がん（悪性新生物）」が 16.0%となっており、要支援者（3.4%）と比較して 12.6 ポイント多くなっています。

【介護・介助が必要になった主な原因（MA）】

単位：%

		母数（n）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全体		104	10.6	12.5	12.5	2.9	13.5	7.7	1.9	10.6
性・年齢別	男性　50～64歳	6	－	－	16.7	－	－	16.7	－	16.7
	65～74歳	10	20.0	△ 40.0	10.0	－	20.0	10.0	10.0	20.0
	75歳以上	24	4.2	16.7	20.8	－	16.7	8.3	－	8.3
	女性　50～64歳	6	－	－	16.7	△ 16.7	－	△ 33.3	－	△ 33.3
	65～74歳	7	△ 42.9	14.3	△ 28.6	－	－	14.3	－	14.3
	75歳以上	51	9.8	7.8	5.9	3.9	15.7	2.0	2.0	5.9
圏域別	安威川以北圏域	50	10.0	8.0	20.0	2.0	16.0	8.0	4.0	14.0
	安威川以南圏域	54	11.1	16.7	5.6	3.7	11.1	7.4	－	7.4
認定状況別	非認定者	75	9.3	13.3	16.0	4.0	13.3	10.7	1.3	12.0
	要支援者	29	13.8	10.3	3.4	－	13.8	－	3.4	6.9

単位：%

		母数（n）	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		104	3.8	3.8	17.3	6.7	27.9	16.3	1.0	8.7
性・年齢別	男性　50～64歳	6	－	－	16.7	△ 16.7	－	△ 33.3	－	16.7
	65～74歳	10	10.0	－	－	10.0	△ 40.0	10.0	－	－
	75歳以上	24	4.2	8.3	8.3	12.5	33.3	16.7	－	8.3
	女性　50～64歳	6	△ 16.7	－	16.7	－	33.3	△ 33.3	－	－
	65～74歳	7	－	－	△ 28.6	－	▼ 14.3	14.3	－	－
	75歳以上	51	2.0	3.9	23.5	3.9	27.5	13.7	2.0	11.8
圏域別	安威川以北圏域	50	8.0	4.0	22.0	4.0	32.0	16.0	－	8.0
	安威川以南圏域	54	－	3.7	13.0	9.3	24.1	16.7	1.9	9.3
認定状況別	非認定者	75	4.0	2.7	14.7	4.0	28.0	16.0	－	10.7
	要支援者	29	3.4	6.9	24.1	13.8	27.6	17.2	3.4	3.4

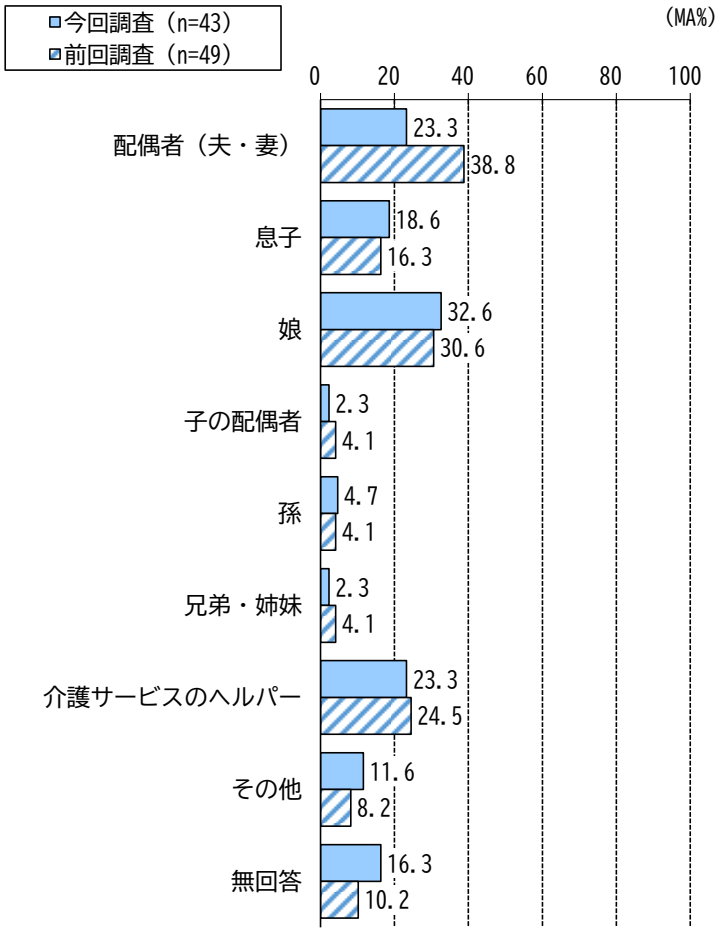
問 1.2 で､｢3｣と答えた方のみ

◆問1.2-2　主にどなたの介護・介助を受けていますか。（いくつでも○）

【全体】

○　「娘」が 32.6%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」「介護サービスのヘルパー」が 23.3%、「息子」が 18.6%となっています。

○　前回調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」は 23.3%と、前回（38.8%）から 15.5 ポイント少なくなっています。



単位：%

		母数（n）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		43	23.3	18.6	32.6	2.3	4.7	2.3	23.3	11.6	16.3
性・年齢別	男性　50～64歳	4	25.0	25.0	25.0	－	△ 25.0	△ 25.0	－	△ 25.0	25.0
	65～74歳	2	－	－	－	－	－	－	－	△ 50.0	50.0
	75歳以上	7	△ 42.9	14.3	△ 57.1	－	－	－	28.6	－	14.3
	女性　50～64歳	4	－	△ 50.0	25.0	△ 25.0	－	－	△ 75.0	△ 25.0	－
	65～74歳	2	△100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	75歳以上	24	16.7	16.7	33.3	－	4.2	－	20.8	8.3	16.7
圏域別	安威川以北圏域	18	▼ 11.1	22.2	33.3	5.6	5.6	－	27.8	5.6	22.2
	安威川以南圏域	25	32.0	16.0	32.0	－	4.0	4.0	20.0	16.0	12.0
認定状況別	非認定者	26	30.8	23.1	34.6	3.8	3.8	3.8	15.4	11.5	15.4
	要支援者	17	▼ 11.8	11.8	29.4	－	5.9	－	△ 35.3	11.8	17.6

※回答数が少ないため（n<50）、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

◆問1.3　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「ふつう」が 53.2%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 25.9%、「大変苦しい」が 10.7%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男性 50～64 歳では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合が 45.7%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

【圏域別】

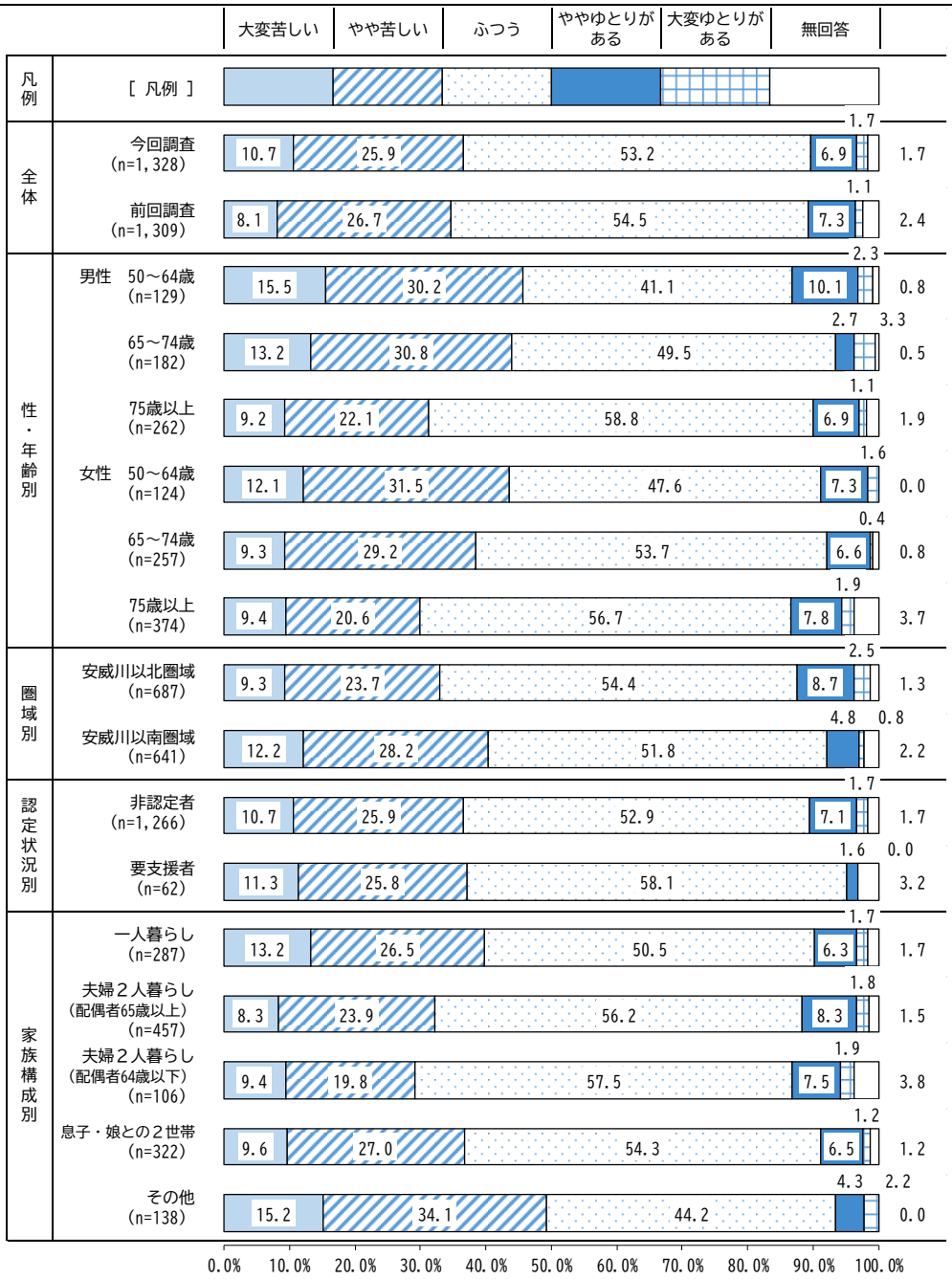
○　安威川以南圏域では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合が 40.4%となっており、安威川以北圏域（33.0%）と比較して 7.4 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「ややゆとりがある」が 1.6%となっており、非認定者（7.1%）と比較して 5.5 ポイント少なくなっています。

【家族構成別】

○　その他では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合が 49.3%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。



◆問1.4　お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（１つだけ○）

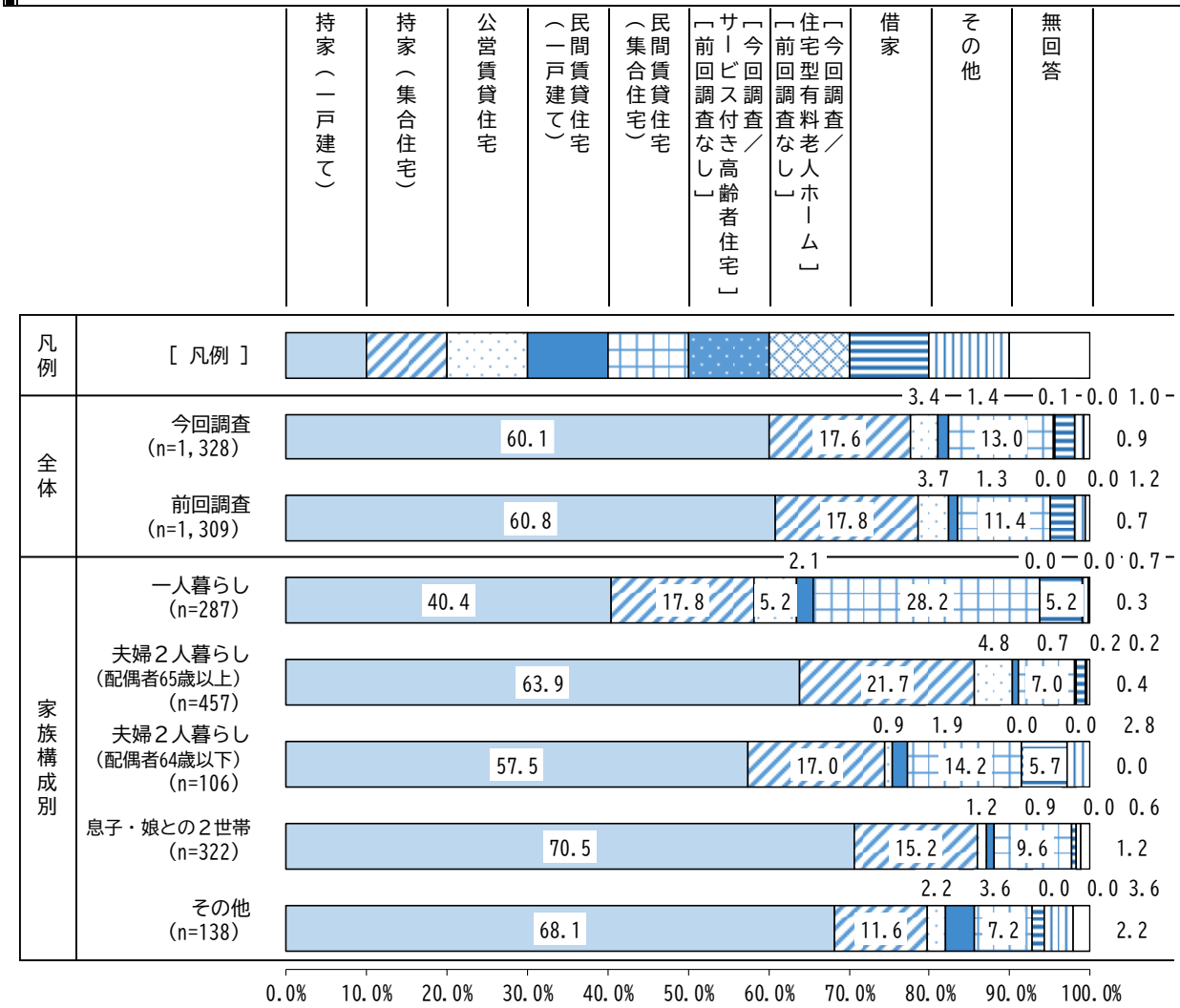
【全体】

○　「持家（一戸建て）」が 60.1%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が 17.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 13.0%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【家族構成別】

○　一人暮らしでは、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 28.2%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。

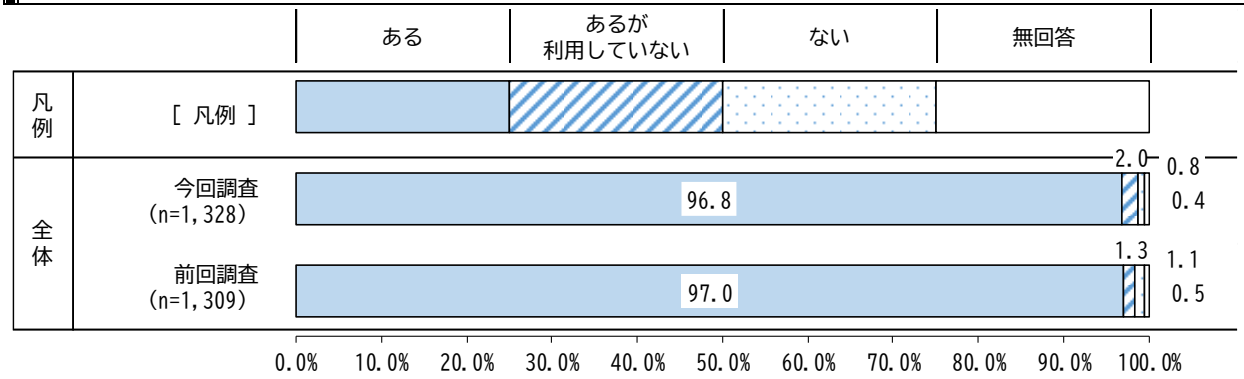


◆問1.5　ご自宅にお風呂はありますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「ある」が96.8%で最も多く、次いで「あるが利用していない」が2.0%、「ない」が0.8%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

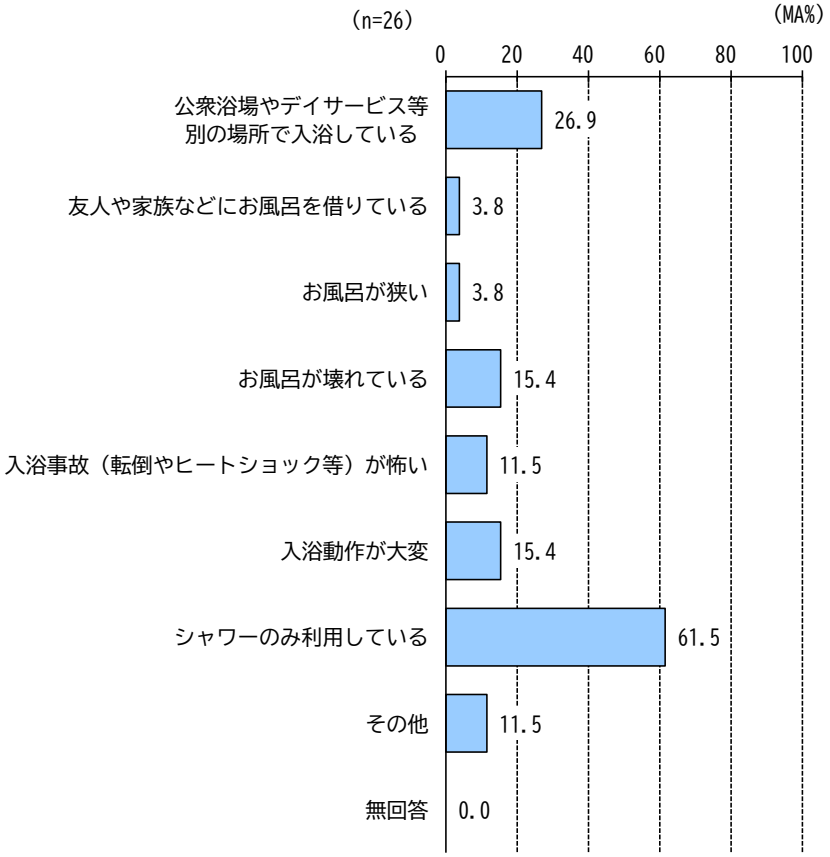


問 1.5 で､｢2｣と答えた方のみ

◆問1.5-1　お風呂を利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

○　「シャワーのみ利用している」が 61.5%で最も多く、次いで「公衆浴場やデイサービス等別の場所で入浴している」が 26.9%、「お風呂が壊れている」「入浴動作が大変」が 15.4%となっています。



単位：%

		母数（n）	公衆浴場やデイサービス等別の場所で入浴している	友人や家族などにお風呂を借りている	お風呂が狭い	お風呂が壊れている	入浴事故（転倒やヒートショック等）が怖い	入浴動作が大変	シャワーのみ利用している	その他	無回答
全体		26	26.9	3.8	3.8	15.4	11.5	15.4	61.5	11.5	-
性・年齢別	男性　50～64歳	3	-	-	-	△ 33.3	-	-	66.7	-	-
	65～74歳	2	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	-	-	-	-
	75歳以上	6	33.3	△ 16.7	△ 16.7	16.7	16.7	16.7	△ 83.3	16.7	-
	女性　50～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	4	-	-	-	25.0	△ 25.0	25.0	△100.0	-	-
	75歳以上	11	36.4	-	-	-	9.1	18.2	▼ 45.5	18.2	-
圏域別	安威川以北圏域	16	31.3	-	-	12.5	6.3	6.3	56.3	6.3	-
	安威川以南圏域	10	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	△ 30.0	70.0	20.0	-
認定状況別	非認定者	23	21.7	4.3	4.3	17.4	13.0	13.0	65.2	13.0	-
	要支援者	3	△ 66.7	-	-	-	-	△ 33.3	▼ 33.3	-	-

※回答数が少ないため（n<50）､属性別の詳細な比較分析は控え､参考値として掲載します。

◆問1.6　自分の聴力（聞こえ）についてどのように感じますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「よく聞こえる」が 62.2%で最も多く、次いで「やや聞こえにくい」が 29.1%、「かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い）」が 6.6%となっています。

【性・年齢別】

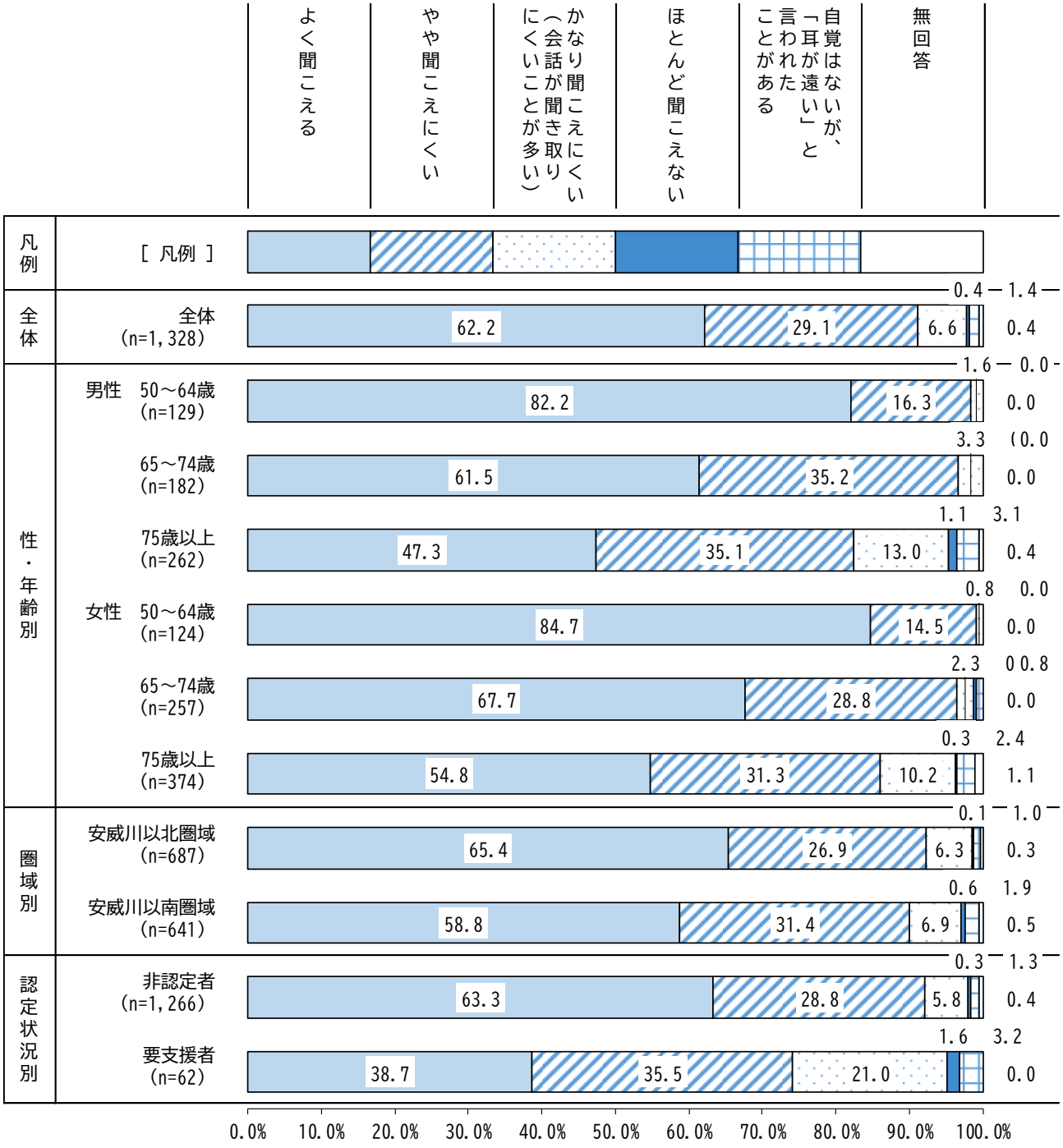
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「よく聞こえる」の割合が低下し、75 歳以上では、「かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い）」が男性 13.0%、女性 10.2%となっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では「よく聞こえる」が 65.4%となっており、安威川以南圏域（58.8%）と比較して 6.6 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「よく聞こえる」が 38.7%となっており、非認定者（63.3%）と比較して 24.6 ポイント少なくなっています。



◆問1.7　自分の聴力（聞こえ）について、何か対応していますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「特に何もしていない」が 82.0%で最も多く、次いで「補聴器を使用している」が 4.7%、「医療機関を受診している」が 2.9%となっています。

【性・年齢別】

○　「補聴器を使用している」割合は男女ともに 75 歳以上で多くなっており、65～74 歳と比較して５ポイント以上多くなっています。

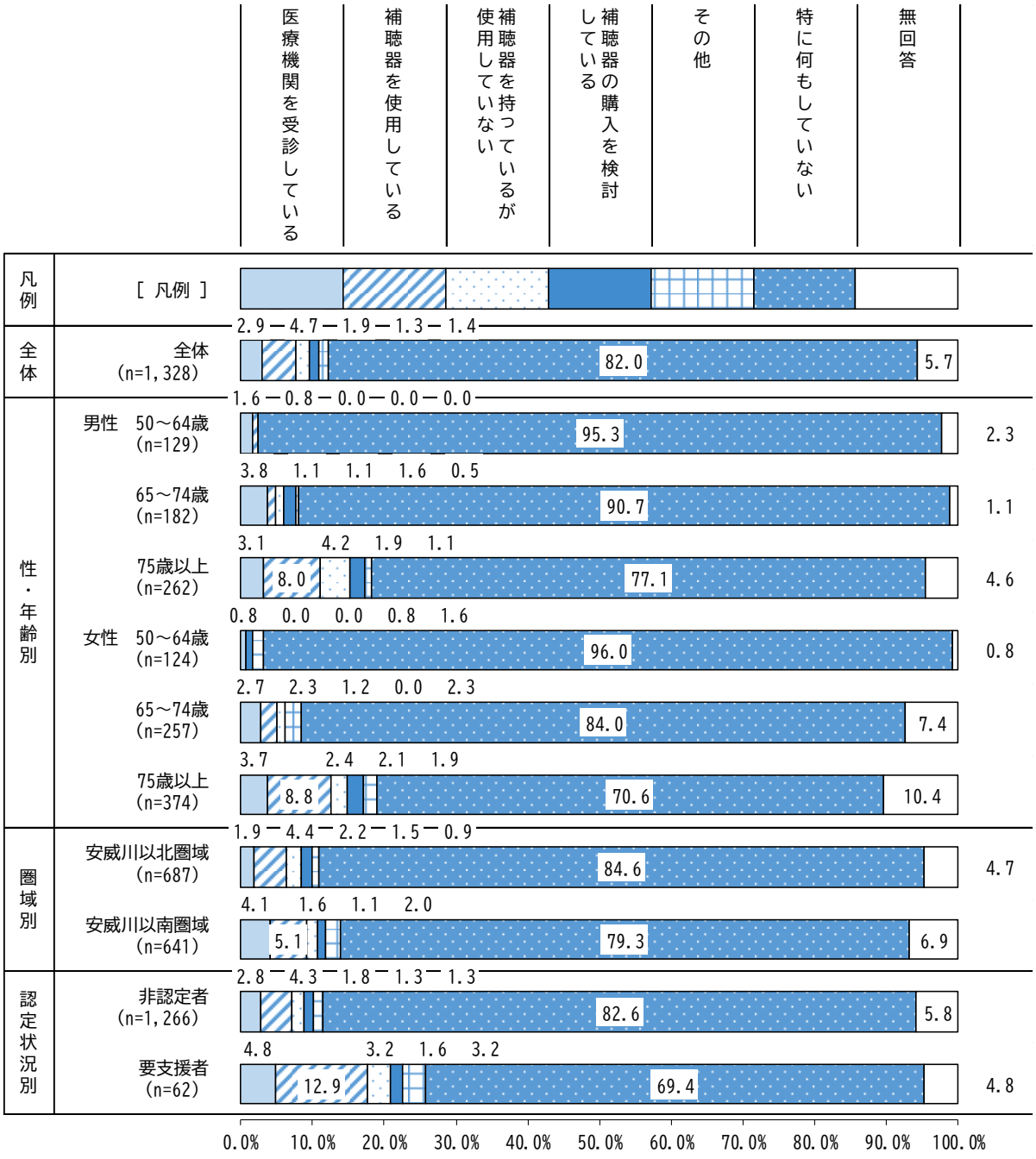
○　男女ともに 50～64 歳では、「特に何もしていない」が 95.0%以上に達しており、75 歳以上と比較して 18 ポイント以上多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「特に何もしていない」が 79.3%となっており、安威川以北圏域（84.6%）と比較して 5.3 ポイント少なくなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「補聴器を使用している」が 12.9%となっており、非認定者（4.3%）と比較して 8.6 ポイント多くなっています。また、要支援者では「特に何もしていない」が 69.4%と、非認定者（82.6%）と比較して 13.2 ポイント少なくなっています。



【聴力別】
○　「特に何もしていない」は、かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い）以外の項目で最も多くなっています。
○　かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い）では、「補聴器を使用している」が 44.8%となっており、他の区分と比較して多くなっています。

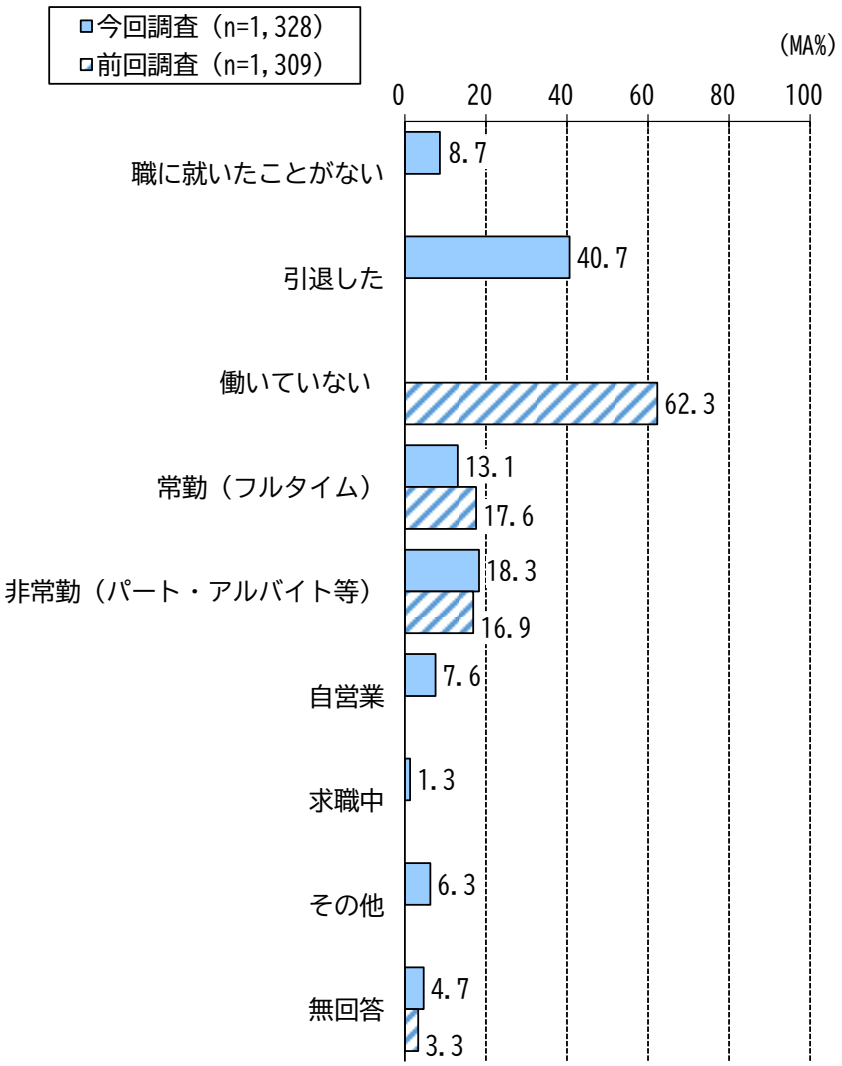
【自分の聴力（聞こえ）に対する対応】

単位：%

		母数（n）	医療機関を受診している	補聴器を使用している	補聴器を持っているが使用していない	補聴器の購入を検討している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1,328	2.9	4.7	1.9	1.3	1.4	82.0	5.7
問1.6　自分の聴力（聞こえ）についてどのように感じますか。	よく聞こえる	826	1.2	0.1	-	-	0.2	90.3	8.1
	やや聞こえにくい	386	5.7	5.4	3.6	2.3	2.8	79.0	1.0
	かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い）	87	5.7	△ 44.8	10.3	6.9	5.7	▼ 24.1	2.3
	ほとんど聞こえない	5	-	△ 20.0	△ 40.0	-	-	▼ 40.0	-
	自覚はないが、「耳が遠い」と言われたことがある	19	10.5	5.3	-	10.5	-	73.7	-

◆問1.8　現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「引退した」が 40.7%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 18.3%、「常勤（フルタイム）」が 13.1%となっています。



※前回調査の「働いていない（62.3%）」は今回「引退した」等に選択肢が細分化されたため、単純比較を控えます。

【性・年齢別】

○　男性 50～64 歳では「常勤（フルタイム）」、75 歳以上では「引退した」が最も多く、過半数を占めています。

○　男性50～64歳では「常勤（フルタイム）」が63.6%、女性50～64歳では「非常勤（パート・アルバイト等）」が43.5%と全体を大きく上回っています。

【圏域別】

○　安威川以南圏域では「引退した」が44.0%となっており、安威川以北圏域（37.6%）と比較して6.4ポイント多くなっています。

○　安威川以北圏域では「常勤（フルタイム）」が 15.6%となっており、安威川以南圏域（10.5%）を5.1ポイント上回っています。

【認定状況別】

○　非認定者では、「引退した」が 40.4%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が19.0%、「常勤（フルタイム）」が13.7%となっています。

○　要支援者では、「引退した」が 45.2%で最も多く、次いで「その他」が 17.7%、「職に就いたことがない」が14.5%となっています。

【現在の就労状態（MA）】

単位：%

		母数（n）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全体		1,328	8.7	40.7	13.1	18.3	7.6	1.3	6.3	4.7
性・年齢別	男性　50～64歳	129	0.8	▼ 6.2	△ 63.6	10.9	10.1	1.6	4.7	2.3
	65～74歳	182	1.1	36.8	21.4	24.2	12.1	3.3	1.6	0.5
	75歳以上	262	8.4	△ 57.6	5	12.2	9.5	-	6.5	2.7
	女性　50～64歳	124	2.4	▼ 11.3	△ 25.0	△ 43.5	6.5	4	6.5	0.8
	65～74歳	257	8.6	45.1	▼ 3.1	28	6.6	1.2	5.1	2.3
	75歳以上	374	17.4	49.2	▼ 0.3	▼ 7.2	4.3	0.3	9.9	11.8
圏域別	安威川以北圏域	687	9.2	37.6	15.6	19.1	6.8	1.3	6.6	4.5
	安威川以南圏域	641	8.1	44	10.5	17.5	8.4	1.2	6.1	4.8
認定状況別	非認定者	1,266	8.4	40.4	13.7	19	7.7	1.3	5.8	4.1
	要支援者	62	14.5	45.2	-	▼ 3.2	4.8	-	△ 17.7	16.1

問 1.8 で、「3」、「4」、「5」と答えた方のみ

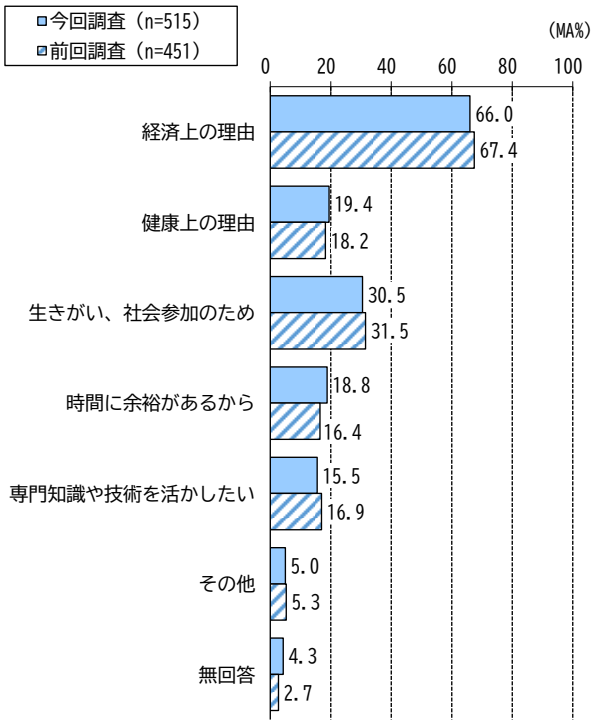
◆問1.8-1　働いている理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「経済上の理由」が 66.0%で最も多く、次いで「生きがい、社会参加のため」が 30.5%、「健康上の理由」が 19.4%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　すべての区分で「経済上の理由」が最も多くなっています。
○　男性 75 歳以上では、「健康上の理由」が 42.6%となっており、男性 50～64 歳（8.3%）と比較して 34.3 ポイント多くなっています。
○　女性 50～64 歳では、「生きがい、社会参加のため」が 37.6%となっており、男性 50～64 歳（20.2%）を 17.4 ポイント上回っています。

【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「生きがい、社会参加のため」が 34.2%となっており、安威川以南圏域（26.0%）と比較して 8.2 ポイント多くなっています。

【認定状況別】
○　非認定者では、「経済上の理由」が 65.9%と最も多くなっています。



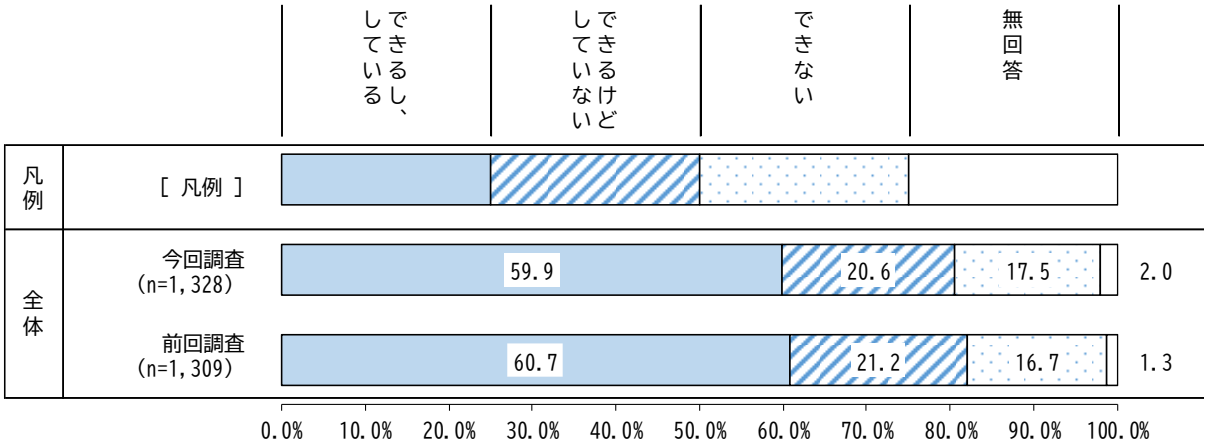
単位：%

		母数（n）	経済上の理由	健康上の理由	生きがい、社会参加のため	時間に余裕があるから	専門知識や技術を活かしたい	その他	無回答
全体		515	66.0	19.4	30.5	18.8	15.5	5.0	4.3
性・年齢別	男性　50～64歳	109	△ 83.5	▼ 8.3	▼ 20.2	▼ 5.5	11.9	3.7	2.8
	65～74歳	104	64.4	25.0	29.8	22.1	18.3	2.9	4.8
	75歳以上	68	▼ 51.5	△ 42.6	38.2	22.1	19.1	5.9	4.4
	女性　50～64歳	93	△ 78.5	▼ 8.6	37.6	17.2	21.5	3.2	5.4
	65～74歳	97	▼ 55.7	20.6	30.9	27.8	12.4	6.2	4.1
	75歳以上	44	▼ 45.5	18.2	29.5	22.7	6.8	13.6	4.5
圏域別	安威川以北圏域	284	68.0	20.4	34.2	20.1	15.8	4.6	4.6
	安威川以南圏域	231	63.6	18.2	26.0	17.3	15.2	5.6	3.9
認定状況別	非認定者	510	65.9	19.6	30.6	18.8	15.5	4.9	4.3
	要支援者	5	△ 80.0	－	▼ 20.0	20.0	20.0	△ 20.0	－

2. からだを動かすことについて

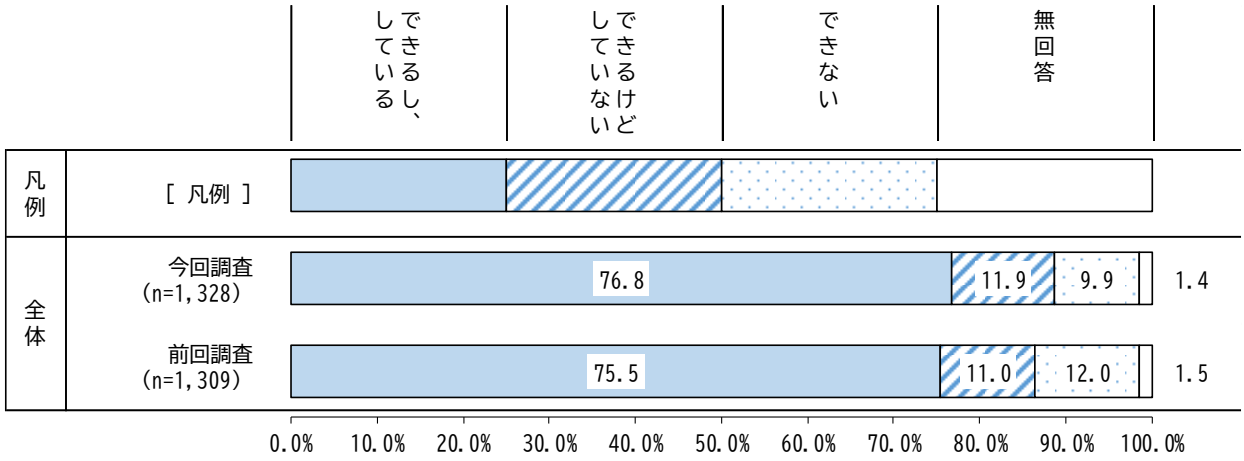
◆問2.1　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「できるし、している」が 59.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 20.6%、「できない」が 17.5%となっています。



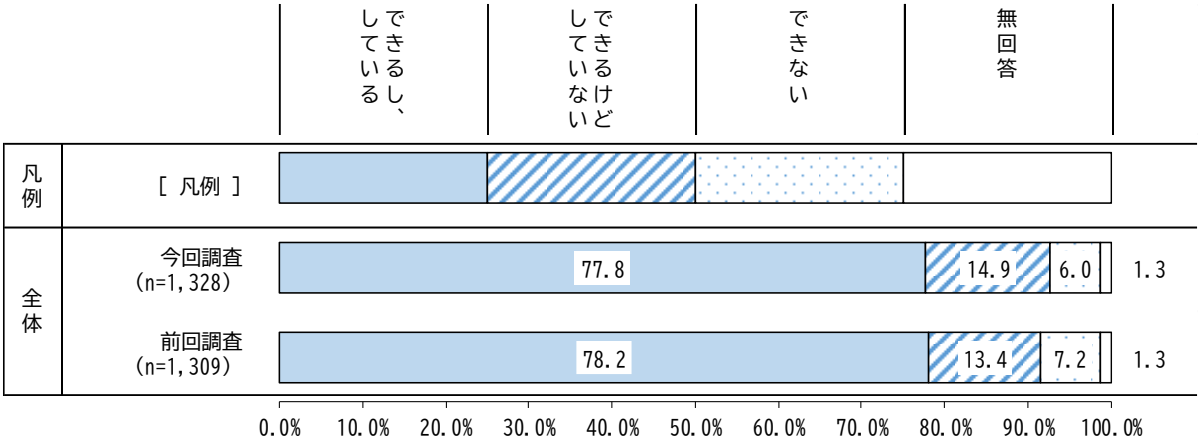
◆問2.2　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「できるし、している」が 76.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.9%、「できない」が 9.9%となっています。



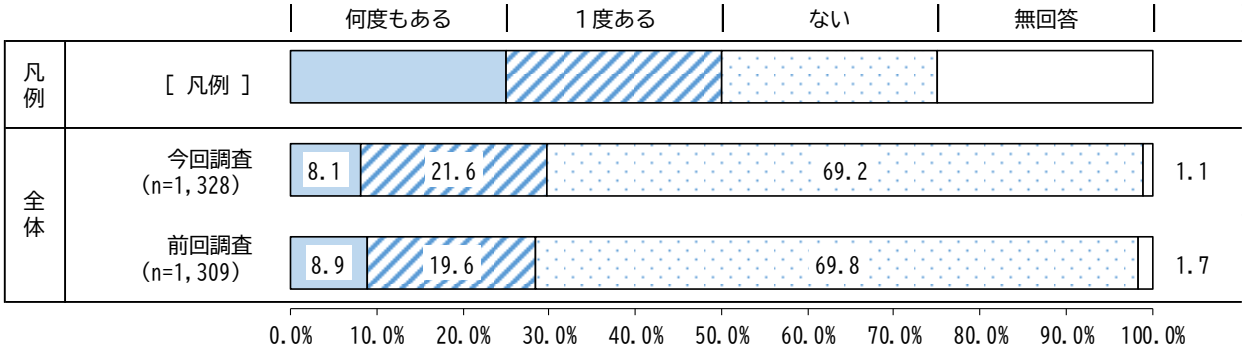
◆問2.3　15分位続けて歩いていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「できるし、している」が 77.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 14.9%、「できない」が 6.0%となっています。



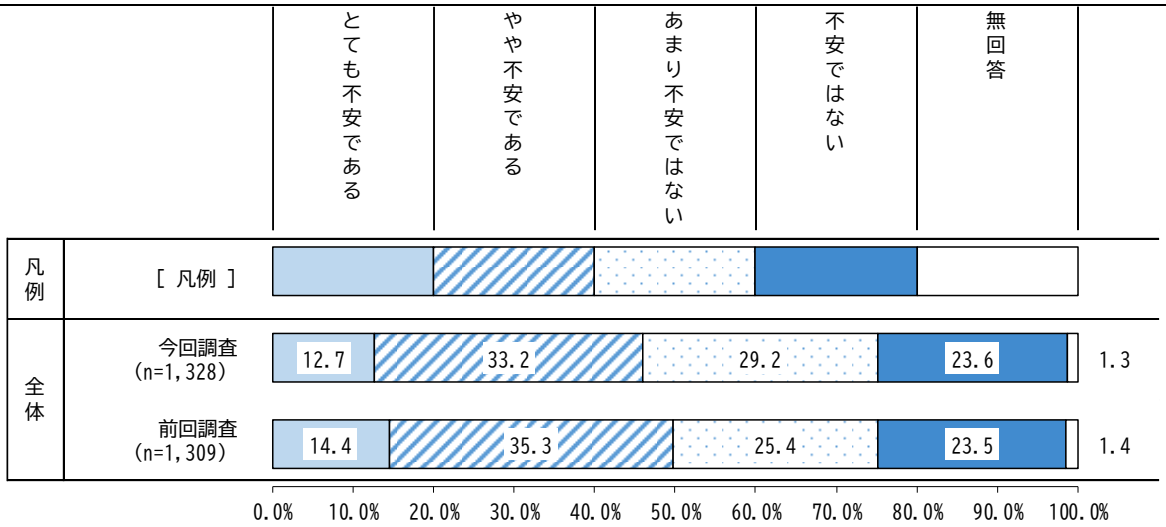
◆問2.4　過去１年間に転んだ経験がありますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「ない」が 69.2%で最も多く、次いで「１度ある」が 21.6%、「何度もある」が 8.1%となっています。



◆問2.5　転倒に対する不安は大きいですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「やや不安である」が 33.2%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が 29.2%、「不安ではない」が 23.6%となっています。



◆運動器の機能低下リスク

【運動器の機能低下リスクの判定方法】

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15 分位続けて歩いていますか	できない
過去１年間に転んだ経験がありますか	何度もある／１度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／ やや不安である

【全体】

○　「非該当」が 86.6%で最も多く、次いで「該当」が 13.4%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男女ともに、年齢が上がるにつれて「該当」の割合が多くなっており、女性 75 歳以上では 24.9%、男性 75 歳以上では 16.9%に達しています。

○　75 歳以上では、女性（24.9%）は男性（16.9%）と比較して 8.0 ポイント多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「該当」が 16.3%となっており、安威川以北圏域（10.6%）と比較して 5.7 ポイント多くなっています。

【中学校区別】

○　第四中学校では、「該当」が 22.8%となっており、他の中学校区と比較して最も多くなっています。

【認定状況別】

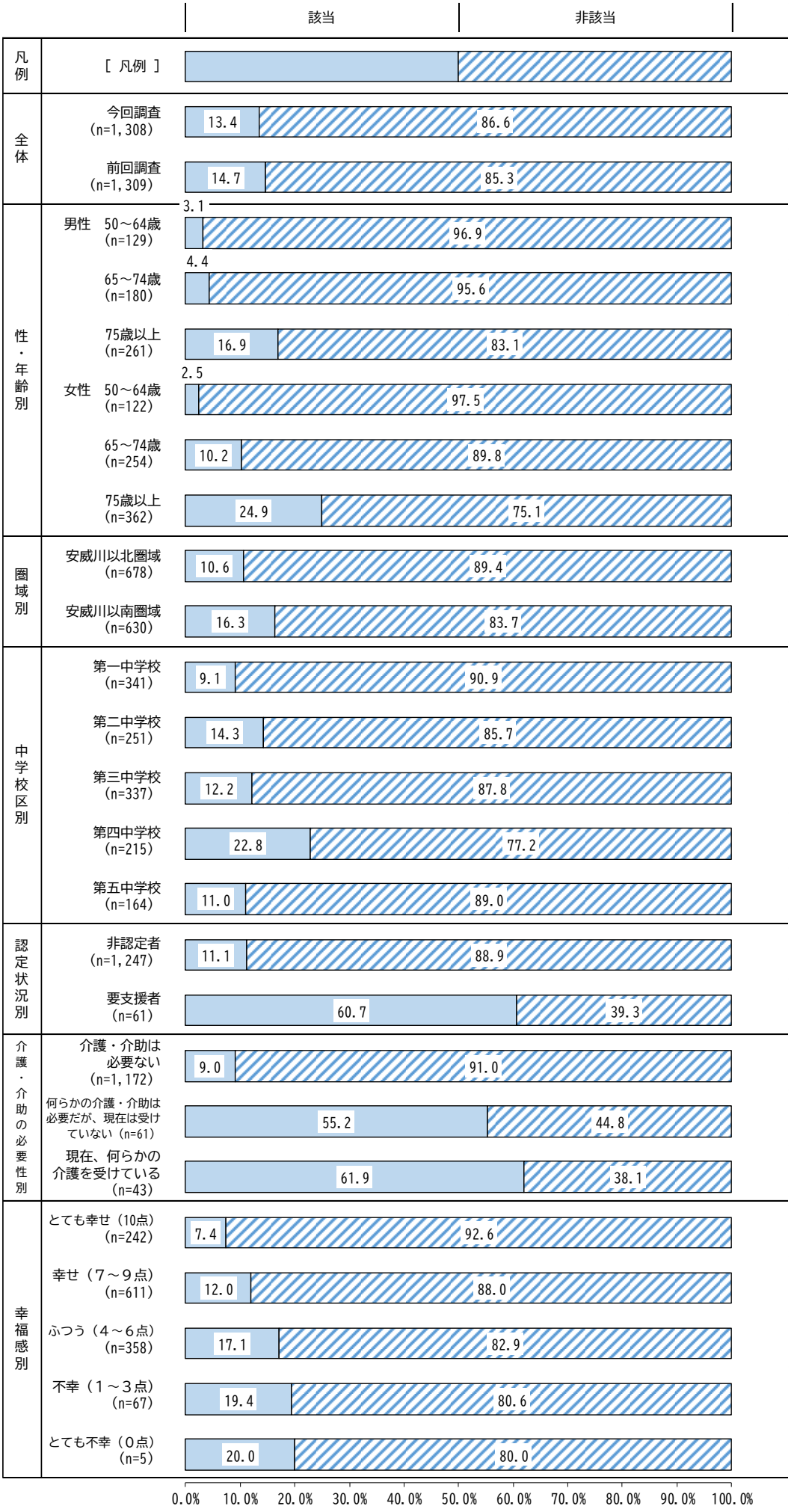
○　要支援者では、「該当」が 60.7%に達しており、非認定者（11.1%）と比較して 49.6 ポイント多くなっています。

【介護・介助の必要性別】

○　現在、何らかの介護を受けているでは、「該当」が 61.9%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

【幸福感別】

○　幸福感が低くなるほど、「該当」が増加する傾向になっています。


該当
非該当
凡例
［ 凡例 ］
全体
今回調査（n=1,308）
13.4
86.6
前回調査（n=1,309）
14.7
85.3
性・年齢別
男性　50～64歳（n=129）
3.1
96.9
65～74歳（n=180）
4.4
95.6
75歳以上（n=261）
16.9
83.1
女性　50～64歳（n=122）
2.5
97.5
65～74歳（n=254）
10.2
89.8
75歳以上（n=362）
24.9
75.1
圏域別
安威川以北圏域（n=678）
10.6
89.4
安威川以南圏域（n=630）
16.3
83.7
中学校区別
第一中学校（n=341）
9.1
90.9
第二中学校（n=251）
14.3
85.7
第三中学校（n=337）
12.2
87.8
第四中学校（n=215）
22.8
77.2
第五中学校（n=164）
11.0
89.0
認定状況別
非認定者（n=1,247）
11.1
88.9
要支援者（n=61）
60.7
39.3
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない（n=1,172）
9.0
91.0
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない（n=61）
55.2
44.8
現在、何らかの介護を受けている（n=43）
61.9
38.1
幸福感別
とても幸せ（10点）（n=242）
7.4
92.6
幸せ（７～９点）（n=611）
12.0
88.0
ふつう（４～６点）（n=358）
17.1
82.9
不幸（１～３点）（n=67）
19.4
80.6
とても不幸（０点）（n=5）
20.0
80.0
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

◆転倒リスク

【転倒リスクの判定】

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去１年間に転んだ経験がありますか	何度もある／１度ある

【全体】

○　「非該当」が 69.9%で最も多く、次いで「該当」が 30.1%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男女ともに、年齢が上がるにつれて「該当」の割合が多くなっており、男性 75 歳以上では 35.2%、女性 75 歳以上では 33.6%に達しています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【中学校区別】

○　第二中学校では、「該当」が 34.6%となっており、他の中学校区と比較して最も多くなっています。

【認定状況別】

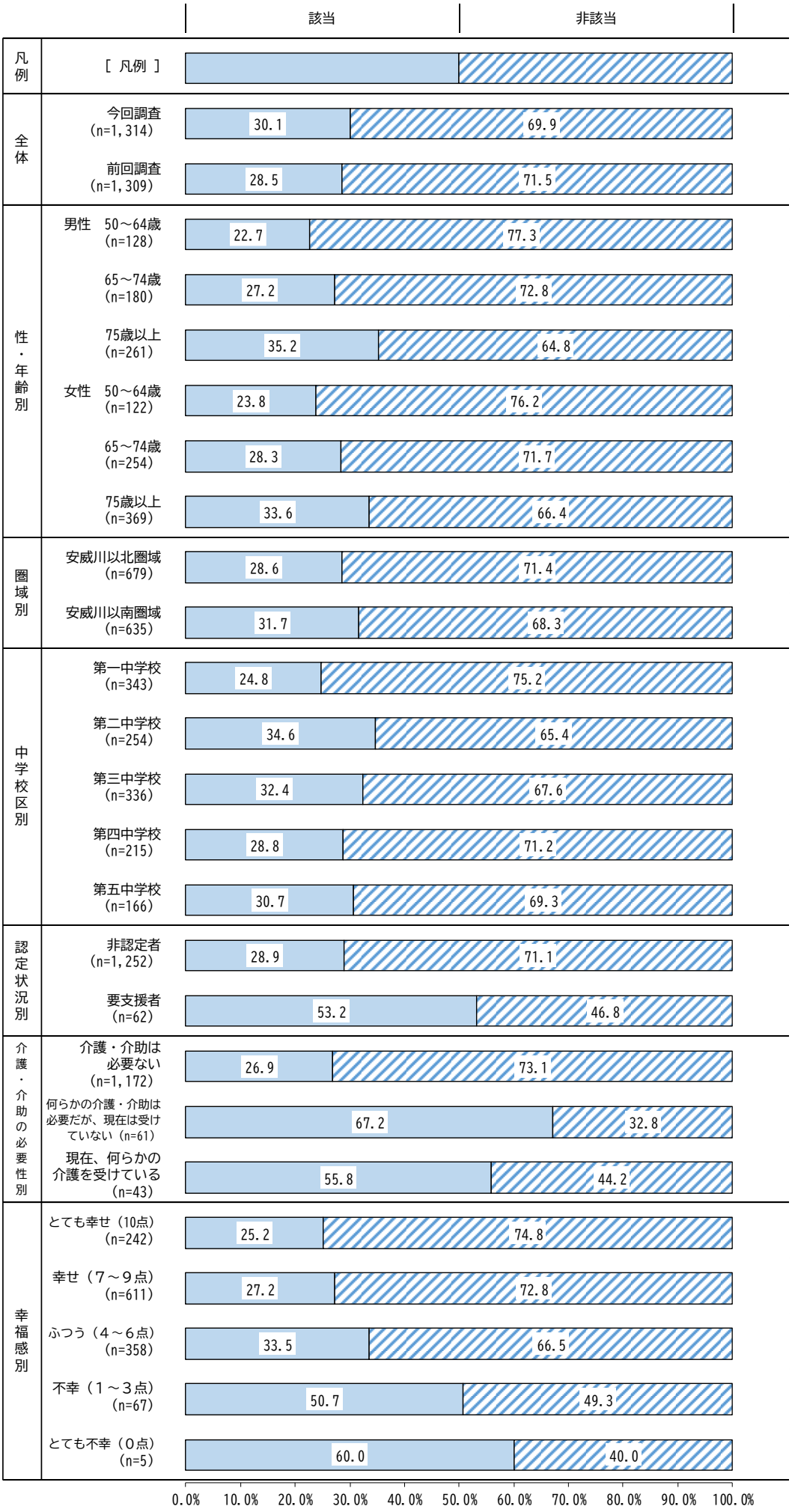
○　要支援者では、「該当」が 53.2%に達しており、非認定者（28.9%）と比較して 24.3 ポイント多くなっています。

【介護・介助の必要性別】

○　何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていないでは、「該当」が 67.2%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

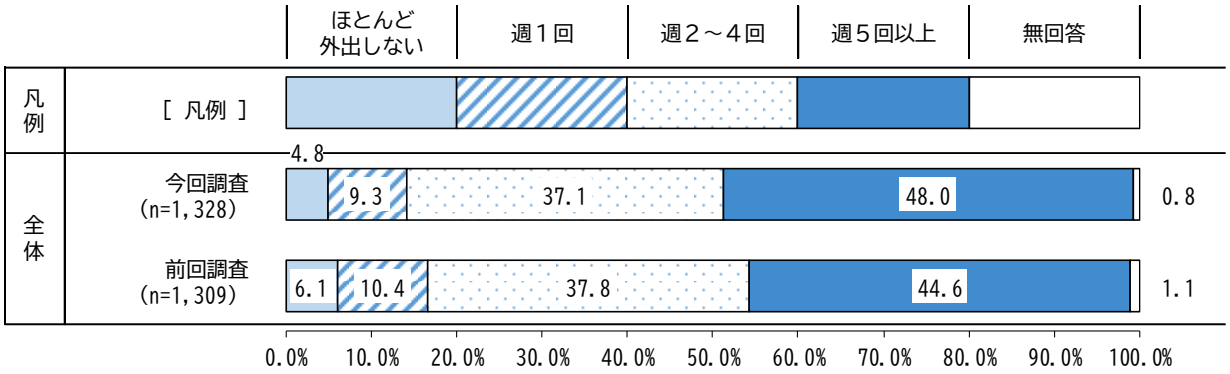
【幸福感別】

○　幸福感が低くなるほど、「該当」が増加する傾向になっています。


該当
非該当
凡例
［ 凡例 ］
全体
今回調査（n=1,314）
30.1
69.9
前回調査（n=1,309）
28.5
71.5
性・年齢別
男性　50～64歳（n=128）
22.7
77.3
65～74歳（n=180）
27.2
72.8
75歳以上（n=261）
35.2
64.8
女性　50～64歳（n=122）
23.8
76.2
65～74歳（n=254）
28.3
71.7
75歳以上（n=369）
33.6
66.4
圏域別
安威川以北圏域（n=679）
28.6
71.4
安威川以南圏域（n=635）
31.7
68.3
中学校区別
第一中学校（n=343）
24.8
75.2
第二中学校（n=254）
34.6
65.4
第三中学校（n=336）
32.4
67.6
第四中学校（n=215）
28.8
71.2
第五中学校（n=166）
30.7
69.3
認定状況別
非認定者（n=1,252）
28.9
71.1
要支援者（n=62）
53.2
46.8
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない（n=1,172）
26.9
73.1
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない（n=61）
67.2
32.8
現在、何らかの介護を受けている（n=43）
55.8
44.2
幸福感別
とても幸せ（10点）（n=242）
25.2
74.8
幸せ（７～９点）（n=611）
27.2
72.8
ふつう（４～６点）（n=358）
33.5
66.5
不幸（１～３点）（n=67）
50.7
49.3
とても不幸（０点）（n=5）
60.0
40.0
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

◆問2.6　週に１回以上は外出していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「週５回以上」が 48.0%で最も多く、次いで「週２～４回」が 37.1%、「週１回」が 9.3%となっています。

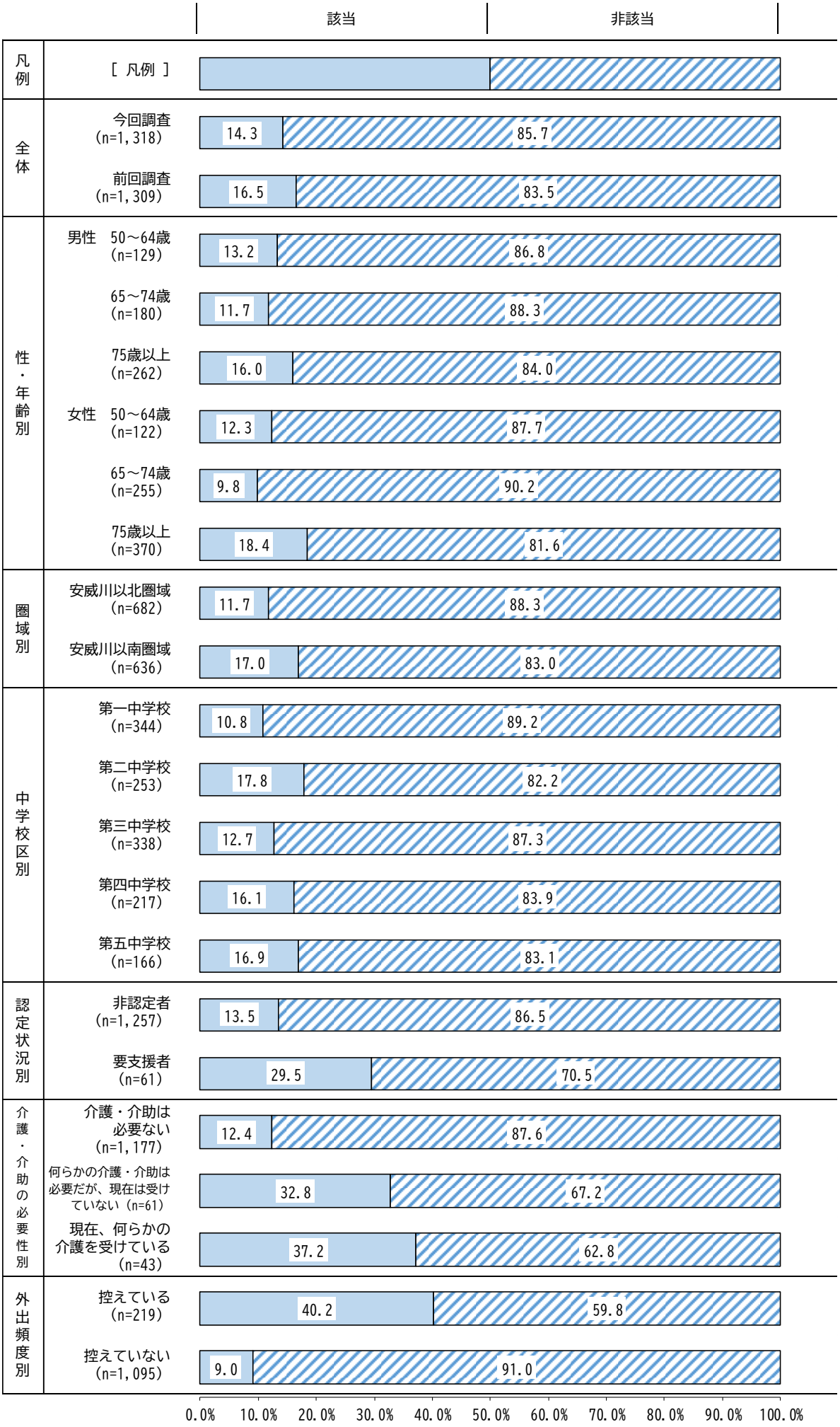


◆閉じこもりのリスク

【閉じこもりのリスクの判定】
以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に１回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週１回

【全体】
○　「非該当」が 85.7%で最も多く、次いで「該当」が 14.3%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　男女ともに 75 歳以上で、他の区分と比較して「該当」が多くなる傾向にあります。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「該当」が 17.0%となっており、安威川以北圏域（11.7%）と比較して 5.3 ポイント多くなっています。
【中学校区別】
○　中学校区別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　要支援者では、「該当」が 29.5%となっており、非認定者（13.5%）と比較して 16.0 ポイント多くなっています。
【介護・介助の必要性別】
○　現在、何らかの介護を受けているでは、「該当」が 37.2%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。
【外出頻度別】
○　控えているでは、「該当」が 40.2%となっており、控えていない（9.0%）と比較して 31.2 ポイント多くなっています。


該当
非該当
凡例
[凡例]
全体
今回調査 (n=1,318) 14.3 85.7
前回調査 (n=1,309) 16.5 83.5
性・年齢別
男性 50～64歳 (n=129) 13.2 86.8
65～74歳 (n=180) 11.7 88.3
75歳以上 (n=262) 16.0 84.0
女性 50～64歳 (n=122) 12.3 87.7
65～74歳 (n=255) 9.8 90.2
75歳以上 (n=370) 18.4 81.6
圏域別
安威川以北圏域 (n=682) 11.7 88.3
安威川以南圏域 (n=636) 17.0 83.0
中学校区別
第一中学校 (n=344) 10.8 89.2
第二中学校 (n=253) 17.8 82.2
第三中学校 (n=338) 12.7 87.3
第四中学校 (n=217) 16.1 83.9
第五中学校 (n=166) 16.9 83.1
認定状況別
非認定者 (n=1,257) 13.5 86.5
要支援者 (n=61) 29.5 70.5
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない (n=1,177) 12.4 87.6
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (n=61) 32.8 67.2
現在、何らかの介護を受けている (n=43) 37.2 62.8
外出頻度別
控えている (n=219) 40.2 59.8
控えていない (n=1,095) 9.0 91.0
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

◆問2.7　昨年と比較して外出の回数が減っていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「減っていない」が 42.0%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が 31.6%、「減っている」が 21.5%となっています。

○　前回調査と比較すると、『減っている（「とても減っている」と「減っている」の合計）』は 25.3%と、前回（34.0%）から 8.7 ポイント少なくなっています。

【性・年齢別】

○　男女ともに年齢が上がるにつれて、『減っている』の割合が多くなっており、75 歳以上（男性 29.0%、女性 30.7%）では、50～64 歳（男性 15.6%、女性 18.5%）と比較して 10 ポイント以上多くなっています。

○　50～64 歳では、男女ともに「減っていない」が 58.9%で約６割を占めています。

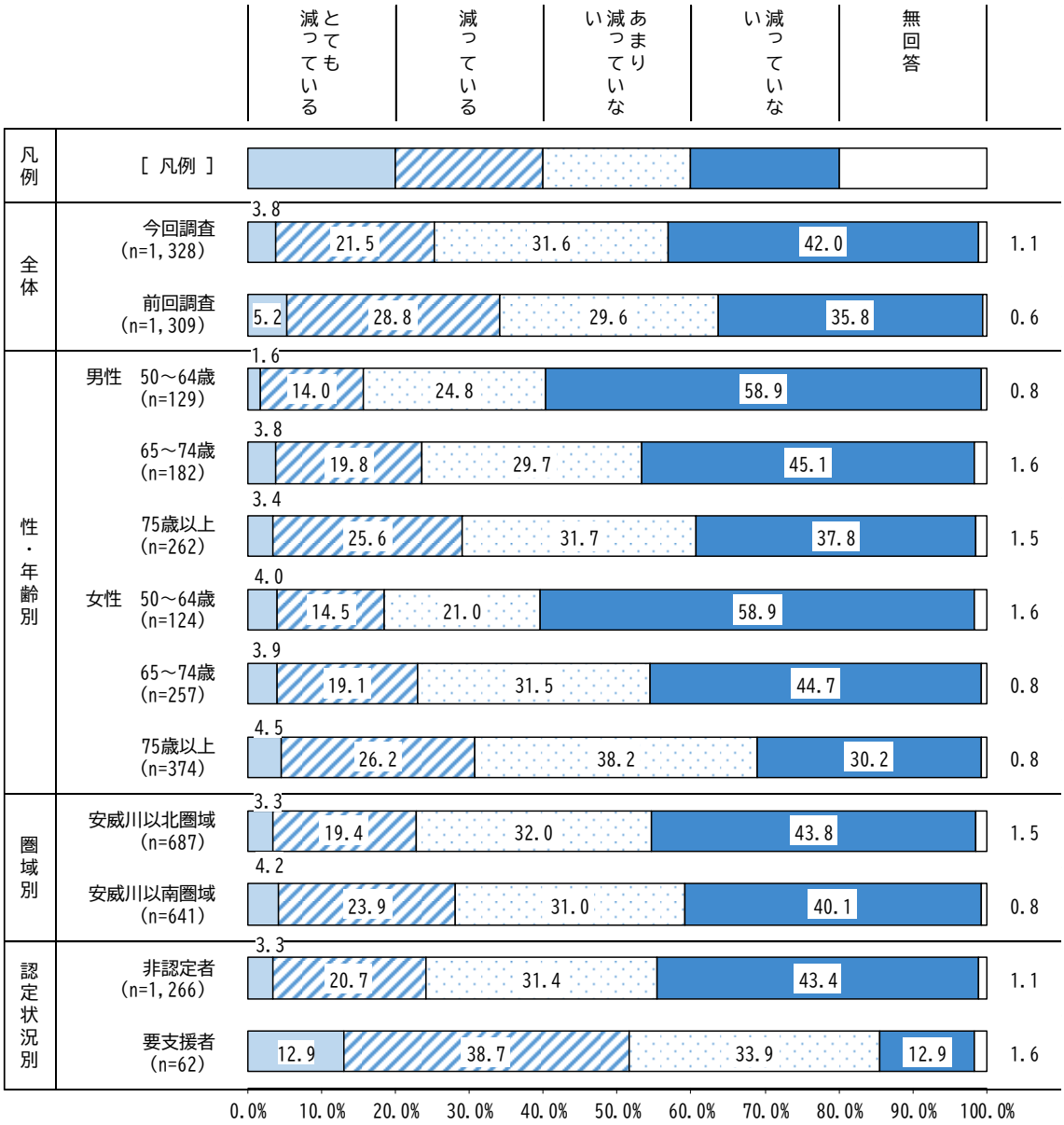
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、『減っている』が 51.6%と過半数を占めており、非認定者（24.0%）と比較して 27.6 ポイント多くなっています。

○　非認定者では、「減っていない」が 43.4%となっており、要支援者（12.9%）を 30.5 ポイント上回っています。



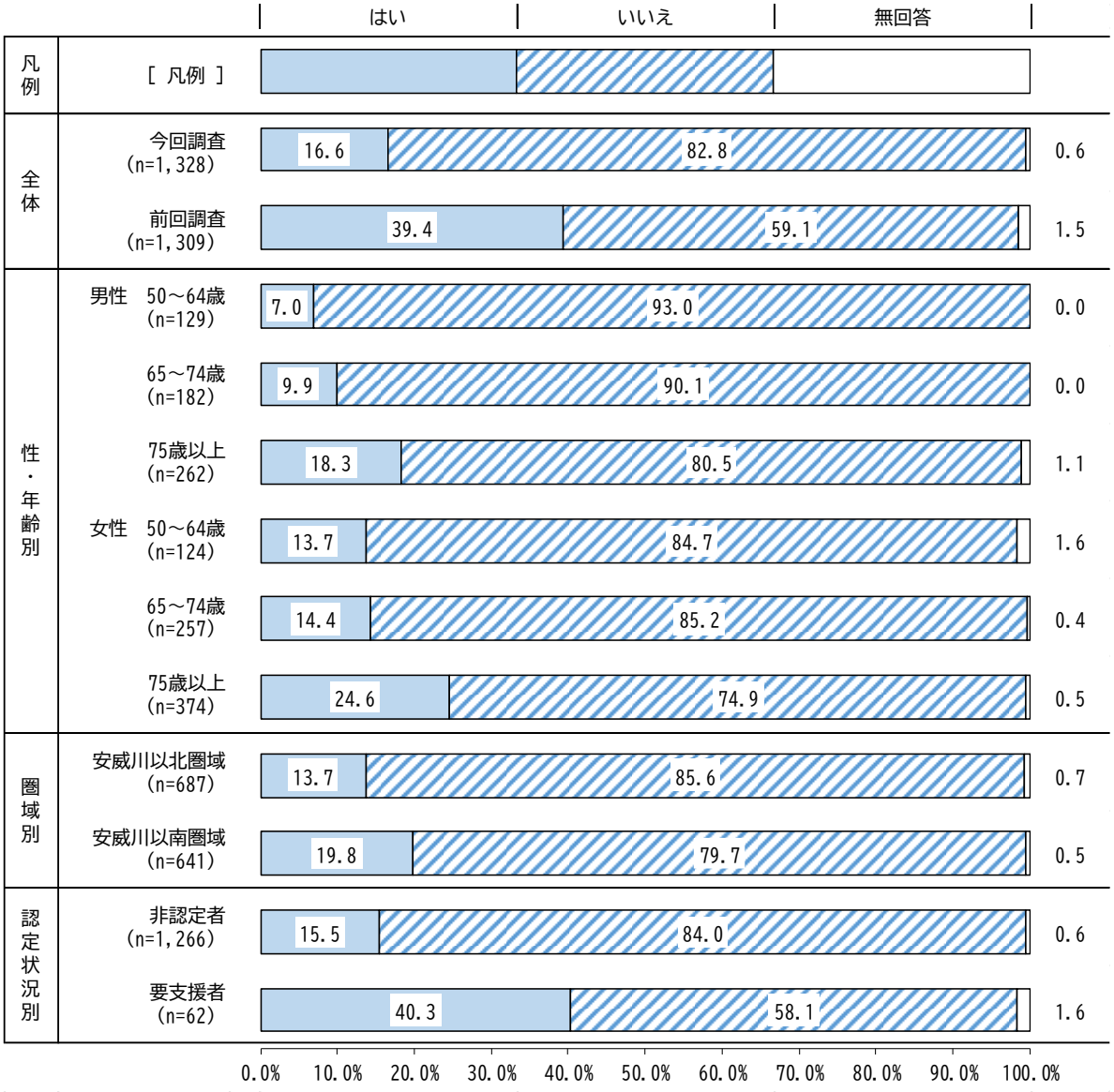
◆問2.8　外出を控えていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 16.6%、「いいえ」が 82.8%となっています。
○　前回調査と比較すると、「はい」は 16.6%と、前回（39.4%）から 22.8 ポイント少なくなっています。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「はい」の割合が多くなっており、特に女性 75 歳以上では 24.6%に達しています。
○　男性 50～64 歳では、「いいえ」が 93.0%で、他の区分と比較して最も多くなっています。

【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「はい」が 19.8%となっており、安威川以北圏域（13.7%）と比較して 6.1 ポイント多くなっています。

【認定状況別】
○　要支援者では、「はい」が 40.3%となっており、非認定者（15.5%）と比較して 24.8 ポイント多くなっています。



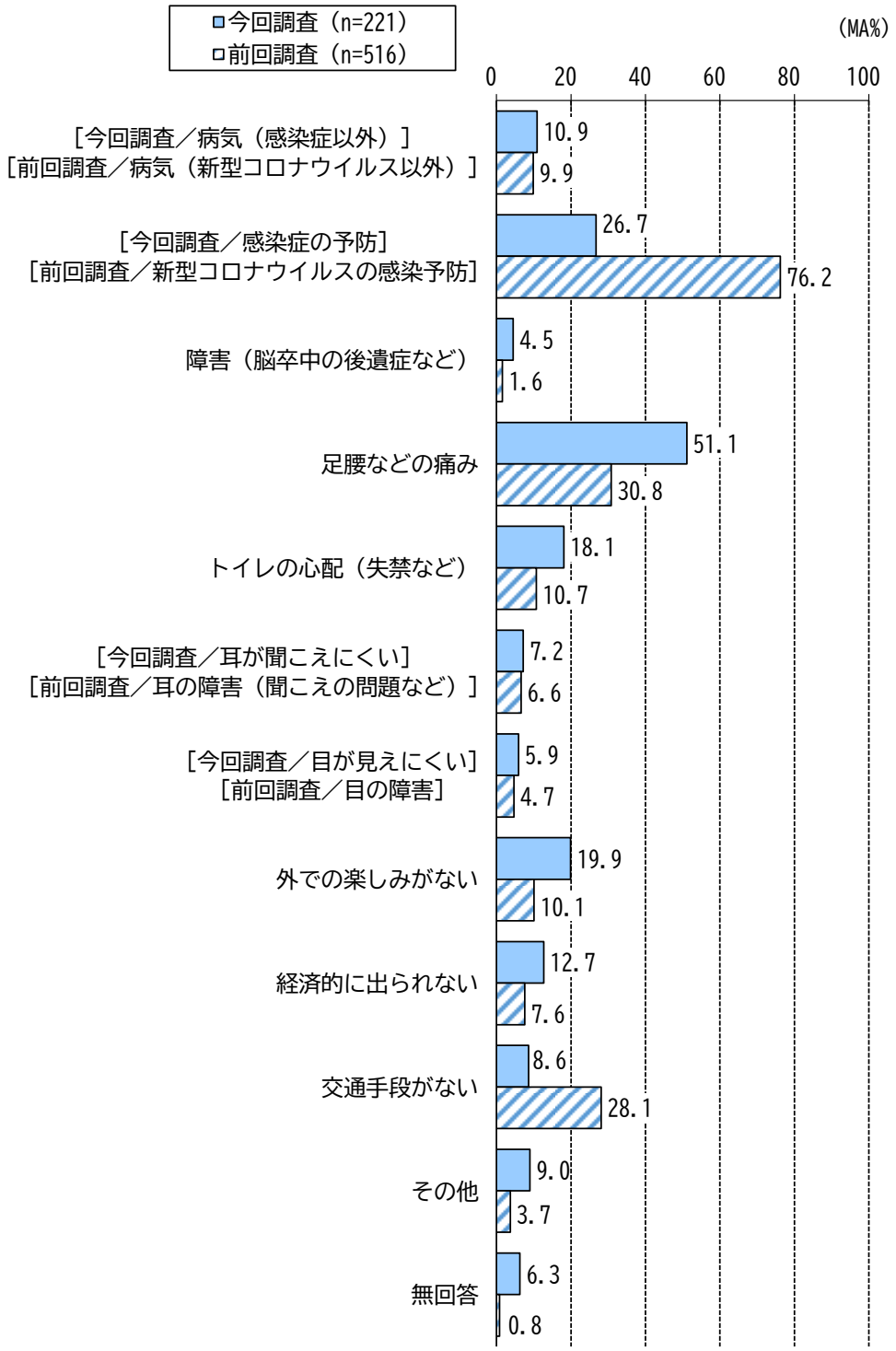
問 2.8 で､｢1｣と答えた方のみ

◆問2.8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも○）

【全体】

○　「足腰などの痛み」が 51.1%で最も多く、次いで「感染症の予防」が 26.7%、「外での楽しみがない」が 19.9%となっています。

○　前回調査と比較すると、「感染症の予防（前回：新型コロナウイルスの感染予防）」は 26.7%と、前回（76.2%）から 49.5 ポイント少なくなっています。一方で、「足腰などの痛み」は 51.1%と、前回（30.8%）から 20.3 ポイント多くなっています。



【性・年齢別】
○　女性 75 歳以上では、「足腰などの痛み」が最も多く６割を占めています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「足腰などの痛み」が 54.3％となっており、安威川以南圏域（48.8％）と比較して 5.5 ポイント多くなっています。
○　安威川以南圏域では、「外での楽しみがない」が 22.0％となっており、安威川以北圏域（17.0％）と比較して 5.0 ポイント多くなっています。
【認定状況別】
○　非認定者では、「足腰などの痛み」が 46.4％、「感染症の予防」が 29.1％、「外での楽しみがない」が 21.9％となっています。

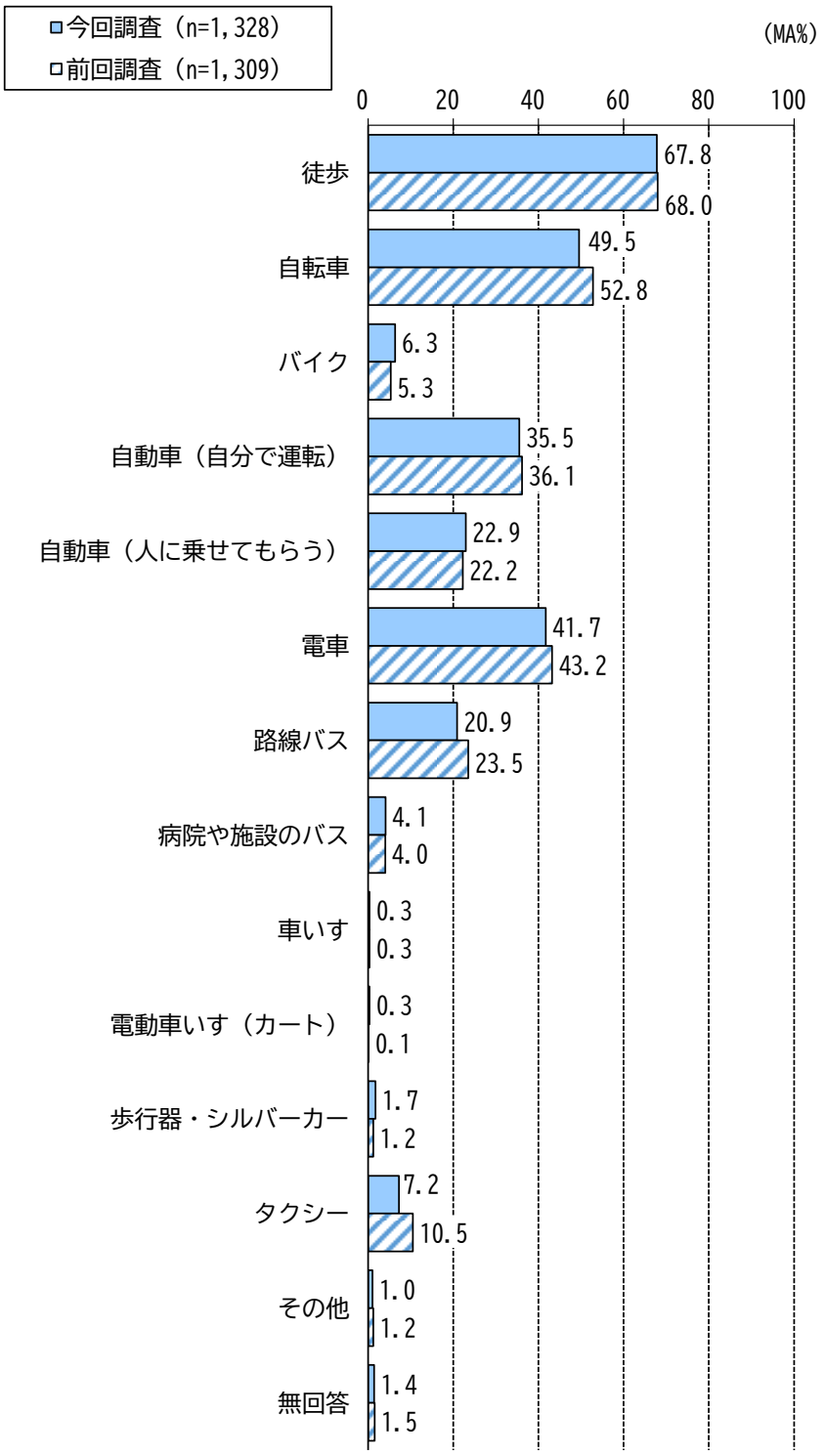
【外出を控えている理由（MA）】

単位：％

		母数（n）	病気（感染症以外）	感染症の予防	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳が聞こえにくい	目が見えにくい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		221	10.9	26.7	4.5	51.1	18.1	7.2	5.9	19.9	12.7	8.6	9.0	6.3
性・年齢別	男性　50～64歳	9	－	33.3	△ 22.2	44.4	11.1	－	－	△ 44.4	△ 44.4	11.1	－	11.1
	65～74歳	18	5.6	▼ 11.1	5.6	▼ 27.8	△ 38.9	5.6	－	27.8	16.7	－	5.6	11.1
	75歳以上	48	12.5	20.8	6.3	60.4	25.0	16.7	12.5	27.1	10.4	10.4	8.3	4.2
	女性　50～64歳	17	△ 29.4	△ 41.2	5.9	▼ 29.4	17.6	5.9	5.9	▼ 5.9	△ 29.4	5.9	17.6	－
	65～74歳	37	16.2	△ 37.8	5.4	▼ 37.8	10.8	－	2.7	27.0	10.8	8.1	10.8	2.7
	75歳以上	92	6.5	25.0	1.1	60.9	14.1	6.5	5.4	12.0	7.6	9.8	8.7	8.7
圏域別	安威川以北圏域	94	10.6	25.5	5.3	54.3	17.0	10.6	10.6	17.0	13.8	8.5	12.8	2.1
	安威川以南圏域	127	11.0	27.6	3.9	48.8	18.9	4.7	2.4	22.0	11.8	8.7	6.3	9.4
認定状況別	非認定者	196	10.7	29.1	4.1	46.4	17.9	6.6	5.6	21.9	13.3	9.2	9.2	7.1
	要支援者	25	12.0	▼ 8.0	8.0	△ 88.0	20.0	12.0	8.0	▼ 4.0	8.0	4.0	8.0	－

◆問2.9　外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「徒歩」が67.8%で最も多く、次いで「自転車」が49.5%、「電車」が41.7%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】

○　男性 50～74 歳では、「自動車（自分で運転）」が最も多く、全体を大きく上回っています。一方、女性 75 歳以上では 6.1%にとどまっており、性・年齢別で大きく異なっています。

○　男性ではどの年代でも「自動車（自分で運転）」は全体を上回っています。一方で、女性では 65 歳以上は全体を下回り、「自動車（人に乗せてもらう）」が全体を上回っています。

○　「自転車」は、女性 50～64 歳（66.1%）で最も多く、年齢が上がるに伴い、低下する傾向にあります。一方で、男性は、年齢が上がるに伴い多くなる傾向にあります。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「徒歩」が 75.5%、「電車」が 54.0%となっており、安威川以南圏域（徒歩 59.4%、電車 28.5%）と比較して、それぞれ 15 ポイント以上多くなっています。

○　安威川以南圏域では、「路線バス」が 30.3%となっており、安威川以北圏域（12.2%）と比較して 18.1 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「路線バス」が 32.3%となっており、非認定者（20.4%）と比較して 11.9 ポイント多くなっています。

○　要支援者では、「自転車」が 14.5%、「自動車（自分で運転）」が 6.5%となっており、非認定者（自転車 51.3%、自力運転 36.9%）を大幅に下回っています。

【外出する際の移動手段（MA）】

単位：%

		母数（n）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全体		1,328	67.8	49.5	6.3	35.5	22.9	41.7	20.9
性・年齢別	男性　50～64歳	129	69.8	40.3	12.4	△ 76.0	▼ 7.8	46.5	14.0
	65～74歳	182	62.1	40.7	11.5	△ 64.8	▼ 8.8	40.7	13.7
	75歳以上	262	63.4	52.7	3.1	42.0	▼ 9.5	▼ 30.2	18.3
	女性　50～64歳	124	71.8	△ 66.1	6.5	42.7	25.0	△ 59.7	19.4
	65～74歳	257	68.5	58.4	7.8	26.8	△ 36.6	45.5	23.3
	75歳以上	374	71.1	43.3	2.7	▼ 6.1	△ 34.2	40.1	27.5
圏域別	安威川以北圏域	687	75.5	50.4	6.4	33.0	19.7	△ 54.0	12.2
	安威川以南圏域	641	59.4	48.7	6.1	38.1	26.4	▼ 28.5	30.3
認定状況別	非認定者	1,266	68.1	51.3	6.3	36.9	22.5	42.4	20.4
	要支援者	62	61.3	▼ 14.5	4.8	▼ 6.5	30.6	▼ 27.4	△ 32.3

単位：%

		母数（n）	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		1,328	4.1	0.3	0.3	1.7	7.2	1.0	1.4
性・年齢別	男性　50～64歳	129	0.8	－	1.6	－	1.6	－	0.8
	65～74歳	182	1.6	－	－	0.5	0.5	－	0.5
	75歳以上	262	4.2	0.4	0.8	1.1	7.3	0.8	1.9
	女性　50～64歳	124	1.6	0.8	－	－	3.2	－	0.8
	65～74歳	257	3.9	－	－	0.8	6.6	2.3	1.6
	75歳以上	374	7.5	0.5	－	4.5	13.9	1.3	1.6
圏域別	安威川以北圏域	687	4.7	0.3	0.1	1.6	7.0	0.9	1.6
	安威川以南圏域	641	3.6	0.3	0.5	1.9	7.3	1.1	1.1
認定状況別	非認定者	1,266	3.7	0.2	0.2	0.6	6.4	0.9	1.3
	要支援者	62	12.9	1.6	1.6	△ 24.2	△ 22.6	1.6	1.6

◆問2.10　あなたの考える「自分の生活の行動範囲」を教えてください。（１つだけ○）

【全体】

○　「その他」が 27.4%で最も多く、次いで「摂津市全域」が 20.5%、「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」が 18.2%となっています。

【性・年齢別】

○　男性 50～64 歳では、「その他」が 52.7%と過半数を占めており、全体（27.4%）を大きく上回っています。

○　男女ともに、年齢が上がるにつれて「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」と回答する割合が多くなる傾向にあり、特に女性 75 歳以上では 29.9%と、女性 50～64 歳（10.5%）と比較して 19.4 ポイント多くなっています。

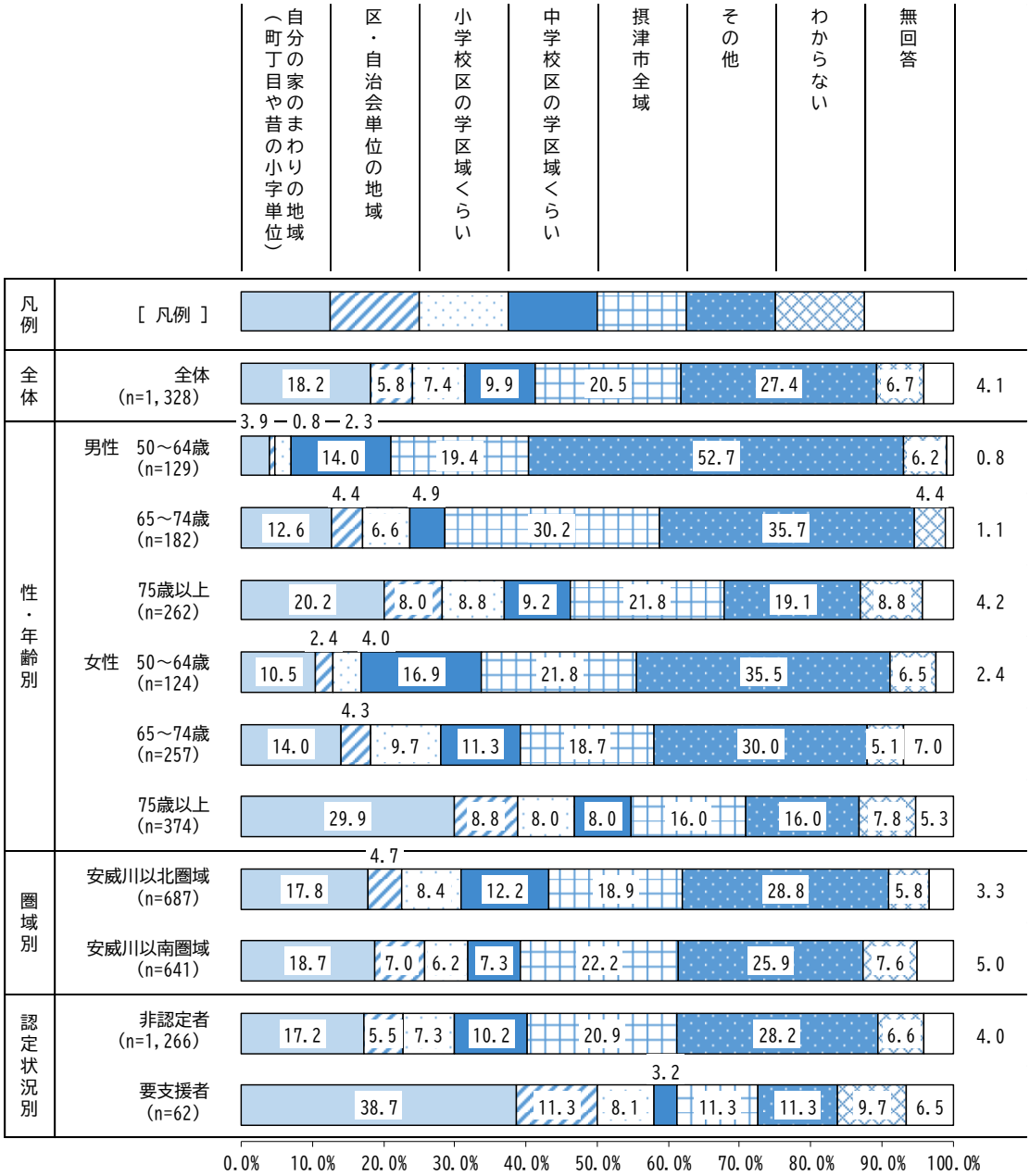
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」が 38.7%となっており、非認定者（17.2%）と比較して 21.5 ポイント多くなっています。

○　非認定者では、「その他」が 28.2%となっており、要支援者（11.3%）を 16.9 ポイント上回っています。



3. 食べることについて

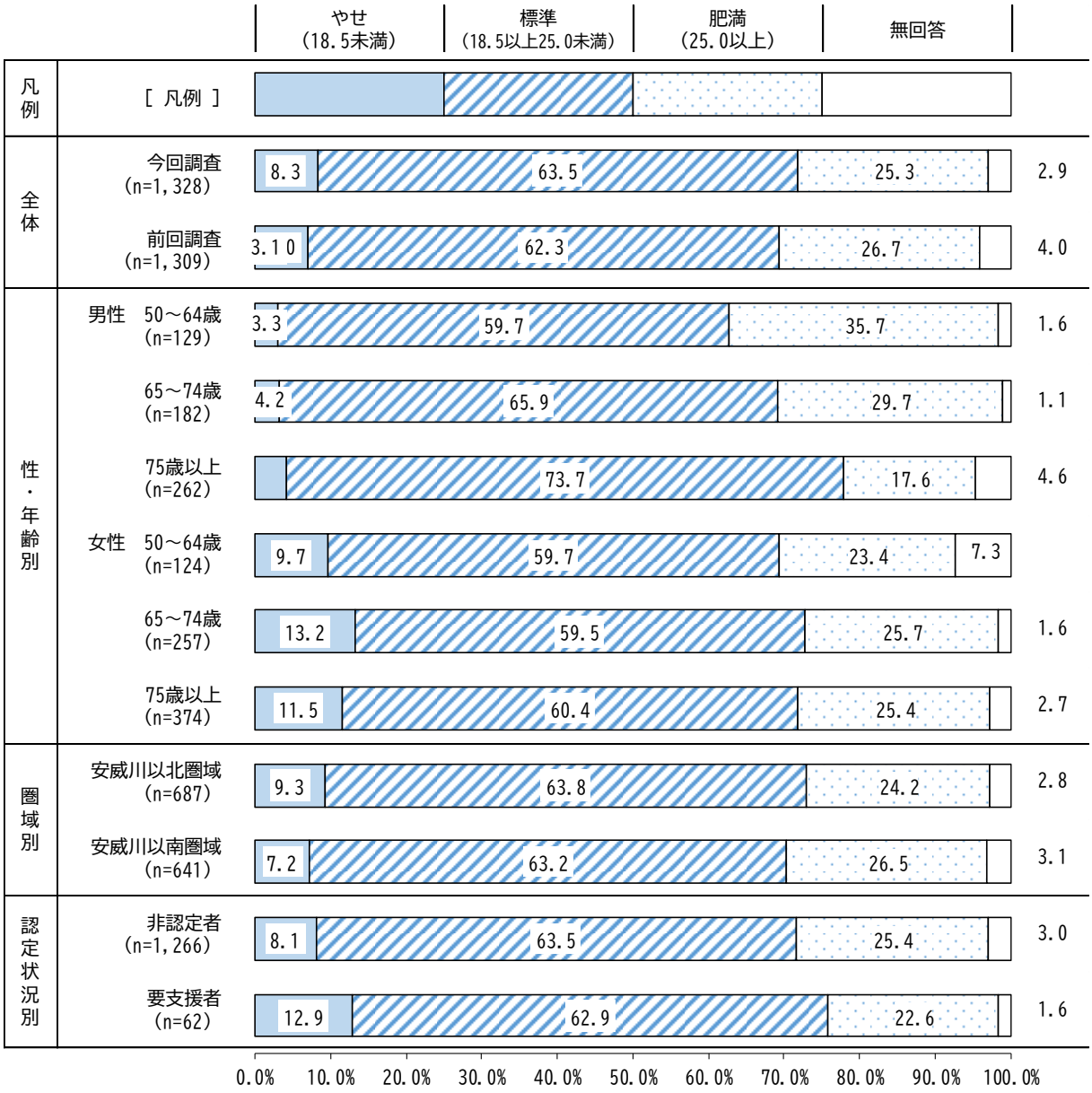
◆問3.1　身長・体重を教えてください。（ＢＭＩ）

【全体】
○　「標準（18.5 以上 25.0 未満）」が 63.5%で最も多く、次いで「肥満（25.0 以上）」が 25.3%、「やせ（18.5 未満）」が 8.3%となっています。

【性・年齢別】
○　男性 50～64 歳では、「肥満（25.0 以上）」が 35.7%となっており、全体（25.3%）を大きく上回っています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「やせ（18.5 未満）」が 12.9%となっており、非認定者（8.1%）と比較して 4.8 ポイント多くなっています。



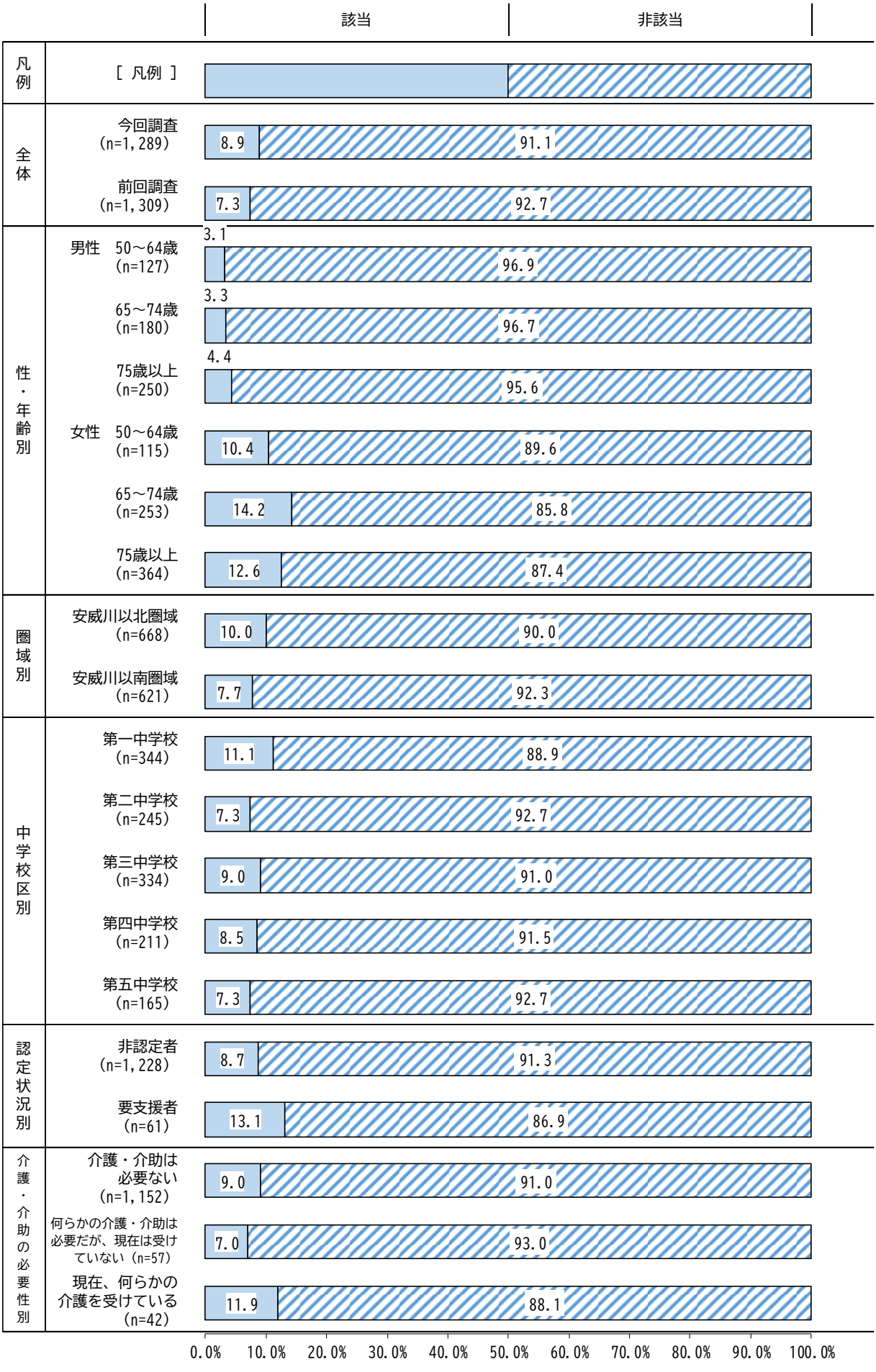
◆栄養改善のリスク

【栄養改善のリスクの判定】

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善のリスクのある高齢者となります。

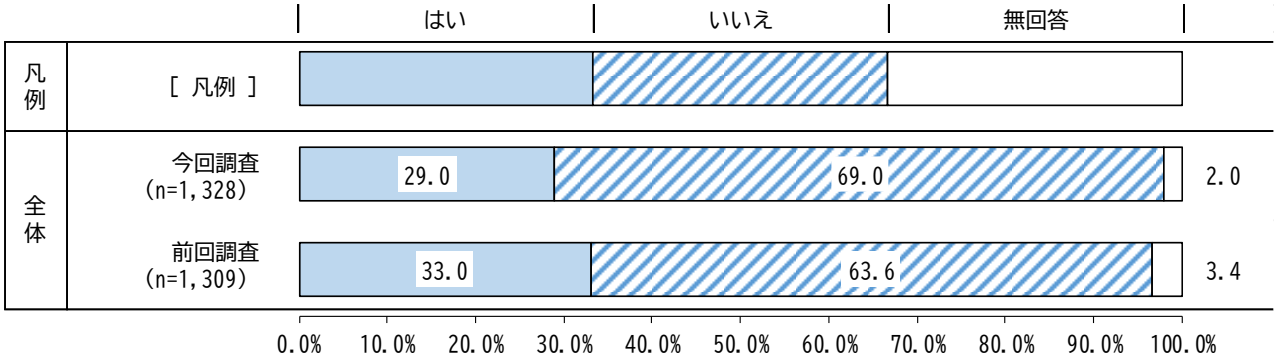
設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m）^{2}）	18.5未満

【全体】
○　「非該当」が91.1%で最も多く、次いで「該当」が8.9%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　すべての区分で、女性は男性と比較して「該当」が多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【中学校区別】
○　中学校区別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。
【介護・介助の必要性別】
○　介護・介助の必要性別による大きな差はみられません。


該当
非該当
凡例
[凡例]
全体
今回調査 (n=1,289)
8.9
91.1
前回調査 (n=1,309)
7.3
92.7
性・年齢別
男性 50～64歳 (n=127)
3.1
96.9
65～74歳 (n=180)
3.3
96.7
75歳以上 (n=250)
4.4
95.6
女性 50～64歳 (n=115)
10.4
89.6
65～74歳 (n=253)
14.2
85.8
75歳以上 (n=364)
12.6
87.4
圏域別
安威川以北圏域 (n=668)
10.0
90.0
安威川以南圏域 (n=621)
7.7
92.3
中学校区別
第一中学校 (n=344)
11.1
88.9
第二中学校 (n=245)
7.3
92.7
第三中学校 (n=334)
9.0
91.0
第四中学校 (n=211)
8.5
91.5
第五中学校 (n=165)
7.3
92.7
認定状況別
非認定者 (n=1,228)
8.7
91.3
要支援者 (n=61)
13.1
86.9
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない (n=1,152)
9.0
91.0
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (n=57)
7.0
93.0
現在、何らかの介護を受けている (n=42)
11.9
88.1
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

◆問3.2　半年前に比較して固いものが食べにくくなりましたか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 29.0%、「いいえ」が 69.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



◆問3.3　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（１つだけ○）

【全体】

○　「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.6%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 31.7%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.9%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男女ともに 50～64 歳では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が６割以上（男性 65.1%、女性 73.4%）に達していますが、年齢が上がるにつれてその割合は低下しています。

○　75 歳以上では、男女ともに「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなり、女性 75 歳以上では 45.5%、男性 75 歳以上では 43.9%となっています。

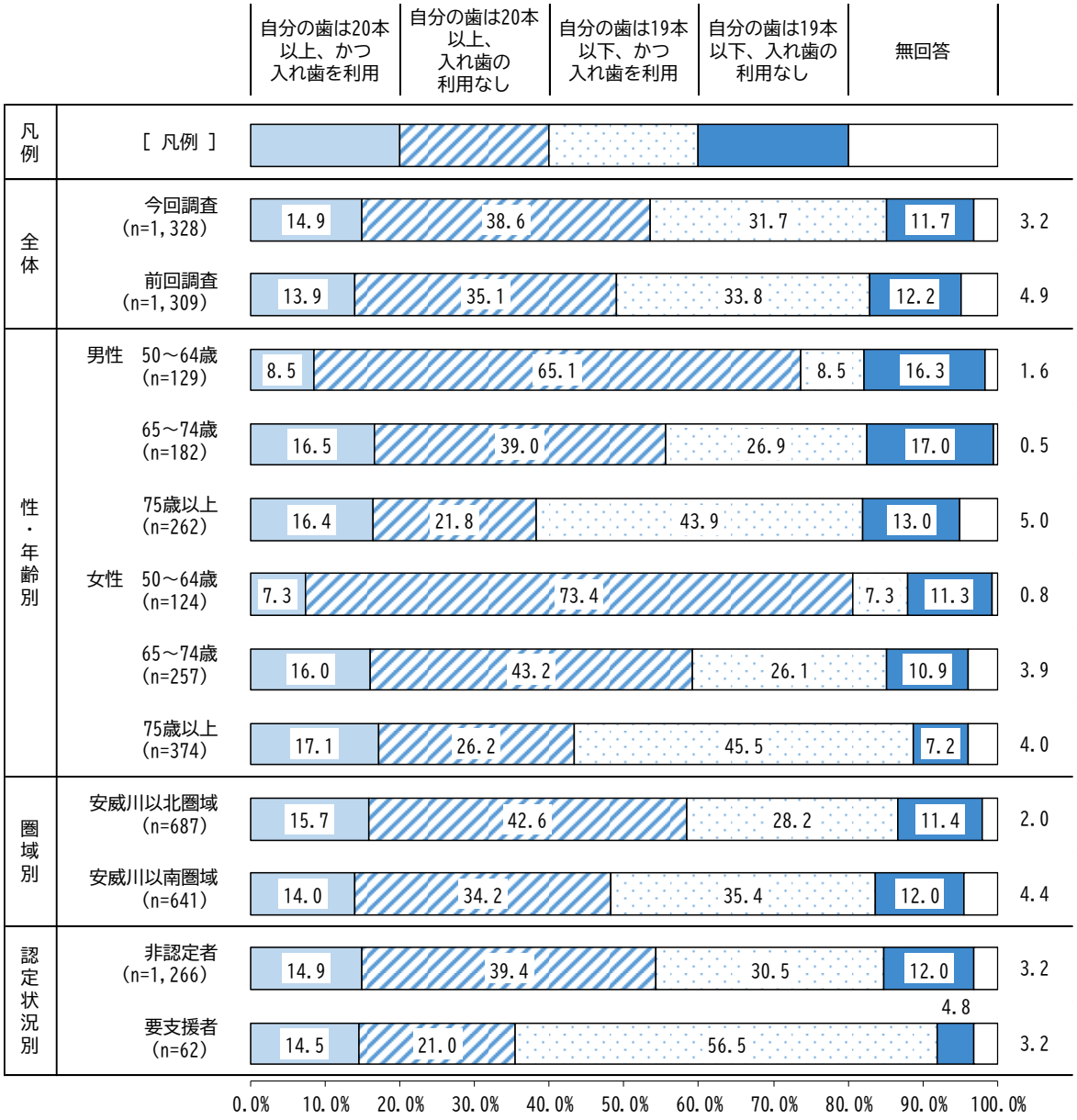
【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 42.6%となっており、安威川以南圏域（34.2%）と比較して 8.4 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 56.5%となっており、非認定者（30.5%）を 26.0 ポイント上回っています。

○　非認定者では、『自分の歯が 20 本以上（「入れ歯利用あり」と「なし」の合計)』が 54.3%となっており、要支援者（35.5%）を 18.8 ポイント上回っています。



◆問3.4　どなたかと食事をともにする機会はありますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「毎日ある」が 55.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 14.7%、「年に何度かある」が 10.7%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに 50～64 歳では、「毎日ある」が男性 61.2%、女性 69.4%と多くなっていますが、75 歳以上では男女ともに 48.1%と少なくなっています。

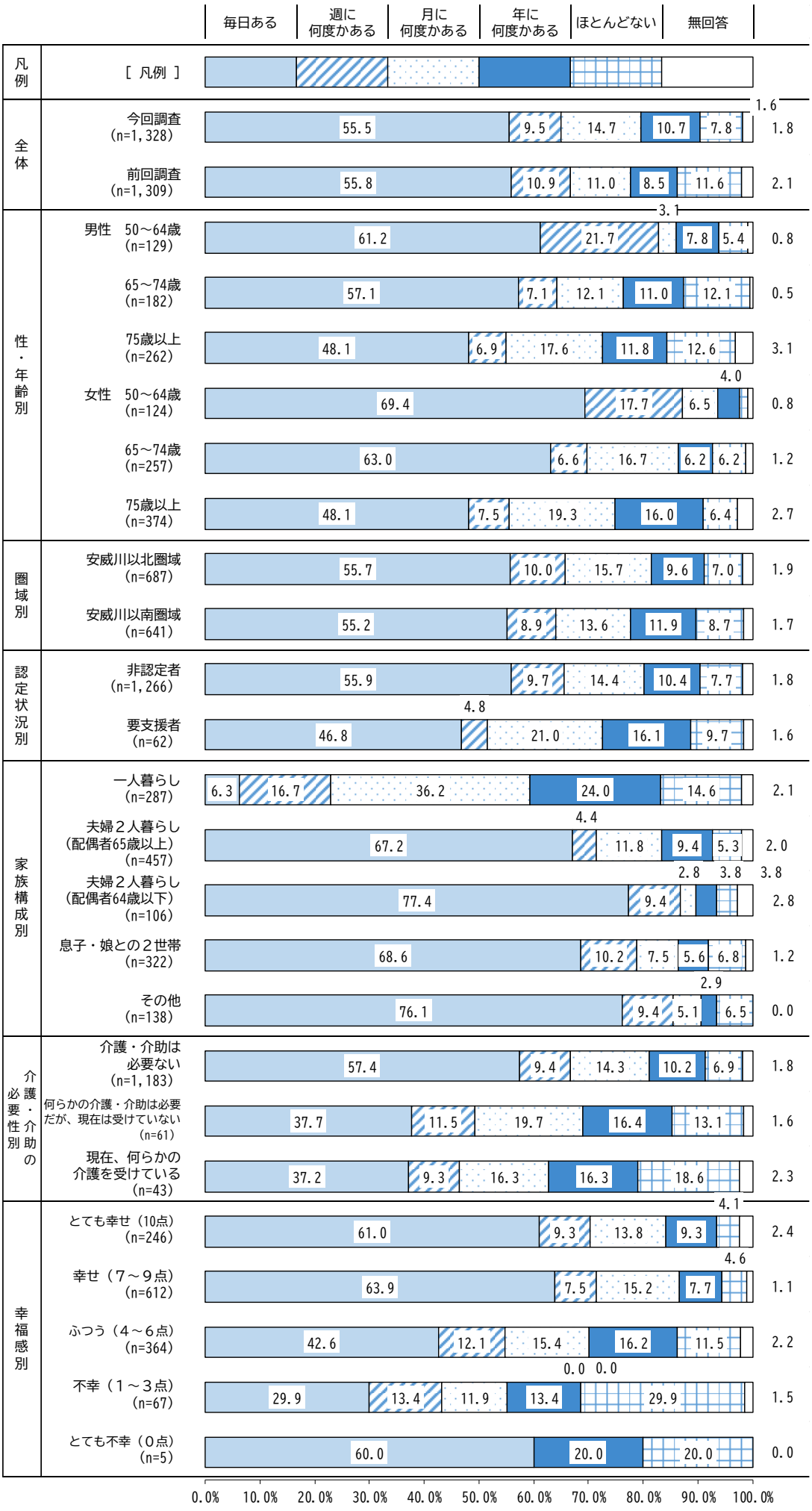
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「毎日ある」が 46.8%となっており、非認定者（55.9%）と比較して 9.1 ポイント少なくなっています。
○　要支援者では、「月に何度かある」が 21.0%となっており、非認定者（14.4%）を 6.6 ポイント上回っています。

【家族構成別】
○　一人暮らしでは、「毎日ある」が 6.3%と他の区分と比較して最も低くなっています。

【介護・介助の必要性別】
○　介護・介助は必要ないでは、「毎日ある」が 57.4%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

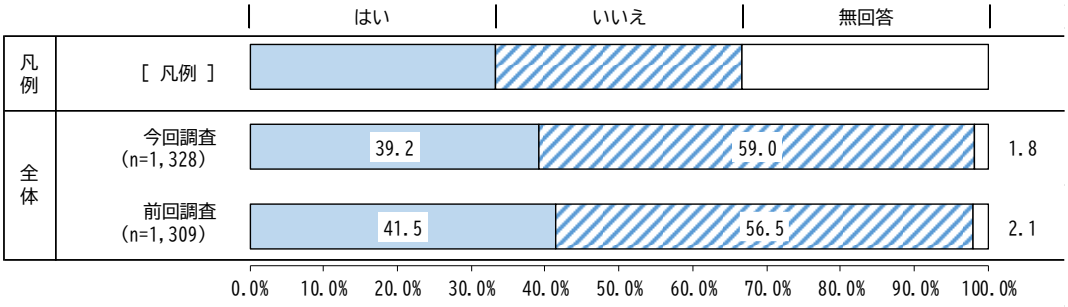
【幸福感別】
○　不幸（１～３点）では、「毎日ある」が 29.9%となっており、他の区分と比較して最も少なくなっています。


毎日ある
週に何度かある
月に何度かある
年に何度かある
ほとんどない
無回答
凡例
［ 凡例 ］
全体
今回調査 (n=1,328) 55.5 9.5 14.7 10.7 7.8 1.6 1.8
前回調査 (n=1,309) 55.8 10.9 11.0 8.5 11.6 3.1 2.1
性・年齢別
男性 50～64歳 (n=129) 61.2 21.7 7.8 5.4 0.8
65～74歳 (n=182) 57.1 7.1 12.1 11.0 12.1 0.5
75歳以上 (n=262) 48.1 6.9 17.6 11.8 12.6 4.0 3.1
女性 50～64歳 (n=124) 69.4 17.7 6.5 0.8
65～74歳 (n=257) 63.0 6.6 16.7 6.2 6.2 1.2
75歳以上 (n=374) 48.1 7.5 19.3 16.0 6.4 2.7
圏域別
安威川以北圏域 (n=687) 55.7 10.0 15.7 9.6 7.0 1.9
安威川以南圏域 (n=641) 55.2 8.9 13.6 11.9 8.7 1.7
認定状況別
非認定者 (n=1,266) 55.9 9.7 14.4 10.4 7.7 1.8
要支援者 (n=62) 46.8 4.8 21.0 16.1 9.7 1.6
家族構成別
一人暮らし (n=287) 6.3 16.7 36.2 24.0 14.6 2.1
夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上） (n=457) 67.2 4.4 11.8 9.4 5.3 2.0
夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下） (n=106) 77.4 9.4 2.8 3.8 3.8 2.8
息子・娘との２世帯 (n=322) 68.6 10.2 7.5 5.6 6.8 1.2
その他 (n=138) 76.1 9.4 5.1 2.9 6.5 0.0
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない (n=1,183) 57.4 9.4 14.3 10.2 6.9 1.8
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (n=61) 37.7 11.5 19.7 16.4 13.1 1.6
現在、何らかの介護を受けている (n=43) 37.2 9.3 16.3 16.3 18.6 2.3
幸福感別
とても幸せ（10点） (n=246) 61.0 9.3 13.8 9.3 4.1 2.4
幸せ（７～９点） (n=612) 63.9 7.5 15.2 7.7 4.6 1.1
ふつう（４～６点） (n=364) 42.6 12.1 15.4 16.2 11.5 2.2
不幸（１～３点） (n=67) 29.9 13.4 11.9 13.4 0.0 0.0 29.9 1.5
とても不幸（０点） (n=5) 60.0 20.0 20.0 0.0
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

4. 毎日の生活について

◆問4.1　物忘れが多いと感じますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 39.2%、「いいえ」が 59.0%となっています。
○　前回調査では、「はい」が 41.5%、「いいえ」が 56.5%となっています。

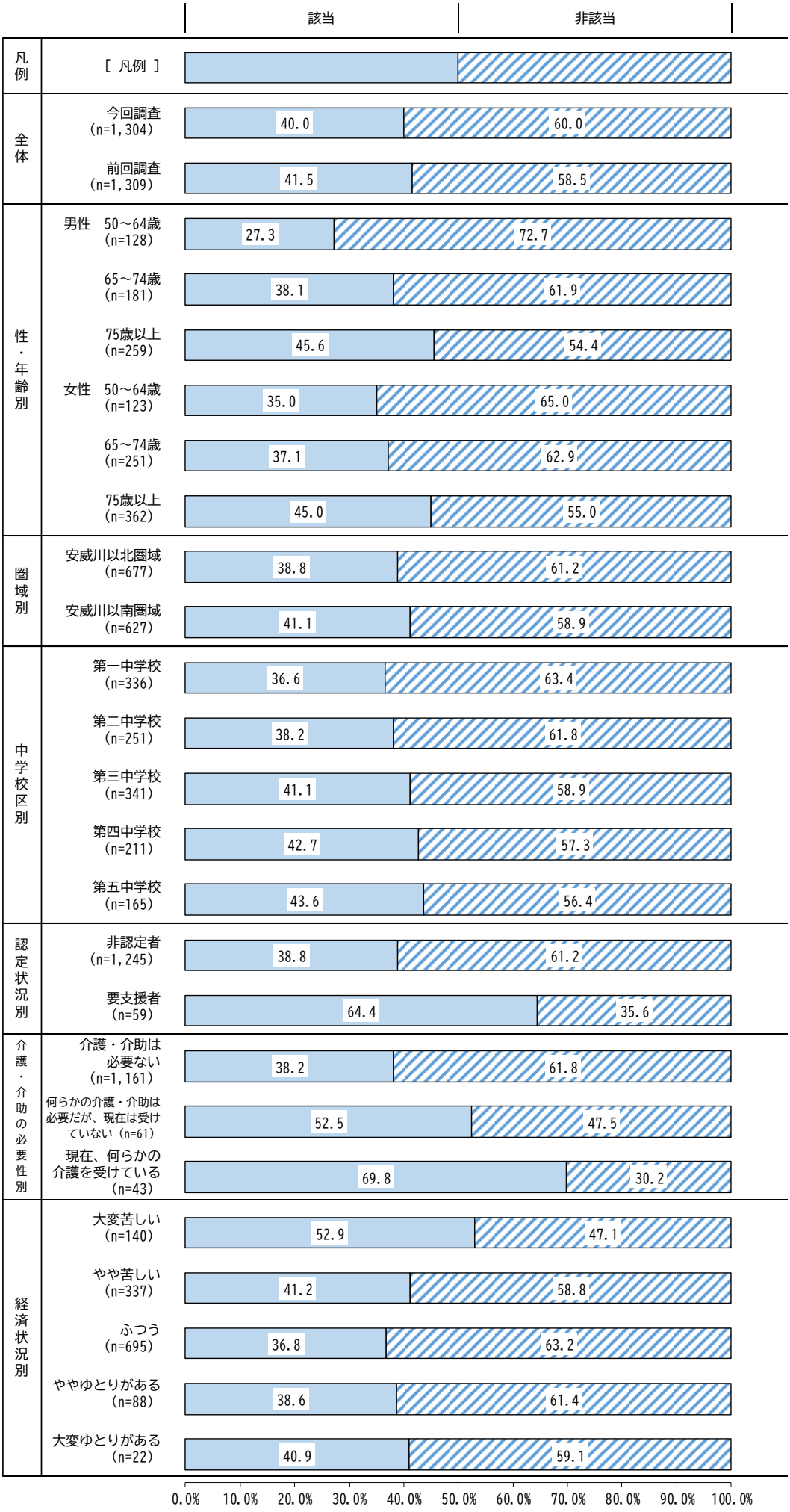


◆認知機能の低下リスク

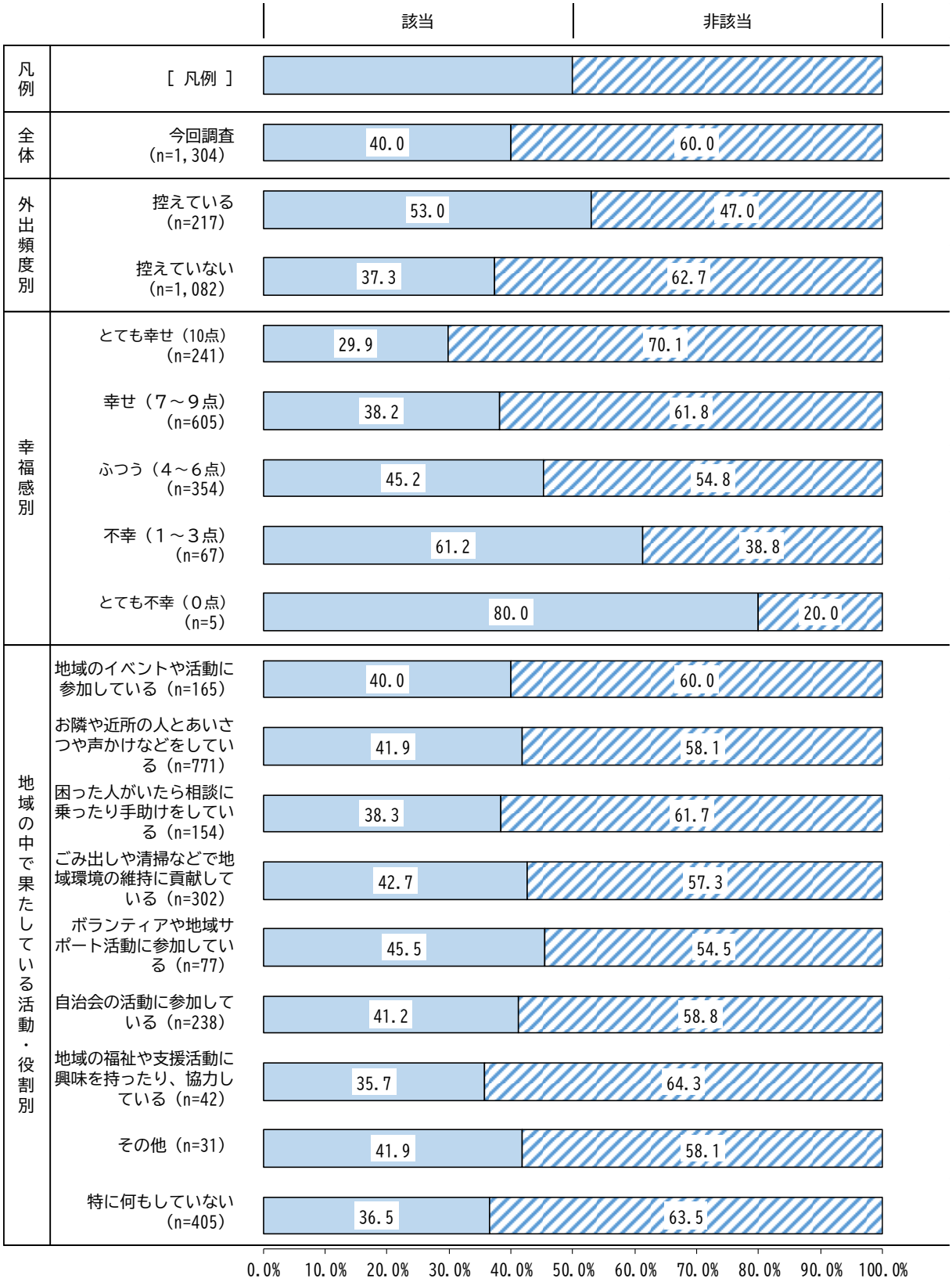
【認知機能の低下リスクの判定】
以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】
○　「非該当」が 60.0%で最も多く、次いで「該当」が 40.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　男女ともに、年齢が上がるにつれて「該当」の割合が多くなっており、男性 75 歳以上（45.6%）と女性 75 歳以上（45.0%）では、ともに４割を超えています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【中学校区別】
○　中学校区別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　要支援者では、「該当」が 64.4%に達しており、非認定者（38.8%）と比較して 25.6 ポイント多くなっています。
【介護・介助の必要性別】
○　現在、何らかの介護を受けているでは、「該当」が 69.8%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。
【経済状況別】
○　経済状況を苦しく感じている人ほど、「該当」が増加する傾向になっています。


該当
非該当
凡例
［ 凡例 ］
全体
今回調査（n=1,304）
40.0
60.0
前回調査（n=1,309）
41.5
58.5
性・年齢別
男性　50～64歳（n=128）
27.3
72.7
65～74歳（n=181）
38.1
61.9
75歳以上（n=259）
45.6
54.4
女性　50～64歳（n=123）
35.0
65.0
65～74歳（n=251）
37.1
62.9
75歳以上（n=362）
45.0
55.0
圏域別
安威川以北圏域（n=677）
38.8
61.2
安威川以南圏域（n=627）
41.1
58.9
中学校区別
第一中学校（n=336）
36.6
63.4
第二中学校（n=251）
38.2
61.8
第三中学校（n=341）
41.1
58.9
第四中学校（n=211）
42.7
57.3
第五中学校（n=165）
43.6
56.4
認定状況別
非認定者（n=1,245）
38.8
61.2
要支援者（n=59）
64.4
35.6
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない（n=1,161）
38.2
61.8
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない（n=61）
52.5
47.5
現在、何らかの介護を受けている（n=43）
69.8
30.2
経済状況別
大変苦しい（n=140）
52.9
47.1
やや苦しい（n=337）
41.2
58.8
ふつう（n=695）
36.8
63.2
ややゆとりがある（n=88）
38.6
61.4
大変ゆとりがある（n=22）
40.9
59.1
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

【外出頻度別】
○　控えているでは、「該当」が 53.0%となっており、控えていない（37.3%）と比較して 15.7 ポイント多くなっています。
【幸福感別】
○　幸福感が高くなるほど、「該当」の割合が少なくなっています。
【地域の中で果たしている活動・役割別】
○　ボランティアや地域サポート活動に参加しているでは、「該当」が 45.5%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。



◆問4.2　バスや電車を使って一人で外出していますか。（自家用車でも可）（１つだけ○）

【全体】

○　「できるし、している」が 78.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 15.0%、「できない」が 5.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男女ともに年齢が上がるにつれて「できるし、している」の割合が低下しており、特に女性 75 歳以上では 70.3%と、女性 50～64 歳（91.1%）と比較して 20.8 ポイント少なくなっています。

○　男性 75 歳以上では、「できるけどしていない」が 18.7%となっており、男性 50～64 歳（10.9%）と比較して 7.8 ポイント多くなっています。

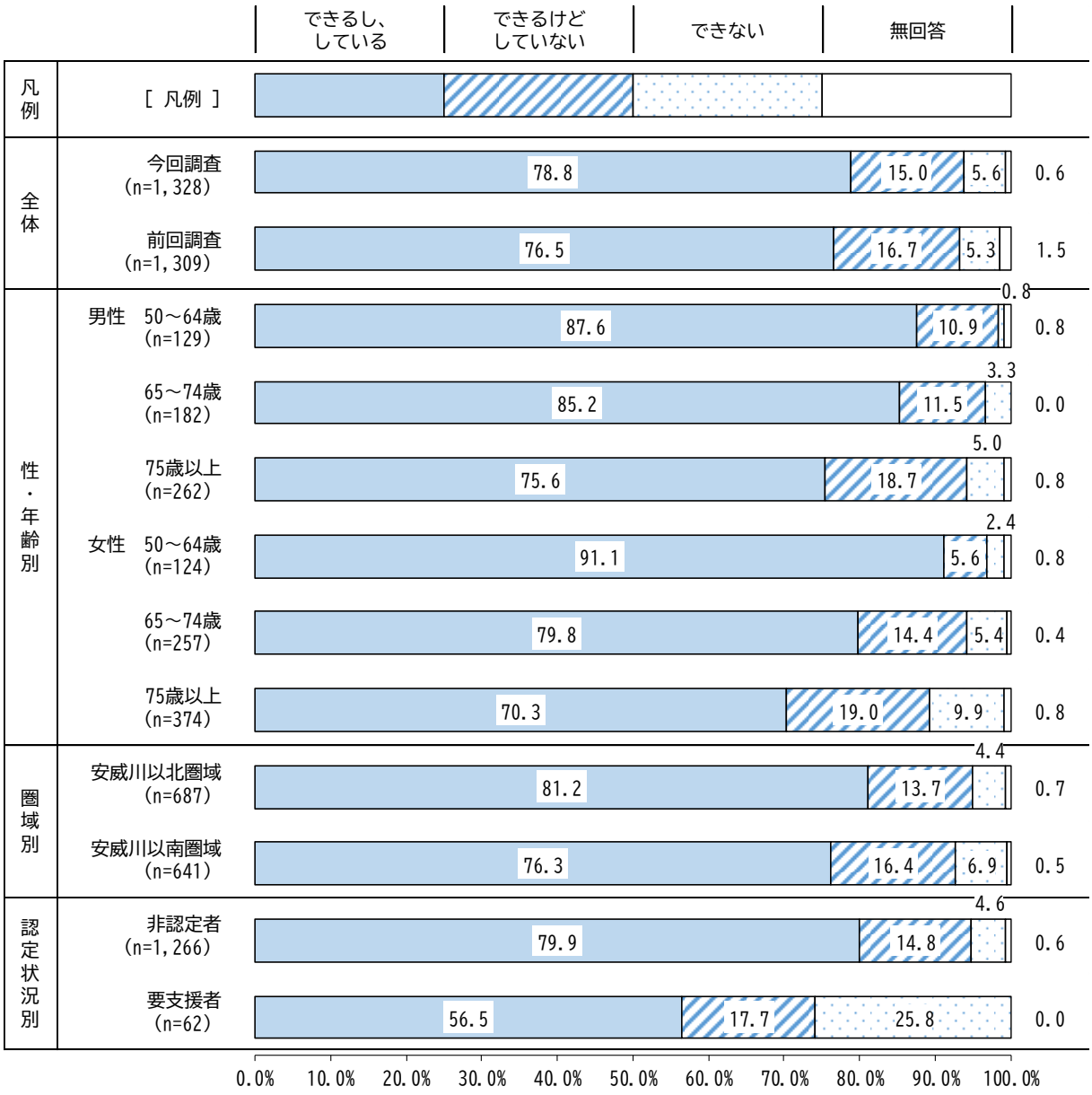
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「できるし、している」が 56.5%となっており、非認定者（79.9%）と比較して 23.4 ポイント少なくなっています。

○　要支援者では、「できない」が 25.8%となっており、非認定者（4.6%）を 21.2 ポイント上回っています。



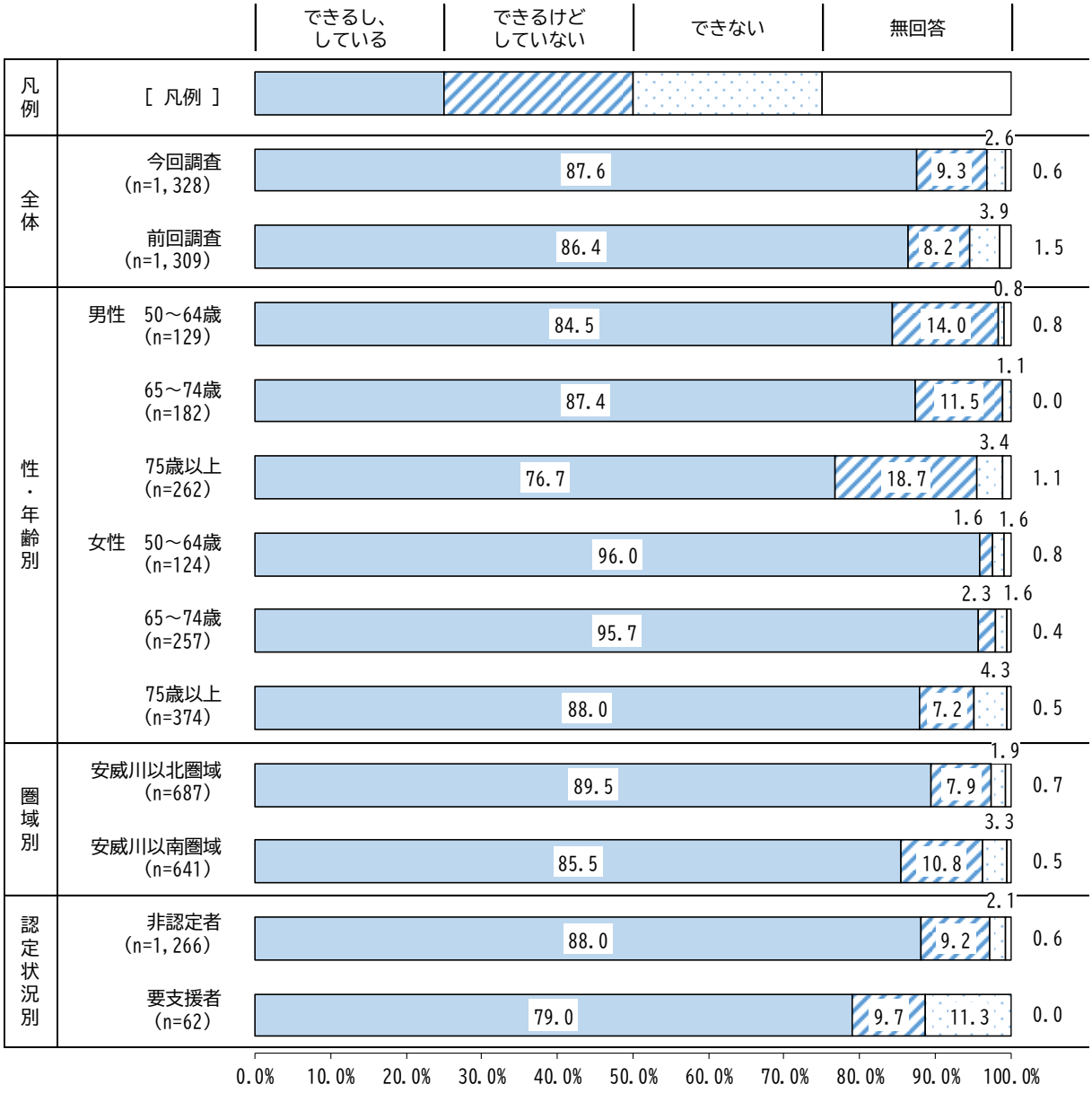
◆問4.3　自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「できるし、している」が 87.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 9.3%、「できない」が 2.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性 50～74 歳では、「できるし、している」が 95%を超えており、男性 50～74 歳と比較して多くなっています。
○　男性 75 歳以上では、「できるし、している」が 76.7%となっており、全体（87.6%）と比較して 10.9 ポイント少なくなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「できるし、している」が 79.0%となっており、非認定者（88.0%）と比較して 9.0 ポイント少なくなっています。
○　要支援者では、「できない」が 11.3%となっており、非認定者（2.1%）を 9.2 ポイント上回っています。



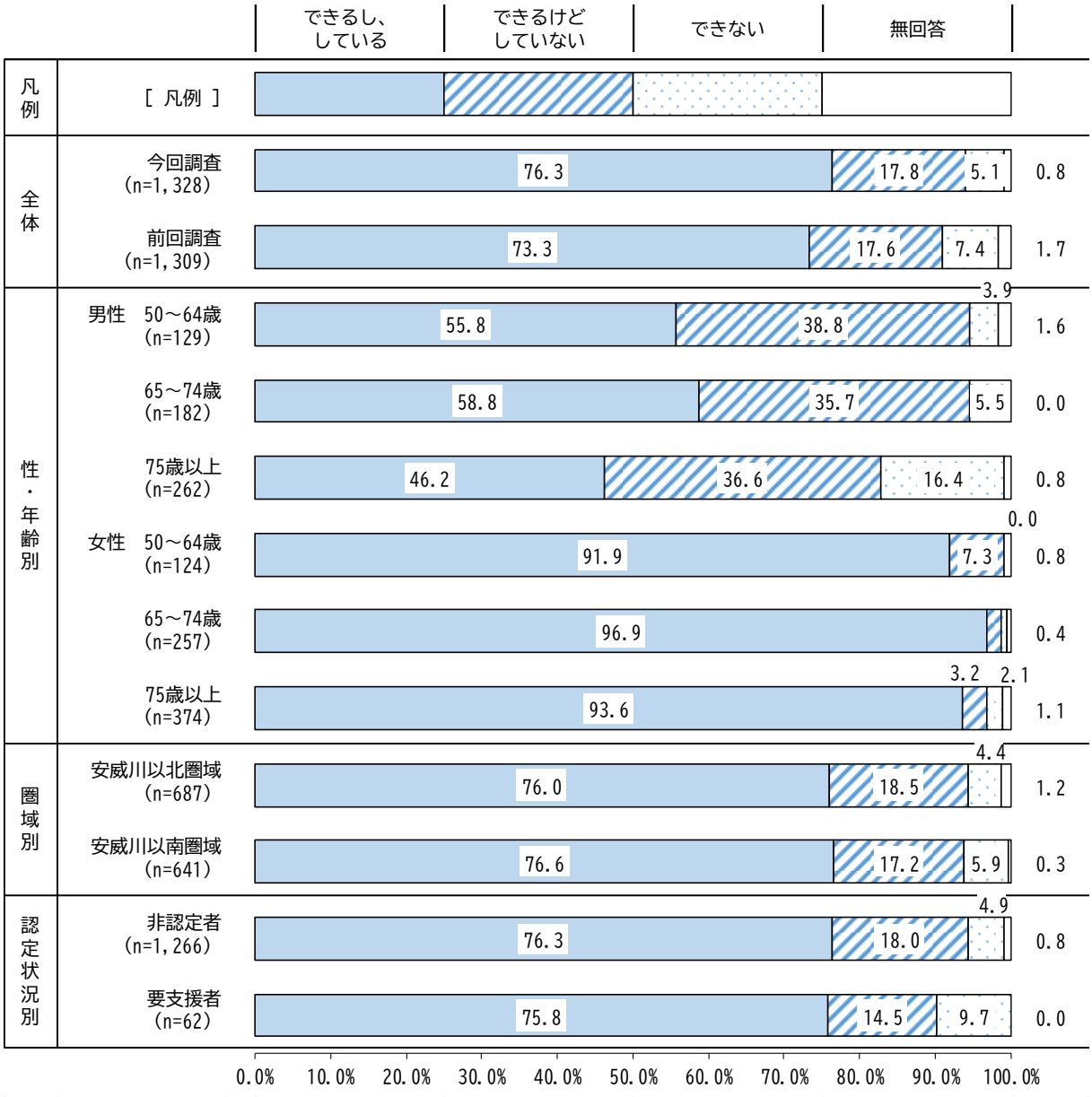
◆問4.4　自分で食事の用意をしていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「できるし、している」が 76.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 17.8%、「できない」が 5.1%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性では、すべての区分で「できるし、している」が９割を超えており、男性（４割～５割台）と比較して多くなっています。
○　男性 75 歳以上では、「できない」が 16.4%となっており、全体（5.1%）と比較して 11.3 ポイント多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。



◆問4.5　自分で請求書の支払いをしていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「できるし、している」が 82.4％で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.3％、「できない」が 3.2％となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　女性では、すべての区分で「できるし、している」が８割を超えており、特に 50～74 歳では９割以上（50～64 歳 95.2％、65～74 歳 93.8％）と多くなっています。

○　男性では、年齢が上がるにつれて「できるし、している」の割合が低下しており、75 歳以上では 66.0％と、女性 75 歳以上（87.2％）と比較して 21.2 ポイント少なくなっています。

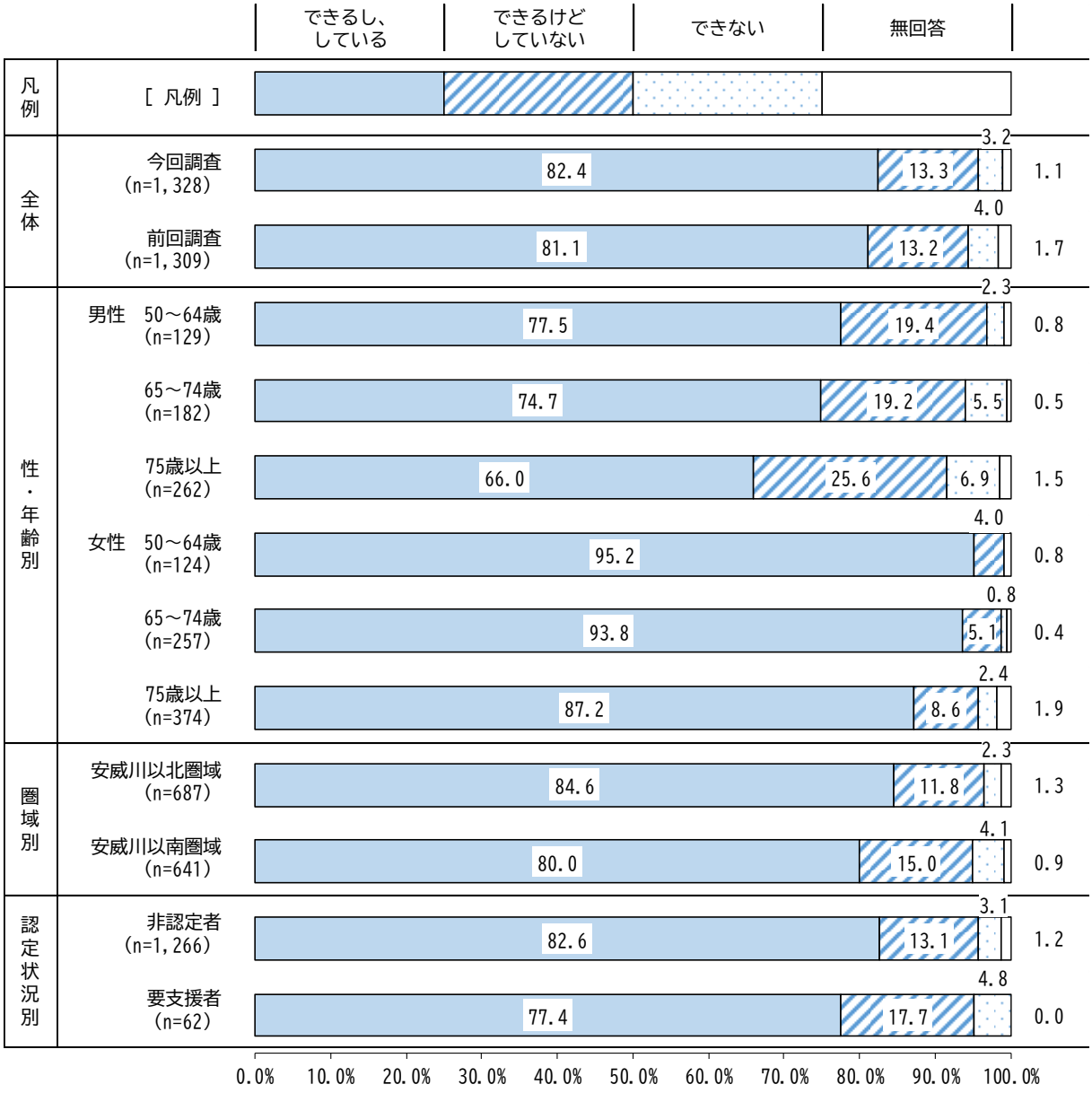
○　また、男性 75 歳以上では、「できるけどしていない」が 25.6％となっており、全体（13.3％）を 12.3 ポイント上回っています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「できるし、している」が 77.4％となっており、非認定者（82.6％）と比較して 5.2 ポイント少なくなっています。



◆問4.6　自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「できるし、している」が 84.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.8%、「できない」が 3.1%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　女性では、すべての区分で「できるし、している」が８割を超えており、特に 50～74 歳では９割以上（50～64 歳 96.0%、65～74 歳 95.3%）と多くなっています。

○　男性では、年齢が上がるにつれて「できるし、している」の割合が低下しており、75 歳以上では 72.1%と、女性 75 歳以上（86.9%）と比較して 14.8 ポイント少なくなっています。

○　また、男性 65 歳以上では、「できるけどしていない」が２割を超えており（65～74 歳 20.3%、75 歳以上 21.0%）、全体（11.8%）を大きく上回っています。

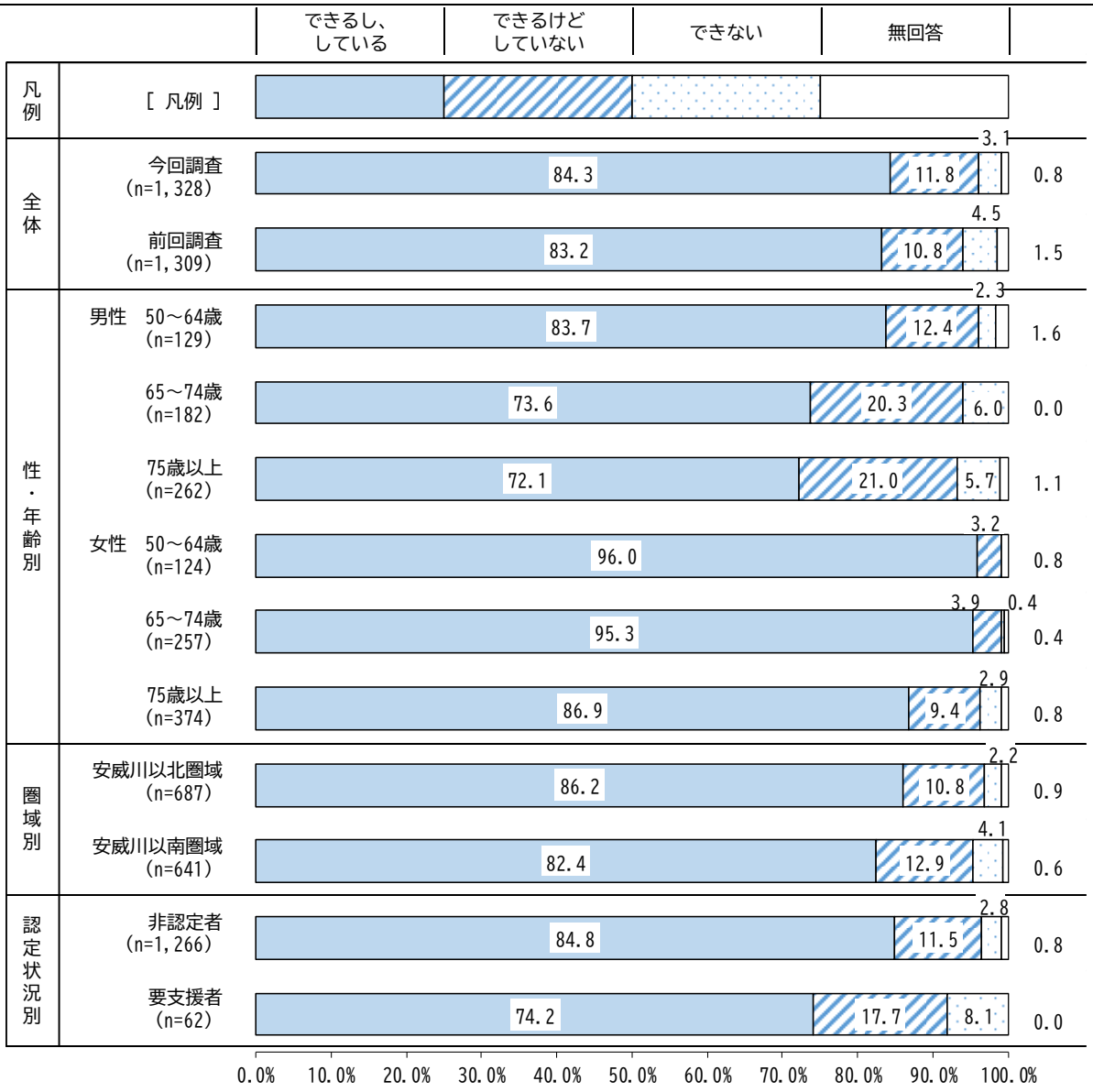
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「できるし、している」が 74.2%となっており、非認定者（84.8%）と比較して 10.6 ポイント少なくなっています。

○　要支援者では、「できるけどしていない」が 17.7%、「できない」が 8.1%となっており、いずれも非認定者（「できるけどしていない」：11.5%、「できない」：2.8%）を５ポイント以上上回っています。



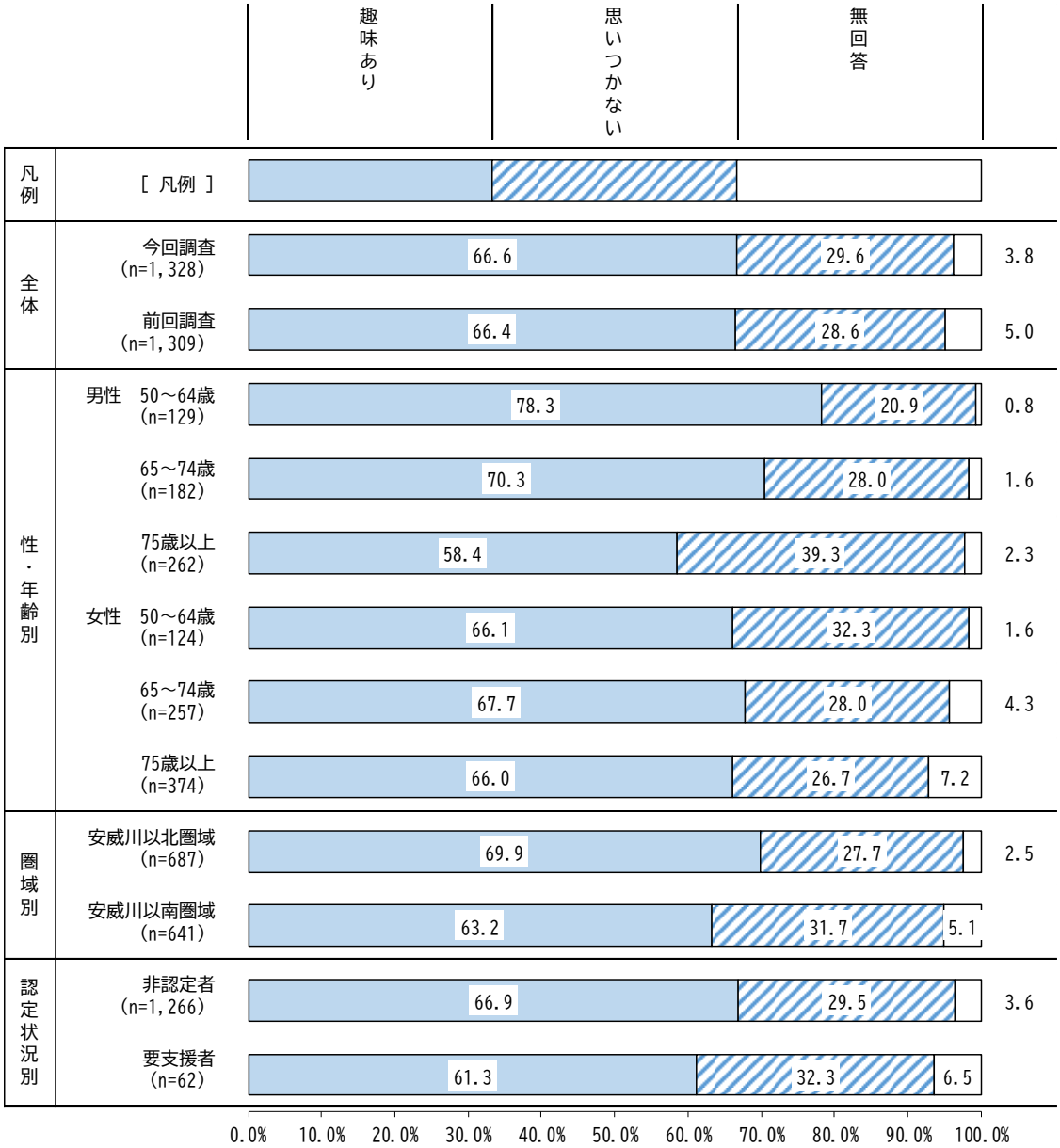
◆問4.7　趣味はありますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「趣味あり」が 66.6%、「思いつかない」が 29.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男性では年齢が上がるにつれて「趣味あり」の割合が低下しており、75 歳以上では 58.4%と、男性 50～64 歳（78.3%）と比較して 19.9 ポイント少なくなっています。
○　女性では、すべての区分で「趣味あり」が６割を超えており、年齢による大きな差はみられません。

【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「趣味あり」が 69.9%となっており、安威川以南圏域（63.2%）と比較して 6.7 ポイント多くなっています。

【認定状況別】
○　要支援者では、「趣味あり」が 61.3%となっており、非認定者（66.9%）と比較して 5.6 ポイント少なくなっています。



主な意見（一部抜粋）
■　ウォーキング・ダンス・球技などの運動（182 件）
■　手芸・編み物・陶芸などを含むハンドメイド（90 件）
■　園芸・ガーデニング・畑作業など（60 件）
■　読書・朗読・漫画などの読み物（56 件）
■　テレビ鑑賞・スポーツ鑑賞・映画鑑賞・演劇鑑賞など（49 件）
■　旅行やキャンプなどのアウトドア（45 件）
■　カラオケ・コーラス・詩吟などの歌うこと（44 件）
■　音楽を聴く・楽器を演奏すること（41 件）
■　イラスト・塗り絵、俳句などを含む書き物（37 件）
■　ボードゲームや、脳トレなどを含む知育ゲーム（27 件）
■　ドライブ・車・バイク・ツーリングなど（25 件）
■　テレビやスマホなどを使ったデジタルゲーム（19 件）
■　競馬・麻雀・パチンコなど（18 件）
■　釣り（15 件）
■　SNS や YouTube、AI などのデジタルデバイス利用（14 件）
■　ぬい活や推し活などの趣味活動（14 件）
■　カメラ（12 件）
■　料理（８件）
■　ペット（７件）
■　買い物（７件）
■　友人との集まり（６件）
■　食べること（５件）
■　寺社巡りやカフェ巡りなどのスポット巡り（５件）
■　語学などの勉強関連（４件）
■　仕事（４件）
■　ラジコン・ミニ四駆・プラモデルなど（４件）

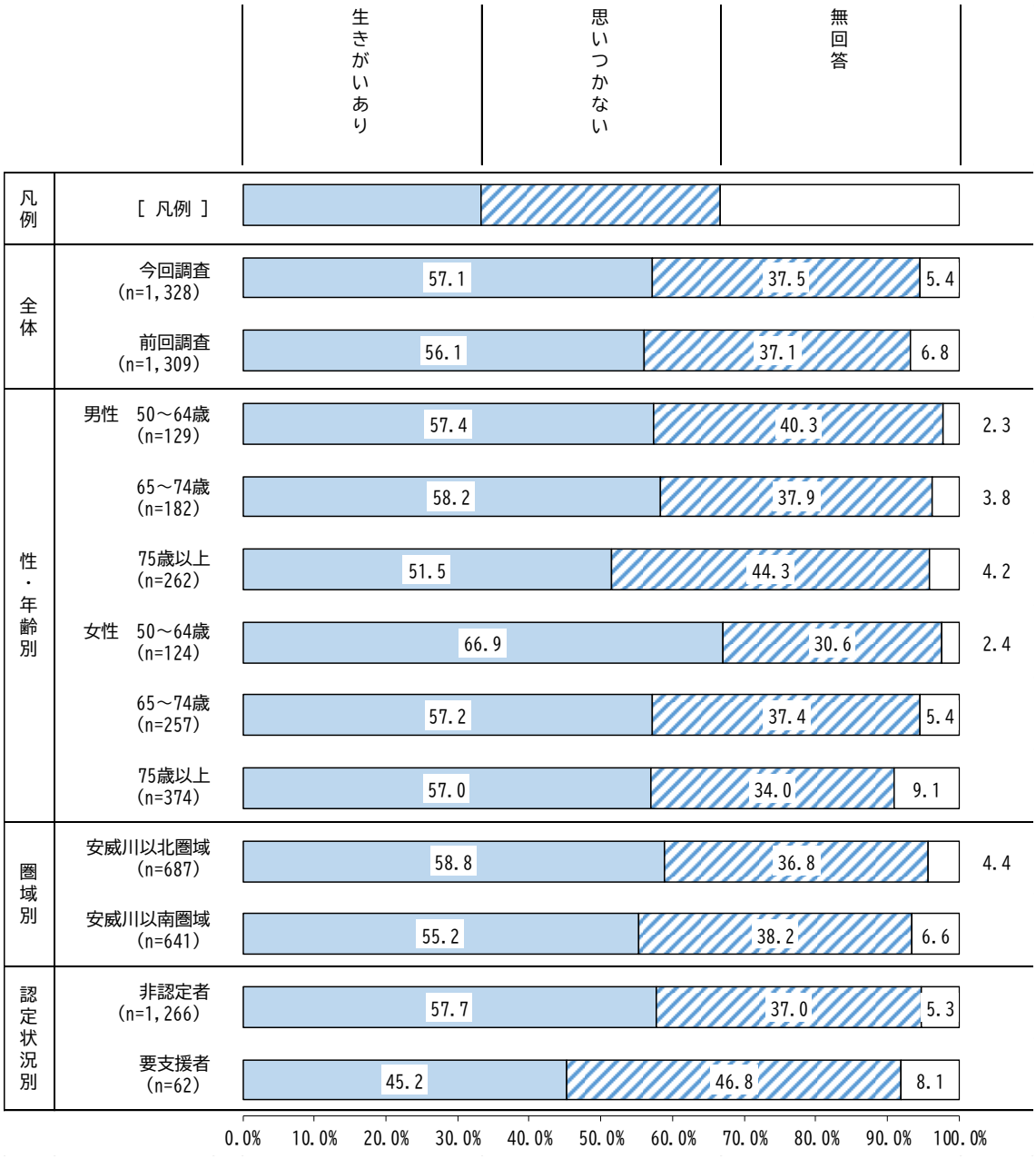
◆問4.8　生きがいはありますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「生きがいあり」が 57.1%、「思いつかない」が 37.5%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男性では、75 歳以上になると「生きがいあり」が 51.5%まで低下し、半数近くの 44.3%が「思いつかない」と回答しています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

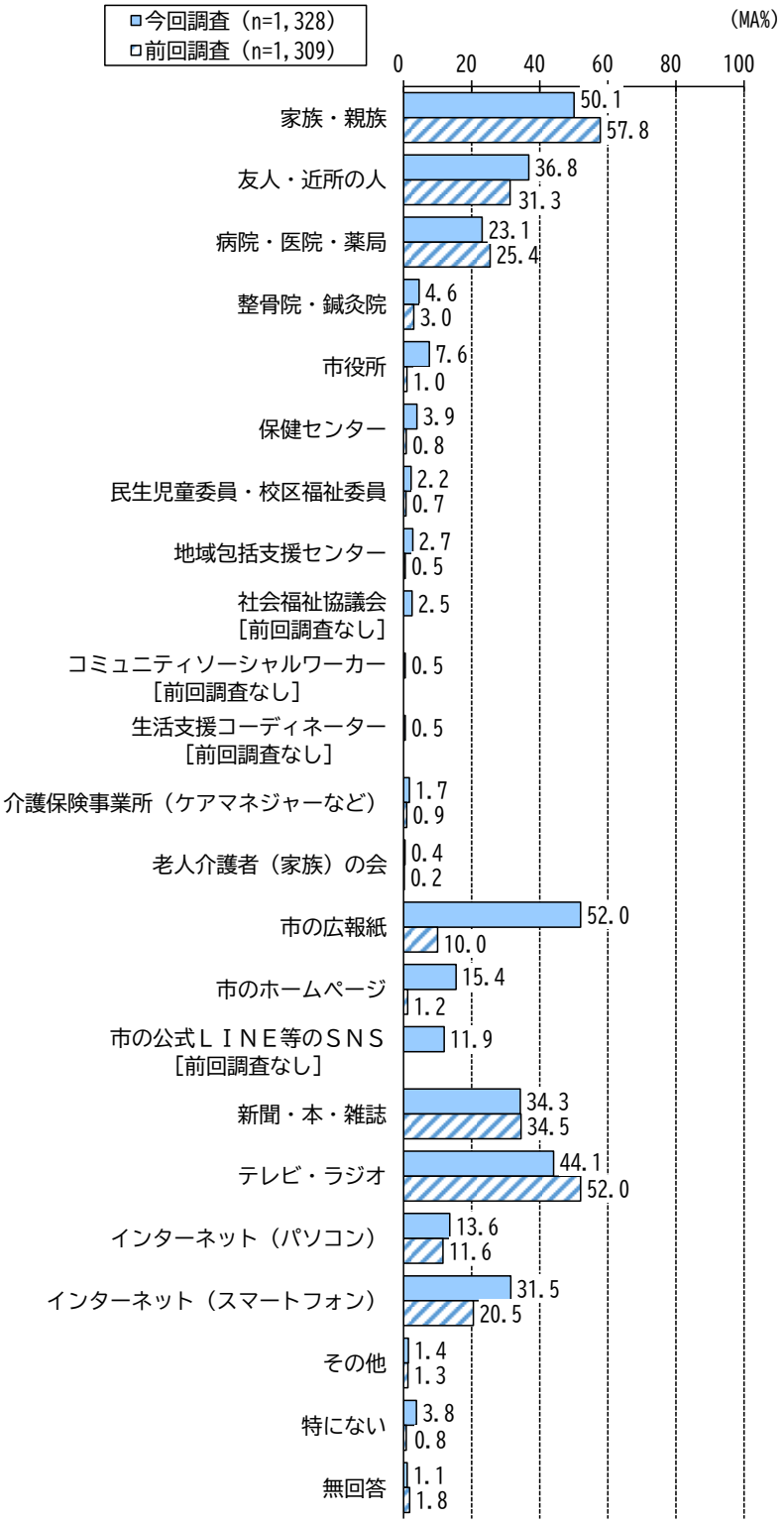
【認定状況別】
○　要支援者では、「生きがいあり」が 45.2%にとどまっており、非認定者（57.7%）と比較して 12.5 ポイント少なくなっています。
○　要支援者では「思いつかない」が 46.8%と、「生きがいあり」を上回る結果となっています。



主な意見（一部抜粋）
■　家族・親族（173 件）
■　自身の健康（34 件）
■　ウォーキング・ダンス・球技などの運動（32 件）
■　趣味などの自分の時間や日々の暮らし（32 件）
■　旅行やキャンプなどのアウトドア（30 件）
■　友人（29 件）
■　仕事（28 件）
■　園芸・ガーデニング・畑作業など（21 件）
■　ペット（16 件）
■　手芸・編み物・陶芸などを含むハンドメイド（15 件）
■　ぬい活や推し活などの趣味活動（14 件）
■　将来の夢や目標（14 件）
■　人との関わり（12 件）
■　ボランティア活動・社会貢献活動（９件）
■　料理（８件）
■　食べること（８件）
■　読書・朗読・漫画などの読み物（７件）
■　音楽を聴く・楽器を演奏すること（６件）
■　テレビ鑑賞・スポーツ鑑賞・映画鑑賞・演劇鑑賞など（６件）
■　買い物（５件）
■　ボードゲームや脳トレなどを含む知育ゲーム（４件）
■　イラスト・塗り絵、俳句などを含む書き物（４件）
■　ドライブ・車・バイク・ツーリングなど（４件）
■　SNS や YouTube、AI などのデジタルデバイス利用（４件）
■　語学などの勉強関連（４件）
■　寺社巡りやカフェ巡りなどのスポット巡り（３件）
■　競馬・麻雀・パチンコなど（３件）
■　カメラ（３件）
■　ラジコン・ミニ四駆・プラモデルなど（３件）
■　カラオケ・コーラス・詩吟などの歌うこと（２件）
■　投資（２件）
■　釣り（２件）

◆問4.9　あなたは、健康や日常生活または、市に関する情報を、主に何（誰）から得ていますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「市の広報紙」が 52.0%で最も多く、次いで「家族・親族」が 50.1%、「テレビ・ラジオ」が 44.1%となっています。
○　前回調査と比較すると、「市の広報紙」「インターネット（スマートフォン）」は前回から 11 ポイント以上多くなっています。



【性・年齢別】

○　「インターネット（スマートフォン）」は、男女ともに 50～64 歳では４割を超えていますが、75 歳以上では男性 17.6%、女性 20.6%と少なくなっており、年齢による差がみられます。

○　「テレビ・ラジオ」や「新聞・本・雑誌」は年齢が上がるにつれて多くなる傾向にあり、特に女性 75 歳以上では「テレビ・ラジオ」が 61.5%に達しています。

○　「友人・近所の人」から情報を得る割合について、男性は女性と比較してすべての年代で低く、女性は年齢が上がるにつれて増加しています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「市の広報紙」が 55.2%となっており、安威川以南圏域（48.5%）と比較して 6.7 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「介護保険事業所（ケアマネジャーなど）」が 22.6%、「地域包括支援センター」が 22.6%となっており、非認定者（「介護保険事業所（ケアマネジャーなど）」：0.7%、「地域包括支援センター」：1.7%）と比較して 20 ポイント以上多くなっています。

○　要支援者では「インターネット（スマートフォン）」が 11.3%にとどまっており、非認定者（32.5%）を 21.2 ポイント下回っています。

【家族構成別】

○　その他では、「市の広報紙」が 41.3%となっており、他の家族構成区分と比較して最も低くなっています。

【健康や日常生活、市に関する情報入手先】

単位：％

		母数（n）	家族・親族	友人・近所の人	病院・医院・薬局	整骨院・鍼灸院	市役所	保健センター	民生児童委員・校区福祉委員	地域包括支援センター	社会福祉協議会
全体		1,328	50.1	36.8	23.1	4.6	7.6	3.9	2.2	2.7	2.5
性・年齢別	男性　50～64歳	129	51.2	▼ 22.5	▼ 11.6	1.6	4.7	2.3	－	0.8	0.8
	65～74歳	182	43.4	▼ 16.5	22.0	2.2	10.4	5.5	0.5	－	－
	75歳以上	262	51.5	29.0	29.8	5.3	6.9	3.8	2.3	2.3	3.4
	女性　50～64歳	124	41.9	35.5	20.2	－	8.9	3.2	－	3.2	－
	65～74歳	257	51.8	44.7	22.2	4.3	6.2	3.1	1.2	0.4	1.2
	75歳以上	374	53.5	△ 52.1	24.6	8.0	8.3	4.5	5.1	6.4	5.3
圏域別	安威川以北圏域	687	49.2	35.4	23.3	3.9	7.0	4.1	2.3	2.5	2.2
	安威川以南圏域	641	51.0	38.4	22.9	5.3	8.3	3.7	2.0	3.0	2.8
認定状況別	非認定者	1,266	50.6	36.3	23.1	4.3	7.5	3.4	1.8	1.7	2.2
	要支援者	62	40.3	△ 48.4	24.2	9.7	9.7	△ 14.5	9.7	△ 22.6	8.1
家族構成別	一人暮らし	287	▼ 32.1	41.8	25.8	5.6	10.5	4.5	4.9	4.9	4.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	457	57.8	39.2	24.5	4.8	7.4	3.7	1.8	2.4	2.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	106	52.8	▼ 26.4	13.2	1.9	7.5	4.7	－	1.9	0.9
	息子・娘との２世帯	322	56.2	34.5	22.4	3.4	5.9	3.1	1.9	2.2	1.2
	その他	138	49.3	34.1	20.3	5.1	7.2	3.6	0.7	1.4	1.4

単位：％

		母数（n）	コミュニティソーシャルワーカー	生活支援コーディネーター	介護保険事業所（ケアマネジャーなど）	老人介護者（家族）の会	市の広報紙	市のホームページ	市の公式LINE等のSNS	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ
全体		1,328	0.5	0.5	1.7	0.4	52.0	15.4	11.9	34.3	44.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	0.8	－	0.8	－	▼ 34.9	14.0	13.2	▼ 17.1	▼ 27.9
	65～74歳	182	－	0.5	1.6	－	47.8	17.0	12.1	▼ 21.4	▼ 30.2
	75歳以上	262	－	0.8	1.5	－	46.2	13.4	6.1	42.0	45.4
	女性　50～64歳	124	0.8	0.8	0.8	－	50.0	16.1	△ 23.4	▼ 19.4	▼ 29.8
	65～74歳	257	0.4	0.4	0.8	－	58.0	19.8	16.3	30.7	42.4
	75歳以上	374	0.8	0.3	3.2	1.3	60.4	13.4	8.6	△ 48.7	△ 61.5
圏域別	安威川以北圏域	687	0.3	0.4	1.3	0.3	55.2	18.0	12.1	36.2	44.3
	安威川以南圏域	641	0.6	0.5	2.2	0.5	48.5	12.6	11.7	32.3	44.0
認定状況別	非認定者	1,266	0.5	0.5	0.7	0.3	52.1	15.6	12.2	34.2	44.2
	要支援者	62	－	－	△ 22.6	1.6	50.0	12.9	6.5	37.1	43.5
家族構成別	一人暮らし	287	0.3	1.7	2.8	0.7	49.5	10.5	7.0	30.7	47.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	457	0.7	0.2	1.5	0.4	59.5	19.7	14.4	39.8	46.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	106	0.9	－	－	－	50.0	17.0	13.2	27.4	▼ 34.0
	息子・娘との２世帯	322	－	－	1.2	0.3	50.6	14.6	11.8	37.0	44.4
	その他	138	0.7	－	2.9	－	▼ 41.3	13.8	14.5	24.6	38.4

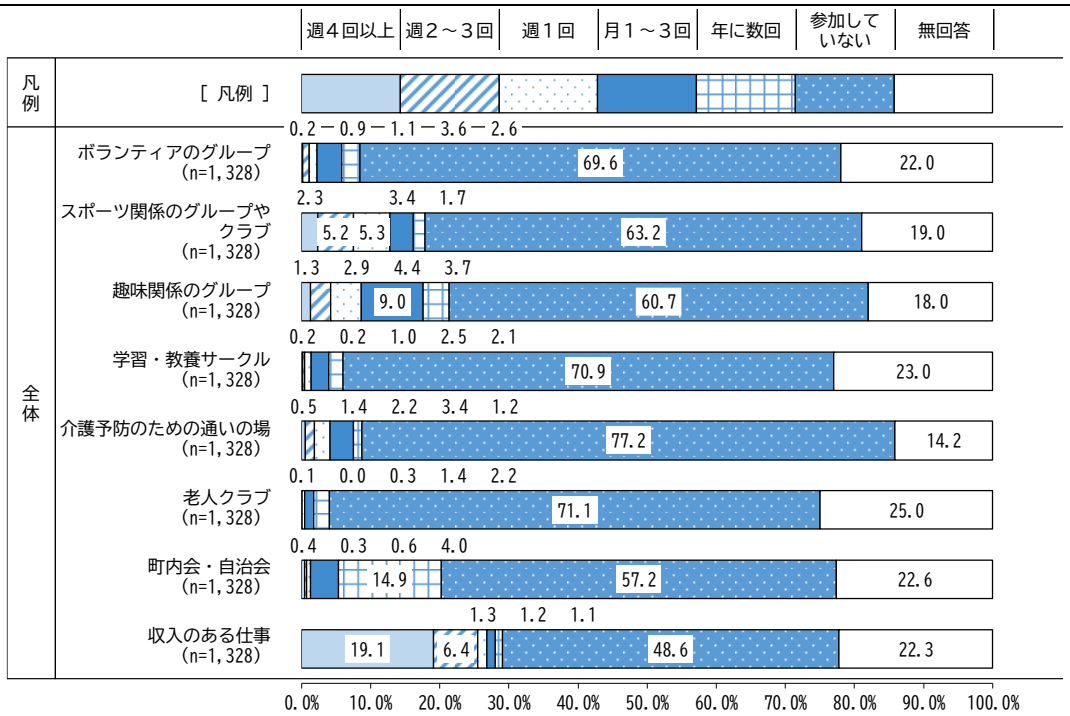
単位：％

		母数（n）	インターネット（パソコン）	インターネット（スマートフォン）	その他	特にない	無回答
全体		1,328	13.6	31.5	1.4	3.8	1.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	△ 24.8	△ 41.9	0.8	7.0	0.8
	65～74歳	182	22.0	37.9	0.5	4.4	1.1
	75歳以上	262	14.1	▼ 17.6	1.1	5.7	0.8
	女性　50～64歳	124	12.9	△ 46.0	0.8	5.6	0.8
	65～74歳	257	12.8	△ 44.7	1.6	2.3	0.8
	75歳以上	374	6.1	▼ 20.6	2.1	1.6	1.6
圏域別	安威川以北圏域	687	16.9	35.2	1.0	3.2	0.9
	安威川以南圏域	641	10.1	27.5	1.7	4.5	1.2
認定状況別	非認定者	1,266	14.0	32.5	1.1	3.9	1.0
	要支援者	62	6.5	▼ 11.3	6.5	3.2	1.6
家族構成別	一人暮らし	287	8.7	24.7	1.0	6.6	1.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	457	15.5	32.4	2.0	1.8	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	106	10.4	36.8	0.9	2.8	1.9
	息子・娘との２世帯	322	15.5	36.6	0.9	4.0	－
	その他	138	16.7	30.4	0.7	3.6	0.7

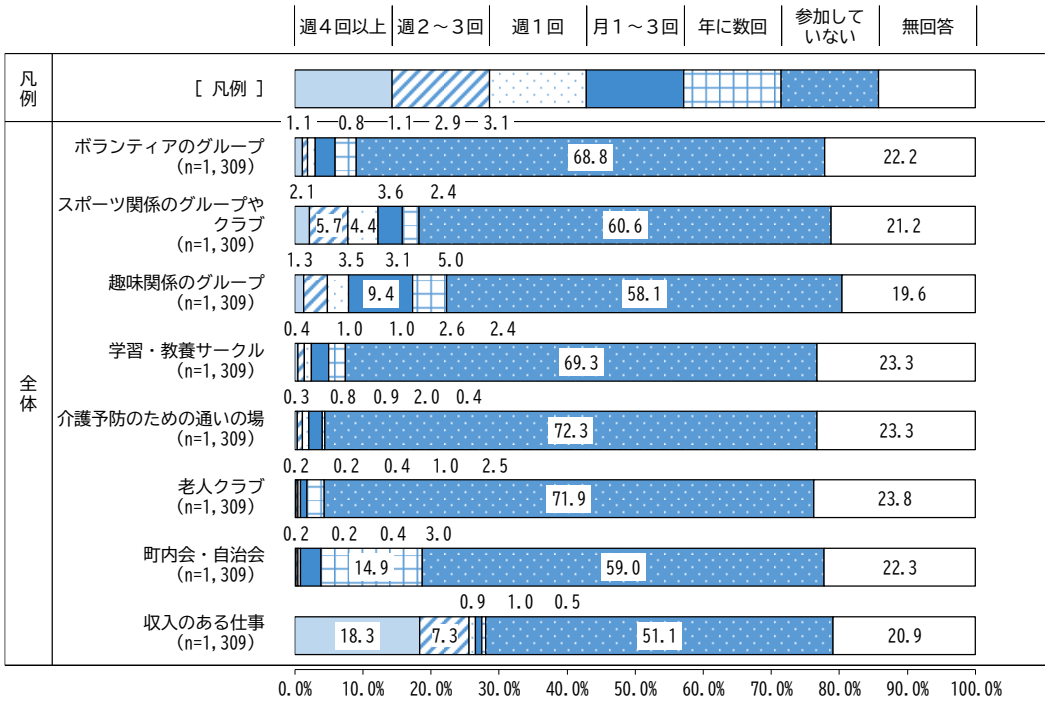
5. 地域での活動について

◆問5.1　以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
①～⑧のそれぞれに回答してください。（それぞれ１つだけ○）

【全体】
○　地域活動への参加頻度について、『参加している（「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月１～３回」「年に数回」の合計）』は、「収入のある仕事」に次いで、「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」「スポーツ関係のグループやクラブ」となっています。
○　『週１回以上（「週４回以上」「週２～３回」「週１回」の合計）』は、「収入のある仕事」が26.8%で最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が8.6%となっています。
○　「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「介護予防のための通いの場」「老人クラブ」では、「参加していない」が約７割と他の活動に比較して多くなっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



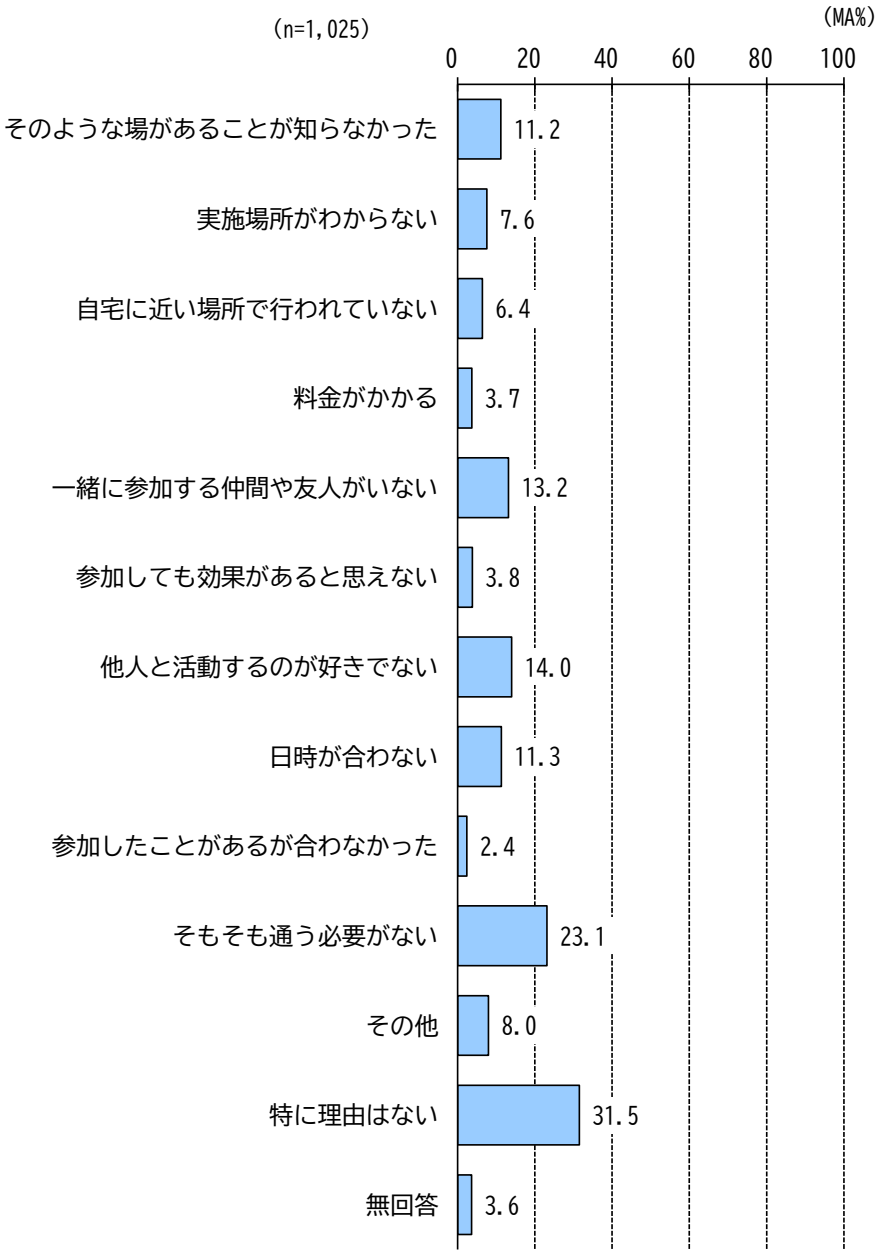
【前回調査結果】



問 5.1 で､｢6｣と答えた方のみ

◆問5.1-1　参加していない理由を教えてください。（いくつでも○）

【全体】
○　「特に理由はない」が 31.5%で最も多く、次いで「そもそも通う必要がない」が 23.1%、「他人と活動するのが好きでない」が 14.0%となっています。



【性・年齢別】
○　男女ともに 50～64 歳では、「そもそも通う必要がない」が全体を大きく上回っていますが、年齢が上がるにつれて少なくなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「そもそも通う必要がない」が 26.8%となっており、安威川以南圏域（18.9%）と比較して 7.9 ポイント多くなっています。
【認定状況別】
○　要支援者では、「そのような場があることが知らなかった」が 18.5%となっており、非認定者（11.0%）を 7.5 ポイント上回っています。
○　非認定者では、「特に理由はない」が 31.9%となっており、要支援者（18.5%）を 13.4 ポイント上回っています。
【家族構成別】
○　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「そもそも通う必要がない」が 38.7%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。

【参加していない理由（MA）】

単位：%

		母数（n）	そのようなことがあることが知らなかった	実施場所がわからない	自宅に近い場所で行われていない	料金がかかる	一緒に参加する仲間や友人がいない	参加しても効果があると思えない	他人と活動するのが好きでない	日時が合わない	参加したことがあるが合わなかった
全体		1,025	11.2	7.6	6.4	3.7	13.2	3.8	14.0	11.3	2.4
性・年齢別	男性　50～64歳	119	13.4	0.8	0.8	0.8	7.6	1.7	9.2	5.9	1.7
	65～74歳	165	15.8	12.1	5.5	3.0	12.1	4.8	16.4	9.1	-
	75歳以上	208	11.1	5.8	8.2	2.9	18.3	4.3	18.8	11.1	2.9
	女性　50～64歳	114	11.4	7.9	0.9	1.8	11.4	1.8	7.0	13.2	-
	65～74歳	205	8.3	7.3	7.8	5.9	14.6	3.9	17.6	16.1	2.0
	75歳以上	214	9.3	9.8	10.3	5.6	11.7	4.7	10.7	10.7	6.1
圏域別	安威川以北圏域	544	10.5	6.8	4.6	3.3	13.4	4.4	11.8	12.9	2.0
	安威川以南圏域	481	12.1	8.5	8.5	4.2	12.9	3.1	16.6	9.6	2.9
認定状況別	非認定者	998	11.0	7.5	6.2	3.7	13.3	3.6	14.0	11.4	2.5
	要支援者	27	18.5	11.1	14.8	3.7	7.4	11.1	14.8	7.4	-
家族構成別	一人暮らし	211	13.3	10.9	8.5	4.7	14.7	4.7	15.2	11.8	4.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	347	8.6	6.6	6.6	3.2	13.5	4.9	14.1	11.8	2.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	93	10.8	2.2	3.2	4.3	10.8	3.2	14.0	6.5	1.1
	息子・娘との２世帯	241	10.8	8.3	6.2	2.9	13.3	1.7	11.6	13.3	1.2
	その他	120	15.8	7.5	5.8	5.0	12.5	4.2	15.8	10.0	1.7

単位：%

		母数（n）	そもそも通う必要がない	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,025	23.1	8.0	31.5	3.6
性・年齢別	男性　50～64歳	119	△ 42.0	5.0	29.4	5.0
	65～74歳	165	24.2	4.2	38.8	3.0
	75歳以上	208	18.8	6.7	31.3	2.9
	女性　50～64歳	114	△ 37.7	7.0	24.6	5.3
	65～74歳	205	20.0	9.8	29.8	2.0
	75歳以上	214	▼ 11.2	12.6	32.7	4.7
圏域別	安威川以北圏域	544	26.8	7.4	30.1	4.0
	安威川以南圏域	481	18.9	8.7	33.1	3.1
認定状況別	非認定者	998	23.3	7.7	31.9	3.6
	要支援者	27	14.8	△ 18.5	▼ 18.5	3.7
家族構成別	一人暮らし	211	19.9	9.5	30.8	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	347	19.6	7.5	33.7	4.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	93	△ 38.7	4.3	22.6	6.5
	息子・娘との２世帯	241	22.0	7.5	33.2	4.6
	その他	120	31.7	10.8	29.2	-

◆問5.2　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「参加したくない」が 47.1%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 37.4%、「すでに参加している」が 5.5%となっています。

○　前回調査と比較すると、『参加意向あり（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）』が 42.2%と、前回（50.9%）から 8.7 ポイント低下しています。一方で、「参加したくない」は 47.1%と、前回（41.7%）から 5.4 ポイント増加しています。

【性・年齢別】

○　男性 50～74 歳では、「参加したくない」が６割を超えており、全体（47.1%）を 15 ポイント以上上回っています。

○　女性では、すべての区分で『参加意向あり』が４割を超えており、特に 50～74 歳では「参加してもよい」が４割以上と、男性と比較して多くなっています。

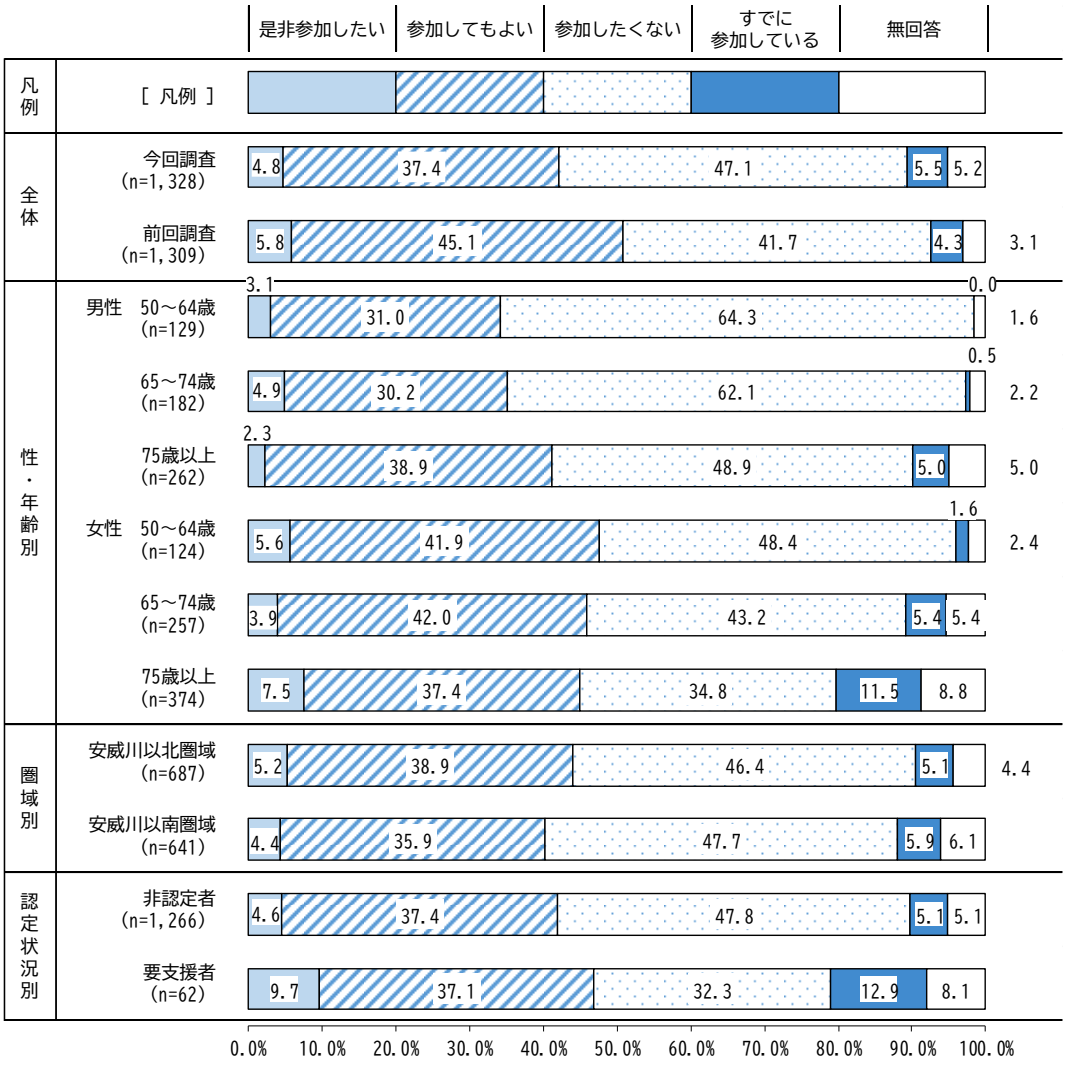
○　女性 75 歳以上では、「是非参加したい」（7.5%）と「すでに参加している」（11.5%）が他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「参加したくない」が 32.3%となっており、非認定者（47.8%）を 15.5 ポイント下回っています。また、要支援者では、「是非参加したい」（9.7%）や「すでに参加している」（12.9%）が非認定者と比較して多くなっています。



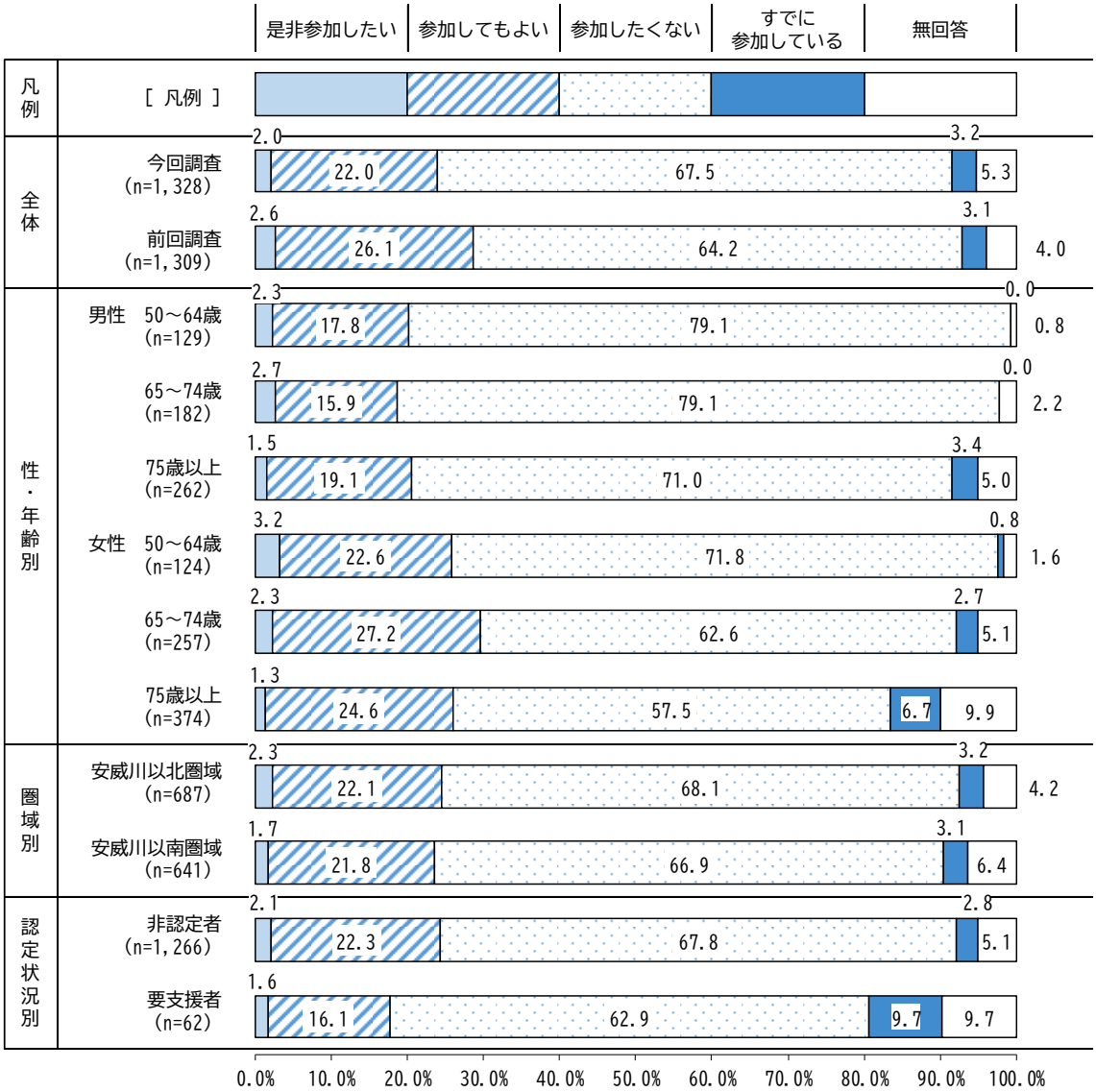
◆問5.3　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「参加したくない」が 67.5%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 22.0%、「すでに参加している」が 3.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男性 50～74 歳では、「参加したくない」が約８割（79.1%）に達しており、全体（67.5%）を 10 ポイント以上上回っています。一方、女性では年齢が上がるにつれて「参加したくない」の割合が低下しており、75 歳以上では 57.5%と、男性 75 歳以上（71.0%）と比較して 13.5 ポイント少なくなっています。
○　女性 75 歳以上では「すでに参加している」が 6.7%と他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、『参加意向あり（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）』が 17.7%となっており、非認定者（24.6%）と比較して 6.9 ポイント少なくなっています。

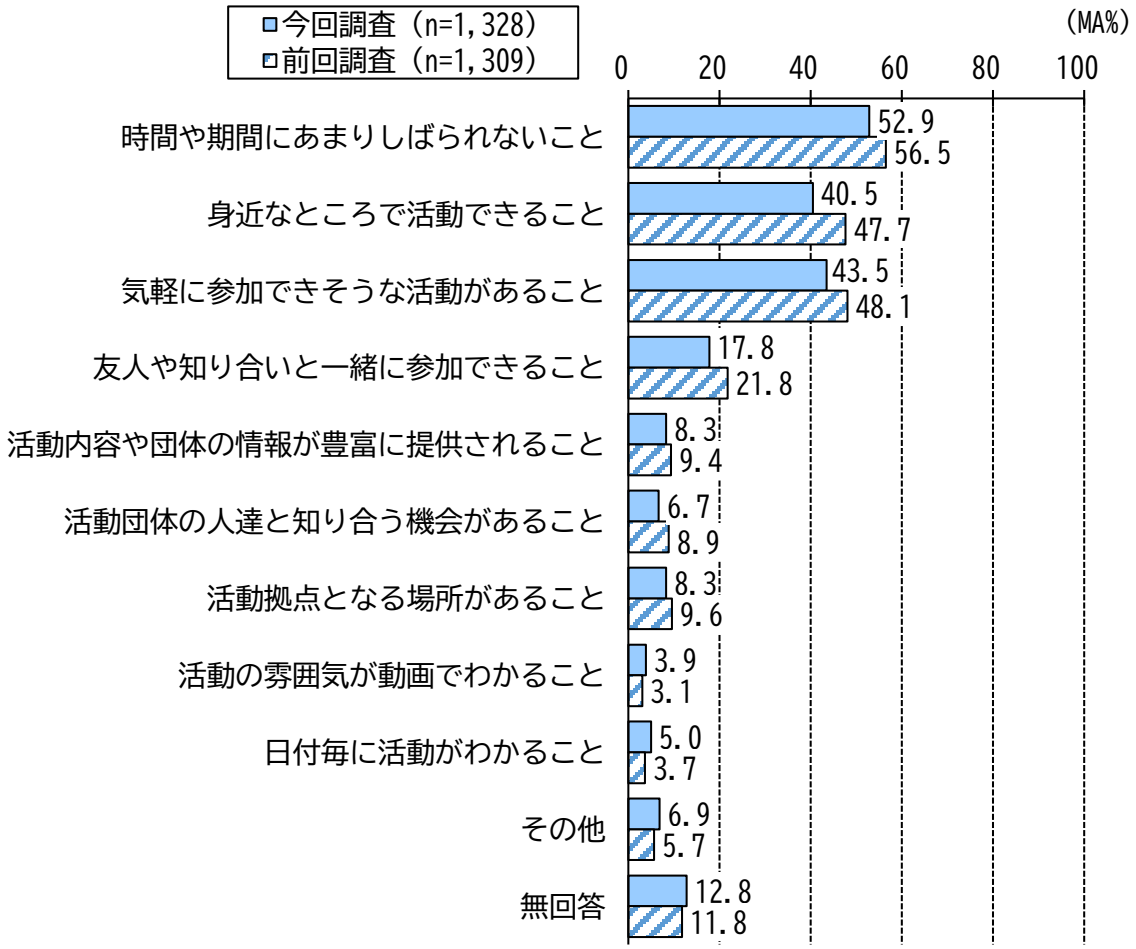


◆問5.4　今後、あなたが社会的活動に参加する場合、どのような条件や環境があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも○）

【全体】

○　「時間や期間にあまりしばられないこと」が 52.9%で最も多く、次いで「気軽に参加できそうな活動があること」が 43.5%、「身近なところで活動できること」が 40.5%となっています。

○　前回調査と比較すると、「身近なところで活動できること」は 40.5%と、前回（47.7%）から 7.2 ポイント低下しています。



【性・年齢別】

○　男性 50～64 歳では、「時間や期間にあまりしばられないこと」が 68.2%と特に多く、全体（52.9%）を 15.3 ポイント上回っています。一方で、女性 75 歳以上では 41.2%と、全体を 11.7 ポイント下回っています。

○　女性 75 歳以上では、「身近なところで活動できること」が 47.1%、「友人や知り合いと一緒に参加できること」が 25.9%となっており、他の区分と比較して多い傾向にあります。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「時間や期間にあまりしばられないこと」が 56.6%となっており、安威川以南圏域（48.8%）を 7.8 ポイント上回っています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「時間や期間にあまりしばられないこと」が 29.0%となっており、非認定者（54.0%）を 25.0 ポイント下回っています。

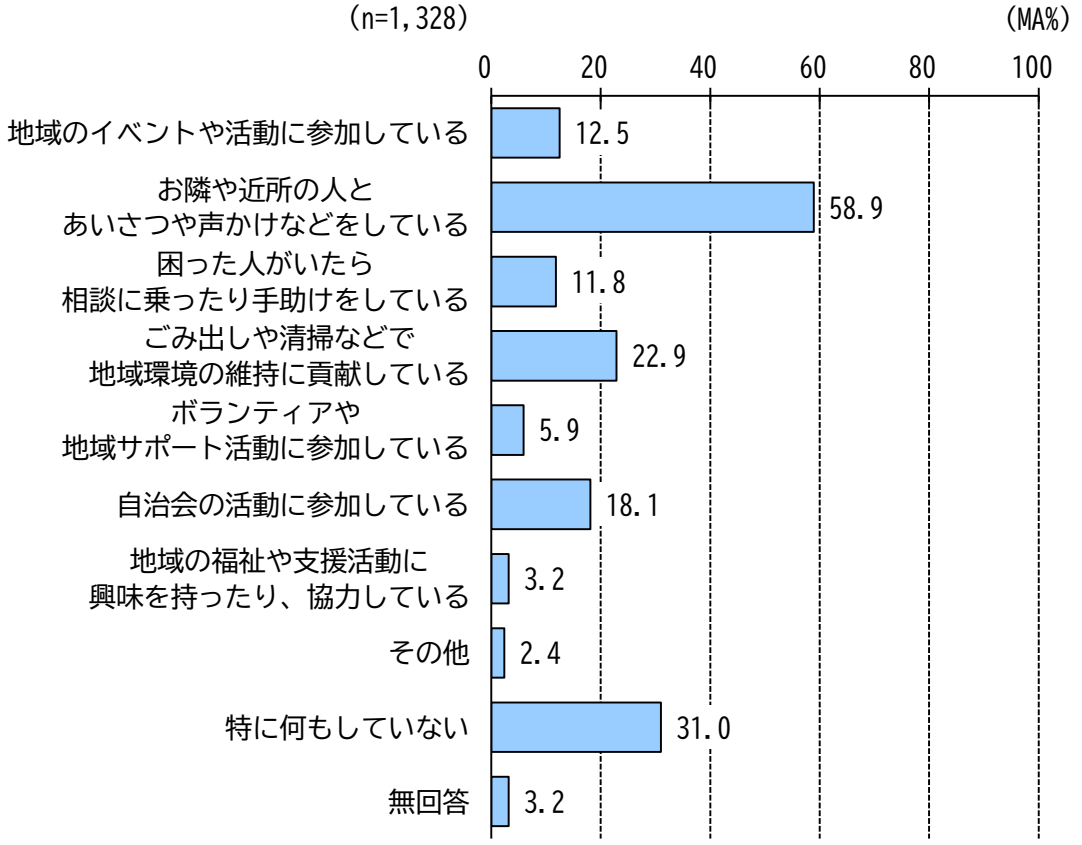
【社会的活動に参加・活動するために必要な条件や環境（MA)】

単位：%

		母数（n）	時間や期間にあまりしばられないこと	身近なところで活動できること	気軽に参加できそうな活動があること	友人や知り合いと一緒に参加できること	活動内容や団体の情報が豊富に提供されること	活動団体の人達と知り合う機会があること	活動拠点となる場所があること	活動の雰囲気が動画でわかること	日付毎に活動がわかること	その他	無回答
全体		1,328	52.9	40.5	43.5	17.8	8.3	6.7	8.3	3.9	5.0	6.9	12.8
性・年齢別	男性　50～64歳	129	△ 68.2	34.9	38.0	15.5	9.3	8.5	8.5	6.2	3.9	7.0	3.9
	65～74歳	182	59.9	30.8	45.6	8.8	8.8	7.7	5.5	3.3	3.8	9.9	6.0
	75歳以上	262	46.2	33.2	37.8	14.9	5.3	6.9	7.3	1.9	5.3	8.8	16.4
	女性　50～64歳	124	58.1	46.0	47.6	11.3	13.7	5.6	9.7	7.3	3.2	8.9	3.2
	65～74歳	257	61.5	45.5	48.6	19.5	9.7	6.6	7.0	6.6	5.4	3.5	12.5
	75歳以上	374	▼ 41.2	47.1	43.6	25.9	7.0	5.9	10.7	1.9	6.1	5.9	20.1
圏域別	安威川以北圏域	687	56.6	40.8	44.5	15.1	10.2	7.3	7.4	4.8	4.9	6.4	11.5
	安威川以南圏域	641	48.8	40.2	42.4	20.6	6.2	6.1	9.2	3.0	5.1	7.5	14.2
認定状況別	非認定者	1,266	54.0	40.3	44.0	17.6	8.5	6.3	8.0	3.9	4.9	6.8	12.5
	要支援者	62	▼ 29.0	45.2	33.9	21.0	4.8	14.5	14.5	4.8	8.1	9.7	19.4

◆問5.5　あなたは、地域の中で以下のような活動や役割を果たしていると思いますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている」が 58.9%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が 31.0%、「ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している」が 22.9%となっています。



【性・年齢別】
○　女性 65 歳以上では、「お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている」が全体を大きく上回っています。
○　男性 50～74 歳では、「特に何もしていない」がいずれも全体（31.0%）を大きく上回っており、特に 50～64 歳では 58.9%に達しています。
○　女性 75 歳以上では、「ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している」が 33.7%となっており、全体（22.9%）を 10.8 ポイント上回っています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。

【地域での活動や役割（MA）】

単位：%

		母数（n）	地域のイベントや活動に参加している	お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている	困った人がいたら相談に乗ったり手助けをしている	ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している	ボランティアや地域サポート活動に参加している	自治会の活動に参加している	地域の福祉や支援活動に興味を持ったり、協力している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1,328	12.5	58.9	11.8	22.9	5.9	18.1	3.2	2.4	31.0	3.2
性・年齢別	男性　50～64歳	129	4.7	▼ 31.8	3.1	▼ 11.6	2.3	9.3	－	0.8	△ 58.9	0.8
	65～74歳	182	5.5	▼ 41.8	8.8	18.7	2.7	13.7	1.1	－	△ 49.5	1.6
	75歳以上	262	9.2	53.8	7.6	24.0	4.6	14.9	3.8	3.1	32.1	4.2
	女性　50～64歳	124	11.3	60.5	12.9	14.5	4.0	16.1	2.4	2.4	31.5	1.6
	65～74歳	257	13.6	△ 71.2	14.0	18.7	7.8	20.2	3.1	1.9	▼ 21.0	3.1
	75歳以上	374	20.6	△ 71.1	17.4	△ 33.7	8.8	24.6	5.3	4.0	▼ 18.4	4.5
圏域別	安威川以北圏域	687	12.7	56.6	10.9	21.4	5.1	17.9	2.5	2.2	32.8	2.6
	安威川以南圏域	641	12.3	61.3	12.8	24.5	6.7	18.3	4.1	2.7	29.2	3.7
認定状況別	非認定者	1,266	12.6	58.8	11.8	22.8	5.8	18.1	3.1	2.3	31.2	3.2
	要支援者	62	11.3	61.3	11.3	24.2	8.1	17.7	6.5	4.8	27.4	3.2

6. たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」について）

◆問6.1（1）　あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも○）

【全体】

○　「配偶者」が 52.6%で最も多く、次いで「友人」が 47.5%、「別居の子ども」が 33.0%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男性では、「配偶者」がすべての区分で全体を上回っていますが、女性 75 歳以上では 37.4%と全体を 15.2 ポイント下回っています。

○　女性では、「友人」がすべての区分で５割超と、男性（すべての区分で３割台以下）を大きく上回っており、特に女性 50～64 歳では 66.9%に達しています。

【圏域別】

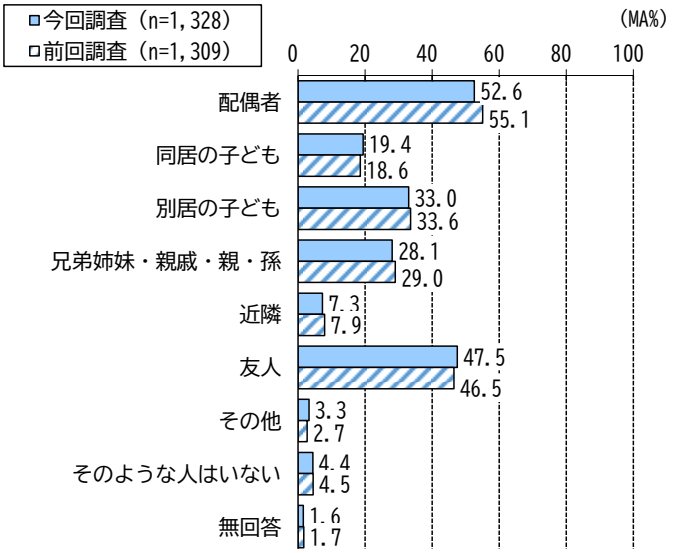
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「配偶者」が 25.8%となっており、非認定者（53.9%）を 28.1 ポイント下回っています。一方で、要支援者は「別居の子ども」が 45.2%となっており、非認定者（32.4%）を 12.8 ポイント上回っています。

【家族構成別】

○　息子・娘との２世帯では、「同居の子ども」が 59.6%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。



単位：%

		母数（n）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,328	52.6	19.4	33.0	28.1	7.3	47.5	3.3	4.4	1.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	58.1	18.6	▼ 10.9	27.9	1.6	▼ 30.2	7.0	6.2	－
	65～74歳	182	△ 64.3	11.5	▼ 18.1	▼ 16.5	3.3	▼ 36.3	3.3	12.6	1.1
	75歳以上	262	△ 66.0	15.3	26.7	▼ 15.6	5.0	▼ 26.0	1.5	5.3	1.9
	女性　50～64歳	124	48.4	△ 31.5	29.0	△ 41.1	8.9	△ 66.9	8.9	1.6	1.6
	65～74歳	257	52.1	24.1	△ 47.1	34.6	7.4	△ 62.3	2.7	1.6	0.4
	75歳以上	374	▼ 37.4	19.3	△ 43.9	33.7	12.3	△ 57.5	1.9	2.1	2.9
圏域別	安威川以北圏域	687	53.1	18.0	32.6	28.1	7.4	49.2	4.2	4.4	1.0
	安威川以南圏域	641	52.1	20.9	33.4	28.1	7.2	45.7	2.3	4.5	2.2
認定状況別	非認定者	1,266	53.9	19.7	32.4	28.7	7.2	47.3	3.3	4.6	1.4
	要支援者	62	▼ 25.8	14.5	△ 45.2	▼ 16.1	9.7	51.6	3.2	1.6	4.8
家族構成別	一人暮らし	287	▼ 3.1	▼ 0.7	36.2	30.3	9.8	△ 57.8	4.2	10.1	3.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	457	△ 82.9	▼ 3.7	42.7	23.2	8.1	45.1	1.1	2.2	0.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	106	△ 83.0	12.3	29.2	25.5	8.5	▼ 36.8	4.7	1.9	1.9
	息子・娘との２世帯	322	54.0	△ 59.6	25.8	27.3	5.0	44.1	4.7	3.1	0.6
	その他	138	▼ 31.9	23.2	▼ 17.4	△ 44.2	4.3	49.3	5.1	5.1	2.2

◆問6.1（2）　反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも○）

【全体】

○　「配偶者」が 49.8%で最も多く、次いで「友人」が 47.9%、「別居の子ども」が 30.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　50～64 歳では、「同居の子ども」が男性は２割なのに対して、女性は４割と多くなっています。

○　75 歳以上では、「配偶者」が男性は６割を超えている一方、女性は３割台と少なくなっています。

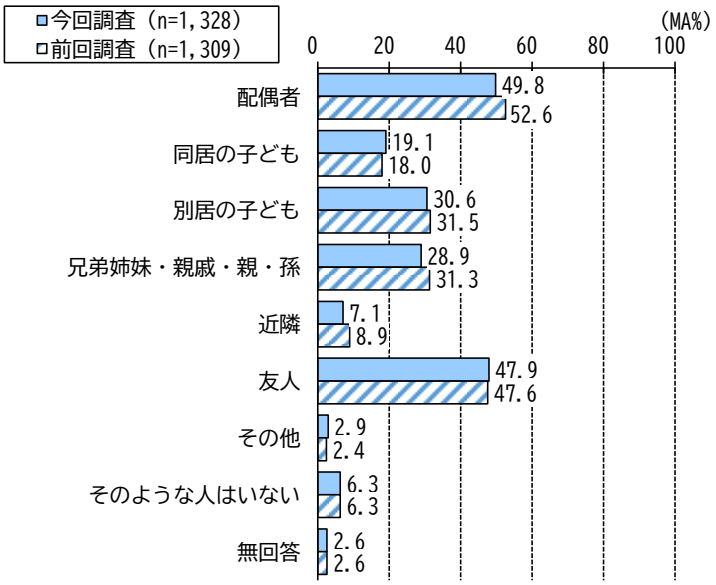
○　男性 65～74 歳では、「そのような人はいない」が 10.0%を超えており、他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「配偶者」が５割を超えている一方、要支援者は３割と少なくなっています。また、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」についても非認定者は３割なのに対して、要支援者は１割と少なくなっています。



単位：%

		母数（n）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,328	49.8	19.1	30.6	28.9	7.1	47.9	2.9	6.3	2.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	58.9	22.5	▼ 11.6	27.1	1.6	▼ 31.8	7.8	7.0	0.8
	65～74歳	182	△ 63.7	13.7	22.5	20.3	3.3	▼ 33.0	1.1	12.1	1.6
	75歳以上	262	△ 61.1	10.7	24.4	▼ 16.4	5.0	▼ 27.1	0.8	9.2	4.6
	女性　50～64歳	124	47.6	△ 35.5	26.6	△ 44.4	9.7	△ 65.3	8.9	1.6	1.6
	65～74歳	257	47.9	21.8	△ 43.6	35.4	8.2	△ 62.6	2.3	3.1	1.9
	75歳以上	374	▼ 34.0	19.0	37.7	32.9	10.7	△ 59.4	1.9	4.8	3.2
圏域別	安威川以北圏域	687	50.7	19.1	29.5	30.4	7.1	49.1	3.8	6.0	2.5
	安威川以南圏域	641	48.8	19.0	31.7	27.3	7.0	46.6	1.9	6.6	2.8
認定状況別	非認定者	1,266	50.8	19.4	30.6	29.9	7.0	47.5	2.8	6.2	2.5
	要支援者	62	▼ 29.0	12.9	30.6	▼ 9.7	8.1	56.5	3.2	6.5	4.8

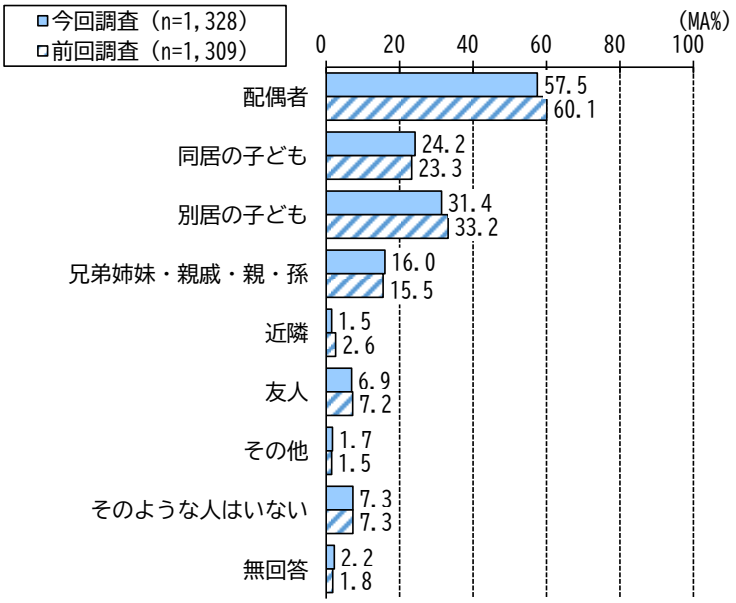
◆問6.1（3）　あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

【全体】
○　「配偶者」が 57.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 31.4%、「同居の子ども」が 24.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性 50～64 歳では、「同居の子ども」が 38.7%となっており、男性 50～64 歳（24.0%）と比較して 14.7 ポイント多くなっています。
○　男性 65～74 歳では、「そのような人はいない」が 13.7%となっており、女性 65～74 歳（7.4%）と比較して 6.3 ポイント多くなっています。
○　男性 75 歳以上では、「配偶者」が 70.6%で最も多くなっており、女性 75 歳以上（42.2%）と比較して 28.4 ポイント多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「配偶者」が 29.0%となっており、全体（57.5%）を 28.5 ポイント下回っています。「別居の子ども」が 43.5%となっており、全体（31.4%）を 12.1 ポイント上回っています。



単位：%

		母数（n）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,328	57.5	24.2	31.4	16.0	1.5	6.9	1.7	7.3	2.2
性・年齢別	男性　50～64歳	129	62.8	24.0	▼ 9.3	22.5	－	3.1	2.3	11.6	0.8
	65～74歳	182	△ 68.7	14.8	22.5	13.2	－	3.3	0.5	13.7	1.1
	75歳以上	262	△ 70.6	19.1	28.6	11.8	1.1	5.0	0.8	6.1	1.9
	女性　50～64歳	124	61.3	△ 38.7	▼ 16.1	21.8	1.6	12.1	2.4	6.5	1.6
	65～74歳	257	54.1	26.1	37.7	12.5	2.3	8.9	0.8	7.4	3.5
	75歳以上	374	▼ 42.2	26.2	△ 46.0	18.4	2.4	8.3	2.9	3.7	2.7
圏域別	安威川以北圏域	687	57.8	23.0	29.8	15.6	1.3	7.0	2.0	7.4	1.7
	安威川以南圏域	641	57.3	25.4	33.1	16.4	1.7	6.9	1.2	7.2	2.7
認定状況別	非認定者	1,266	58.9	24.3	30.8	16.4	1.4	6.7	1.7	7.5	2.0
	要支援者	62	▼ 29.0	21.0	△ 43.5	8.1	3.2	11.3	1.6	3.2	6.5

◆問6.1（4）　反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも○）

【全体】

○　「配偶者」が 55.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.6%、「別居の子ども」が 23.8%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男性 75 歳以上では、「配偶者」が 63.0%となっており、女性 75 歳以上（45.5%）と比較して 17.5 ポイント多くなっています。

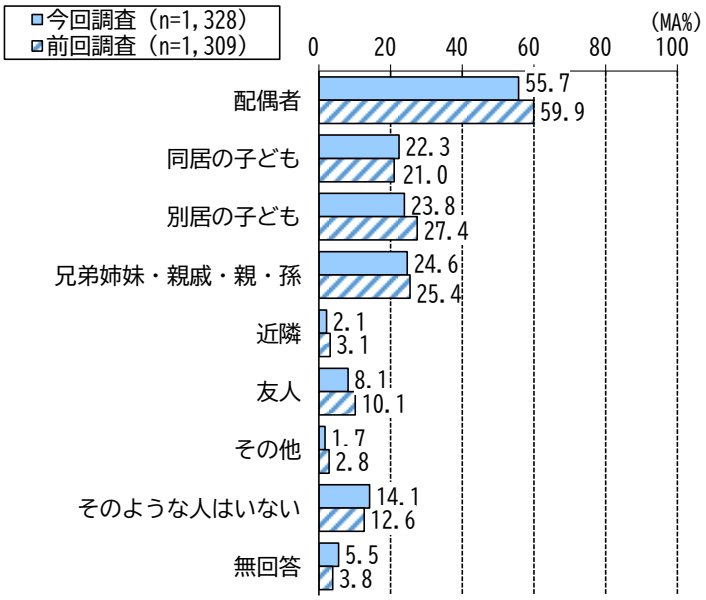
○　女性 65～74 歳では、「別居の子ども」が 34.6%となっており、男性 65～74 歳（22.5%）と比較して 12.1 ポイント多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「配偶者」が 56.6%となっており、要支援者（37.1%）を 19.5 ポイント上回っています。



単位：%

		母数（n）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,328	55.7	22.3	23.8	24.6	2.1	8.1	1.7	14.1	5.5
性・年齢別	男性　50～64歳	129	58.9	31.8	▼ 6.2	32.6	－	5.4	1.6	17.1	2.3
	65～74歳	182	62.6	15.4	22.5	20.3	0.5	4.4	0.5	20.3	1.6
	75歳以上	262	63.0	16.4	18.3	▼ 13.0	1.5	5.7	1.9	14.9	6.5
	女性　50～64歳	124	58.9	△ 34.7	23.4	△ 47.6	0.8	11.3	0.8	8.9	0.8
	65～74歳	257	55.3	24.9	△ 34.6	30.4	3.1	10.5	1.2	7.4	7.0
	75歳以上	374	▼ 45.5	20.6	27.0	20.6	3.7	9.6	2.7	15.8	8.3
圏域別	安威川以北圏域	687	56.6	22.0	23.3	26.2	2.0	8.2	1.7	13.5	4.4
	安威川以南圏域	641	54.8	22.6	24.3	22.9	2.2	8.0	1.6	14.7	6.7
認定状況別	非認定者	1,266	56.6	22.8	24.5	25.6	2.2	8.1	1.3	13.6	5.1
	要支援者	62	▼ 37.1	▼ 11.3	▼ 9.7	▼ 4.8	－	8.1	8.1	△ 24.2	14.5

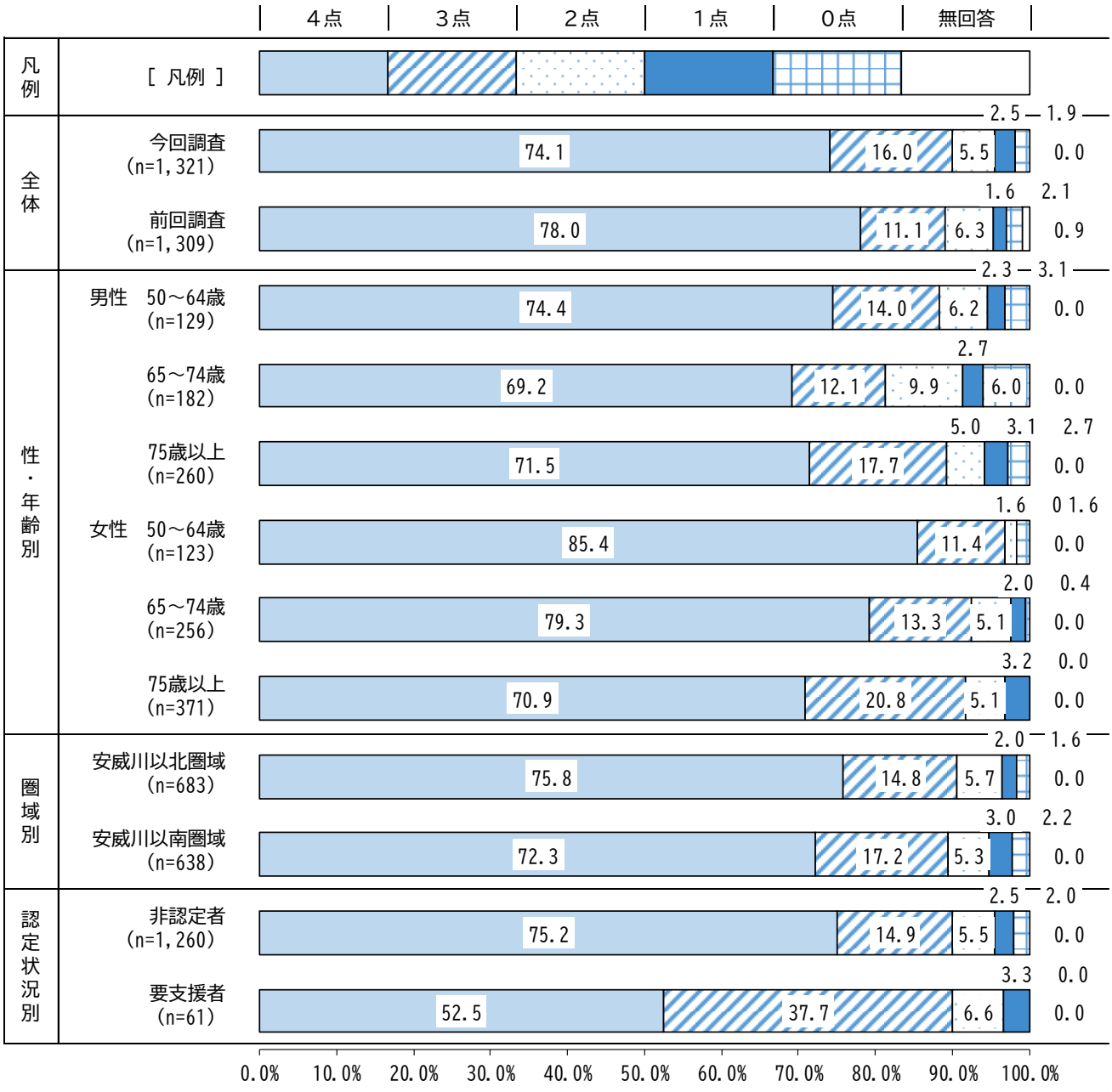
◆たすけあいの合計点

【たすけあいの合計点】

以下の設問に対して各項目の点数を足し合わせてたすけあいの合計点を算出しています。

設問	選択肢
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	選択肢１～７のいずれかを選択している場合、１点
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	選択肢１～７のいずれかを選択している場合、１点
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	選択肢１～７のいずれかを選択している場合、１点
反対に、看病や世話をしてあげる人	選択肢１～７のいずれかを選択している場合、１点

【全体】
○　「４点」が 74.1%で最も多く、次いで「３点」が 16.0%、「２点」が 5.5%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　女性 50～64 歳では、「４点」の割合が 85.4%と他の区分と比較して多くなっています。また、男女ともに、50～74 歳では女性が男性を 10 ポイント以上上回っています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　非認定者では「４点」が 75.2%となっており、要支援者（52.5%）と比較して 22.7 ポイント多くなっています。
○　要支援者では「３点」が 37.7%となっており、非認定者（14.9%）と比較して 22.8 ポイント多くなっています。



◆問6.2　あなたはまわりの人（家族を含む）と、どの程度つながっていると感じますか。（１つだけ○）（「まったくつながっていない」を０点、「とてもつながっている」を10点として、ご記入ください。）

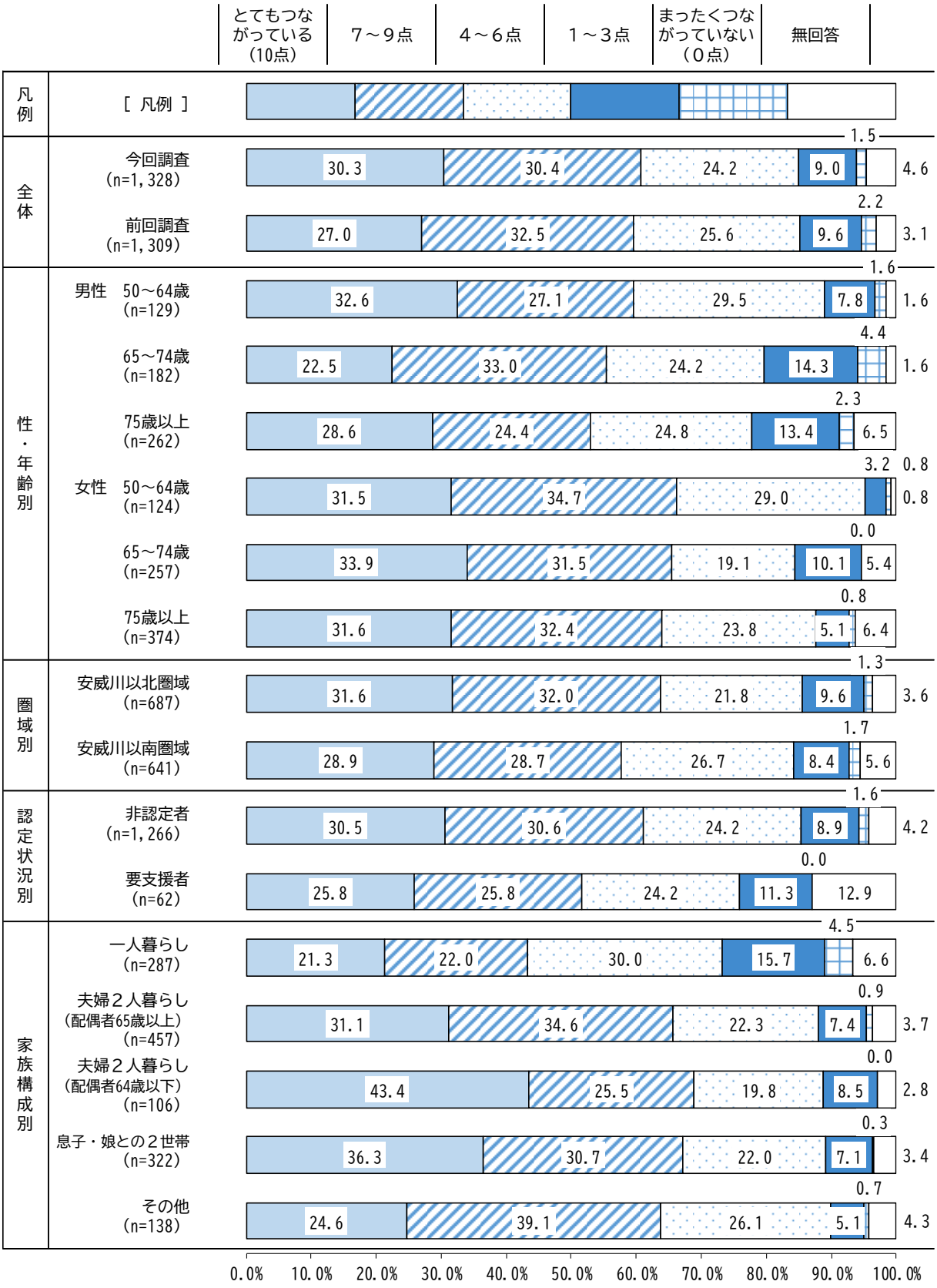
【全体】
○　「７～９点」が 30.4%で最も多く、次いで「とてもつながっている（10 点）」が 30.3%、「４～６点」が 24.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性 65～74 歳では、「とてもつながっている（10 点）」が 33.9%となっており、男性 65～74 歳（22.5%）を 11.4 ポイント上回っています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

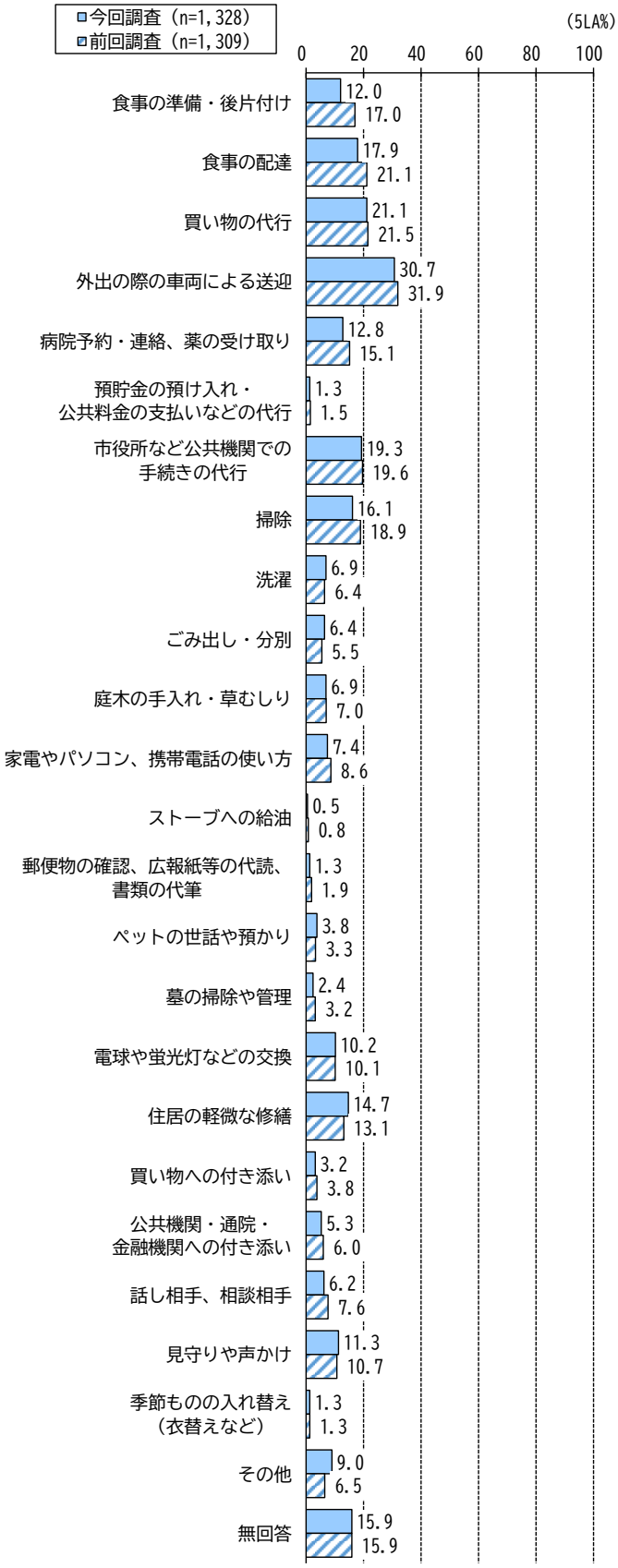
【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。

【家族構成別】
○　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「とてもつながっている（10 点）」が 43.4%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。


とてもつながっている（10点）
７～９点
４～６点
１～３点
まったくつながっていない（０点）
無回答
凡例
［ 凡例 ］
全体
今回調査（n=1,328）
30.3 30.4 24.2 9.0 1.5 4.6
前回調査（n=1,309）
27.0 32.5 25.6 9.6 2.2 3.1
性・年齢別
男性 50～64歳（n=129）
32.6 27.1 29.5 7.8 1.6 1.6
65～74歳（n=182）
22.5 33.0 24.2 14.3 4.4 1.6
75歳以上（n=262）
28.6 24.4 24.8 13.4 2.3 6.5
女性 50～64歳（n=124）
31.5 34.7 29.0 3.2 0.8 0.8
65～74歳（n=257）
33.9 31.5 19.1 10.1 0.0 5.4
75歳以上（n=374）
31.6 32.4 23.8 5.1 0.8 6.4
圏域別
安威川以北圏域（n=687）
31.6 32.0 21.8 9.6 1.3 3.6
安威川以南圏域（n=641）
28.9 28.7 26.7 8.4 1.7 5.6
認定状況別
非認定者（n=1,266）
30.5 30.6 24.2 8.9 1.6 4.2
要支援者（n=62）
25.8 25.8 24.2 11.3 0.0 12.9
家族構成別
一人暮らし（n=287）
21.3 22.0 30.0 15.7 4.5 6.6
夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）（n=457）
31.1 34.6 22.3 7.4 0.9 3.7
夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）（n=106）
43.4 25.5 19.8 8.5 0.0 2.8
息子・娘との２世帯（n=322）
36.3 30.7 22.0 7.1 0.3 3.4
その他（n=138）
24.6 39.1 26.1 5.1 0.7 4.3
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

◆問6.3　介護保険制度外の支援について、今後どのようなものがあれば、利用したいと思いますか。（５つまで○）

【全体】
○　「外出の際の車両による送迎」が 30.7%で最も多く、次いで「買い物の代行」が 21.1%、「市役所など公共機関での手続きの代行」が 19.3%となっています。
○　前回調査と比較すると、「食事の準備・後片付け」は 12.0%と、前回（17.0%）から 5.0 ポイント低下しています。



【性・年齢別】

○　女性 50～64 歳では、「外出の際の車両による送迎」が 44.4%となっており、男性 50～64 歳（24.0%）を 20.4 ポイント上回っています。

○　男性 50～64 歳では、「食事の準備・後片付け」が 18.6%となっており、女性 50～64 歳（6.5%）と比較して 12.1 ポイント多くなっています。

○　女性 65～74 歳では、「外出の際の車両による送迎」が 35.4%となっており、男性 65～74 歳（21.4%）を 14.0 ポイント上回っています。

○　男性 65～74 歳では、「食事の配達」が 25.3%となっており、女性 65～74 歳（18.3%）と比較して 7.0 ポイント多くなっています。

○　女性 75 歳以上では、「電球や蛍光灯などの交換」が 16.8%となっており、男性 75 歳以上（7.3%）を 9.5 ポイント上回っています。

○　男性 75 歳以上では、「家電やパソコン、携帯電話の使い方」が 12.2%となっており、男性 50～64 歳（3.1%）と比較して 9.1 ポイント多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　要支援者では、「電球や蛍光灯などの交換」「家電やパソコン、携帯電話の使い方」が非認定者を 10 ポイント以上上回っています。

【介護保険制度外の支援についての希望（5LA）】

単位：％

		母数（n）	食事の準備・後片付け	食事の配達	買い物の代行	外出の際の車両による送迎	病院予約・連絡、薬の受け取り	預貯金の預け入れ・公共料金の支払いなどの代行	市役所など公共機関での手続きの代行	掃除	洗濯	ごみ出し・分別
全体		1,328	12.0	17.9	21.1	30.7	12.8	1.3	19.3	16.1	6.9	6.4
性・年齢別	男性　50～64歳	129	18.6	22.5	26.4	24.0	18.6	1.6	20.9	23.3	14.7	9.3
	65～74歳	182	15.4	25.3	19.8	21.4	14.3	2.2	18.7	19.8	13.2	6.6
	75歳以上	262	15.6	15.6	16.4	27.5	13.4	1.5	19.5	15.3	9.2	6.5
	女性　50～64歳	124	6.5	21.8	29.0	△ 44.4	17.7	0.8	21.0	13.7	1.6	8.1
	65～74歳	257	9.7	18.3	25.7	35.4	9.7	0.8	17.1	14.4	2.3	5.4
	75歳以上	374	8.8	12.8	17.4	32.1	10.2	1.1	19.8	14.4	4.3	5.3
圏域別	安威川以北圏域	687	10.3	19.1	21.5	27.5	12.1	1.2	19.4	16.3	7.3	6.6
	安威川以南圏域	641	13.7	16.7	20.6	34.2	13.6	1.4	19.2	15.9	6.4	6.2
認定状況別	非認定者	1,266	12.2	18.2	21.6	30.9	13.0	1.3	19.2	16.3	6.9	6.5
	要支援者	62	8.1	12.9	11.3	27.4	8.1	-	21.0	12.9	6.5	4.8

単位：％

		母数（n）	庭木の手入れ・草むしり	家電やパソコン、携帯電話の使い方	ストーブへの給油	郵便物の確認、広報紙等の代読、書類の代筆	ペットの世話や預かり	墓の掃除や管理	電球や蛍光灯などの交換	住居の軽微な修繕	買い物への付き添い	公共機関・通院・金融機関への付き添い
全体		1,328	6.9	7.4	0.5	1.3	3.8	2.4	10.2	14.7	3.2	5.3
性・年齢別	男性　50～64歳	129	3.9	3.1	-	0.8	4.7	3.9	3.1	10.1	0.8	3.9
	65～74歳	182	6.6	3.8	0.5	1.6	4.4	2.2	6.6	12.1	3.3	4.4
	75歳以上	262	5.0	12.2	1.1	3.1	2.3	1.9	7.3	14.1	2.3	5.7
	女性　50～64歳	124	7.3	4.8	-	1.6	4.8	2.4	6.5	15.3	2.4	8.9
	65～74歳	257	7.0	8.9	0.4	0.4	6.6	2.3	11.3	14.4	3.1	7.8
	75歳以上	374	9.4	7.0	0.3	0.5	1.9	2.4	16.8	17.9	5.1	3.2
圏域別	安威川以北圏域	687	6.7	7.4	0.4	1.3	4.4	2.5	10.9	14.6	2.9	4.9
	安威川以南圏域	641	7.2	7.3	0.5	1.2	3.1	2.3	9.4	14.8	3.6	5.8
認定状況別	非認定者	1,266	7.0	6.9	0.5	1.3	3.8	2.4	9.6	14.5	3.1	5.3
	要支援者	62	6.5	△ 17.7	-	1.6	3.2	1.6	△ 22.6	19.4	6.5	6.5

単位：％

		母数（n）	話し相手、相談相手	見守りや声かけ	季節ものの入れ替え（衣替えなど）	その他	無回答
全体		1,328	6.2	11.3	1.3	9.0	15.9
性・年齢別	男性　50～64歳	129	5.4	10.9	2.3	10.1	7.8
	65～74歳	182	9.3	11.0	0.5	11.0	11.0
	75歳以上	262	6.5	13.0	0.8	9.2	18.3
	女性　50～64歳	124	9.7	11.3	0.8	7.3	11.3
	65～74歳	257	5.4	9.7	1.2	8.6	18.3
	75歳以上	374	4.0	11.5	1.9	8.3	19.3
圏域別	安威川以北圏域	687	6.4	10.8	1.5	9.5	15.9
	安威川以南圏域	641	5.9	11.9	1.1	8.4	15.9
認定状況別	非認定者	1,266	5.9	11.2	1.3	9.3	15.7
	要支援者	62	11.3	12.9	1.6	1.6	19.4

7. 健康について

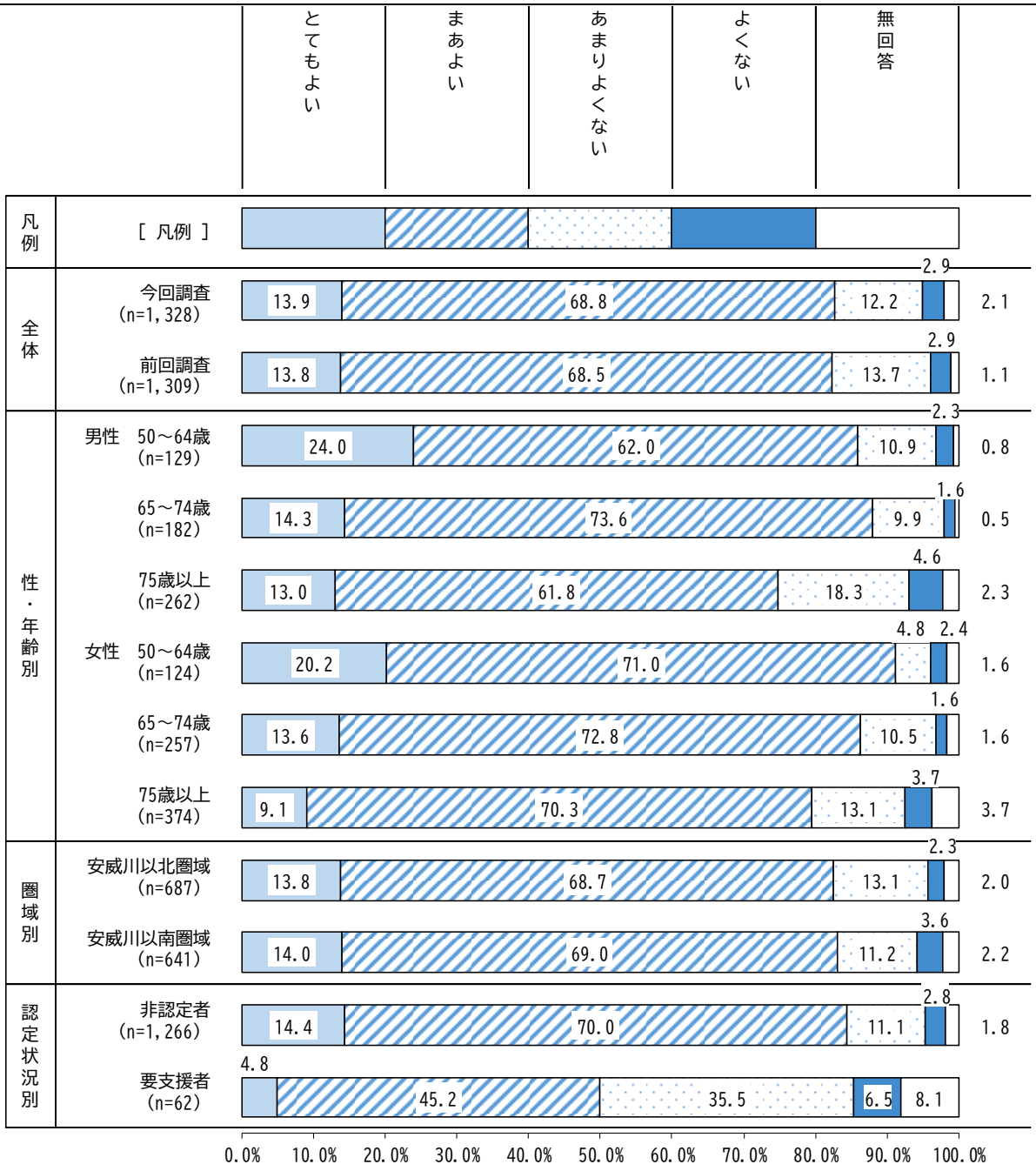
◆問7.1　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「まあよい」が 68.8%で最も多く、次いで「とてもよい」が 13.9%、「あまりよくない」が 12.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢があがるほど、「とてもよい」が少なくなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、『よい（「とてもよい」と「まあよい」の合計）』が 84.4%となっており、要支援者（50.0%）を 34.4 ポイント上回っています。



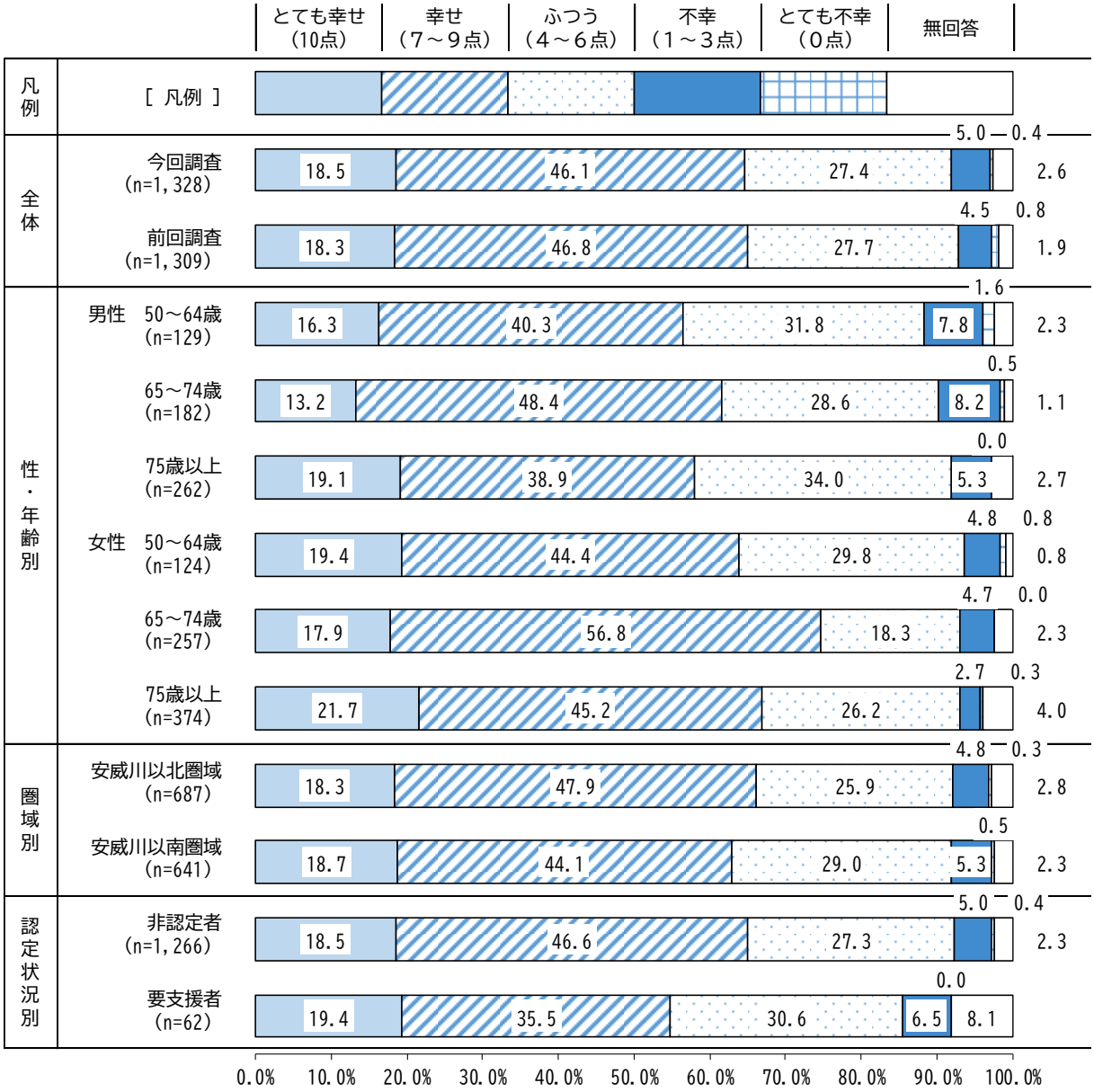
◆問7.2　あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ○）（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

【全体】
○　「幸せ（７～９点）」が 46.1%で最も多く、次いで「ふつう（４～６点）」が 27.4%、「とても幸せ（10 点）」が 18.5%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性 65～74 歳では、『幸せ（「とても幸せ（10 点）」と「幸せ（７～９点）」の合計）』が 74.7%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

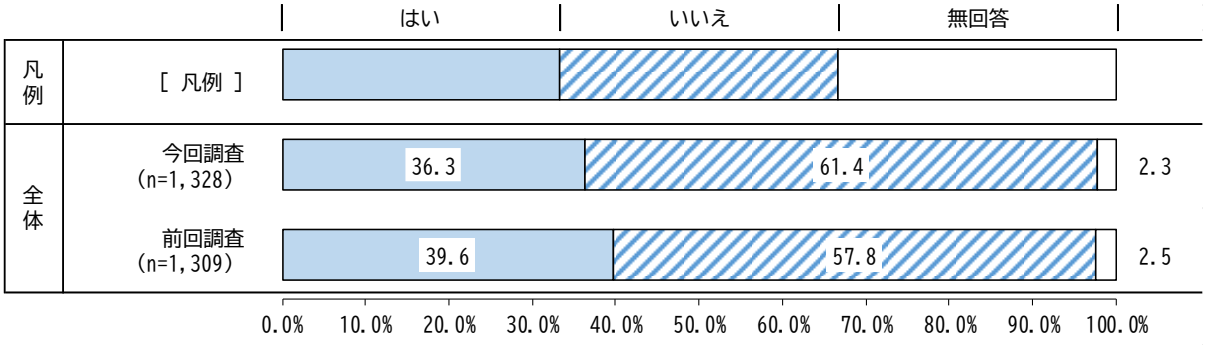
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、『幸せ』が 65.1%となっており、要支援者（54.9%）を 10.2 ポイント上回っています。



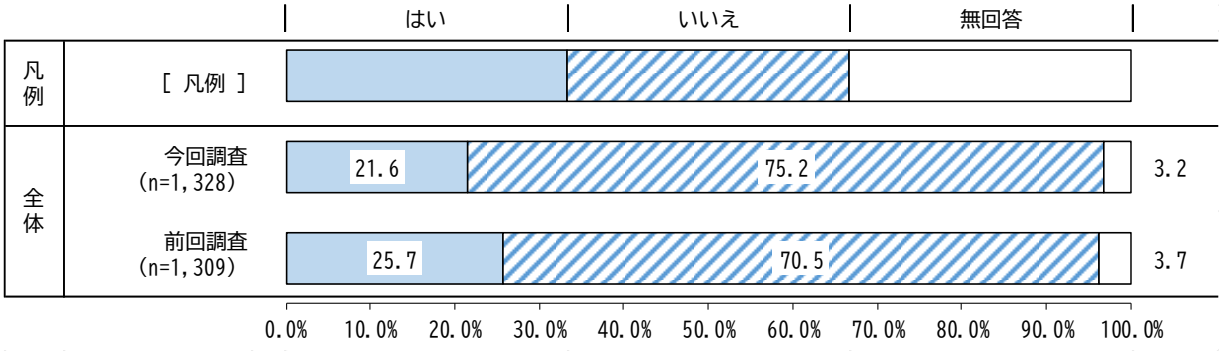
◆問7.3　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 36.3%、「いいえ」が 61.4%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



◆問7.4　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 21.6%、「いいえ」が 75.2%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



◆うつのリスク

【うつのリスクの判定】

以下の設問に対して２問中いずれか１つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【全体】

○　「非該当」が 58.8%で最も多く、次いで「該当」が 41.2%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　女性 50～64 歳では、「該当」が 48.0%と約５割となっており、他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【中学校区別】

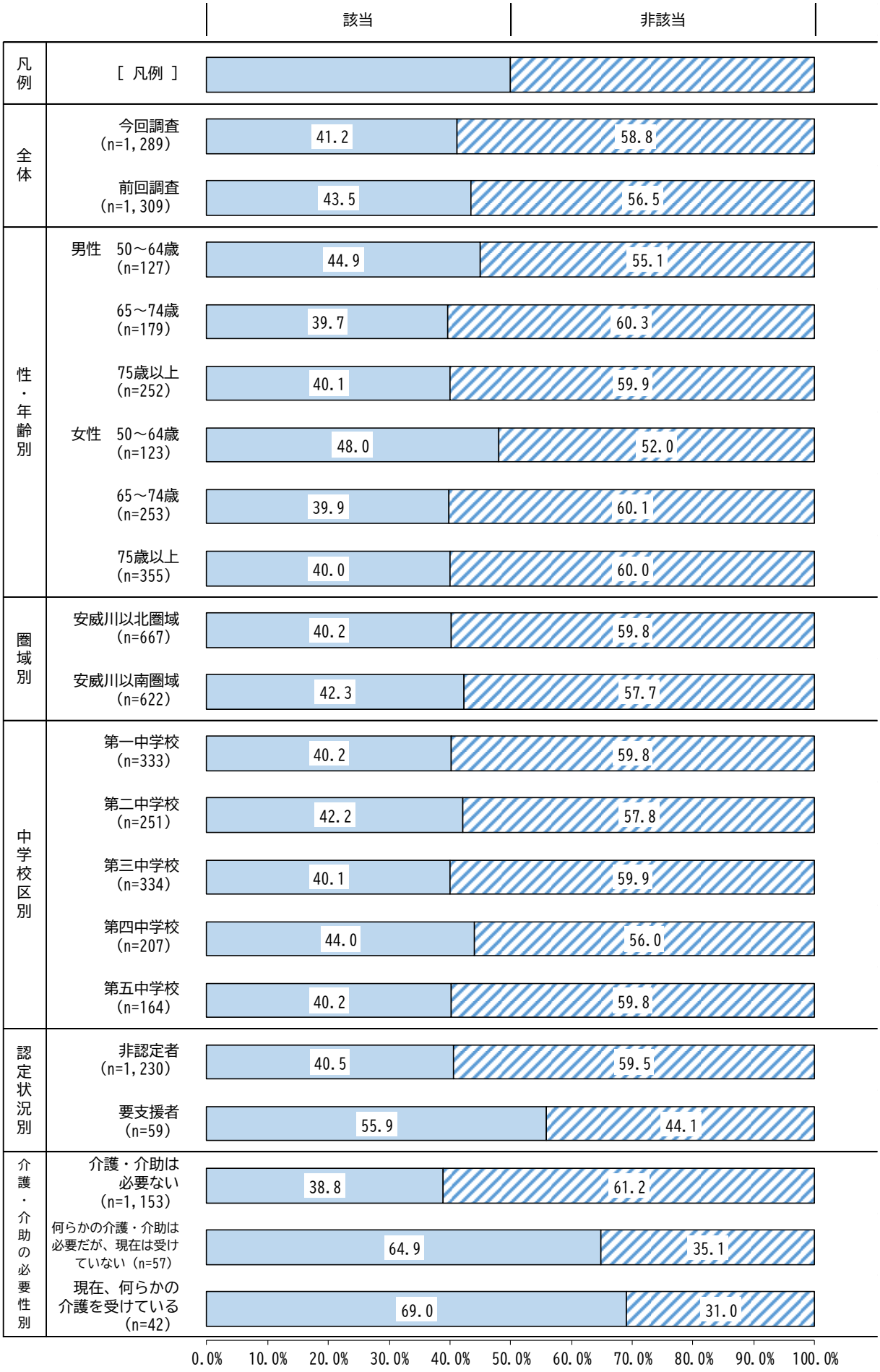
○　中学校区別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

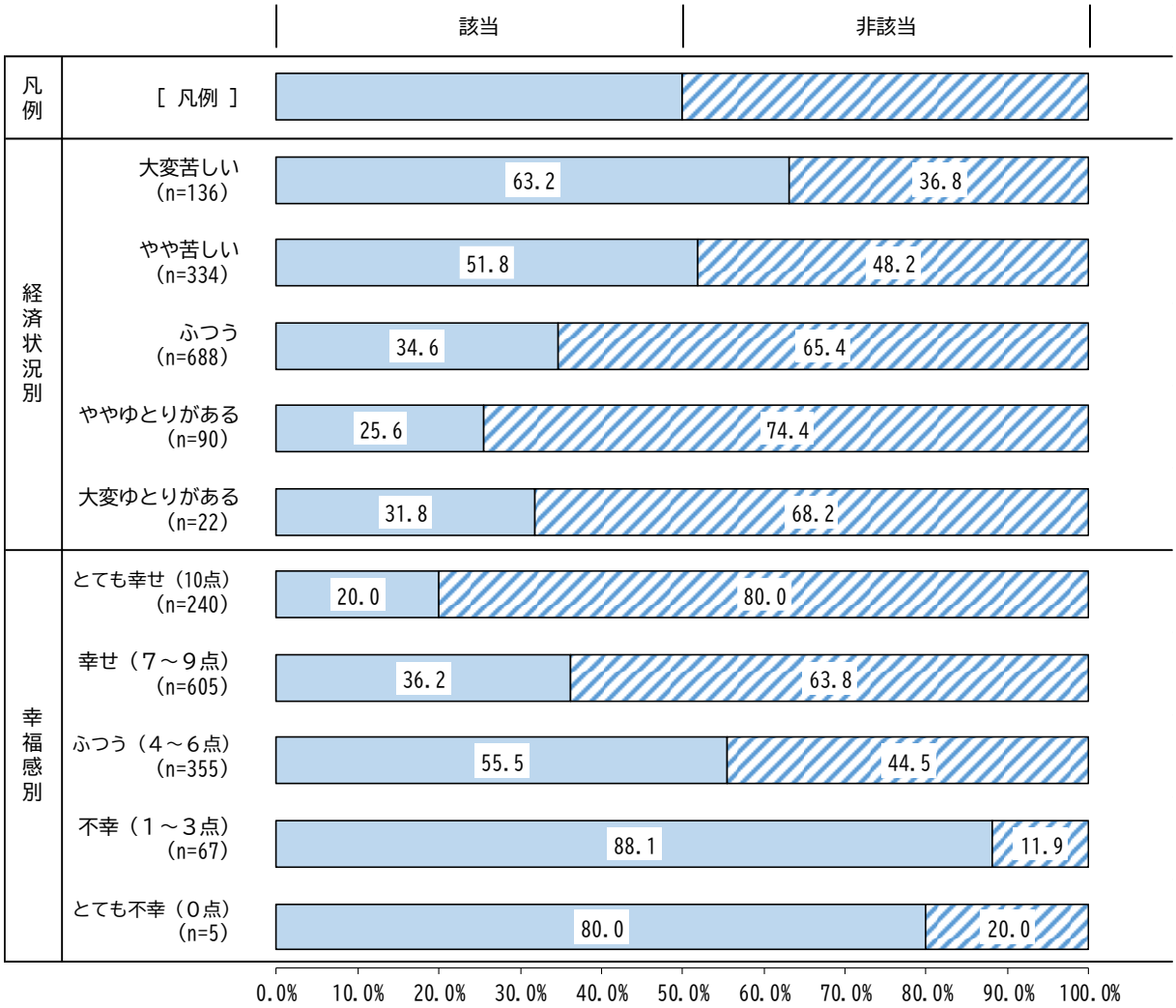
○　要支援者では、「該当」が 55.9%となっており、非認定者（40.5%）と比較して 15.4 ポイント多くなっています。

【介護・介助の必要性別】

○　現在、何らかの介護を受けているでは、「該当」が 69.0%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。


該当
非該当
凡例
[凡例]
全体
今回調査 (n=1,289)
41.2
58.8
前回調査 (n=1,309)
43.5
56.5
性・年齢別
男性 50～64歳 (n=127)
44.9
55.1
65～74歳 (n=179)
39.7
60.3
75歳以上 (n=252)
40.1
59.9
女性 50～64歳 (n=123)
48.0
52.0
65～74歳 (n=253)
39.9
60.1
75歳以上 (n=355)
40.0
60.0
圏域別
安威川以北圏域 (n=667)
40.2
59.8
安威川以南圏域 (n=622)
42.3
57.7
中学校区別
第一中学校 (n=333)
40.2
59.8
第二中学校 (n=251)
42.2
57.8
第三中学校 (n=334)
40.1
59.9
第四中学校 (n=207)
44.0
56.0
第五中学校 (n=164)
40.2
59.8
認定状況別
非認定者 (n=1,230)
40.5
59.5
要支援者 (n=59)
55.9
44.1
介護・介助の必要性別
介護・介助は必要ない (n=1,153)
38.8
61.2
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (n=57)
64.9
35.1
現在、何らかの介護を受けている (n=42)
69.0
31.0
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

【経済状況別】
○　経済状況を大変苦しいと感じている人では、「該当」が 63.2%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。
【幸福感別】
○　不幸（１～３点）では、「該当」が 88.1%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。



◆問7.5　タバコは吸っていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「もともと吸っていない」が 54.3%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が 29.8%、「ほぼ毎日吸っている」が 12.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男性 50～64 歳（28.7%）および男性 65～74 歳（29.1%）では、「ほぼ毎日吸っている」が約３割に達しており、女性同年代（50～64 歳：8.1%、65～74 歳：10.1%）を 20 ポイント前後上回っています。

○　男性 75 歳以上では、「吸っていたが、やめた」が 57.6%となっており、男性 50～64 歳（35.7%）と比較して 21.9 ポイント多くなっています。

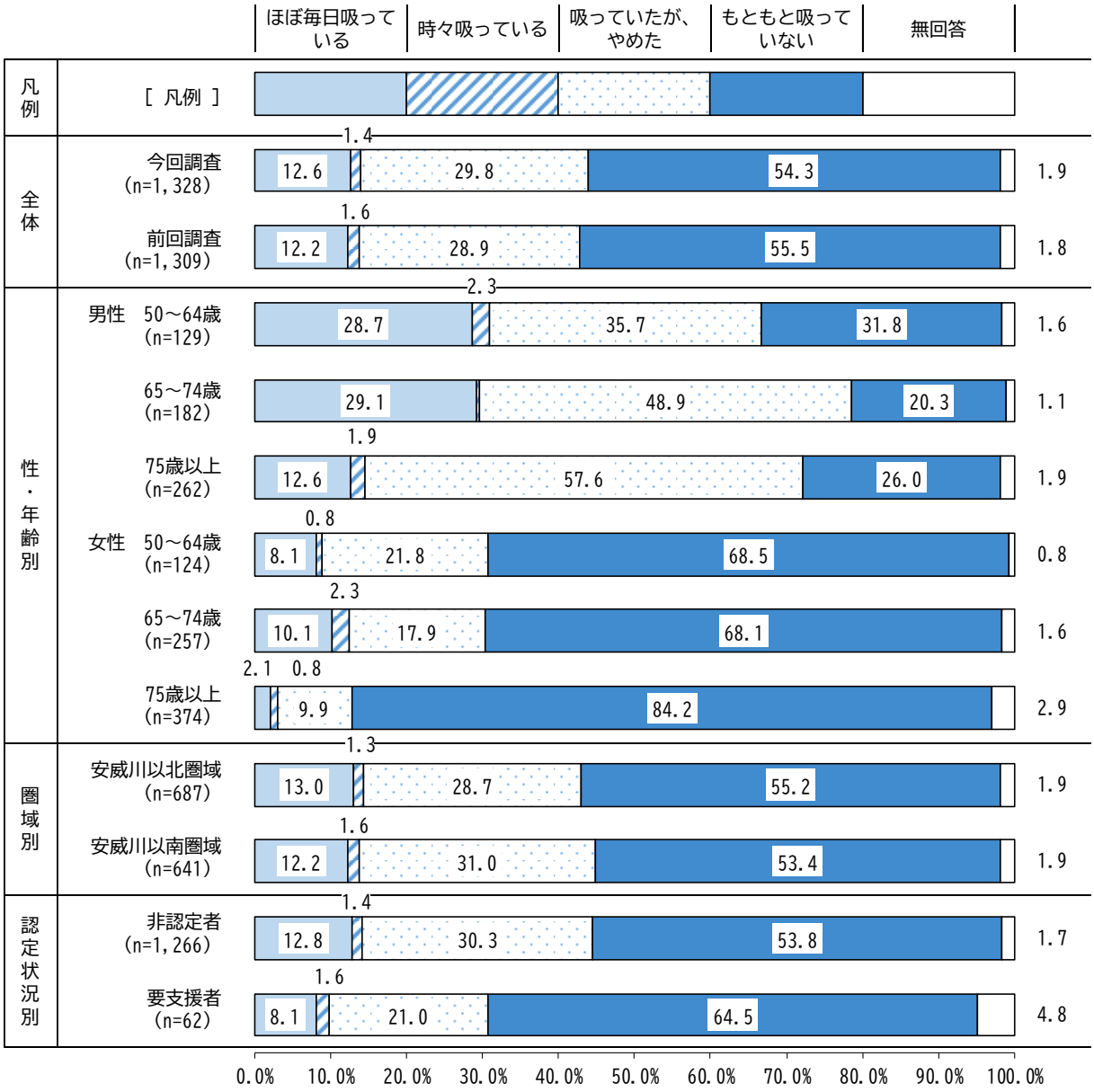
○　女性 75 歳以上では、「もともと吸っていない」が 84.2%となっており、男性 75 歳以上（26.0%）を 58.2 ポイント上回っています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

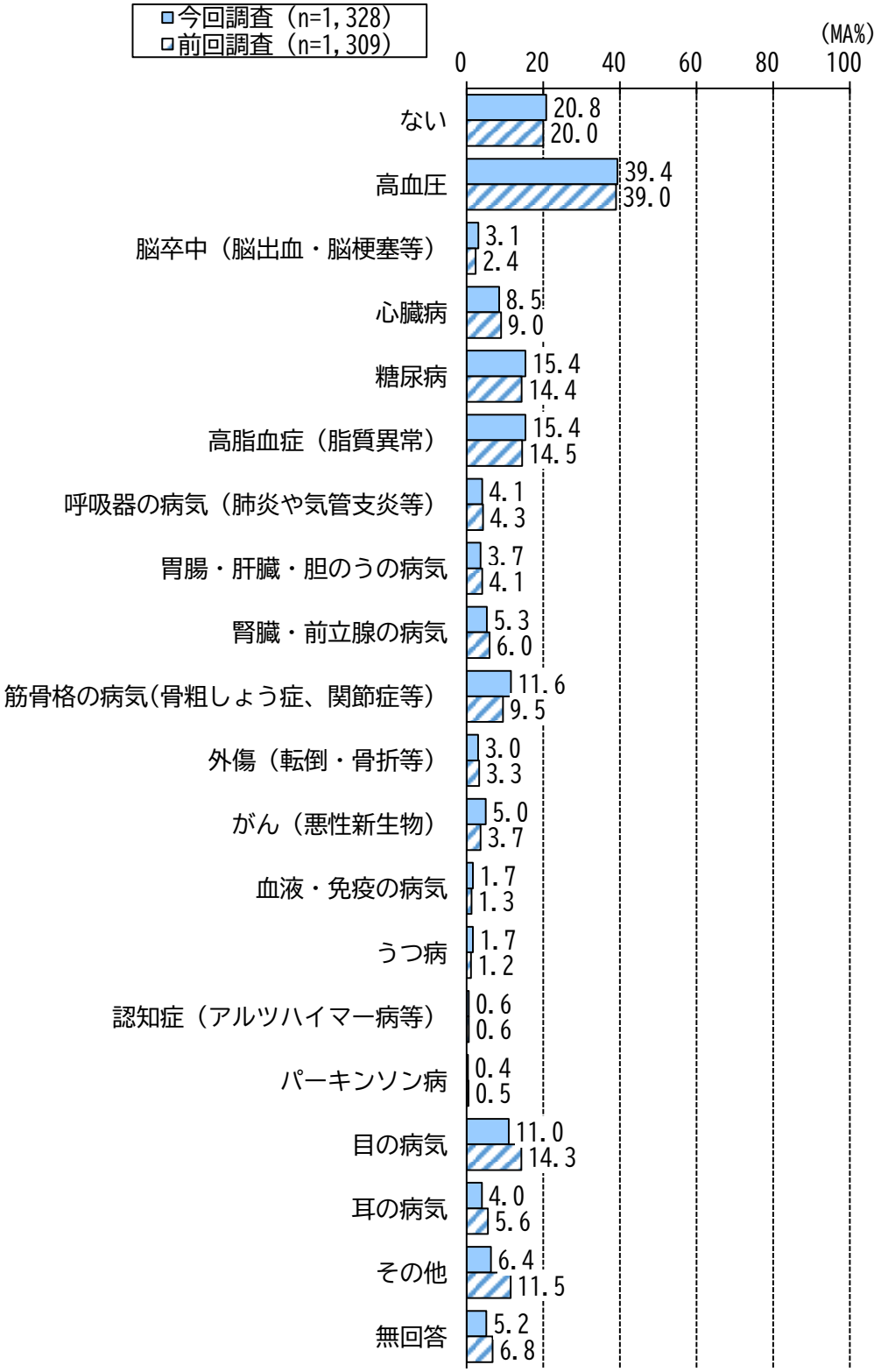
【認定状況別】

○　要支援者では、「もともと吸っていない」が 64.5%となっており、非認定者（53.8%）を 10.7 ポイント上回っています。



◆問7.6　現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「高血圧」が 39.4%で最も多く、次いで「ない」が 20.8%、「糖尿病」「高脂血症（脂質異常）」が 15.4%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「ない」が少なくなっています。
○　75 歳以上では、男女ともに「高血圧」が最も多く、次いで男性は「糖尿病」、女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　要支援者では、「高血圧」「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「糖尿病」「耳の病気」が、非認定者と比較して 10 ポイント以上多くなっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気はあるか（MA）】

単位：％

		母数（n）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体		1,328	20.8	39.4	3.1	8.5	15.4	15.4	4.1	3.7	5.3	11.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	△ 36.4	30.2	1.6	9.3	12.4	12.4	3.9	3.1	3.1	3.9
	65～74歳	182	22.0	40.7	3.3	8.2	20.9	15.4	3.8	5.5	7.7	6.6
	75歳以上	262	11.1	△ 51.5	5.3	15.3	22.9	9.2	4.6	3.1	△ 15.6	6.9
	女性　50～64歳	124	△ 46.0	▼ 16.1	2.4	1.6	8.1	12.9	3.2	3.2	0.8	3.2
	65～74歳	257	23.3	32.7	3.9	5.8	10.5	20.2	3.9	4.3	1.2	11.7
	75歳以上	374	11.5	45.7	1.6	7.8	14.4	18.4	4.3	3.2	2.1	△ 22.7
圏域別	安威川以北圏域	687	23.0	35.4	2.0	7.6	14.0	16.0	4.2	3.2	4.5	11.9
	安威川以南圏域	641	18.4	43.7	4.2	9.5	17.0	14.8	3.9	4.2	6.2	11.2
認定状況別	非認定者	1,266	21.7	38.8	2.7	8.1	14.9	15.6	4.0	3.7	5.1	10.7
	要支援者	62	▼ 1.6	△ 51.6	11.3	16.1	△ 25.8	11.3	4.8	3.2	9.7	△ 29.0

単位：％

		母数（n）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1,328	3.0	5.0	1.7	1.7	0.6	0.4	11.0	4.0	6.4	5.2
性・年齢別	男性　50～64歳	129	0.8	1.6	-	3.1	-	-	2.3	-	8.5	7.0
	65～74歳	182	2.2	4.4	1.1	1.6	0.5	-	8.8	3.3	7.1	2.7
	75歳以上	262	2.3	6.5	2.7	1.5	1.1	0.8	14.1	5.3	5.0	6.1
	女性　50～64歳	124	0.8	4.0	1.6	3.2	-	-	4.8	-	7.3	4.0
	65～74歳	257	3.5	5.8	0.8	2.3	0.4	-	13.2	3.5	7.4	4.7
	75歳以上	374	5.1	5.1	2.4	0.3	0.8	0.8	13.4	6.4	5.3	5.9
圏域別	安威川以北圏域	687	2.9	5.7	1.3	1.5	0.3	0.4	11.8	3.5	7.3	5.4
	安威川以南圏域	641	3.1	4.2	2.0	1.9	0.9	0.3	10.1	4.5	5.5	5.0
認定状況別	非認定者	1,266	2.4	5.1	1.6	1.7	0.6	0.2	9.9	3.5	6.2	5.2
	要支援者	62	△ 16.1	3.2	3.2	-	-	4.8	△ 33.9	△ 14.5	9.7	4.8

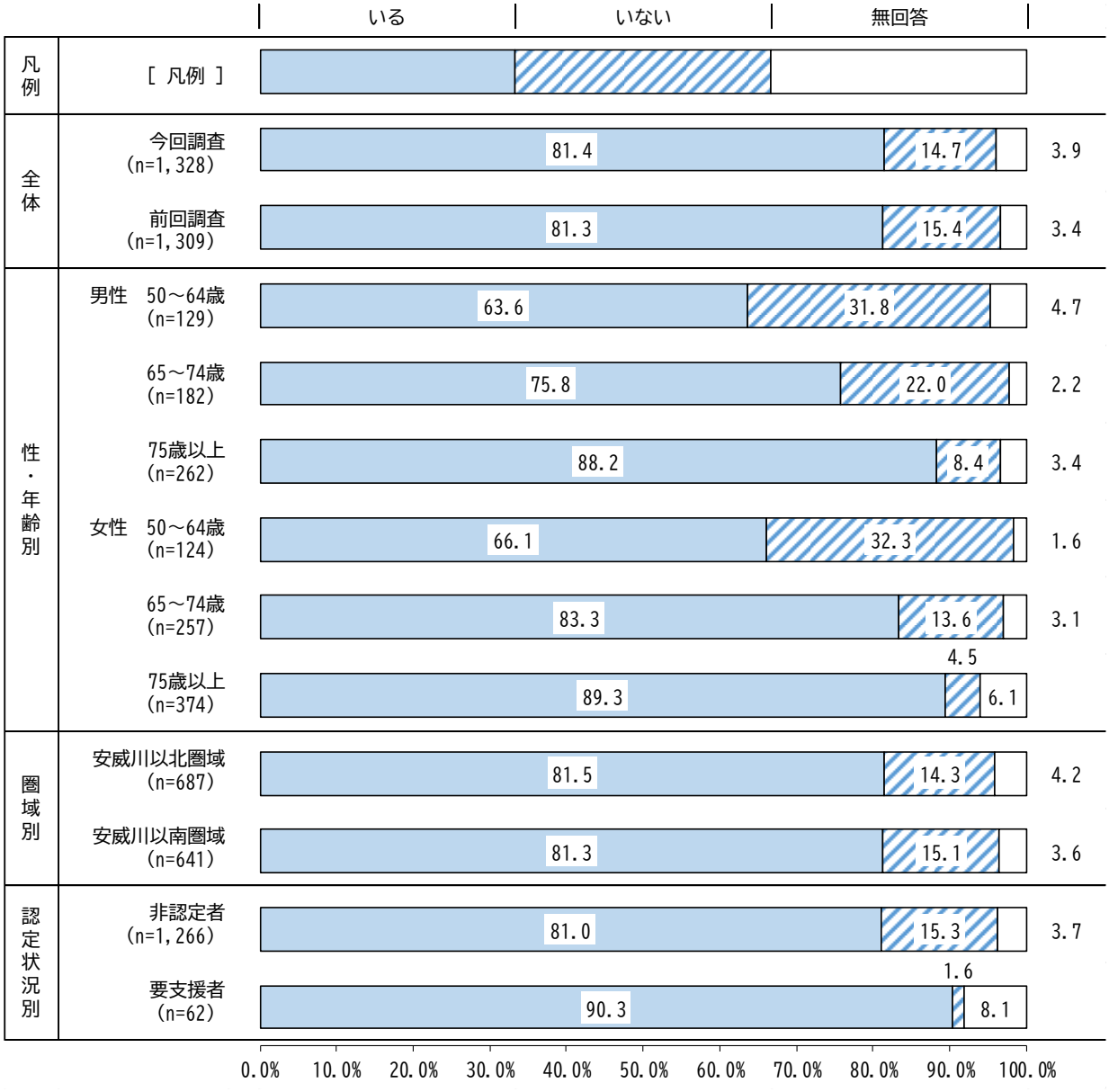
◆問7.7（1）　かかりつけ医（１つだけ○）

【全体】
○　「いる」が81.4%、「いない」が14.7%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「いる」が多くなっており、75歳以上では男女ともに約9割（男性88.2%、女性89.3%）に達しています。
○　男性75歳以上では、「いる」が88.2%となっており、男性50～64歳（63.6%）と比較して24.6ポイント多くなっています。
○　女性50～64歳では、「いない」が32.3%となっており、女性75歳以上（4.5%）と比較して27.8ポイント多くなっています。

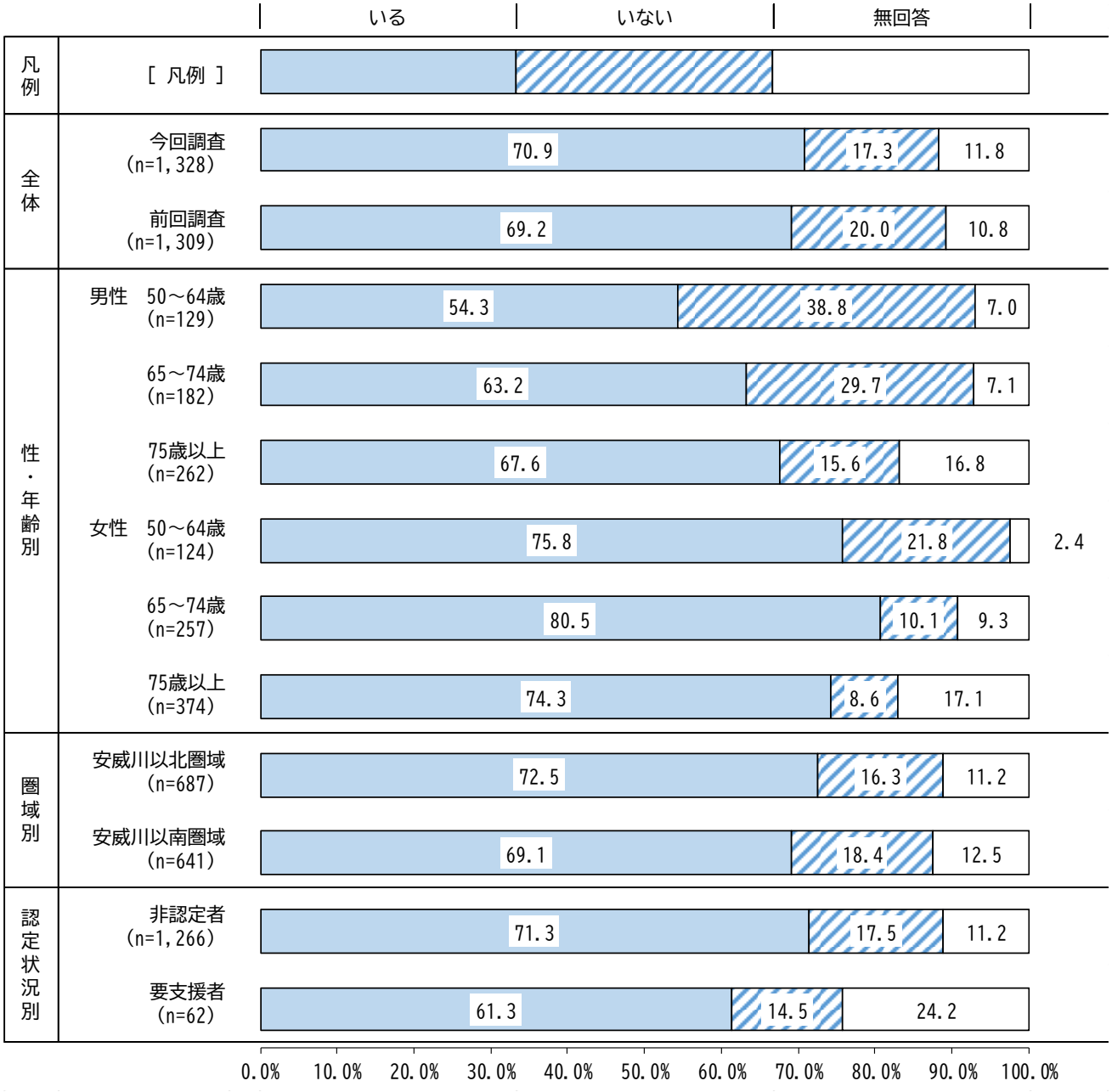
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「いる」が90.3%となっており、非認定者（81.0%）を9.3ポイント上回っています。



◆問7.7（2）　かかりつけ歯科医（１つだけ○）

【全体】
○　「いる」が70.9%、「いない」が17.3%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　男性では、年齢が上がるにつれて「いる」が多くなっています。
○　女性では、すべての区分で「いる」が７割を超えています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　非認定者では、「いる」が71.3%となっており、要支援者（61.3%）を10.0ポイント上回っています。



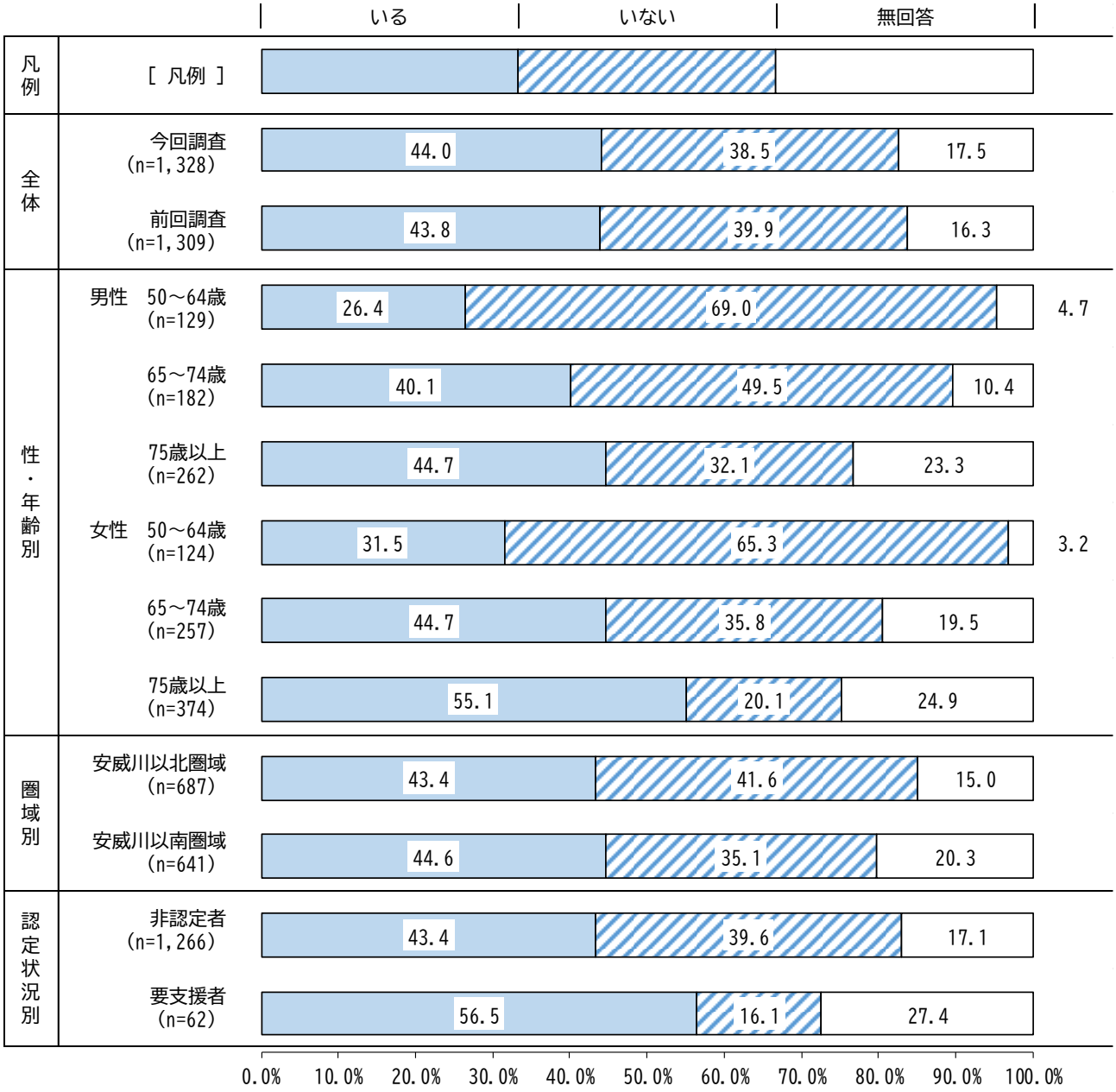
◆問7.7（3）　かかりつけ薬剤師（１つだけ○）

【全体】
○　「いる」が44.0%、「いない」が38.5%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「いる」が多くなっています。
○　女性 75 歳以上では、「いる」が 55.1%となっており、女性 50～64 歳（31.5%）と比較して 23.6 ポイント多くなっています。
○　50～64 歳では、男女ともに「いない」が 6 割を超えており、全体を大きく上回っています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「いる」が 56.5%となっており、非認定者（43.4%）を 13.1 ポイント上回っています。



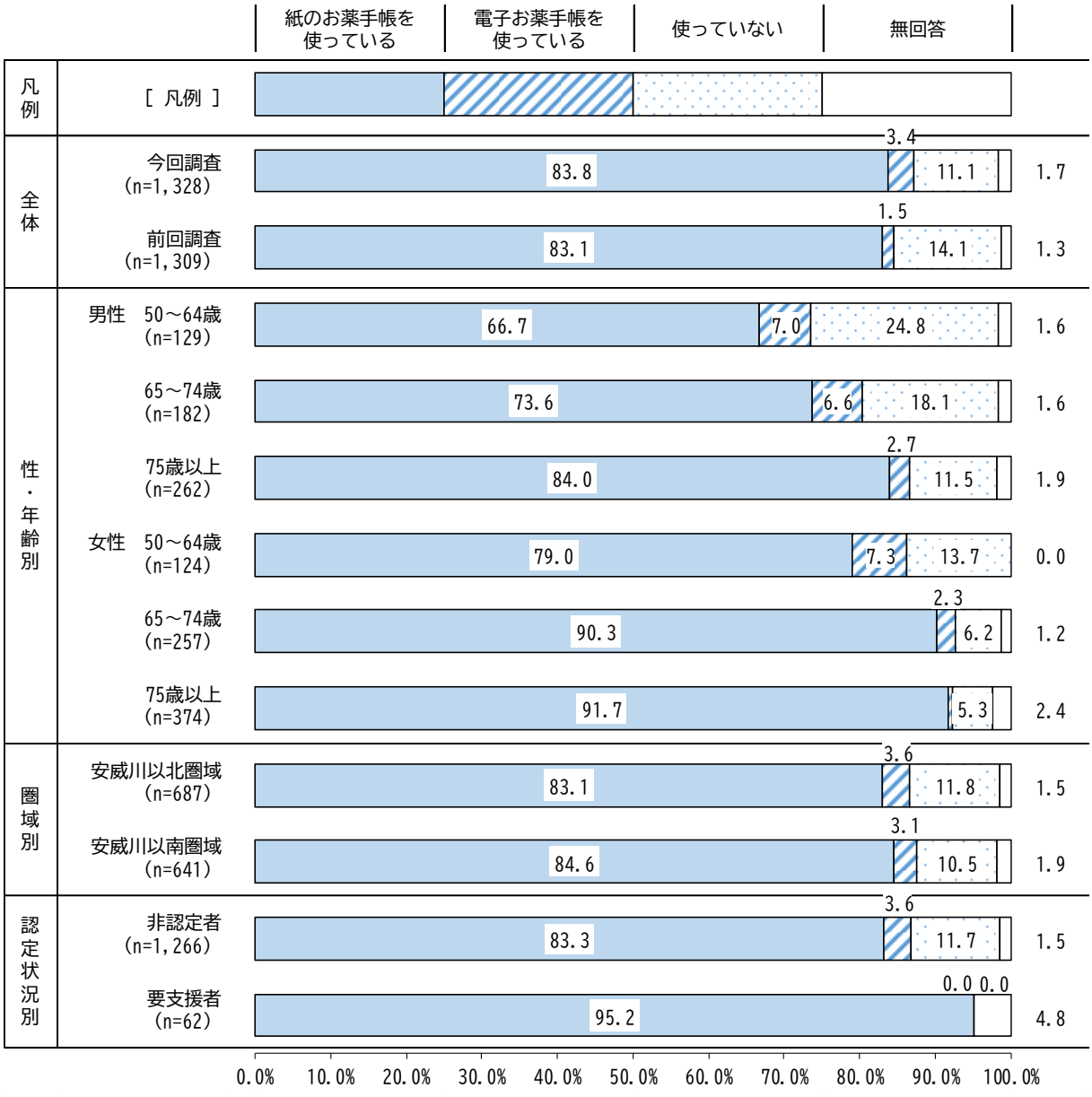
◆問7.8　お薬手帳を使っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「紙のお薬手帳を使っている」が 83.8%で最も多く、次いで「使っていない」が 11.1%、「電子お薬手帳を使っている」が 3.4%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「紙のお薬手帳を使っている」が多くなっており、75 歳以上では男女ともに９割前後（男性：84.0%、女性：91.7%）となっています。

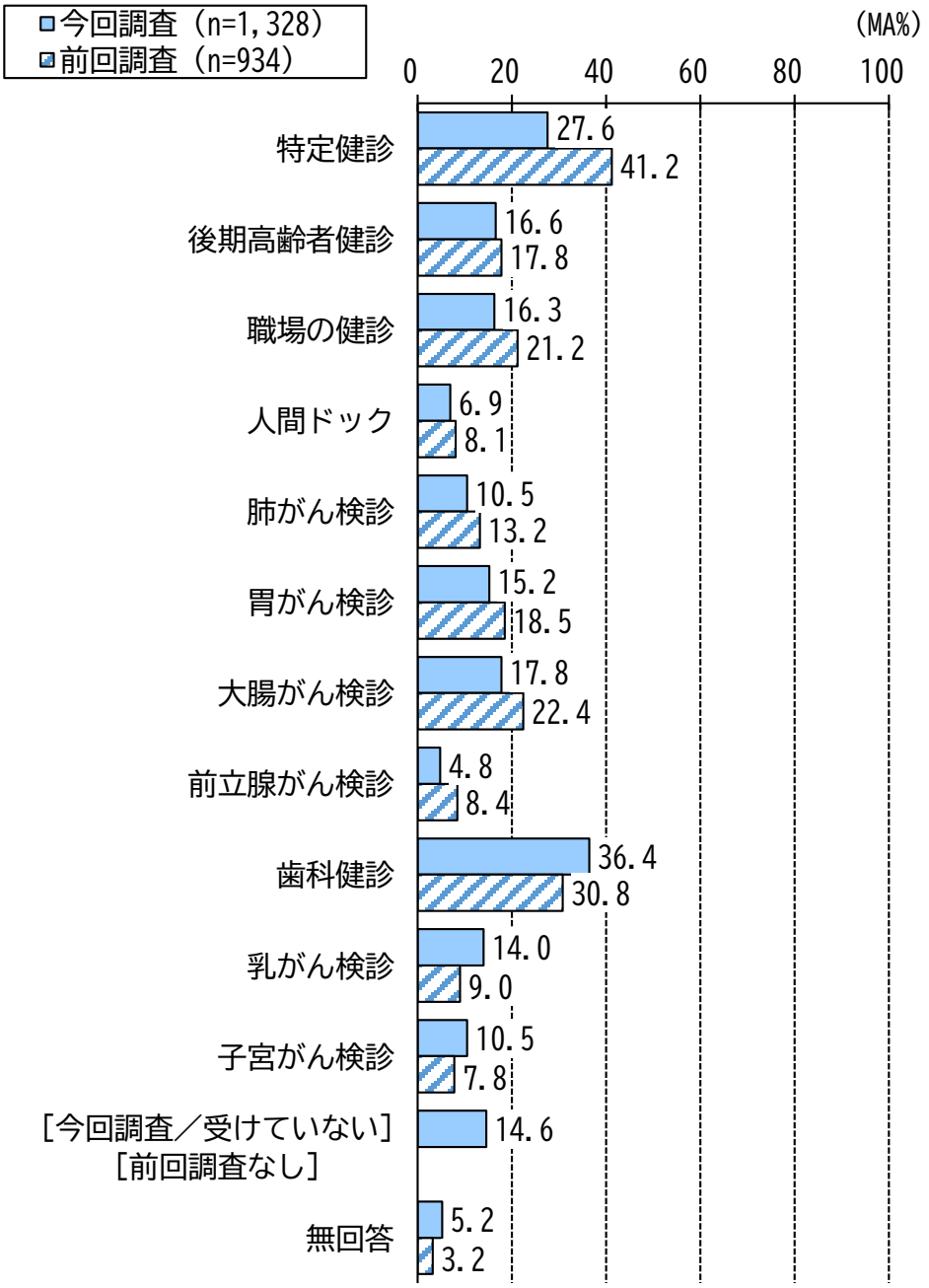
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「紙のお薬手帳を使っている」が 95.2%となっており、非認定者（83.3%）を 11.9 ポイント上回っています。



◆問7.9　受けている定期健診・検診の種類をお答えください。（いくつでも○）

【全体】
○　「歯科健診」が 36.4%で最も多く、次いで「特定健診」が 27.6%、「大腸がん検診」が 17.8%となっています。
○　前回調査と比較すると、「特定健診」は 27.6%と、前回（41.2%）から 13.6 ポイント低下しています。



【性・年齢別】
○　男性 50～64 歳では、「職場の健診」が 56.6%となっており、女性 50～64 歳（34.7%）と比較して 21.9 ポイント多くなっています。
○　女性 50～64 歳では、「乳がん検診」が 43.5%、「子宮がん検診」が 31.5%となっており、女性 75 歳以上を 20 ポイント以上上回っています。
○　女性 75 歳以上では、「歯科健診」が 47.6%となっており、男性 75 歳以上（32.4%）を 15.2 ポイント上回っています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　要支援者では、「受けていない」が 29.0%となっており、非認定者（13.9%）と比較して 15.1 ポイント多くなっています。
○　非認定者では、「特定健診」が 28.0%となっており、要支援者（19.4%）を 8.6 ポイント上回っています。

【受けている定期健診・検診の種類（MA）】

単位：%

		母数（n）	特定健診	後期高齢者健診	職場の健診	人間ドック	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診
全体		1,328	27.6	16.6	16.3	6.9	10.5	15.2	17.8
性・年齢別	男性　50～64歳	129	22.5	▼ 0.8	△ 56.6	△ 17.8	4.7	12.4	13.2
	65～74歳	182	36.3	▼ 0.5	24.7	10.4	14.8	17.6	17.0
	75歳以上	262	21.8	△ 32.1	▼ 5.7	3.4	9.5	13.4	18.7
	女性　50～64歳	124	33.1	▼ 0.8	△ 34.7	8.1	10.5	16.9	20.2
	65～74歳	257	△ 42.8	▼ 1.2	12.8	8.2	15.2	19.8	21.8
	75歳以上	374	▼ 17.1	△ 35.0	▼ 1.9	2.7	8.0	12.6	15.5
圏域別	安威川以北圏域	687	26.9	15.4	18.9	8.2	12.7	16.6	18.5
	安威川以南圏域	641	28.4	17.9	13.4	5.6	8.3	13.7	17.0
認定状況別	非認定者	1,266	28.0	16.1	17.1	7.3	10.9	15.5	18.1
	要支援者	62	19.4	△ 27.4	-	-	3.2	9.7	11.3

単位：%

		母数（n）	前立腺がん検診	歯科健診	乳がん検診	子宮がん検診	受けていない	無回答
全体		1,328	4.8	36.4	14.0	10.5	14.6	5.2
性・年齢別	男性　50～64歳	129	2.3	▼ 19.4	▼ 0.8	0.8	7.0	2.3
	65～74歳	182	12.1	28.6	▼ 0.5	▼ 0.5	13.2	5.5
	75歳以上	262	14.5	32.4	▼ 1.1	0.8	11.5	10.3
	女性　50～64歳	124	-	38.7	△ 43.5	△ 31.5	10.5	-
	65～74歳	257	-	37.0	△ 28.0	△ 22.6	19.1	3.9
	75歳以上	374	0.3	△ 47.6	14.7	10.2	18.4	5.1
圏域別	安威川以北圏域	687	5.8	38.9	15.7	12.5	14.1	4.2
	安威川以南圏域	641	3.7	33.7	12.2	8.3	15.1	6.2
認定状況別	非認定者	1,266	5.0	36.3	14.5	10.7	13.9	5.1
	要支援者	62	1.6	37.1	4.8	4.8	△ 29.0	8.1

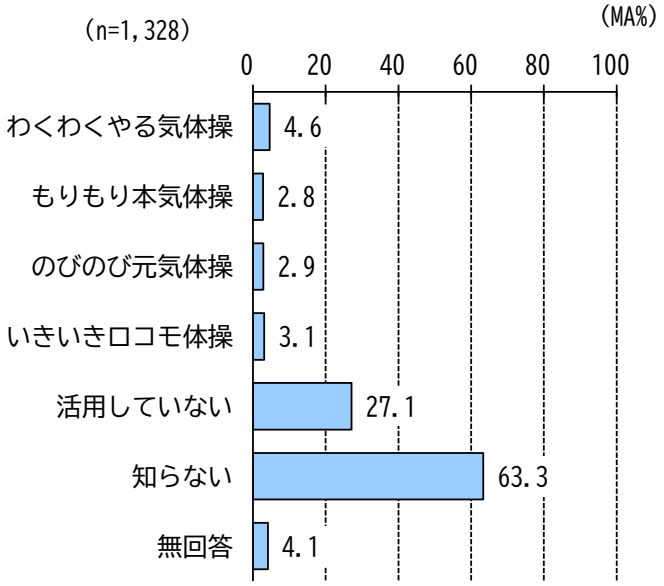
◆問7.10　「せっつみんなで体操四部作」で活用しているものはどれですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「知らない」が 63.3%で最も多く、次いで「活用していない」が 27.1%、「わくわくやる気体操」が 4.6%となっています。

【性・年齢別】
○　男女ともに 50～64 歳では「知らない」が８割を超えていますが、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「わくわくやる気体操」（22.6%）、「いきいきロコモ体操」（17.7%）が、非認定者と比較して 10 ポイント以上多くなっています。
○　非認定者では、「知らない」が 64.3%となっており、要支援者（41.9%）を 22.4 ポイント上回っています。



単位：%

		母数(n)	わくわくやる気体操	もりもり本気体操	のびのび元気体操	いきいきロコモ体操	活用していない	知らない	無回答
全体		1,328	4.6	2.8	2.9	3.1	27.1	63.3	4.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	-	-	-	-	▼ 17.1	△ 81.4	1.6
	65～74歳	182	0.5	-	0.5	0.5	23.6	△ 74.7	1.1
	75歳以上	262	2.3	1.9	1.5	1.1	29.8	63.0	5.0
	女性　50～64歳	124	0.8	-	-	-	▼ 12.9	△ 85.5	0.8
	65～74歳	257	3.1	1.6	2.3	1.6	25.3	66.5	4.7
	75歳以上	374	12.0	7.5	7.2	8.8	36.4	▼ 42.0	6.7
圏域別	安威川以北圏域	687	4.4	3.6	3.1	3.5	28.2	63.5	2.9
	安威川以南圏域	641	4.8	1.9	2.7	2.7	25.9	63.0	5.5
認定状況別	非認定者	1,266	3.7	2.4	2.4	2.4	27.3	64.3	3.9
	要支援者	62	△ 22.6	9.7	△ 12.9	△ 17.7	24.2	▼ 41.9	9.7

8. 認知症支援について

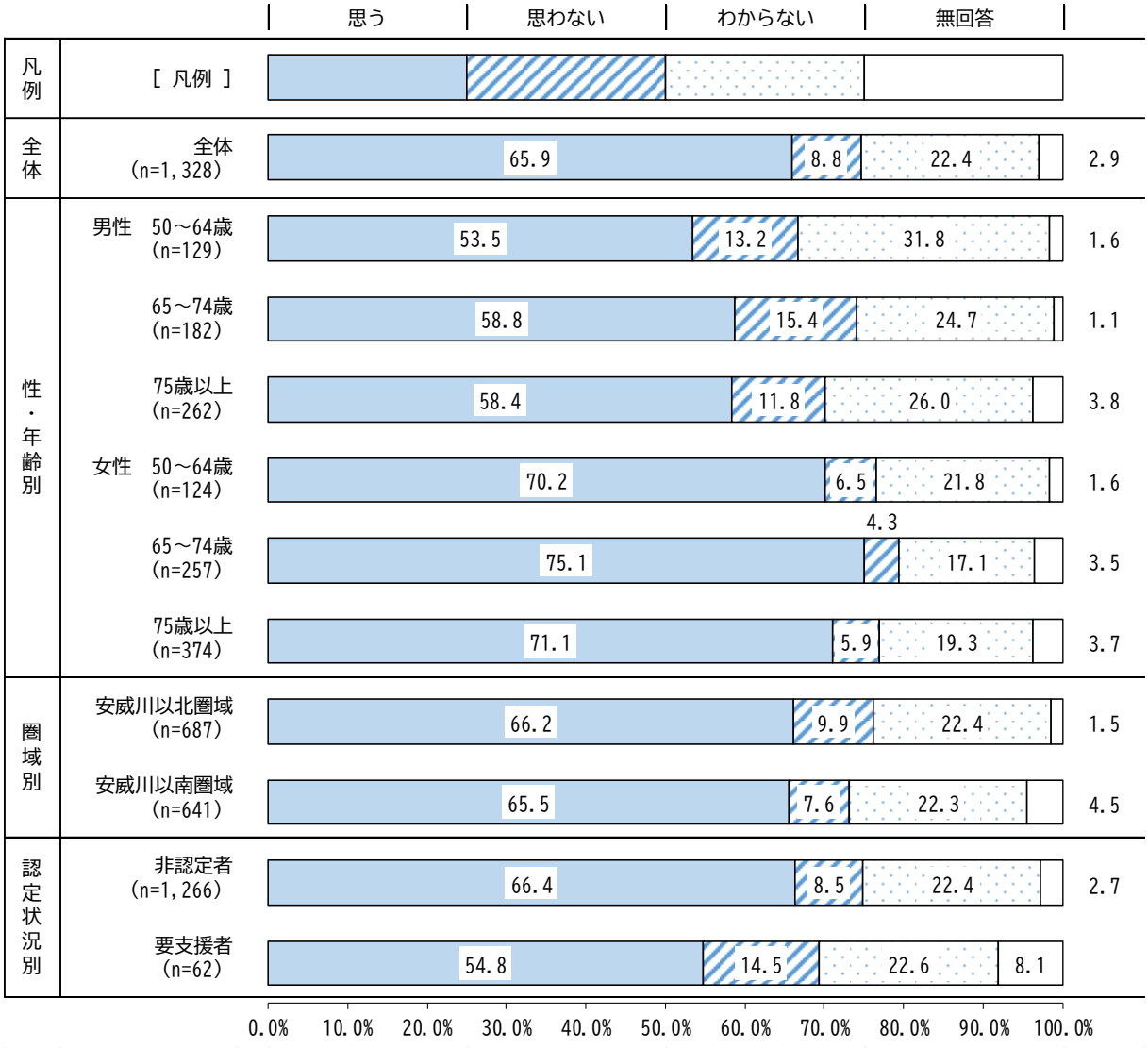
◆問8.1　あなたは、認知症を自分ごととして思いますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「思う」が 65.9%で最も多く、次いで「わからない」が 22.4%、「思わない」が 8.8%となっています。

【性・年齢別】
○　すべての区分において「思う」は女性が男性を上回っており、特に女性 65～74 歳では 75.1%に達しています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、「思う」が 66.4%となっており、要支援者（54.8%）を 11.6 ポイント上回っています。



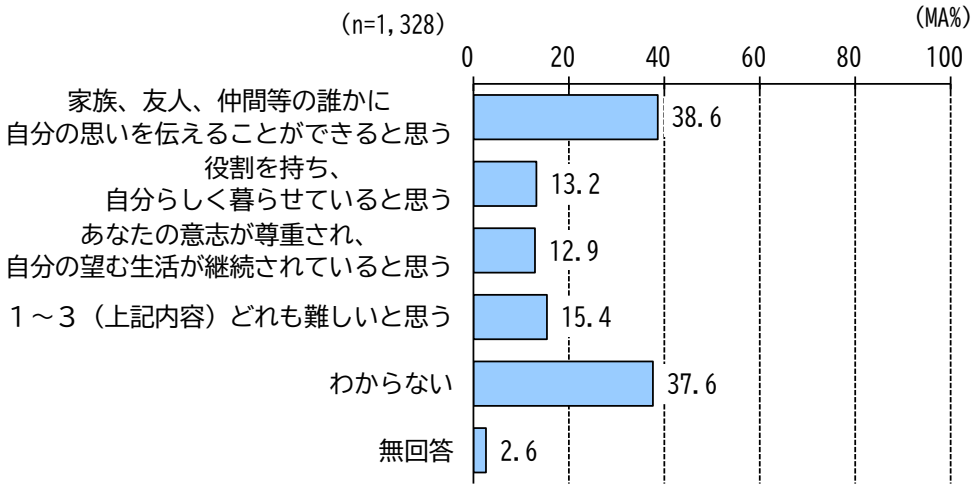
◆問8.2　もしあなたが認知症になった場合、次の日常生活のさまざまな場面において、あてはまるものを選んでください。（いくつでも○）

【全体】
○　「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」が 38.6%で最も多く、次いで「わからない」が 37.6%、「１～３どれも難しいと思う」が 15.4%となっています。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて、「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」が多くなっています。
○　女性 75 歳以上では、「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」が 47.9%となっており、女性 50～64 歳（25.0%）と比較して 22.9 ポイント多くなっています。
○　女性 65～74 歳では、「あなたの意志が尊重され、自分の望む生活が継続されていると思う」が 16.3%となっており、女性 50～64 歳（4.8%）を 11.5 ポイント上回っています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　要支援者では、「役割を持ち、自分らしく暮らせていると思う」が 19.4%となっており、非認定者（12.9%）を 6.5 ポイント上回っています。



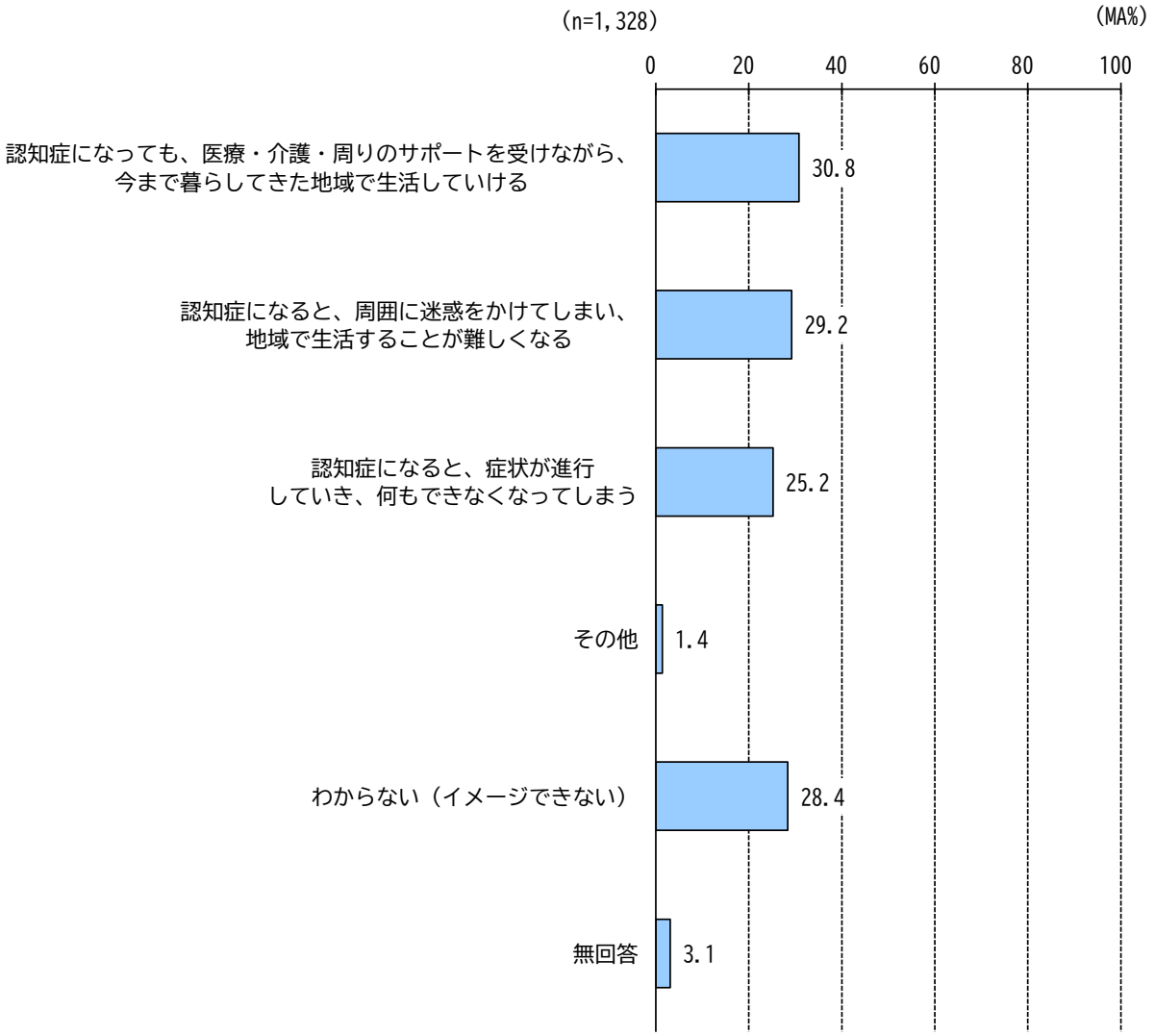
単位：%

		母数(n)	家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う	役割を持ち、自分らしく暮らせていると思う	あなたの意志が尊重され、自分の望む生活が継続されていると思う	１～３（左記内容）どれも難しいと思う	わからない	無回答
全体		1,328	38.6	13.2	12.9	15.4	37.6	2.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	30.2	4.7	8.5	21.7	41.9	1.6
	65～74歳	182	34.1	9.9	11.0	14.8	42.3	1.1
	75歳以上	262	39.3	11.1	13.4	16.4	35.1	2.7
	女性　50～64歳	124	▼ 25.0	10.5	4.8	19.4	△ 48.4	1.6
	65～74歳	257	38.5	15.6	16.3	14.8	38.5	2.7
	75歳以上	374	47.9	18.4	15.2	12.0	31.3	4.0
圏域別	安威川以北圏域	687	37.7	12.1	12.8	16.4	37.7	1.9
	安威川以南圏域	641	39.6	14.4	12.9	14.4	37.4	3.4
認定状況別	非認定者	1,266	38.6	12.9	12.8	15.2	37.9	2.4
	要支援者	62	38.7	19.4	14.5	19.4	30.6	6.5

◆問8.3　あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。(いくつでも○)

【全体】

○　「認知症になっても、医療・介護・周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が30.8%で最も多く、次いで「認知症になると、周囲に迷惑をかけてしまい、地域で生活することが難しくなる」が29.2%、「わからない（イメージできない)」が28.4%となっています。



【性・年齢別】

○　男女ともに年齢が上がるにつれて、「認知症になっても、医療・介護・周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が多くなっています。

○　男性 75 歳以上では、「認知症になると、周囲に迷惑をかけてしまい、地域で生活することが難しくなる」が２割と他の区分と比較して少なくなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「認知症になっても、医療・介護・周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 31.2%となっており、要支援者（22.6%）を 8.6 ポイント上回っています。

○　要支援者では、「わからない（イメージできない）」が 33.9%となっており、非認定者（28.1%）と比較して 5.8 ポイント多くなっています。

【まわりの人とのつながりの度合い別】

○　まったくつながっていない（０点）では、「わからない（イメージできない）」が 50.0%となっており、他の区分と比較して最も多くなっています。

【認知症に対するイメージ（MA）】

単位：%

		母数（n）	認知症になっても、医療・介護・周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	認知症になると、周囲に迷惑をかけてしまい、地域で生活することが難しくなる	認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう	その他	わからない（イメージできない）	無回答
全体		1,328	30.8	29.2	25.2	1.4	28.4	3.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	20.9	38.8	33.3	0.8	23.3	1.6
	65～74歳	182	24.2	37.4	32.4	-	27.5	1.1
	75歳以上	262	29.0	▼ 19.1	22.1	1.1	37.4	3.4
	女性　50～64歳	124	27.4	37.9	25.0	4.8	20.2	0.8
	65～74歳	257	32.7	31.5	24.1	0.8	25.7	4.3
	75歳以上	374	38.5	24.6	21.9	1.6	28.9	4.3
圏域別	安威川以北圏域	687	31.9	32.0	22.7	2.0	27.4	1.7
	安威川以南圏域	641	29.6	26.2	27.9	0.6	29.5	4.5
認定状況別	非認定者	1,266	31.2	29.4	25.2	1.3	28.1	2.9
	要支援者	62	22.6	25.8	25.8	1.6	33.9	6.5
まわりの人とのつながり別	とてもつながっている（10点）	402	39.8	25.4	24.4	1.5	25.9	1.5
	７～９点	404	32.9	36.1	26.5	1.5	22.5	2.0
	４～６点	321	26.8	29.0	25.5	1.2	32.1	1.9
	１～３点	120	▼ 15.8	30.0	27.5	-	38.3	3.3
	まったくつながっていない（０点）	20	▼ 10.0	20.0	25.0	-	△ 50.0	5.0

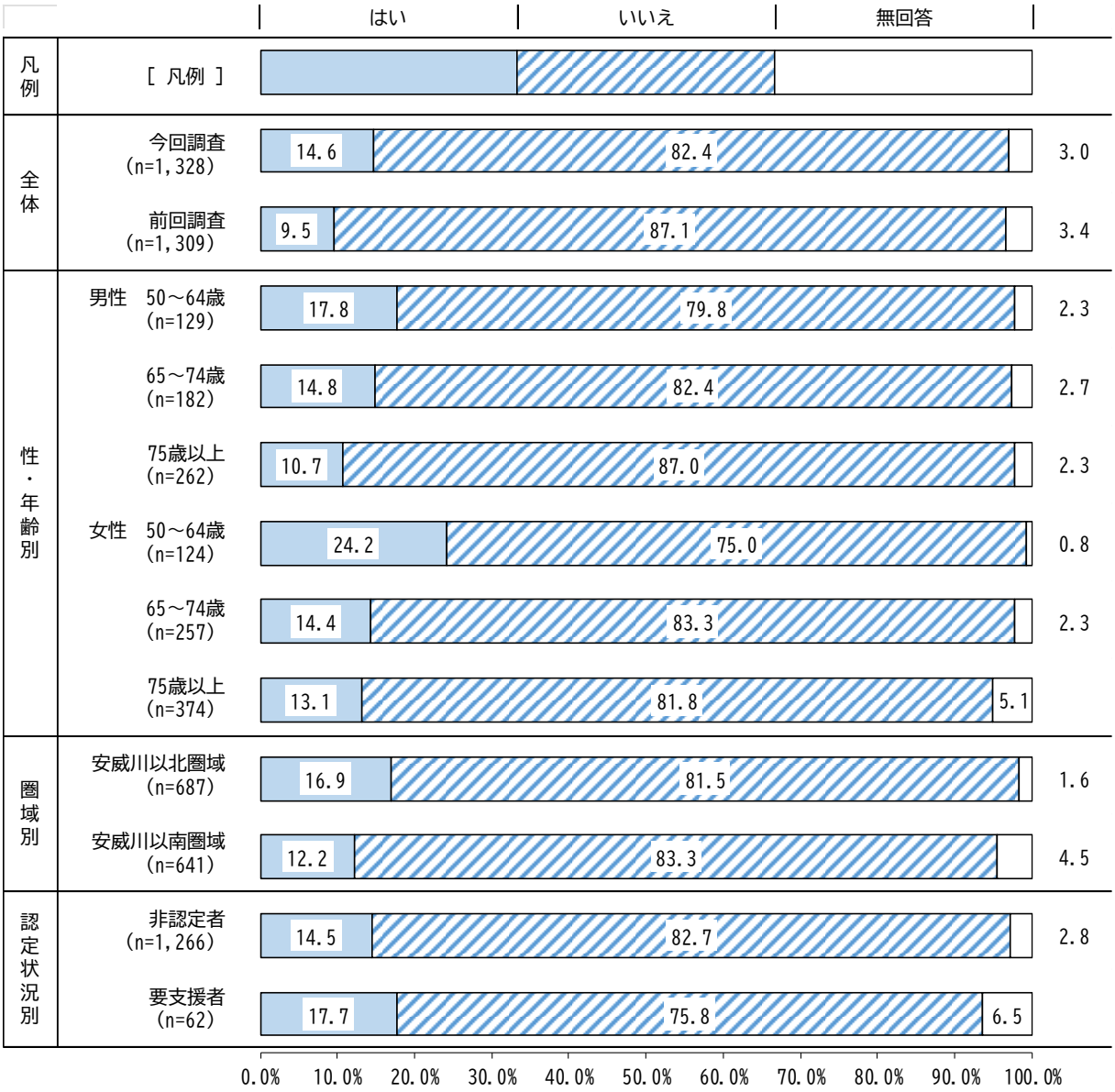
◆問8.4　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 14.6%、「いいえ」が 82.4%となっています。
○　前回調査と比較すると、「はい」は 14.6%と、前回（9.5%）から 5.1 ポイント増加しています。

【性・年齢別】
○　女性 50～64 歳では、「はい」が 24.2%となっており、全体を約 10 ポイント上回り、すべての区分で最も多くなっています。

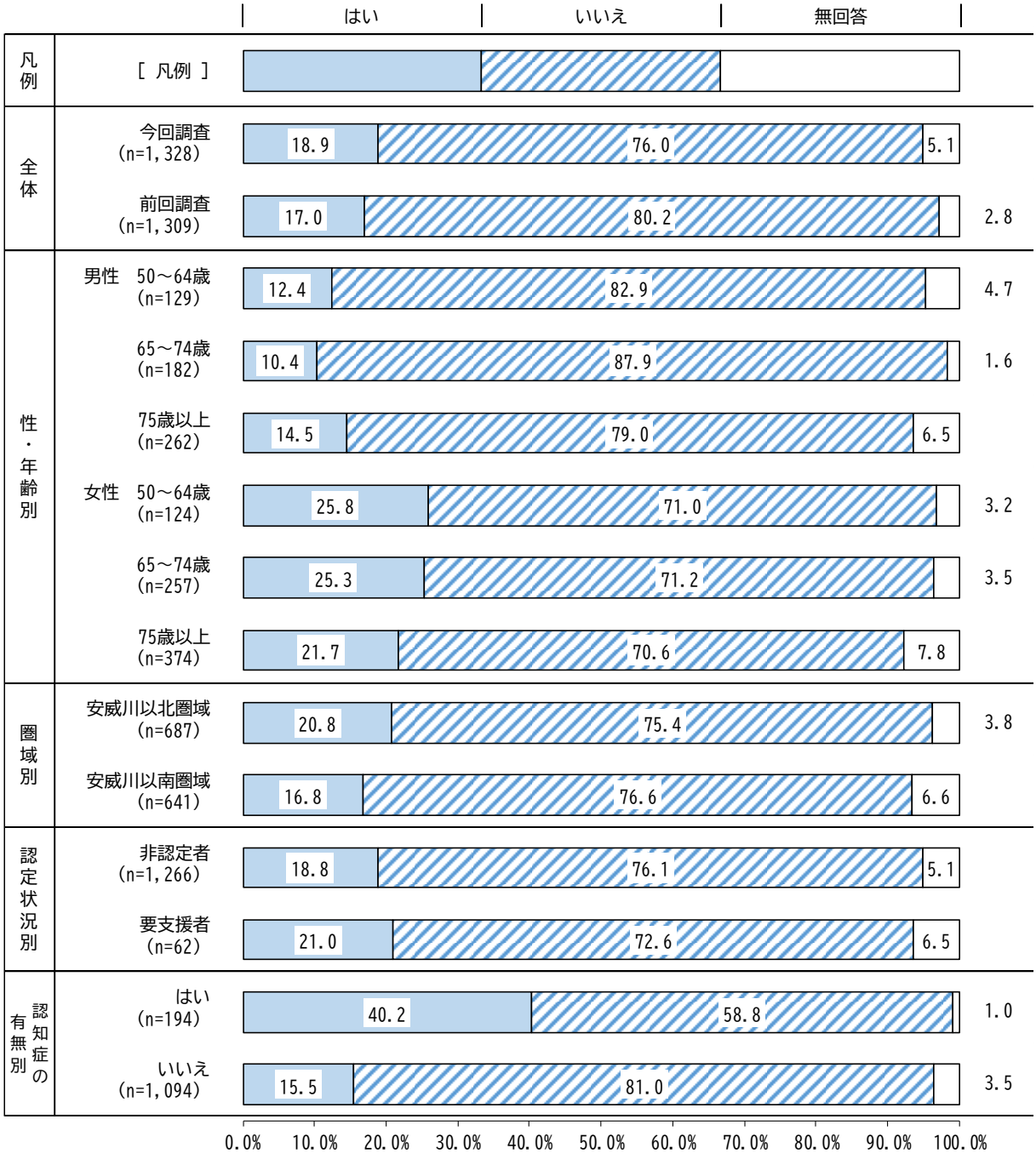
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。



◆問8.5　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 18.9%、「いいえ」が 76.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　すべての区分において「はい」は女性が男性を上回っており、特に女性 50～64 歳では 25.8%と最も多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　認定状況別による大きな差はみられません。
【認知症の有無別】
○　認知症がある人では、「はい」が 40.2%に達しており、認知症がない人（15.5%）を 24.7 ポイント上回っています。



問 8.5 で､｢1｣と答えた方のみ

◆問8.5-1　それはどちらですか。（いくつでも○）

【全体】

○　「地域包括支援センター」が 68.9%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 48.2%、「市役所（高齢介護課）」が 47.0%となっています。

○　前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」「かかりつけ医」は前回から 13 ポイント以上多くなっています。

【性・年齢別】

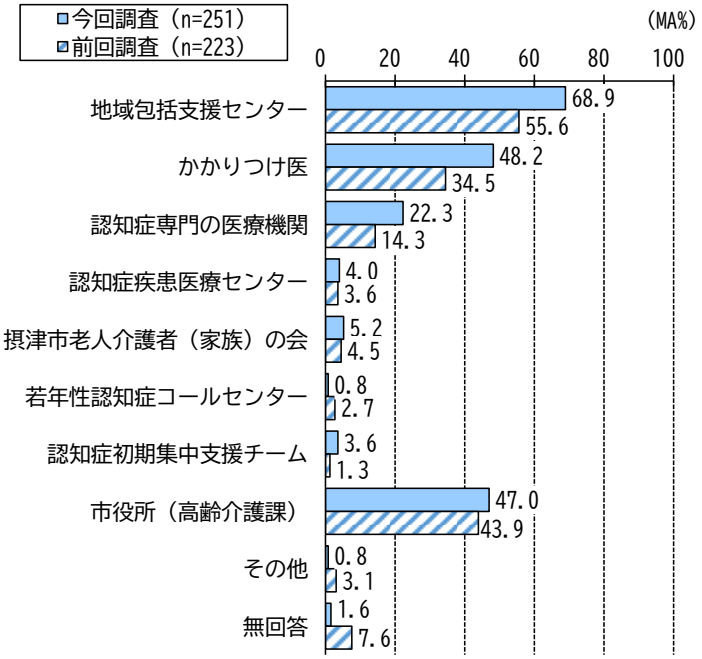
○　75 歳以上では、男女ともに「かかりつけ医」が６割（男性：60.5%、女性：59.3%）となっており、他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では「地域包括支援センター」や「市役所（高齢介護課）」、安威川以南圏域では「かかりつけ医」が多くなっています。

【認定状況別】

○　非認定者では、「地域包括支援センター」が最も多く、次いで「かかりつけ医」となっています。



単位：%

		母数（n）	地域包括支援センター	かかりつけ医	認知症専門の医療機関	認知症疾患医療センター	摂津市老人介護者（家族）の会	若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	市役所（高齢介護課）	その他	無回答
全体		251	68.9	48.2	22.3	4.0	5.2	0.8	3.6	47.0	0.8	1.6
性・年齢別	男性　50～64歳	16	△ 81.3	▼ 18.8	12.5	-	-	-	-	▼ 25.0	-	-
	65～74歳	19	▼ 57.9	47.4	26.3	10.5	5.3	-	-	52.6	-	-
	75歳以上	38	▼ 50.0	△ 60.5	21.1	2.6	5.3	-	2.6	▼ 36.8	-	2.6
	女性　50～64歳	32	71.9	▼ 31.3	25.0	6.3	3.1	3.1	6.3	△ 65.6	3.1	-
	65～74歳	65	73.8	43.1	16.9	4.6	3.1	-	6.2	46.2	1.5	1.5
	75歳以上	81	72.8	△ 59.3	27.2	2.5	8.6	1.2	2.5	48.1	-	2.5
圏域別	安威川以北圏域	143	73.4	42.7	23.1	4.2	4.9	1.4	4.2	51.7	0.7	-
	安威川以南圏域	108	63.0	55.6	21.3	3.7	5.6	-	2.8	40.7	0.9	3.7
認定状況別	非認定者	238	68.5	47.5	22.3	4.2	5.0	0.8	3.8	46.6	0.8	1.7
	要支援者	13	76.9	△ 61.5	23.1	-	7.7	-	-	53.8	-	-

◆問8.6　認知症予防の方法として重要なものは次のうちどれだと思いますか。（いくつでも○）

【全体】

○　「家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる」が 75.8%で最も多く、次いで「運動をする」が 58.5%、「定期健診・検診を受ける」が 41.0%となっています。

○　前回調査と比較すると、「家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる」「運動をする」は前回から６ポイント以上少なくなっています。

【性・年齢別】

○　女性 75 歳以上では、「家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる」が 82.4%に達しており、男性 75 歳以上（61.1%）と比較して 21.3 ポイント多くなっています。

○　男性 50～64 歳では、「仕事をする」が 48.8%となっており、男性 75 歳以上（22.5%）の２倍以上の割合となっています。

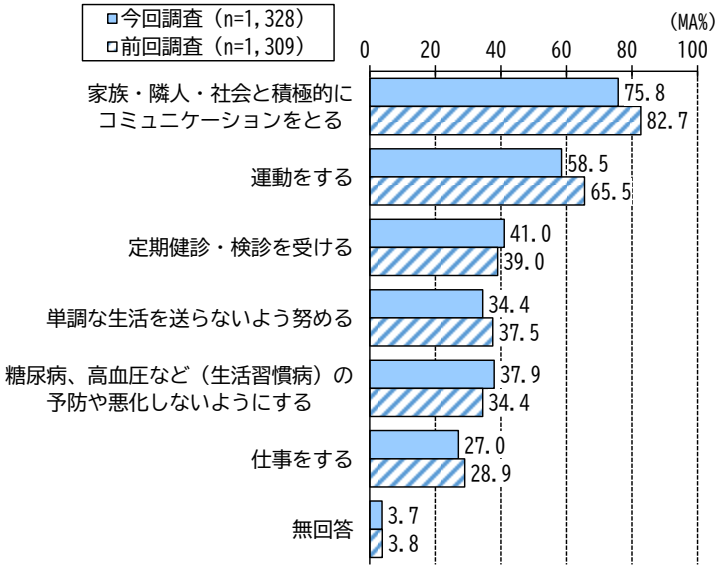
○　すべての区分において「運動をする」は女性が男性を上回っており、女性 50～64 歳は 68.5%と最も多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「運動をする」が 64.0%となっており、安威川以南圏域（52.6%）と比較して 11.4 ポイント多くなっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「仕事をする」が 14.5%と非認定者（27.6%）と比較して少なくなっています。

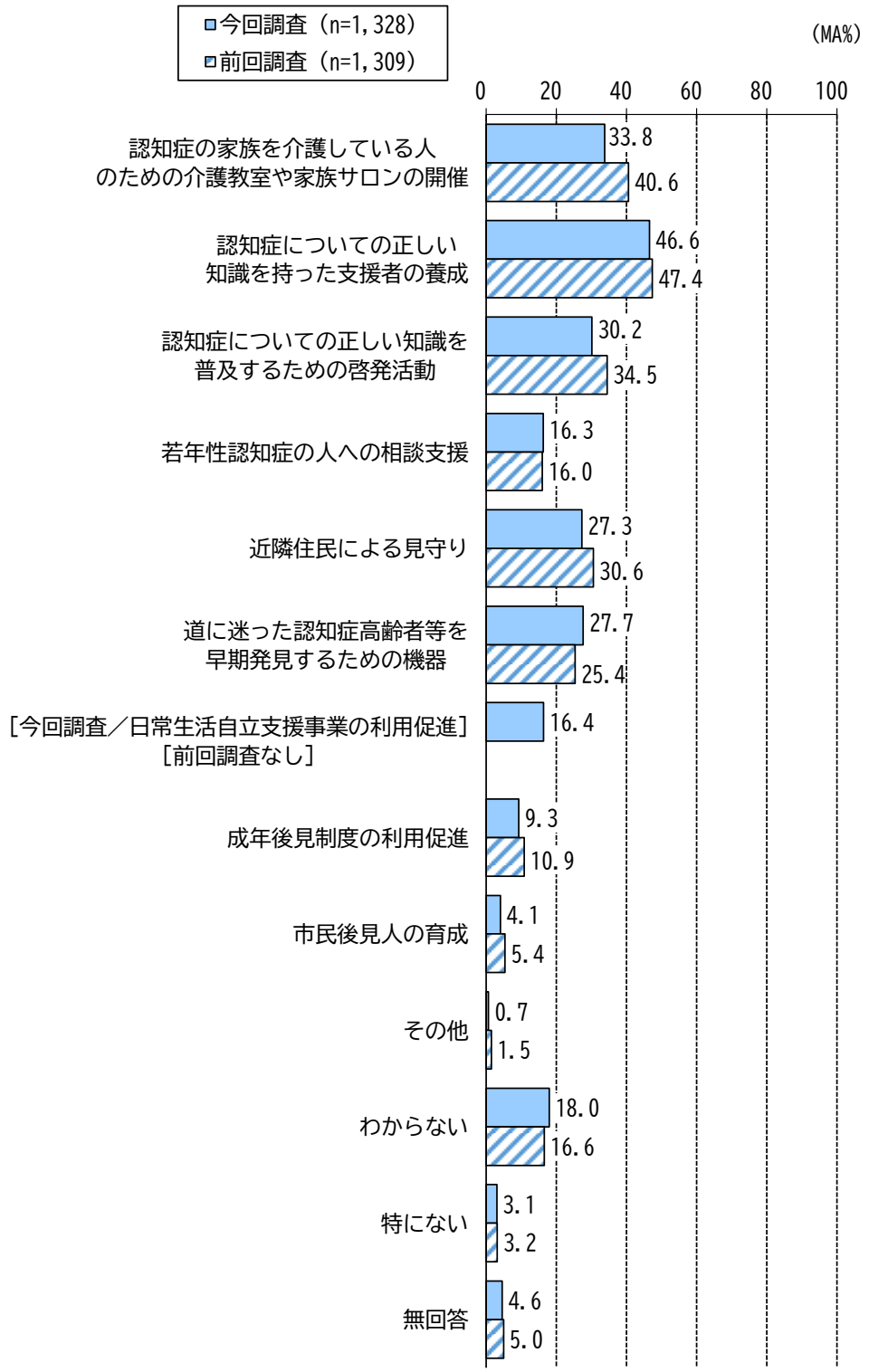


単位：%

		母数（n）	家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる	運動をする	定期健診・検診を受ける	単調な生活を送らないよう努める	糖尿病、高血圧など（生活習慣病）の予防や悪化しないようにする	仕事をする	無回答
全体		1,328	75.8	58.5	41.0	34.4	37.9	27.0	3.7
性・年齢別	男性　50～64歳	129	70.5	57.4	40.3	27.9	28.7	△ 48.8	2.3
	65～74歳	182	67.6	53.8	37.9	35.7	40.7	△ 37.9	3.3
	75歳以上	262	▼ 61.1	50.8	40.8	30.5	38.9	22.5	4.2
	女性　50～64歳	124	△ 91.9	△ 68.5	44.4	40.3	40.3	△ 44.4	0.8
	65～74歳	257	82.1	66.1	40.5	36.6	32.3	27.2	2.7
	75歳以上	374	82.4	58.0	42.0	35.3	42.0	▼ 11.5	5.6
圏域別	安威川以北圏域	687	78.5	64.0	42.1	37.1	39.0	30.3	2.3
	安威川以南圏域	641	73.0	52.6	39.8	31.5	36.7	23.6	5.1
認定状況別	非認定者	1,266	75.8	58.8	41.1	34.2	38.2	27.6	3.6
	要支援者	62	75.8	53.2	38.7	38.7	32.3	▼ 14.5	6.5

◆問8.7　認知症の人への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が46.6%で最も多く、次いで「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」が 33.8%、「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が30.2%となっています。
○　前回調査と比較すると、「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」は33.8%と、前回（40.6%）から6.8ポイント少なくなっています。



【性・年齢別】
○　すべての区分で、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」（49.1%）が安威川以南圏域（44.0%）を 5.1 ポイント上回っています。
【認定状況別】
○　要支援者では、「近隣住民による見守り」が 32.3%となっており、非認定者（27.1%）と比較して 5.2 ポイント多くなっています。
○　非認定者では、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が 47.3%となっており、要支援者（32.3%）を 15.0 ポイント上回っています。

【認知症の人への支援で必要なこと（MA）】

単位：%

		母数（n）	認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催	認知症についての正しい知識を持った支援者の養成	認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動	若年性認知症の人への相談支援	近隣住民による見守り	道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器	日常生活自立支援事業の利用促進
全体		1,328	33.8	46.6	30.2	16.3	27.3	27.7	16.4
性・年齢別	男性　50～64歳	129	33.3	47.3	29.5	24.0	17.8	21.7	12.4
	65～74歳	182	32.4	48.9	34.6	13.2	18.1	26.9	15.4
	75歳以上	262	▼ 23.3	42.7	26.0	10.3	23.3	27.5	9.5
	女性　50～64歳	124	41.9	47.6	31.5	△ 29.0	33.1	31.5	25.8
	65～74歳	257	36.6	54.5	31.5	17.5	29.2	30.4	23.0
	75歳以上	374	37.4	42.2	29.9	14.4	34.8	27.3	15.5
圏域別	安威川以北圏域	687	34.8	49.1	32.5	17.3	26.3	25.5	18.3
	安威川以南圏域	641	32.8	44.0	27.8	15.3	28.4	30.1	14.4
認定状況別	非認定者	1,266	34.0	47.3	30.2	16.4	27.1	27.7	16.4
	要支援者	62	30.6	▼ 32.3	30.6	16.1	32.3	27.4	17.7

単位：%

		母数（n）	成年後見制度の利用促進	市民後見人の育成	その他	わからない	特にない	無回答
全体		1,328	9.3	4.1	0.7	18.0	3.1	4.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	8.5	3.9	0.8	15.5	2.3	1.6
	65～74歳	182	6.0	2.2	-	19.2	6.0	2.2
	75歳以上	262	5.0	5.0	1.1	24.0	4.6	5.3
	女性　50～64歳	124	17.7	8.1	1.6	17.7	0.8	0.8
	65～74歳	257	12.5	3.9	0.4	10.9	2.7	6.2
	75歳以上	374	9.4	3.5	0.5	19.0	1.9	6.4
圏域別	安威川以北圏域	687	10.9	4.4	1.0	17.2	3.2	2.8
	安威川以南圏域	641	7.6	3.9	0.3	18.9	3.0	6.6
認定状況別	非認定者	1,266	9.3	3.9	0.6	17.9	3.1	4.5
	要支援者	62	9.7	8.1	3.2	21.0	3.2	6.5

◆問8.8　「せっつはつらつ脳トレ体操」をご存知ですか。（１つだけ○）

【全体】

○　「知らない」が 87.2%で最も多く、次いで「知っているが、活用していない」が 8.0%、「定期的に活用している」が 1.6%となっています。

【性・年齢別】

○　すべての区分で「知らない」が８割以上となっており、特に男性 50～64 歳で 98.4%と最も多くなっていますが、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

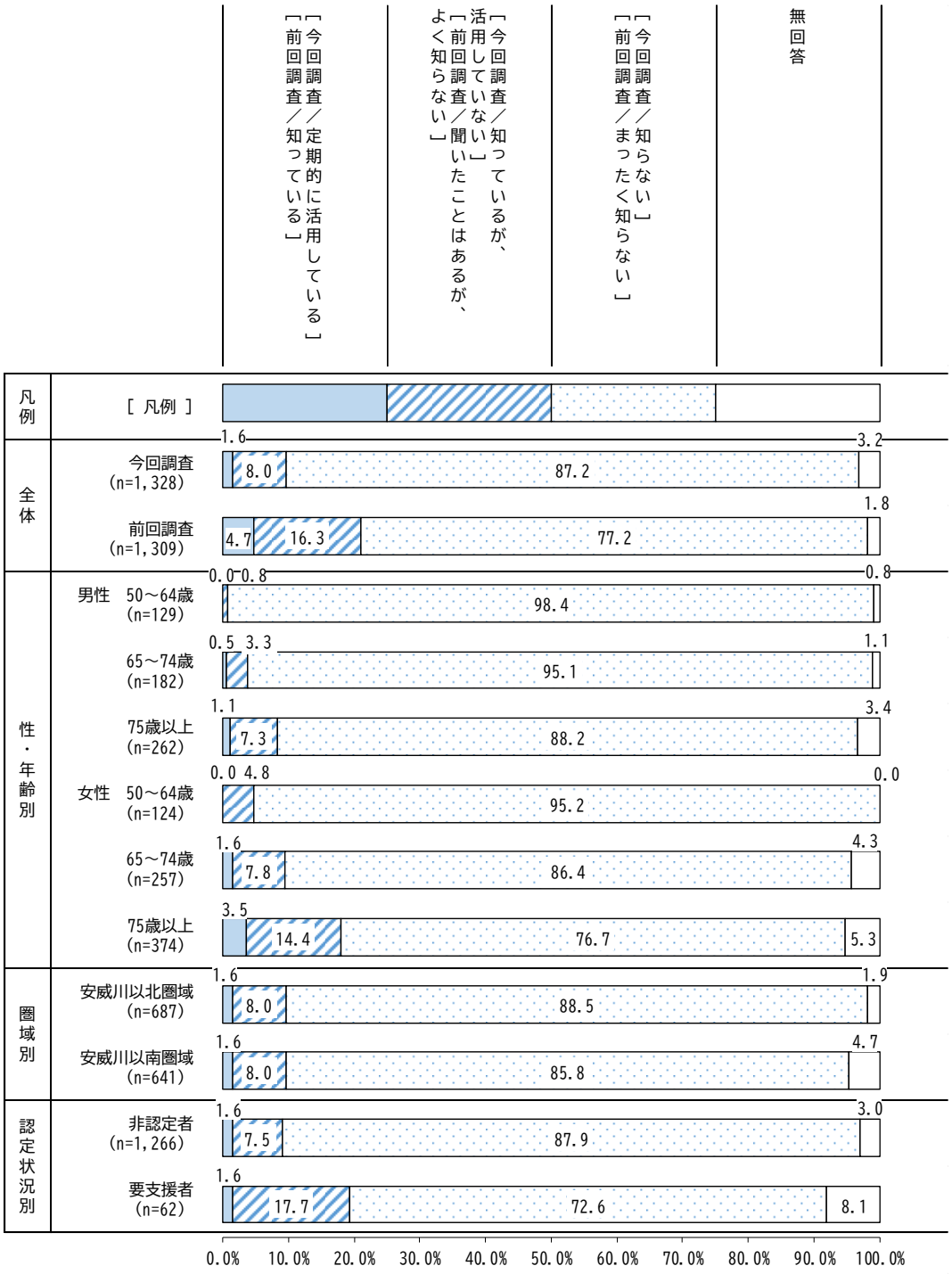
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

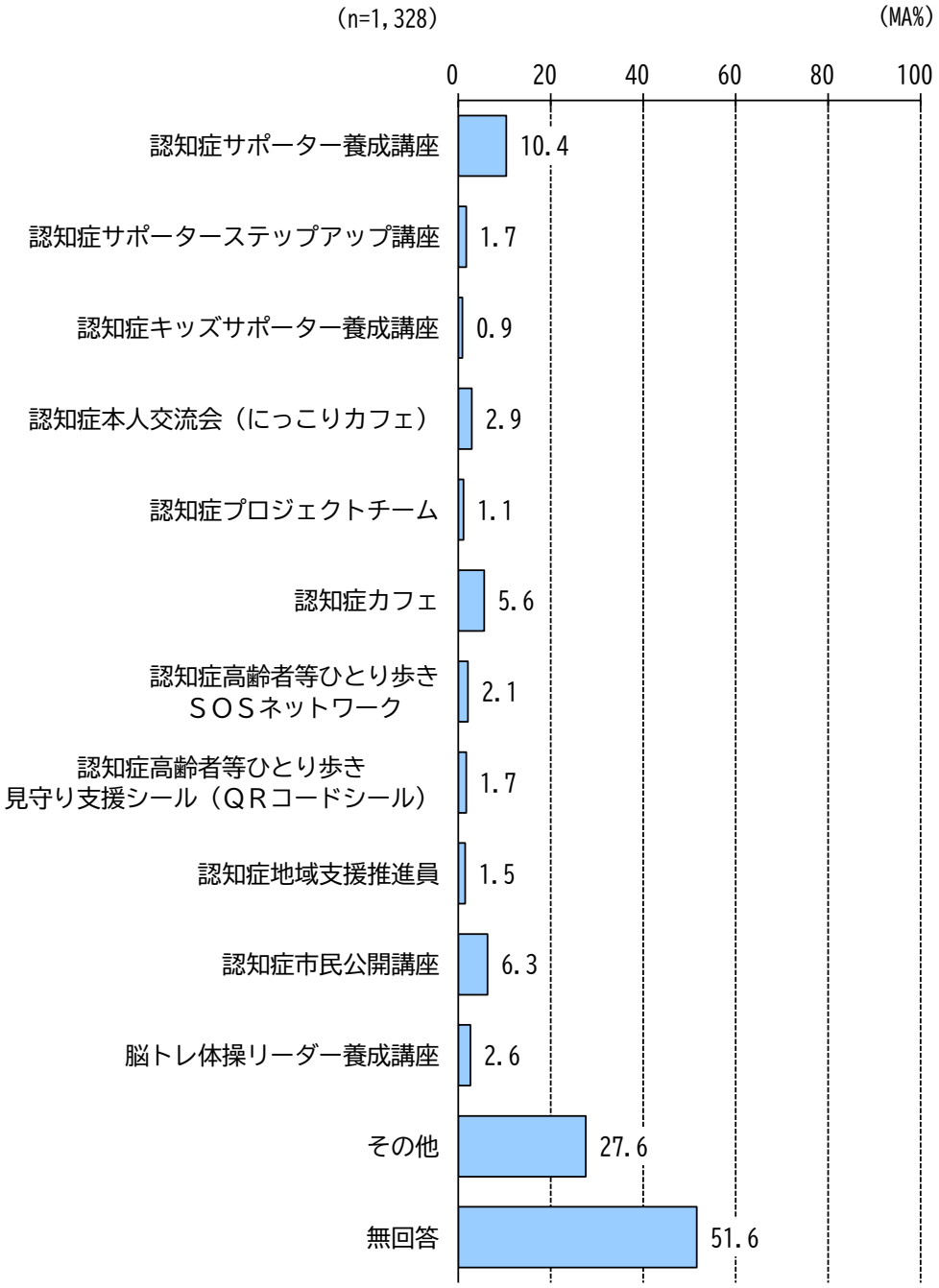
○　要支援者では、「知っているが、活用していない」が 17.7%となっており、非認定者（7.5%）と比較して 10.2 ポイント多くなっています。

○　非認定者では、「知らない」が 87.9%に達しており、要支援者（72.6%）を 15.3 ポイント上回っています。



◆問8.9　摂津市の認知症に関する取組をご存知ですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「その他」が 27.6%で最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」が 10.4%、「認知症市民公開講座」が 6.3%となっています。



【性・年齢別】
○　すべての区分で、「その他」が最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」となっています。
○　男性では、「認知症サポーター養成講座」が２番目に多いものの１割未満となっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【認定状況別】
○　要支援者では、「認知症カフェ」が 14.5%となっており、非認定者（5.1%）と比較して 9.4 ポイント多くなっています。

【摂津市の認知症に関する取組の認知（MA)】

単位：%

		母数(n)	認知症サポーター養成講座	認知症サポーターステップアップ講座	認知症キッズサポーター養成講座	認知症本人交流会（にっこりカフェ）	認知症プロジェクトチーム	認知症カフェ	認知症高齢者等ひとり歩きSOSネットワーク
全体		1,328	10.4	1.7	0.9	2.9	1.1	5.6	2.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	6.2	0.8	0.8	1.6	1.6	4.7	1.6
	65～74歳	182	6.0	0.5	1.1	2.2	1.6	3.3	0.5
	75歳以上	262	7.3	1.1	0.8	1.1	1.5	3.8	0.8
	女性　50～64歳	124	16.1	0.8	1.6	0.8	0.8	4.8	2.4
	65～74歳	257	11.3	1.6	0.8	4.7	－	7.0	1.9
	75歳以上	374	13.6	3.2	0.8	4.3	1.3	7.5	4.0
圏域別	安威川以北圏域	687	10.8	1.9	1.0	3.9	0.9	6.7	2.6
	安威川以南圏域	641	10.0	1.4	0.8	1.7	1.4	4.4	1.6
認定状況別	非認定者	1,266	10.3	1.7	0.9	2.9	1.2	5.1	2.1
	要支援者	62	11.3	－	－	1.6	－	14.5	1.6

単位：%

		母数(n)	認知症高齢者等ひとり歩き見守り支援シール（QRコードシール）	認知症地域支援推進員	認知症市民公開講座	脳トレ体操リーダー養成講座	その他	無回答
全体		1,328	1.7	1.5	6.3	2.6	27.6	51.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	2.3	3.1	0.8	0.8	△ 41.9	42.6
	65～74歳	182	1.6	0.5	5.5	1.6	34.6	50.0
	75歳以上	262	1.5	1.1	5.3	0.8	32.4	51.5
	女性　50～64歳	124	1.6	0.8	4.8	1.6	29.0	48.4
	65～74歳	257	1.2	1.6	7.8	3.1	23.7	52.5
	75歳以上	374	2.1	1.9	8.8	4.8	17.9	55.9
圏域別	安威川以北圏域	687	2.2	1.2	7.4	2.8	26.3	52.5
	安威川以南圏域	641	1.2	1.9	5.1	2.3	28.9	50.5
認定状況別	非認定者	1,266	1.7	1.6	6.5	2.6	28.1	51.2
	要支援者	62	3.2	－	3.2	1.6	▼ 16.1	59.7

9. 人生会議について

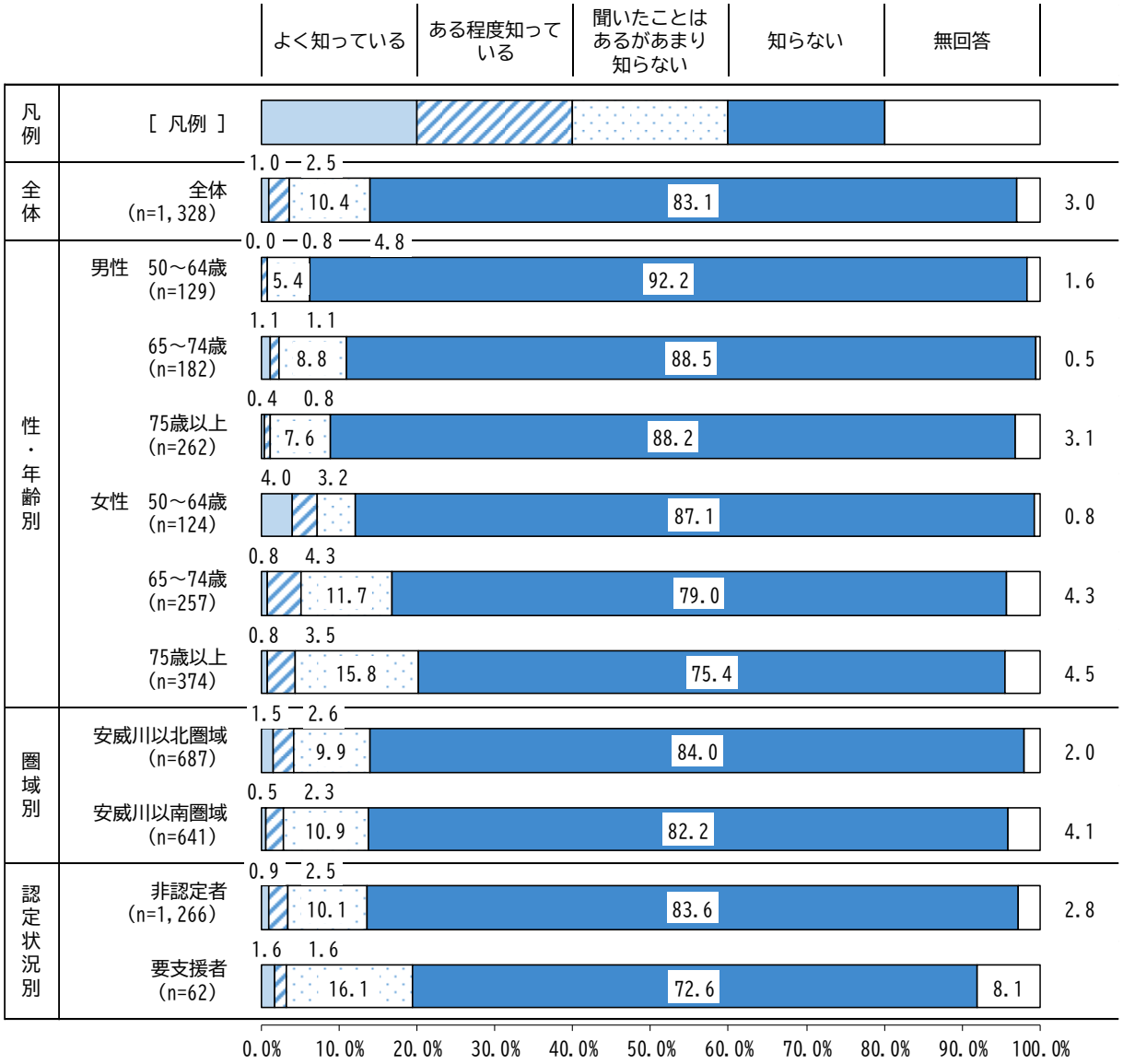
◆問9.1　あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）」のことを知っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「知らない」が 83.1％で最も多く、次いで「聞いたことはあるがあまり知らない」が 10.4％、「ある程度知っている」が 2.5％となっています。

【性・年齢別】
○　すべての区分で「知らない」が７割を超えており、特に男性 50～64 歳で 92.2％と最も多くなっていますが、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、「知らない」が 83.6％に達しており、要支援者（72.6％）を 11.0 ポイント上回っています。
○　要支援者では、「聞いたことはあるがあまり知らない」が 16.1％となっており、非認定者（10.1％）と比較して 6.0 ポイント多くなっています。



◆問9.2　あなたは医療や介護が必要になったときの生活について考えることがありますか。（１つだけ○）

【全体】

○　「まだ考えていない」が 49.4%で最も多く、次いで「考えているが記録はしていない」が 41.0%、「話し合っていないが、エンディングノート（または人生会議に関するノート）をつけている」が4.2%となっています。

【性・年齢別】

○　男性では年齢が上がるにつれて「まだ考えていない」の割合が少なくなる傾向にありますが、75 歳以上でも 56.9%と半数を超えています。

○　女性 75 歳以上では、「話し合っていないが、エンディングノート（または人生会議に関するノート）をつけている」が 8.0%となっており、男性 75 歳以上（3.1%）の２倍以上の割合となっています。また、「考えているが記録はしていない」は、女性 75 歳以上で 51.1%と最も多くなっており、男性 75 歳以上（31.3%）と比較して 19.8 ポイント多くなっています。

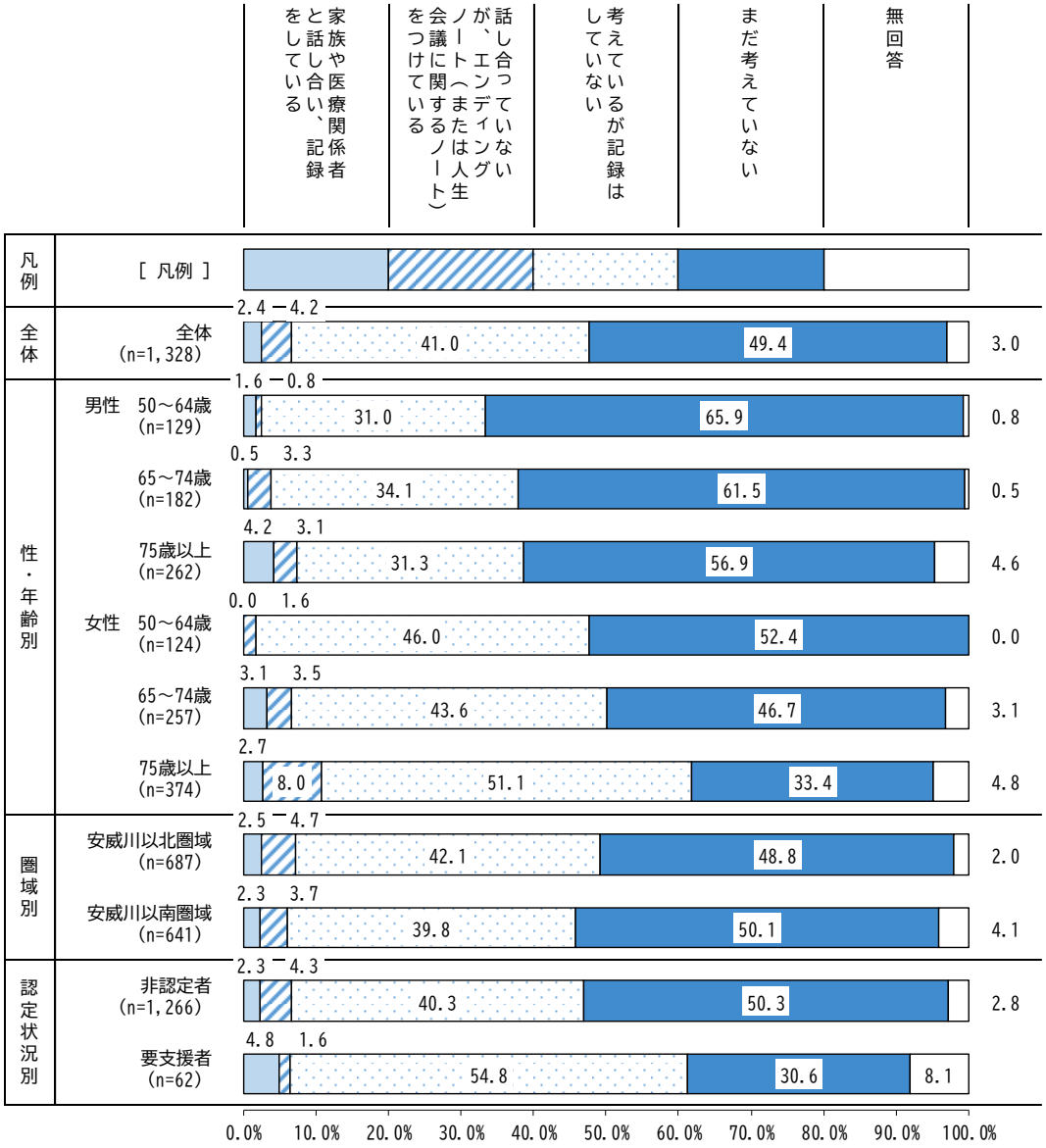
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「まだ考えていない」が 50.3%となっており、要支援者（30.6%）と比較して 19.7 ポイント多くなっています。

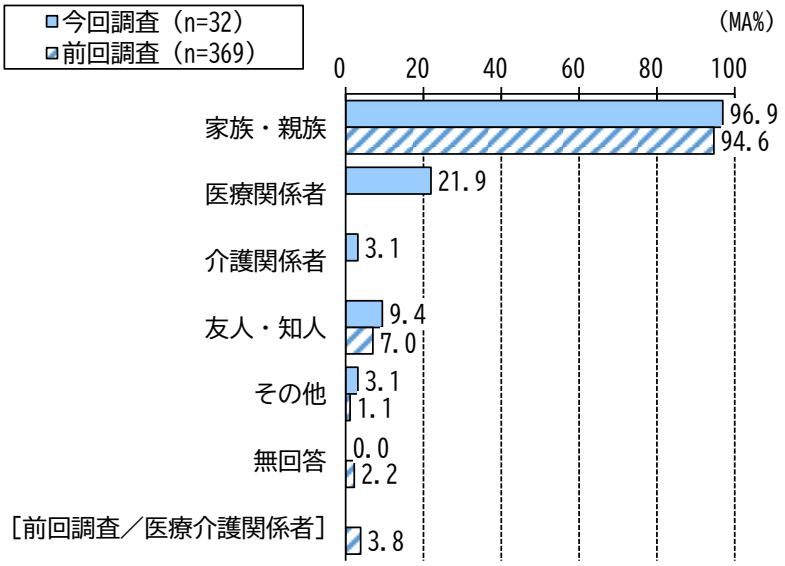
○　要支援者では、「考えているが記録はしていない」が 54.8%に達しており、非認定者（40.3%）を 14.5 ポイント上回っています。



問 9.2 で､｢1｣と答えた方のみ

◆問9.2-1　それはどなたと話し合いましたか。（いくつでも○）

【全体】
○　「家族・親族」が 96.9%で最も多く、次いで「医療関係者」が 21.9%、「友人・知人」が 9.4%となっています。



単位：%

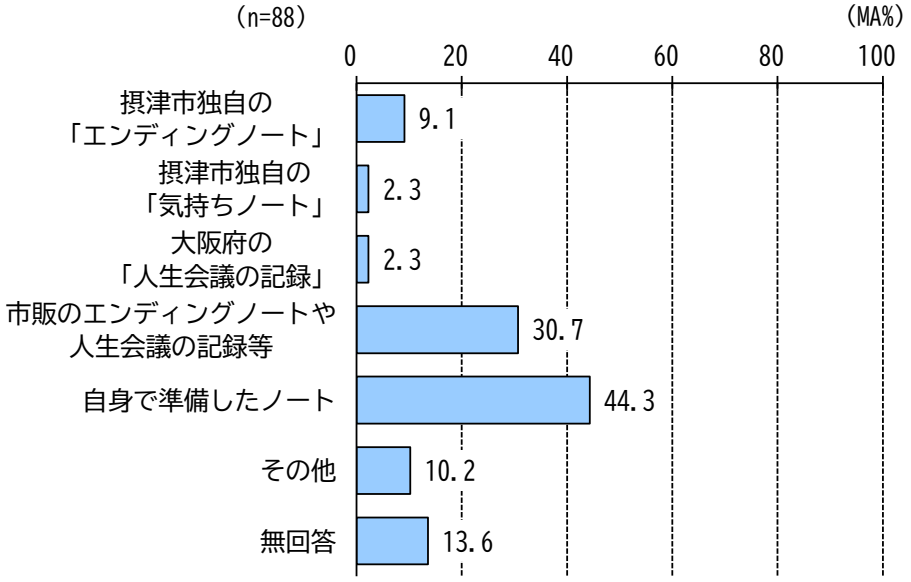
		母数（n）	家族・親族	医療関係者	介護関係者	友人・知人	その他	無回答
全体		32	96.9	21.9	3.1	9.4	3.1	-
性・年齢別	男性　50～64歳	2	100.0	-	-	-	-	-
	65～74歳	1	100.0	-	-	-	-	-
	75歳以上	11	90.9	△ 45.5	9.1	18.2	9.1	-
	女性　50～64歳	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	8	100.0	25.0	-	12.5	-	-
	75歳以上	10	100.0	-	-	-	-	-
圏域別	安威川以北圏域	17	94.1	17.6	-	-	-	-
	安威川以南圏域	15	100.0	26.7	6.7	△ 20.0	6.7	-
認定状況別	非認定者	29	96.6	17.2	3.4	10.3	3.4	-
	要支援者	3	100.0	△ 66.7	-	-	-	-

※回答数が少ないため（n<50)、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

問 9.2 で、「1」または「2」と答えた方のみ

◆問9.2-2　どのような記録ツールを使用していますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「自身で準備したノート」が 44.3%で最も多く、次いで「市販のエンディングノートや人生会議の記録等」が 30.7%、「その他」が 10.2%となっています。



単位：%

		母数（n）	摂津市独自の「エンディングノート」	摂津市独自の「気持ちノート」	大阪府の「人生会議の記録」	市販のエンディングノートや人生会議の記録等	自身で準備したノート	その他	無回答
全体		88	9.1	2.3	2.3	30.7	44.3	10.2	13.6
性・年齢別	男性　50～64歳	3	△ 33.3	－	－	33.3	▼ 33.3	－	－
	65～74歳	7	－	－	－	28.6	△ 85.7	－	－
	75歳以上	19	5.3	10.5	5.3	31.6	42.1	10.5	21.1
	女性　50～64歳	2	－	－	－	－	50.0	△ 50.0	－
	65～74歳	17	11.8	－	5.9	35.3	▼ 29.4	11.8	23.5
	75歳以上	40	10.0	－	－	30.0	45.0	10.0	10.0
圏域別	安威川以北圏域	49	4.1	2.0	2.0	28.6	51.0	14.3	8.2
	安威川以南圏域	39	15.4	2.6	2.6	33.3	35.9	5.1	20.5
認定状況別	非認定者	84	9.5	2.4	2.4	32.1	44.0	9.5	13.1
	要支援者	4	－	－	－	－	50.0	△ 25.0	25.0

※回答数が少ないため（n<50）、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

◆問9.3　病気やケガによって回復が難しい状態となり、いわゆる「人生の最終段階」を迎える時、あなたはどこで過ごしたいですか。（１つだけ○）

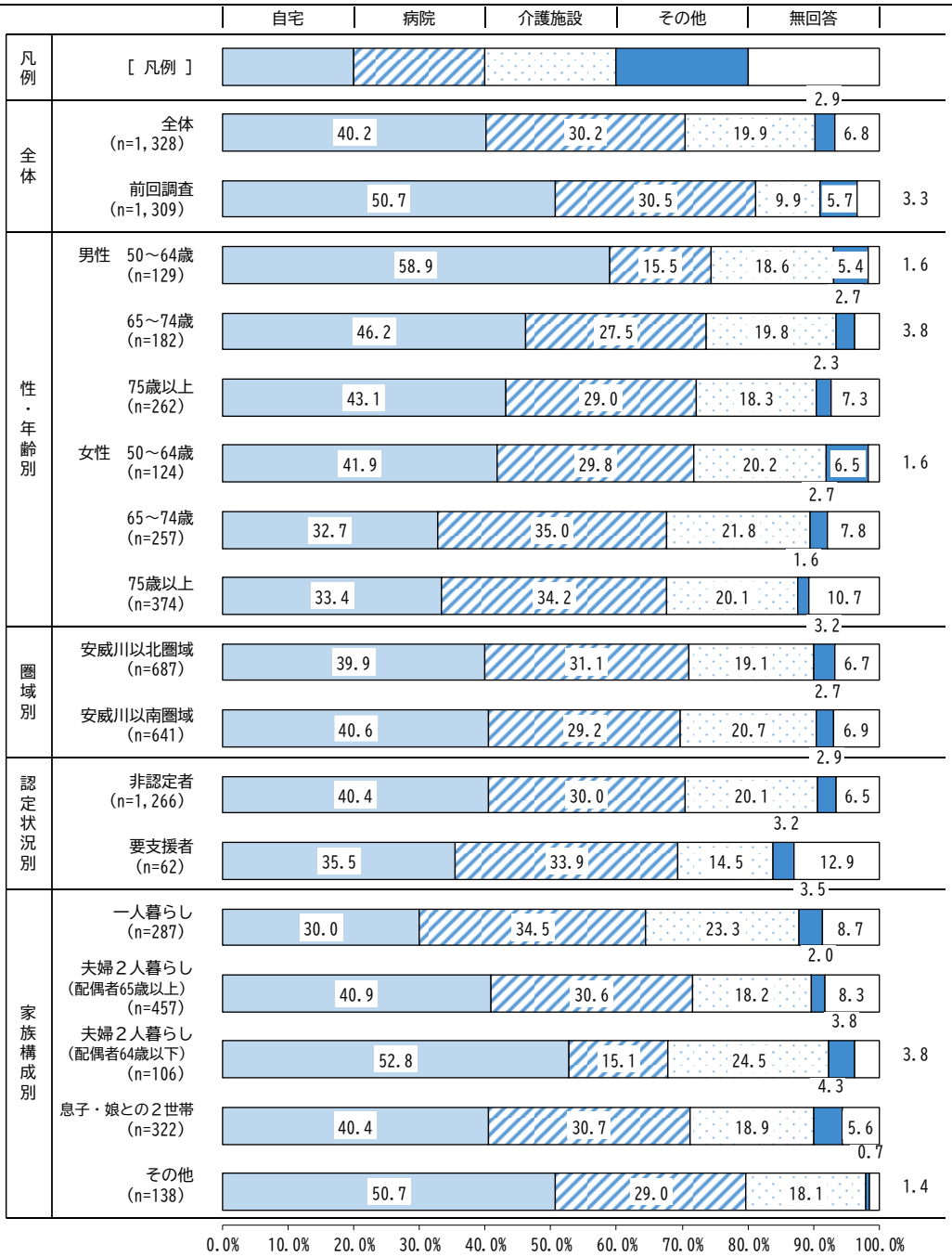
【全体】
○　「自宅」が40.2%で最も多く、次いで「病院」が30.2%、「介護施設」が19.9%となっています。
○　前回調査と比較すると、「自宅」は40.2%と、前回（50.7%）から10.5ポイント低下し、「介護施設」は19.9%と、前回（9.9%）から10.0ポイント多くなっています。

【性・年齢別】
○　男性は、すべての区分で「自宅」を希望する割合が４割を超えており、女性と比較して多い傾向にあります。また、女性65歳以上では、「病院」が３割を超えています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、「介護施設」が20.1%と要支援者（14.5%）を5.6ポイント上回っています。

【家族構成別】
○　一人暮らしでは、「自宅」が30.0%となっており、他の家族構成区分と比較して最も少なくなっています。



※前回の設問は「あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。」です。

問 9.3で、「2」または「3」と答えた方のみ

◆問9.3-1　病院あるいは施設を選んだ主な理由をお教えください。（１つだけ○）

【全体】

○　「家族に負担がかかる」が 58.3%で最も多く、次いで「急に悪くなった時の対応に困る」が 13.2%、「介護してくれる家族がいない」が 10.1%となっています。

【性・年齢別】

○　すべての区分で「家族に負担がかかる」が最も多くなっています。

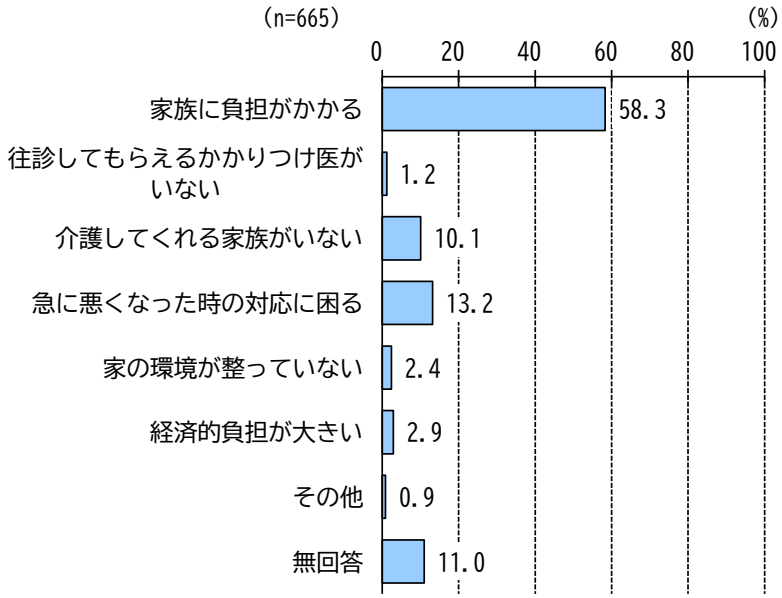
○　男性 65～74 歳では、「介護してくれる家族がいない」が 16.3%となっており、女性 65～74 歳（7.5%）の２倍以上の割合となっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「家族に負担がかかる」が 59.4%で最も多く、次いで「急に悪くなった時の対応に困る」（12.9%）となっています。



単位：%

		母数（n）	家族に負担がかかる	往診してもらえるかかりつけ医がいない	介護してくれる家族がいない	急に悪くなった時の対応に困る	家の環境が整っていない	経済的負担が大きい	その他	無回答
全体		665	58.3	1.2	10.1	13.2	2.4	2.9	0.9	11.0
性・年齢別	男性　50～64歳	44	50.0	4.5	18.2	11.4	2.3	4.5	－	9.1
	65～74歳	86	58.1	－	16.3	11.6	1.2	2.3	1.2	9.3
	75歳以上	124	49.2	3.2	8.1	18.5	4.0	3.2	2.4	11.3
	女性　50～64歳	62	66.1	－	8.1	9.7	1.6	4.8	1.6	8.1
	65～74歳	146	63.7	－	7.5	8.9	2.7	2.1	－	15.1
	75歳以上	203	59.6	1.0	9.4	15.3	2.0	2.5	0.5	9.9
圏域別	安威川以北圏域	345	56.8	1.2	9.9	13.0	2.9	2.6	1.2	12.5
	安威川以南圏域	320	60.0	1.3	10.3	13.4	1.9	3.1	0.6	9.4
認定状況別	非認定者	635	59.4	1.3	9.8	12.9	2.4	2.7	0.9	10.7
	要支援者	30	▼ 36.7	－	16.7	20.0	3.3	6.7	－	16.7

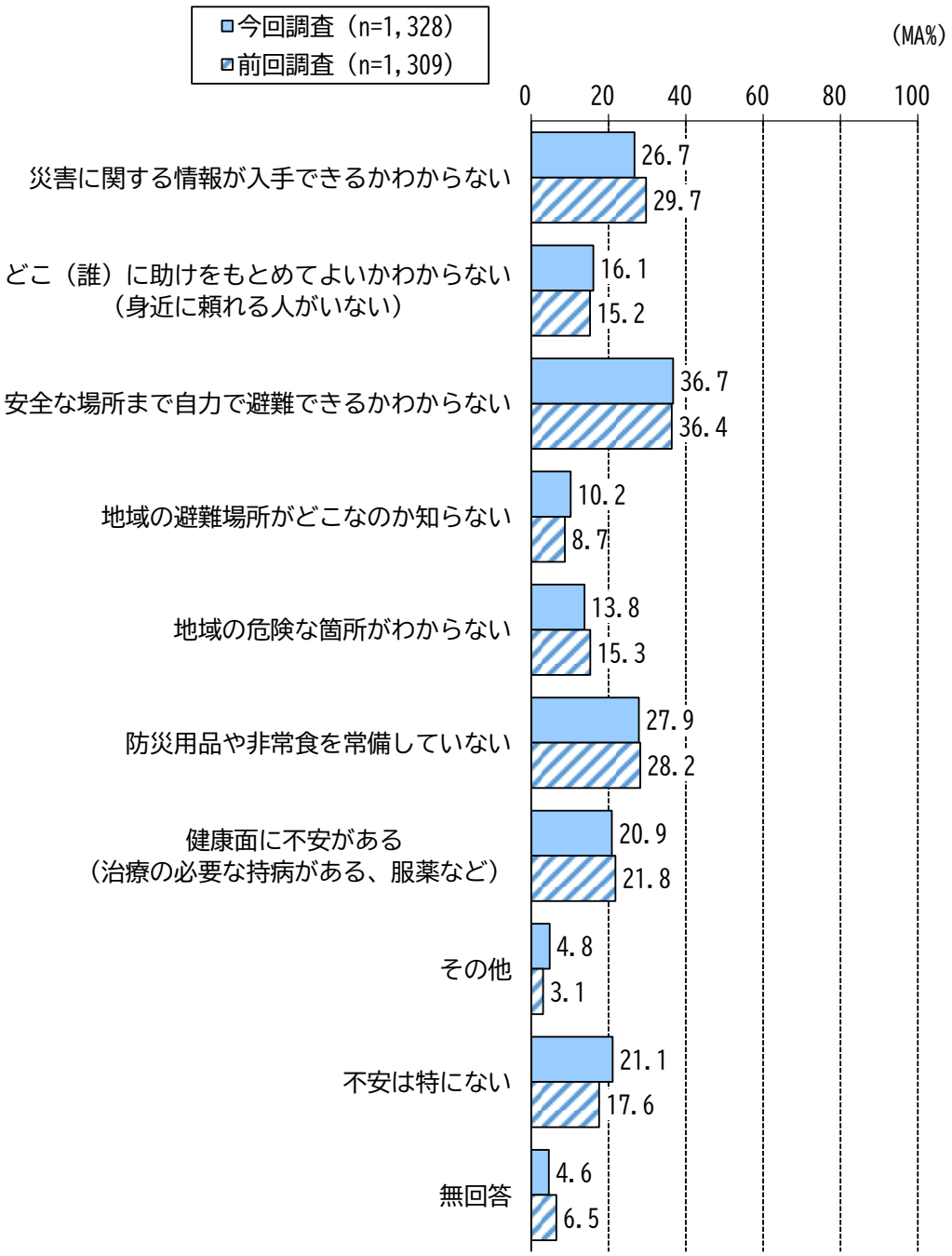
10. 災害時の対応について

◆問10.1　地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。（いくつでも○）

【全体】

○　「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 36.7%で最も多く、次いで「防災用品や非常食を常備していない」が 27.9%、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が 26.7%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　男女とも年齢が上がるにつれ「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」の割合が多くなり、女性 75 歳以上では、50.0%に達しています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 41.8%となっており、安威川以北圏域（31.9%）と比較して 9.9 ポイント多くなっています。
【認定状況別】
○　要支援者では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 64.5%に達しており、非認定者（35.3%）を 29.2 ポイント上回っています。また、「健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」も 38.7%となっており、非認定者（20.1%）と比較して 18.6 ポイント多くなっています。

【地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うこと（MA）】

単位：%

		母数（n）	災害に関する情報が入手できるかわからない	どこ（誰）に助けをもとめてよいかわからない（身近に頼れる人がいない）	安全な場所まで自力で避難できるかわからない	地域の避難場所がどこなのか知らない	地域の危険な箇所がわからない	防災用品や非常食を常備していない	健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）	その他	不安は特にない	無回答
全体		1,328	26.7	16.1	36.7	10.2	13.8	27.9	20.9	4.8	21.1	4.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	24.0	18.6	▼ 19.4	11.6	18.6	33.3	12.4	6.2	26.4	0.8
	65～74歳	182	28.0	20.3	▼ 24.2	13.2	14.8	35.7	16.5	3.3	25.3	2.2
	75歳以上	262	24.0	17.6	35.1	13.4	13.0	32.4	22.9	3.1	25.2	4.2
	女性　50～64歳	124	31.5	15.3	35.5	7.3	18.5	25.0	16.9	8.1	17.7	0.8
	65～74歳	257	29.2	12.8	37.0	7.8	15.2	21.8	19.8	6.6	18.7	5.1
	75歳以上	374	25.7	14.7	△ 50.0	8.6	9.6	24.1	26.7	4.0	17.1	8.3
圏域別	安威川以北圏域	687	24.6	14.4	31.9	11.8	12.8	25.6	20.4	5.4	24.5	3.8
	安威川以南圏域	641	29.0	17.9	41.8	8.4	14.8	30.3	21.5	4.2	17.5	5.5
認定状況別	非認定者	1,266	26.8	15.7	35.3	10.0	14.1	28.0	20.1	4.7	21.7	4.5
	要支援者	62	25.8	24.2	△ 64.5	12.9	6.5	24.2	△ 38.7	6.5	▼ 8.1	6.5

◆問10.2　災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。（いくつでも○）

【全体】

○　「家族・親族」が 76.8%で最も多く、次いで「近所の人」が 23.1%、「友人・知人」が 16.0%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男女ともに、「近所の人」を頼る割合は年齢が上がるにつれて多くなる傾向にあり、女性 75 歳以上では 31.0%と全体を大きく上回っています。

○　男女ともすべての区分において、「家族・親族」が７割以上と多くなっています。

【圏域別】

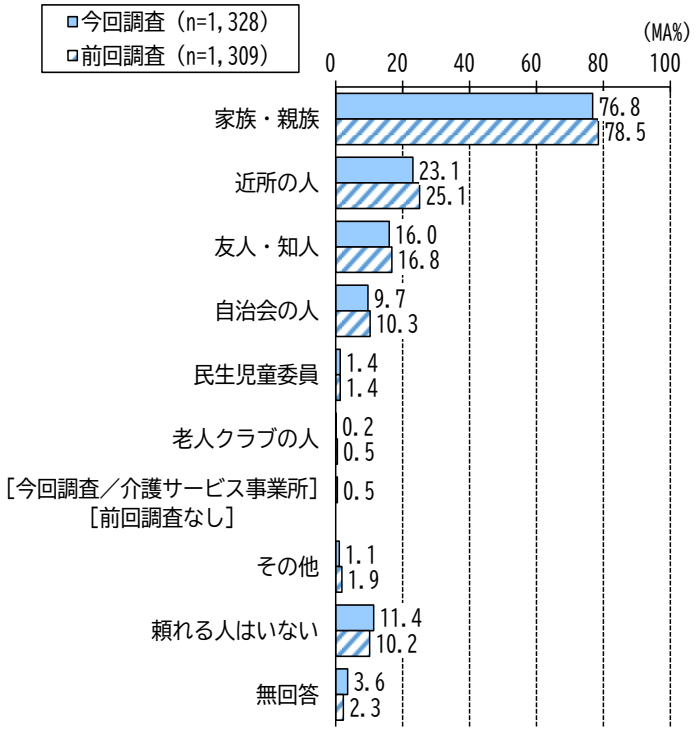
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】

○　非認定者では、「家族・親族」が 77.6%に達しており、要支援者（59.7%）を 17.9 ポイント上回っています。

【家族構成別】

○　息子・娘との２世帯では、「家族・親族」が 90.1%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。



単位：%

		母数（n）	家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	老人クラブの人	介護サービス事業所	その他	頼れる人はいない	無回答
全体		1,328	76.8	23.1	16.0	9.7	1.4	0.2	0.5	1.1	11.4	3.6
性・年齢別	男性　50～64歳	129	74.4	14.0	19.4	3.9	－	－	0.8	2.3	18.6	0.8
	65～74歳	182	73.1	17.6	11.0	7.1	0.5	－	－	1.6	20.3	2.2
	75歳以上	262	73.7	24.8	11.5	11.8	1.1	0.4	0.8	1.1	12.6	4.2
	女性　50～64歳	124	80.6	20.2	△ 27.4	6.5	－	－	0.8	0.8	10.5	3.2
	65～74歳	257	82.9	19.8	18.3	8.6	0.8	0.8	－	－	6.2	4.3
	75歳以上	374	76.2	31.0	15.2	13.4	3.5	－	0.8	1.1	7.8	4.5
圏域別	安威川以北圏域	687	77.9	21.4	16.7	8.6	1.9	0.4	0.4	1.2	10.0	3.6
	安威川以南圏域	641	75.7	25.0	15.3	10.9	0.9	－	0.6	0.9	12.9	3.6
認定状況別	非認定者	1,266	77.6	22.9	16.4	9.4	1.3	0.2	0.4	1.1	11.2	3.5
	要支援者	62	▼ 59.7	27.4	8.1	16.1	3.2	－	3.2	－	16.1	6.5
家族構成別	一人暮らし	287	▼ 49.8	20.9	20.6	8.7	4.2	－	1.4	1.0	△ 25.8	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	457	81.2	26.9	12.9	12.9	1.1	0.2	0.2	1.1	9.6	4.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	106	85.8	18.9	20.8	11.3	－	0.9	－	1.9	6.6	0.9
	息子・娘との２世帯	322	△ 90.1	24.5	14.6	7.5	0.6	0.3	0.6	1.2	3.4	2.5
	その他	138	82.6	15.2	17.4	5.8	－	－	－	－	9.4	3.6

◆問10.3　将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか。（１つだけ○）

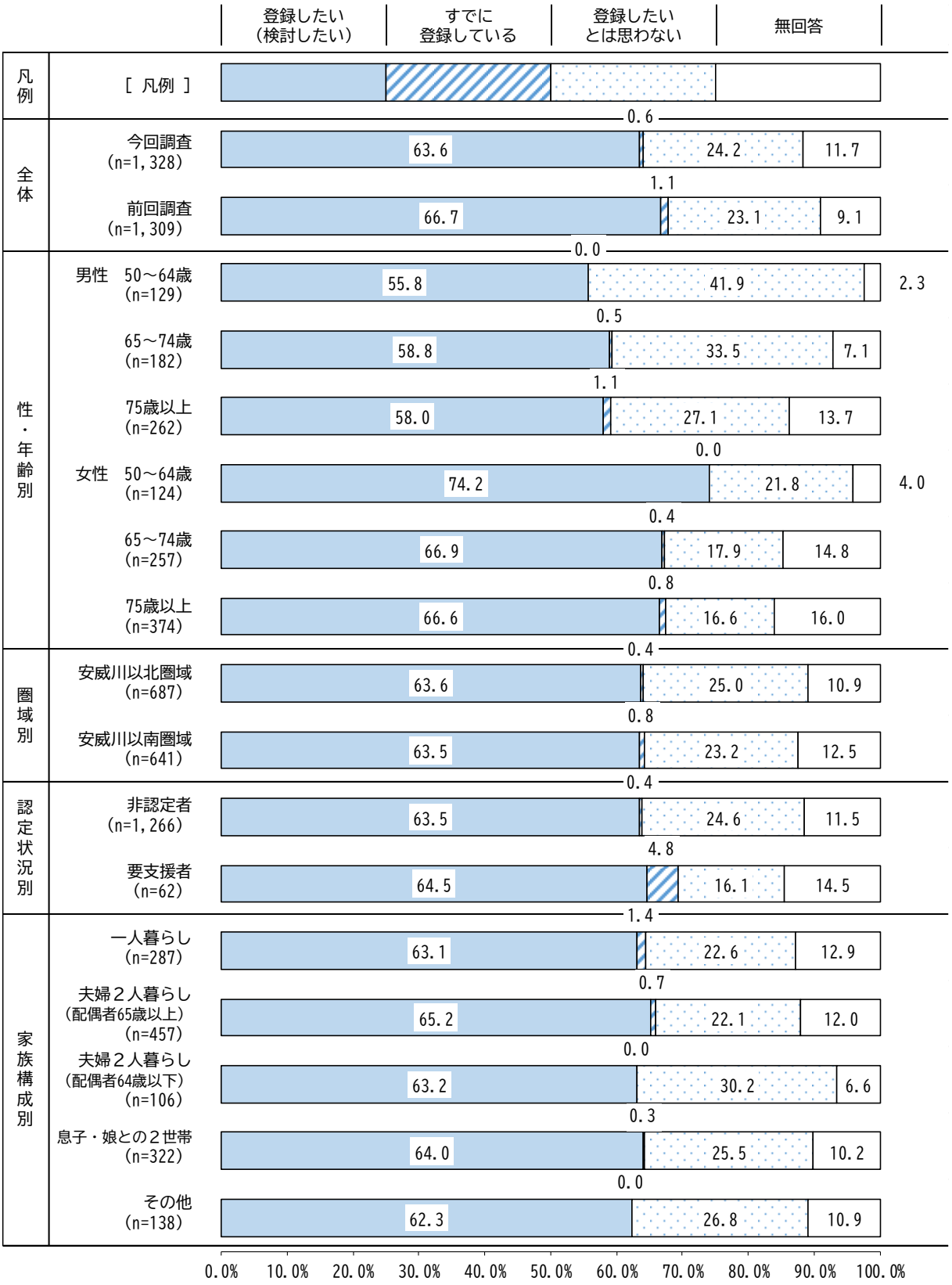
【全体】
○　「登録したい（検討したい）」が 63.6%で最も多く、次いで「登録したいとは思わない」が 24.2%、「すでに登録している」が 0.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　女性 50～64 歳では、「登録したい（検討したい）」が 74.2%と最も多く、男性 50～64 歳（55.8%）と比較して 18.4 ポイント多くなっています。
○　男性では、すべての区分で「登録したいとは思わない」が約３割から４割に達しており、女性（約２割前後）と比較して多い傾向にあります。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、「登録したいとは思わない」が 24.6%となっており、要支援者（16.1%）を 8.5 ポイント上回っています。

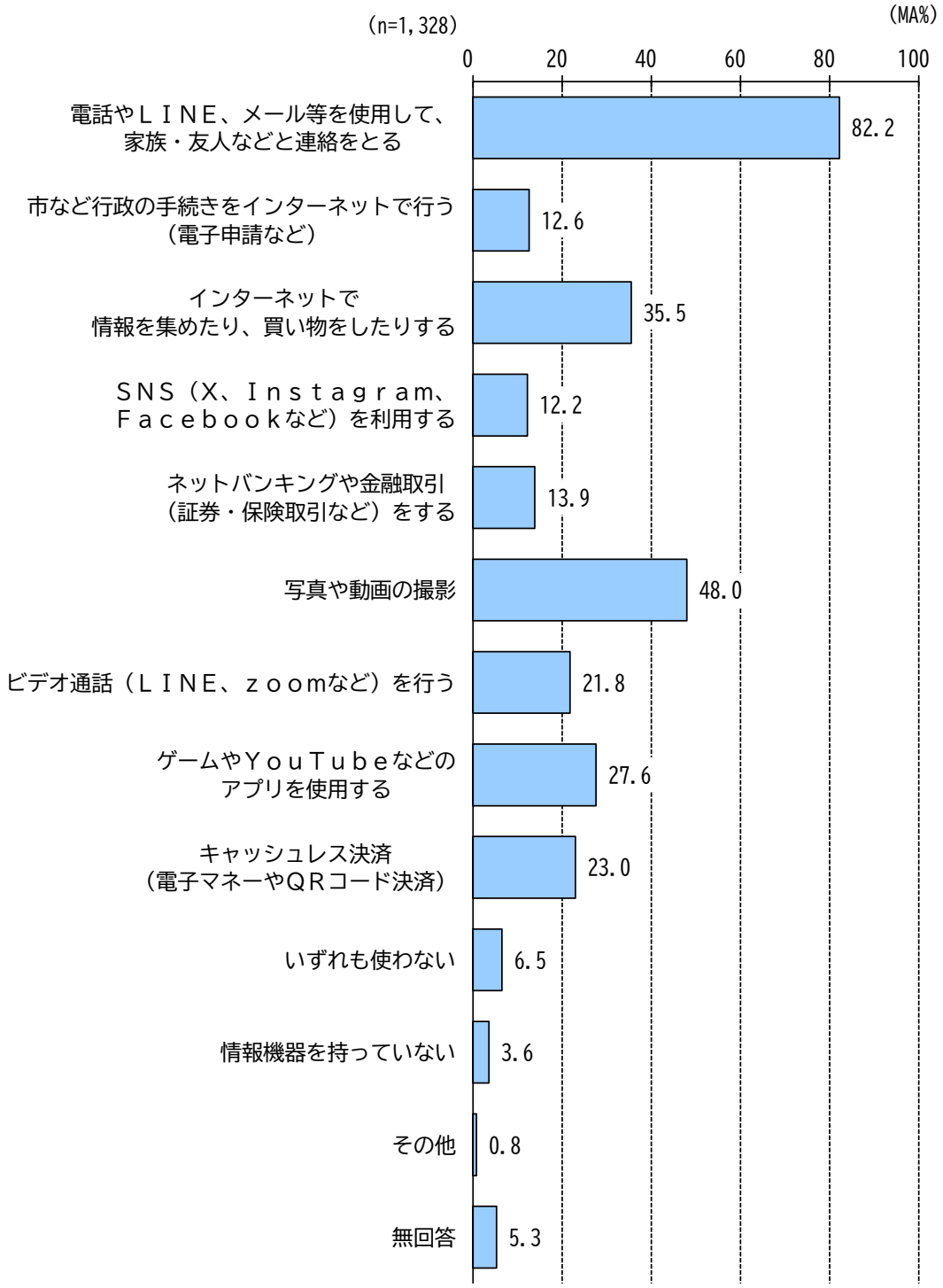
【家族構成別】
○　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「登録したいとは思わない」が 30.2%となっており、他の家族構成区分と比較して最も多くなっています。


登録したい（検討したい）
すでに登録している
登録したいとは思わない
無回答
凡例
[凡例]
全体
今回調査 (n=1,328)
63.6
24.2
11.7
1.1
前回調査 (n=1,309)
66.7
23.1
9.1
0.0
性・年齢別
男性 50～64歳 (n=129)
55.8
41.9
2.3
0.5
65～74歳 (n=182)
58.8
33.5
7.1
1.1
75歳以上 (n=262)
58.0
27.1
13.7
0.0
女性 50～64歳 (n=124)
74.2
21.8
4.0
0.4
65～74歳 (n=257)
66.9
17.9
14.8
0.8
75歳以上 (n=374)
66.6
16.6
16.0
0.4
圏域別
安威川以北圏域 (n=687)
63.6
25.0
10.9
0.8
安威川以南圏域 (n=641)
63.5
23.2
12.5
0.4
認定状況別
非認定者 (n=1,266)
63.5
24.6
11.5
4.8
要支援者 (n=62)
64.5
16.1
14.5
1.4
家族構成別
一人暮らし (n=287)
63.1
22.6
12.9
0.7
夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上） (n=457)
65.2
22.1
12.0
0.0
夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下） (n=106)
63.2
30.2
6.6
0.3
息子・娘との２世帯 (n=322)
64.0
25.5
10.2
0.0
その他 (n=138)
62.3
26.8
10.9
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%

11. ICTの活用について

◆問11.1　あなたは、情報機器（スマートフォン、タブレット、パソコン）を使用し、どのようなことをされていますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「電話やＬＩＮＥ、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる」が 82.2%で最も多く、次いで「写真や動画の撮影」が 48.0%、「インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする」が 35.5%となっています。



【性・年齢別】

○　男女ともに 50～64 歳では、「電話やＬＩＮＥ、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる」が９割を超えていますが、75 歳以上では男性 68.3%、女性 75.9%となっており、年齢による差がみられます。

○　男女ともに 50～64 歳では、「インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする」が７割を超えていますが、75 歳以上では男女ともに１割台から２割弱と少なくなっています。

○　男女ともに 75 歳以上では、「市など行政の手続きをインターネットで行う（電子申請など)」において、他の年代と比較して少なくなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする」が 44.1%となっており、安威川以南圏域（26.2%）と比較して 17.9 ポイント多くなっています。また、「写真や動画の撮影」(52.4%）や「電話やＬＩＮＥ、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる」(85.0%）などの項目においても、安威川以北圏域が安威川以南圏域を大きく上回っています。

【認定状況別】

○　非認定者では、「電話やＬＩＮＥ、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる」が 82.6%、「写真や動画の撮影」が 48.9%となっています。

○　要支援者では、「電話やＬＩＮＥ、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる」は７割以上と多くなっていますが、「インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする」などは、非認定者と比較して少なくなっています。

【情報機器（スマートフォン、タブレット、パソコン）の使用方法（MA）】

単位：％

		母数（n）	電話やLINE、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる	市など行政の手続きをインターネットで行う（電子申請など）	インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする	SNS（X（旧Twitter）、Instagram、Facebookなど）を利用する	ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）をする	写真や動画の撮影	ビデオ通話（LINE、zoomなど）を行う
全体		1,328	82.2	12.6	35.5	12.2	13.9	48.0	21.8
性・年齢別	男性　50～64歳	129	△ 93.0	△ 24.0	△ 72.1	△ 30.2	△ 45.0	△ 58.9	27.1
	65～74歳	182	85.7	△ 23.6	△ 50.0	15.4	△ 24.2	54.4	28.6
	75歳以上	262	▼ 68.3	5.3	▼ 19.1	3.1	6.1	▼ 28.6	▼ 8.0
	女性　50～64歳	124	△ 94.4	△ 27.4	△ 71.0	△ 41.1	△ 29.0	△ 75.8	△ 43.5
	65～74歳	257	91.8	14.0	42.8	10.9	9.3	△ 62.6	30.7
	75歳以上	374	75.9	▼ 2.4	▼ 10.4	▼ 2.1	▼ 1.6	▼ 35.6	13.1
圏域別	安威川以北圏域	687	85.0	16.4	44.1	14.3	17.8	52.4	26.2
	安威川以南圏域	641	79.3	8.4	26.2	10.0	9.7	43.4	17.2
認定状況別	非認定者	1,266	82.6	13.2	36.7	12.6	14.4	48.9	22.5
	要支援者	62	74.2	－	▼ 11.3	3.2	▼ 3.2	▼ 30.6	▼ 8.1

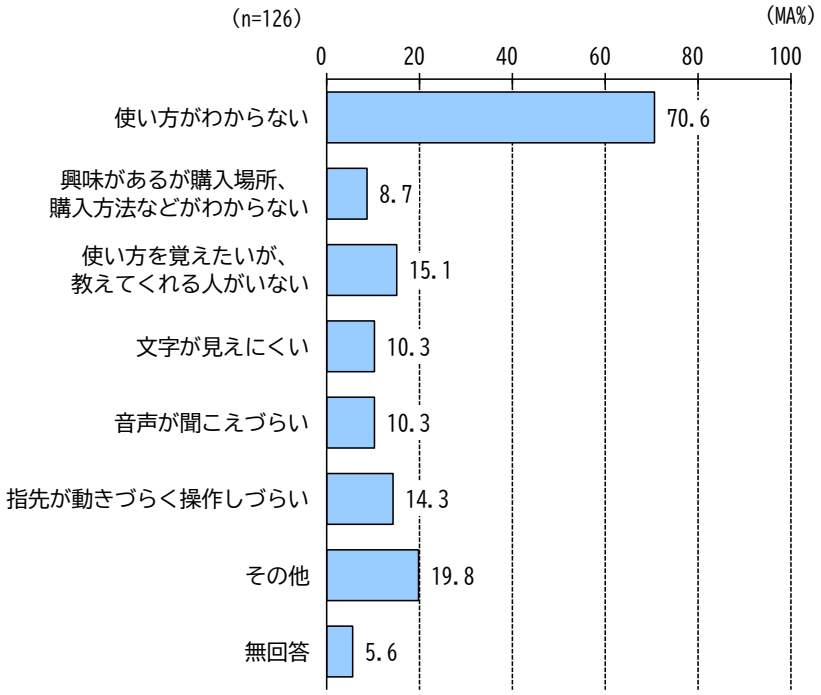
単位：％

		母数（n）	ゲームやYouTubeなどのアプリを使用する	キャッシュレス決済（電子マネーやQRコード決済）	いずれも使わない	情報機器を持っていない	その他	無回答
全体		1,328	27.6	23.0	6.5	3.6	0.8	5.3
性・年齢別	男性　50～64歳	129	△ 60.5	△ 45.7	0.8	－	0.8	0.8
	65～74歳	182	33.5	△ 33.0	6.0	0.5	－	2.7
	75歳以上	262	▼ 10.7	▼ 10.7	11.5	7.3	1.9	9.2
	女性　50～64歳	124	△ 54.0	△ 52.4	0.8	－	－	3.2
	65～74歳	257	37.4	26.1	2.7	1.6	－	4.3
	75歳以上	374	▼ 9.9	▼ 7.0	9.6	6.4	1.3	6.7
圏域別	安威川以北圏域	687	30.1	26.6	5.1	3.8	0.7	4.5
	安威川以南圏域	641	25.0	19.0	8.0	3.4	0.9	6.1
認定状況別	非認定者	1,266	28.5	23.5	6.4	3.6	0.6	5.1
	要支援者	62	▼ 9.7	▼ 12.9	8.1	4.8	4.8	8.1

問 11 で､｢10｣または｢11｣と答えた方のみ

◆問11.1-1　情報機器（スマートフォン、タブレット、パソコン）を使用しない理由を教えてください。（いくつでも○）

【全体】
○　「使い方がわからない」が 70.6%で最も多く、次いで「その他」が 19.8%、「使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいない」が 15.1%となっています。



単位：%

		母数(n)	使い方がわからない	興味があるが購入場所、購入方法などがわからない	使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいない	文字が見えにくい	音声が聞こえづらい	指先が動きづらく操作しづらい	その他	無回答
全体		126	70.6	8.7	15.1	10.3	10.3	14.3	19.8	5.6
性・年齢別	男性　50～64歳	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	65～74歳	12	75.0	－	25.0	－	－	8.3	25.0	8.3
	75歳以上	47	72.3	6.4	19.1	10.6	12.8	14.9	21.3	4.3
	女性　50～64歳	1	－	－	－	－	△100.0	△100.0	－	－
	65～74歳	10	70.0	10.0	10.0	10.0	－	10.0	10.0	10.0
	75歳以上	55	70.9	12.7	10.9	12.7	10.9	14.5	20.0	3.6
圏域別	安威川以北圏域	57	71.9	8.8	14.0	8.8	7.0	10.5	22.8	1.8
	安威川以南圏域	69	69.6	8.7	15.9	11.6	13.0	17.4	17.4	8.7
認定状況別	非認定者	119	69.7	9.2	16.0	7.6	8.4	13.4	19.3	5.9
	要支援者	7	△ 85.7	－	－	△ 57.1	△ 42.9	△ 28.6	28.6	－

※回答数が少ないため（n<50)、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

12. その他について

◆問12.1　新型コロナウイルスの流行前から現在に至るまでの間で、あなたの外出や人との交流、通いの場などへの参加、健康への意識などにどのような変化がありましたか。（１つだけ○）

【全体】

○　「外出や交流が減った時期はあったが、今は元に戻っている」が 41.9%で最も多く、次いで「特に大きな変化はない」が 31.2%、「健康や運動への関心が高まり、以前より意識して行動している」が 10.8%となっています。

【性・年齢別】

○　男女とも 50～64 歳では、「外出や交流が減った時期はあったが、今は元に戻っている」が約５割となっています。

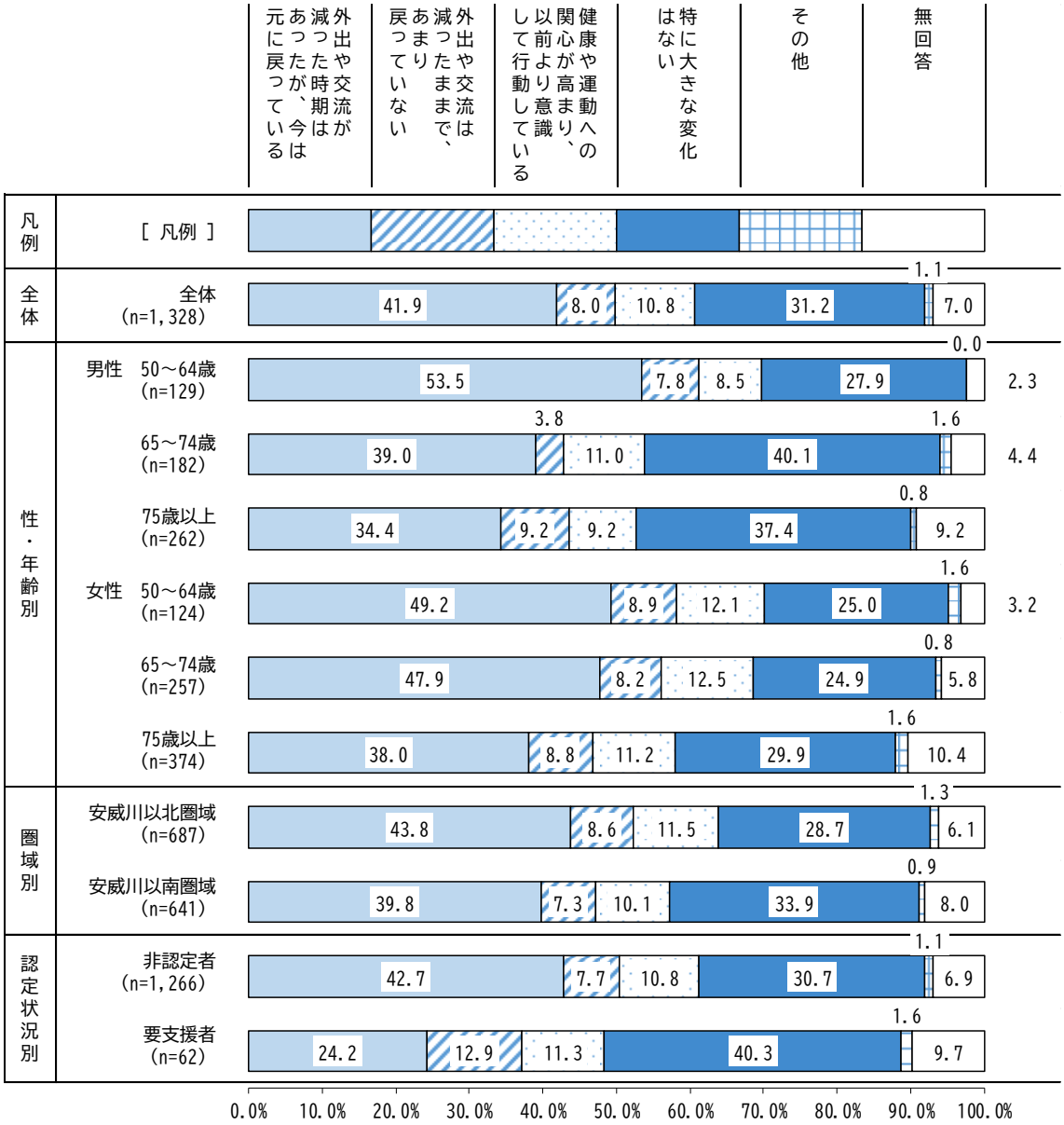
○　男性 65～74 歳では、「特に大きな変化はない」が 40.1%に達しており、女性 65～74 歳（24.9%）と比較して 15.2 ポイント多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「特に大きな変化はない」が 33.9%となっており、安威川以北圏域（28.7%）を 5.2 ポイント上回っています。

【認定状況別】

○　非認定者では、「外出や交流が減った時期はあったが、今は元に戻っている」（42.7%）が要支援者（24.2%）を 18.5 ポイント上回っています。



◆問12.2　地域包括支援センターについてご存知ですか。（１つだけ○）

【全体】

○　「まったく知らない」が 36.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 31.8%、「知っている」が 26.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　女性 75 歳以上では、「知っている」が 35.8%と最も多く、男性 75 歳以上（16.8%）と比較して 19.0 ポイント多くなっています。

○　男性では、すべての区分で「まったく知らない」が４割を超えており、特に 50～64 歳（58.9%）や 65～74 歳（51.6%）では半数以上に達しています。

○　女性では、すべての区分で「知っている」が３割を超えており、男性と比較して認知度が高い傾向にあります。

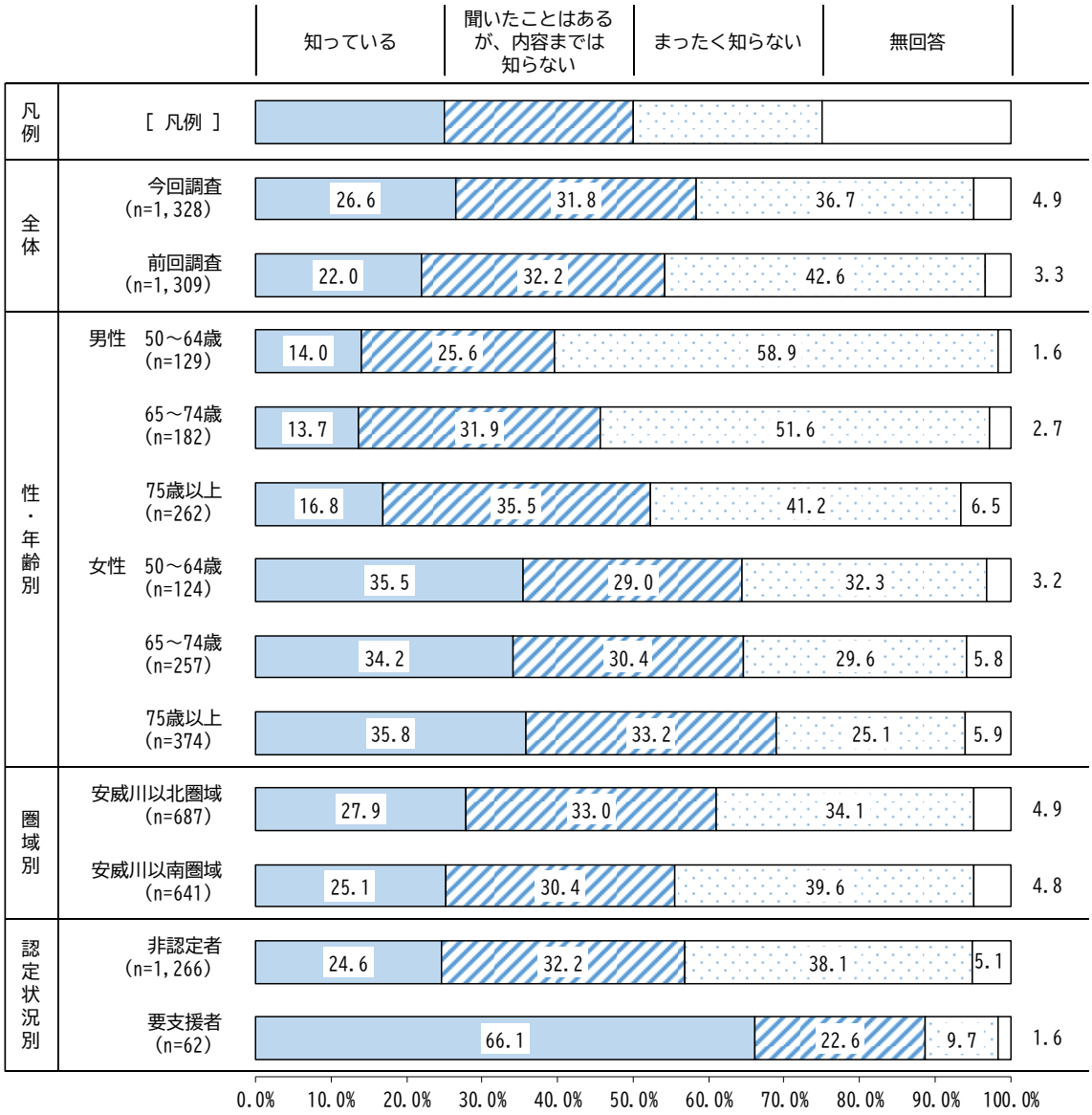
【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「まったく知らない」（39.6%）が安威川以北圏域（34.1%）を 5.5 ポイント上回っています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「知っている」が 66.1%に達しており、非認定者（24.6%）を 41.5 ポイントと大幅に上回っています。

○　非認定者では、「まったく知らない」が 38.1%となっており、要支援者（9.7%）と比較して約４倍多くなっています。

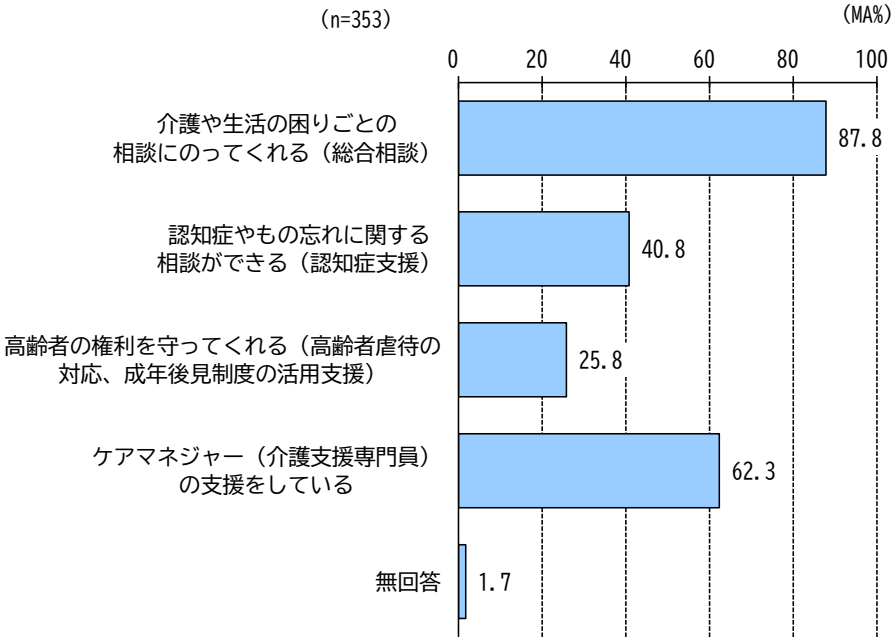


問 12.2 で、「1」と答えた方のみ

◆問12.2-1　知っている地域包括支援センターの役割や機能をお答えください。（いくつでも○）

【全体】
○　「介護や生活の困りごとの相談にのってくれる（総合相談）」が 87.8%で最も多く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）の支援をしている」が 62.3%、「認知症やもの忘れに関する相談ができる（認知症支援）」が 40.8%となっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。



単位：%

		母数(n)	介護や生活の困りごとの相談にのってくれる（総合相談）	認知症やもの忘れに関する相談ができる（認知症支援）	高齢者の権利を守ってくれる（高齢者虐待の対応、成年後見制度の活用支援）	ケアマネジャー（介護支援専門員）の支援をしている	無回答
全体		353	87.8	40.8	25.8	62.3	1.7
性・年齢別	男性　50～64歳	18	88.9	50.0	33.3	72.2	-
	65～74歳	25	80.0	△ 56.0	△ 40.0	72.0	-
	75歳以上	44	90.9	31.8	▼ 13.6	56.8	-
	女性　50～64歳	44	90.9	△ 54.5	△ 38.6	63.6	-
	65～74歳	88	89.8	37.5	28.4	65.9	1.1
	75歳以上	134	85.8	37.3	20.1	58.2	3.7
圏域別	安威川以北圏域	192	87.0	40.6	26.0	63.5	1.6
	安威川以南圏域	161	88.8	41.0	25.5	60.9	1.9
認定状況別	非認定者	312	88.8	44.9	28.2	62.2	1.3
	要支援者	41	80.5	▼ 9.8	▼ 7.3	63.4	4.9

※回答数が少ないため（n<50）、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

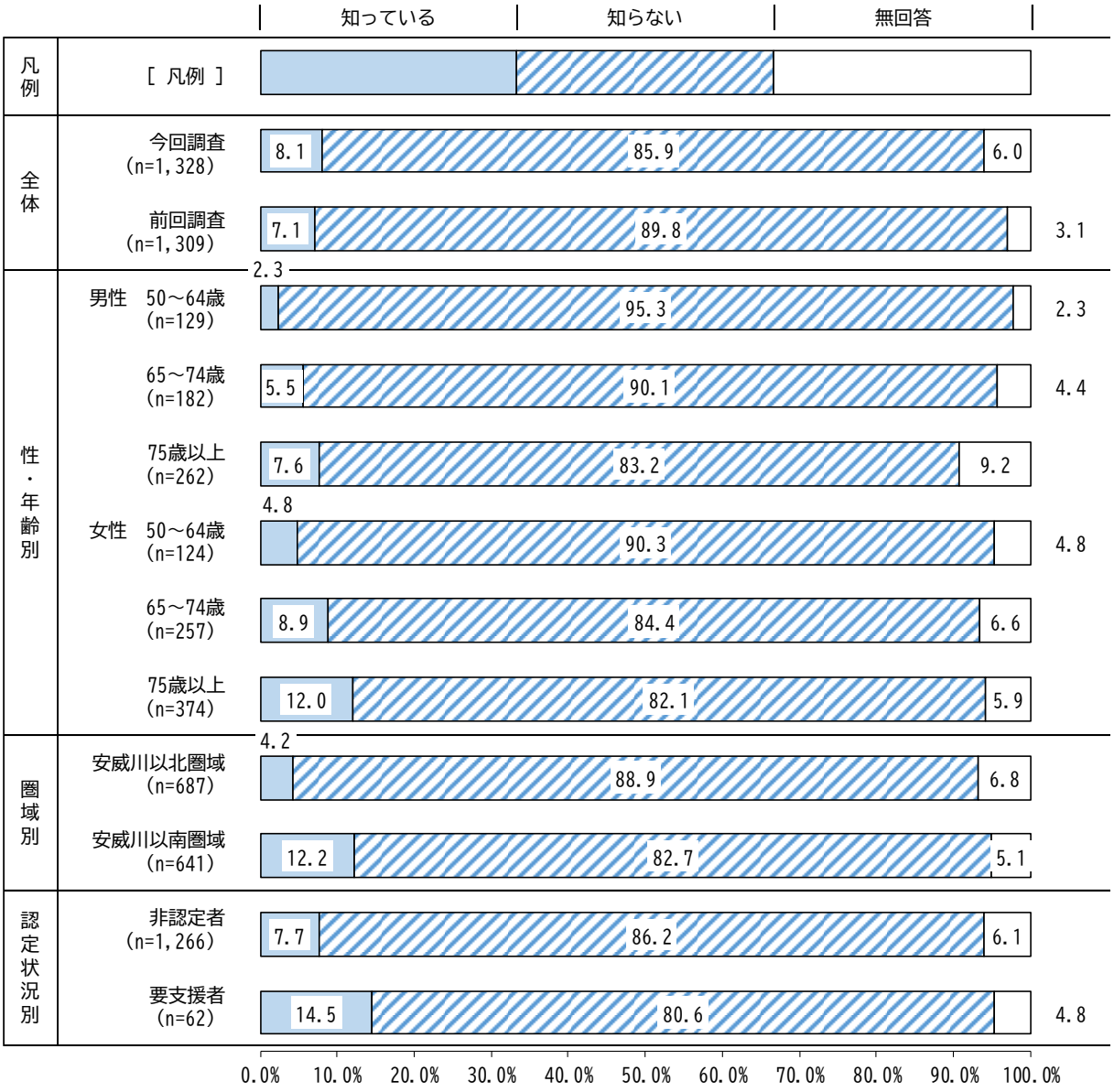
◆問12.3　新鳥飼公民館内に「地域包括支援センター鳥飼分室」があることを知っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「知っている」が8.1%、「知らない」が85.9%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】
○　男女ともに、すべての区分で「知らない」が８割を超えており、特に 50～64 歳では９割以上となっています。

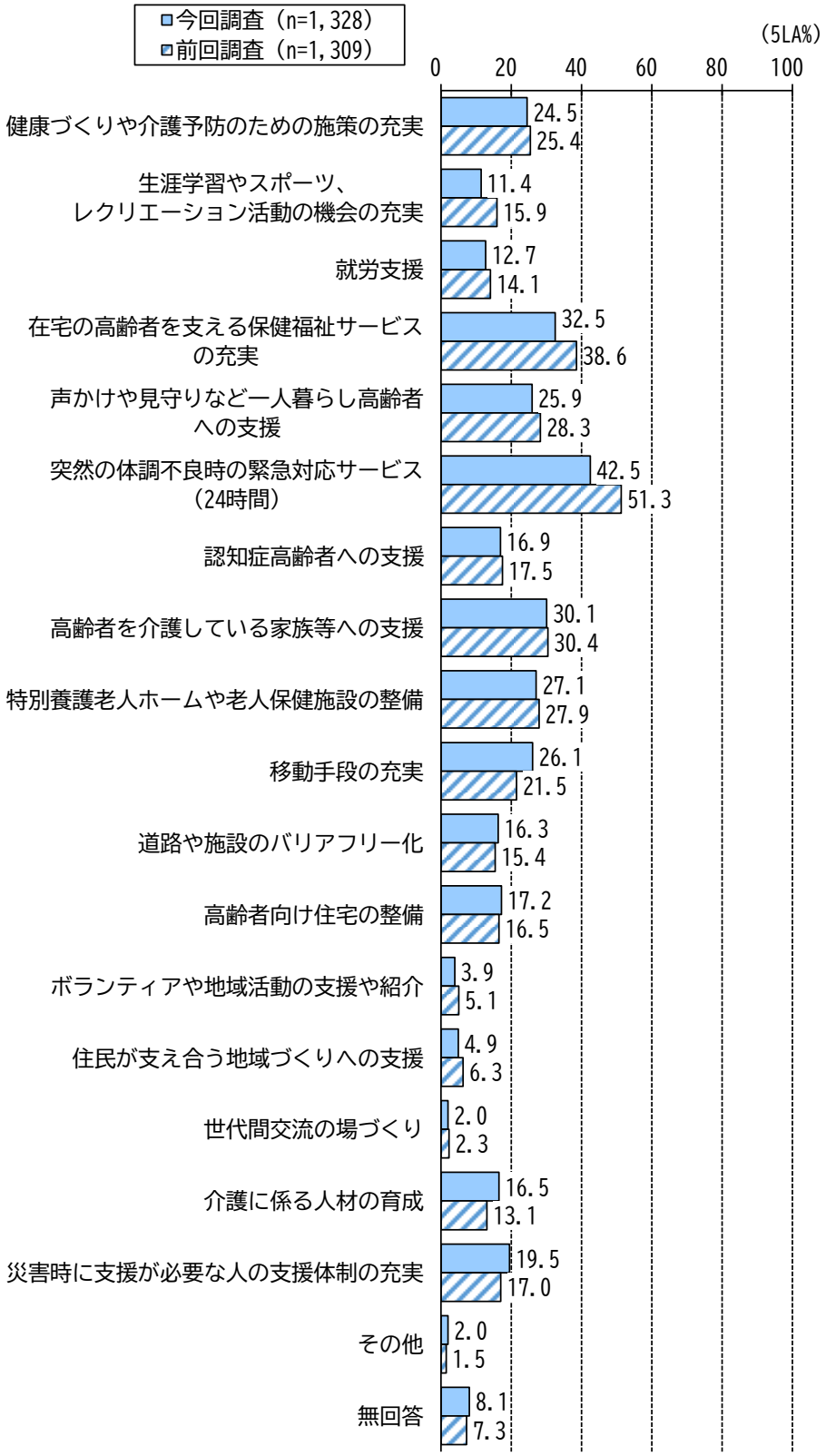
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「知っている」が 12.2%となっており、安威川以北圏域（4.2%）と比較して 8.0 ポイント多くなっています。

【認定状況別】
○　要支援者では、「知っている」が 14.5%となっており、非認定者（7.7%）と比較して 6.8 ポイント多くなっています。
○　非認定者では、「知らない」が 86.2%に達しています。



◆問12.4　市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実してほしいことは何ですか。（５つまで○）

【全体】
○　「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」が 42.5%で最も多く、次いで「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が 32.5%、「高齢者を介護している家族等への支援」が 30.1%となっています。
○　前回調査と比較すると、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」は前回より５ポイント以上少なくなっています。



【性・年齢別】
○　男女ともに「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」が最も多く、年齢が上がるにつれて回答が多くなっています。
○　男性 50～64 歳では、「就労支援」が 36.4%と他の区分と比較して多くなっています。
○　女性 50～64 歳では、「移動手段の充実」（35.5%）が、男性 50～64 歳（27.1%）と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「移動手段の充実」（28.7%）が、安威川以北圏域（23.7%）と比較して 5.0 ポイント多くなっています。
【認定状況別】
○　非認定者では、「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が 33.0%と要支援者（22.6%）と比較して 10.4 ポイント多くなっています。

【高齢者の施策で今後、特に充実してほしいこと（5LA）】

単位：%

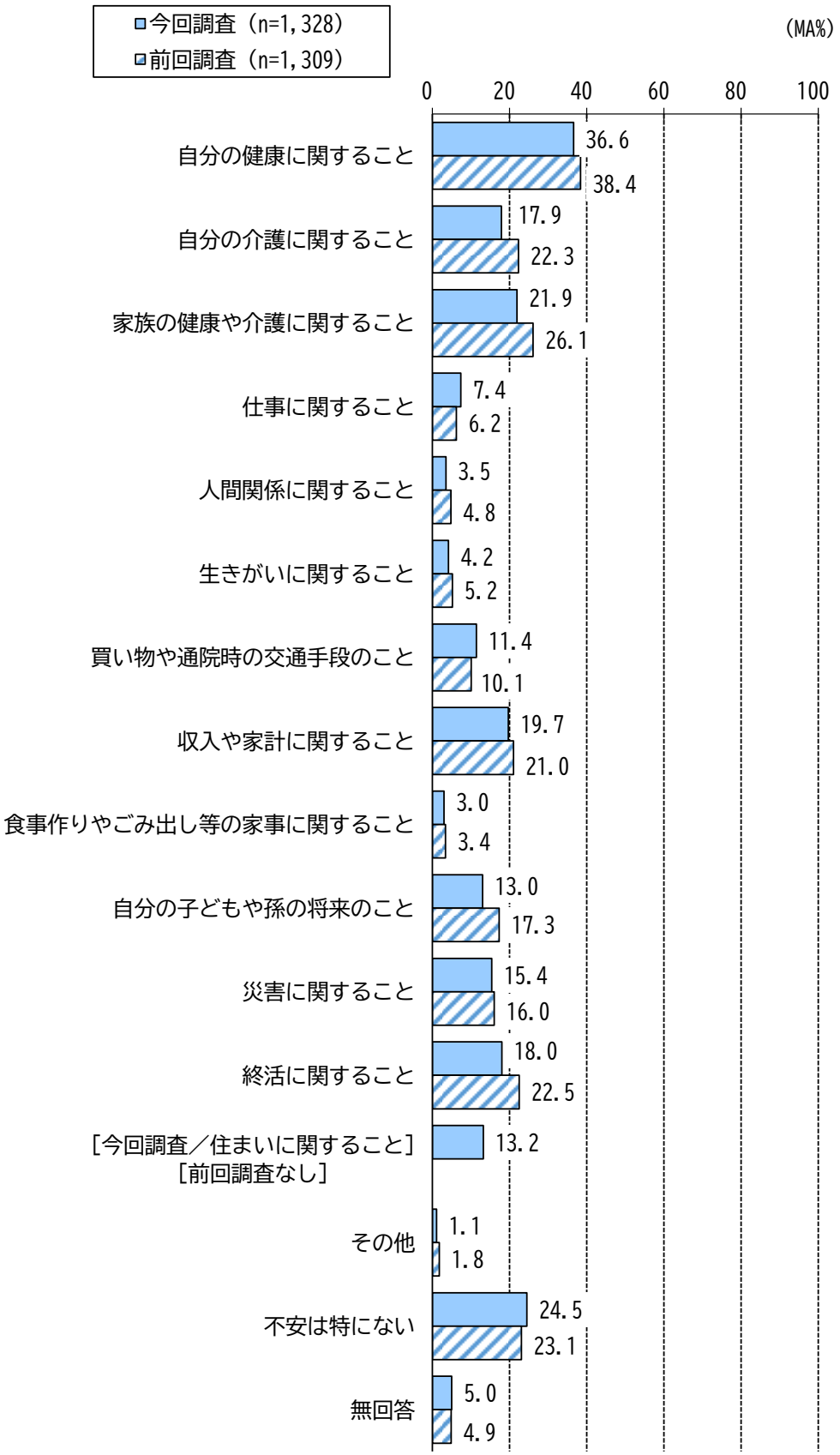
		母数（n）	健康づくりや介護予防のための施策の充実	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	就労支援	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	認知症高齢者への支援	高齢者を介護している家族等への支援	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	移動手段の充実
全体		1,328	24.5	11.4	12.7	32.5	25.9	42.5	16.9	30.1	27.1	26.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	18.6	10.9	△ 36.4	27.1	22.5	38.0	25.6	34.1	24.8	27.1
	65～74歳	182	29.1	13.2	19.2	30.2	21.4	40.7	19.2	32.4	28.6	17.0
	75歳以上	262	23.7	8.0	5.3	33.2	23.3	44.3	15.6	27.5	22.9	21.4
	女性　50～64歳	124	28.2	16.1	21.8	33.9	23.4	38.7	16.9	38.7	33.1	35.5
	65～74歳	257	21.4	13.2	13.2	32.7	28.8	42.8	16.3	30.7	30.0	27.6
	75歳以上	374	25.9	10.2	3.2	34.5	29.9	44.9	13.9	26.2	26.2	29.4
圏域別	安威川以北圏域	687	26.1	11.5	13.0	31.7	24.3	43.1	16.7	30.6	29.7	23.7
	安威川以南圏域	641	22.9	11.2	12.5	33.4	27.6	42.0	17.0	29.6	24.3	28.7
認定状況別	非認定者	1,266	24.9	11.4	13.2	33.0	25.7	43.1	16.8	30.4	27.4	26.2
	要支援者	62	17.7	11.3	3.2	22.6	30.6	▼ 30.6	17.7	24.2	21.0	24.2

単位：%

		母数（n）	道路や施設のバリアフリー化	高齢者向け住宅の整備	ボランティアや地域活動の支援や紹介	住民が支え合う地域づくりへの支援	世代間交流の場づくり	介護に係る人材の育成	災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	その他	無回答
全体		1,328	16.3	17.2	3.9	4.9	2.0	16.5	19.5	2.0	8.1
性・年齢別	男性　50～64歳	129	15.5	19.4	0.8	3.1	3.1	14.7	20.2	6.2	3.1
	65～74歳	182	19.2	19.2	3.3	2.7	1.6	19.2	15.4	3.8	4.9
	75歳以上	262	13.4	13.4	4.2	5.3	2.3	20.6	22.1	1.9	9.9
	女性　50～64歳	124	16.9	25.8	2.4	4.0	1.6	10.5	18.5	2.4	2.4
	65～74歳	257	17.9	18.3	5.8	5.4	1.6	16.0	19.1	－	8.9
	75歳以上	374	16.0	14.4	4.3	6.1	2.1	15.2	20.1	0.8	11.5
圏域別	安威川以北圏域	687	16.9	18.2	3.6	4.9	1.9	17.9	18.5	1.7	8.2
	安威川以南圏域	641	15.8	16.1	4.2	4.8	2.2	15.0	20.6	2.2	8.1
認定状況別	非認定者	1,266	16.2	17.5	3.6	4.9	2.0	16.7	19.1	2.0	7.7
	要支援者	62	19.4	11.3	9.7	4.8	3.2	12.9	27.4	1.6	16.1

◆問12.5　現在困っていることや、不安なことはありますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「自分の健康に関すること」が 36.6%で最も多く、次いで「不安は特にない」が 24.5%、「家族の健康や介護に関すること」が 21.9%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】

○　男女ともに 50～64 歳では、「収入や家計に関すること」が約３割（女性 30.6%、男性 30.2%）に達しており、他の区分と比較して多くなっています。

○　男性 50～64 歳では、「仕事に関すること」が 20.9%と他の区分と比較して多くなっています。

○　「自分の健康に関すること」は、女性 75 歳以上で 43.0%と最も多く、次いで男性 75 歳以上（39.3%）、男性 65～74 歳（39.0%）となっています。

【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「買い物や通院時の交通手段のこと」が 15.9%となっており、安威川以北圏域（7.3%）と比較して２倍以上の割合となっています。

【認定状況別】

○　要支援者では、「自分の健康に関すること」が 58.1%、「自分の介護に関すること」が 32.3%、「買い物や通院時の交通手段のこと」が 29.0%となっており、いずれも非認定者を大幅に上回っています。

○　一方で、要支援者の「不安は特にない」は 1.6%にとどまり、非認定者（25.7%）と比較して極めて少なくなっています。

【現在困っていることや、不安なこと（MA）】

単位：%

		母数(n)	自分の健康に関すること	自分の介護に関すること	家族の健康や介護に関すること	仕事に関すること	人間関係に関すること	生きがいに関すること	買い物や通院時の交通手段のこと	収入や家計に関すること	食事作りやごみ出し等の家事に関すること
全体		1,328	36.6	17.9	21.9	7.4	3.5	4.2	11.4	19.7	3.0
性・年齢別	男性　50～64歳	129	28.7	8.5	17.1	△ 20.9	7.8	3.1	3.9	△ 30.2	2.3
	65～74歳	182	39.0	15.9	20.9	14.3	4.4	7.1	3.8	26.9	2.2
	75歳以上	262	39.3	18.7	24.4	3.1	2.3	5.3	12.6	15.6	4.2
	女性　50～64歳	124	▼ 25.0	10.5	27.4	15.3	5.6	3.2	7.3	△ 30.6	1.6
	65～74歳	257	32.3	14.8	18.7	4.7	2.7	3.9	8.9	19.5	2.7
	75歳以上	374	43.0	26.2	22.7	1.6	2.4	2.9	20.1	11.8	3.5
圏域別	安威川以北圏域	687	36.1	16.9	20.8	8.9	4.1	3.9	7.3	18.3	2.8
	安威川以南圏域	641	37.1	19.0	23.1	5.8	3.0	4.5	15.9	21.1	3.3
認定状況別	非認定者	1,266	35.5	17.2	21.7	7.6	3.6	4.3	10.6	19.7	2.7
	要支援者	62	△ 58.1	△ 32.3	25.8	3.2	3.2	1.6	△ 29.0	17.7	9.7

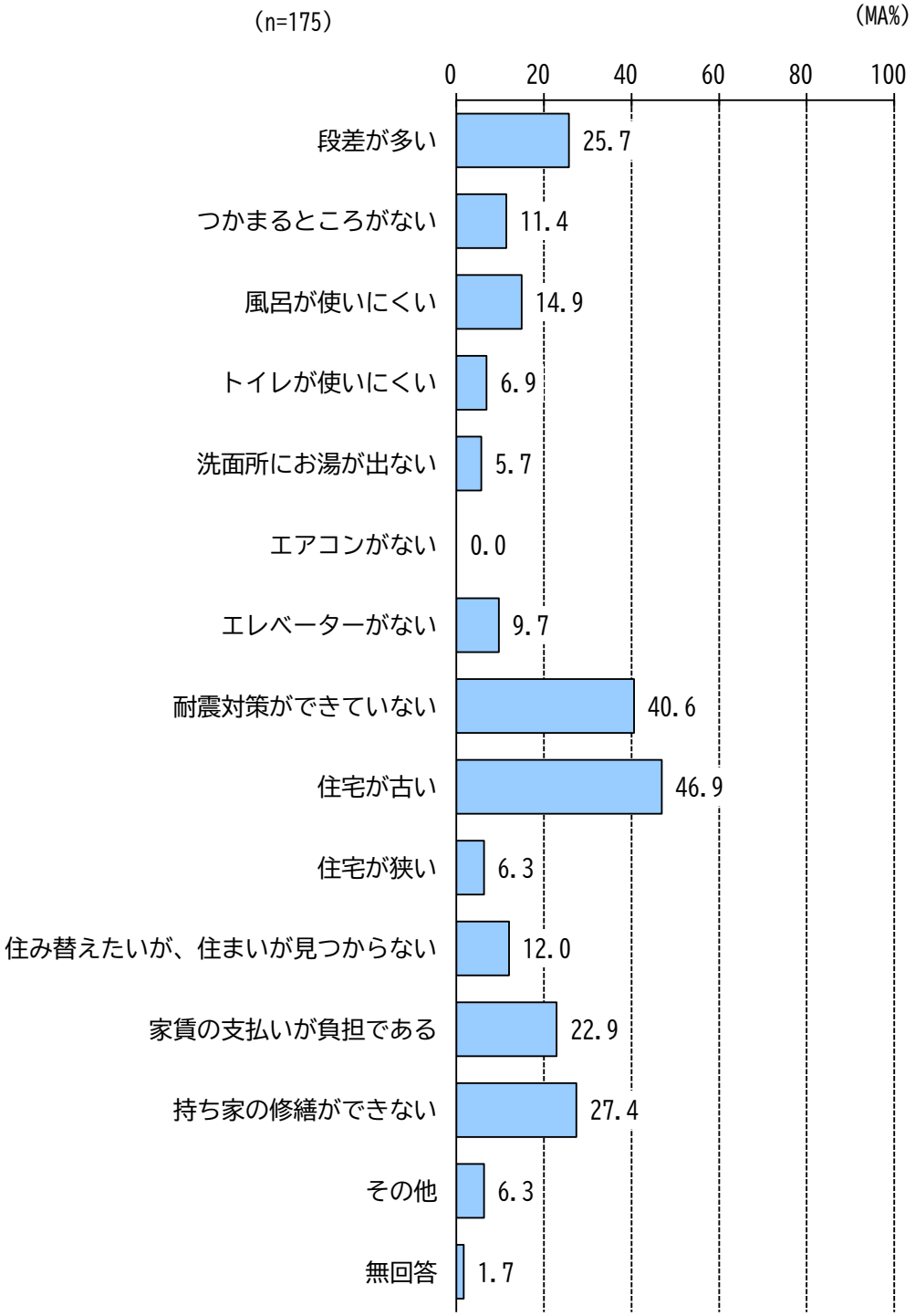
単位：%

		母数(n)	自分の子どもや孫の将来のこと	災害に関すること	終活に関すること	住まいに関すること	その他	不安は特にない	無回答
全体		1,328	13.0	15.4	18.0	13.2	1.1	24.5	5.0
性・年齢別	男性　50～64歳	129	13.2	13.2	▼ 5.4	17.8	1.6	34.1	2.3
	65～74歳	182	15.4	15.4	19.2	15.4	－	30.8	1.6
	75歳以上	262	13.0	11.5	21.4	11.5	1.5	22.1	5.7
	女性　50～64歳	124	12.9	13.7	10.5	15.3	3.2	25.8	1.6
	65～74歳	257	16.3	17.1	15.6	11.7	1.6	24.9	6.2
	75歳以上	374	9.4	18.2	23.5	12.0	0.3	19.3	7.5
圏域別	安威川以北圏域	687	12.1	14.1	16.3	12.8	1.2	26.9	4.9
	安威川以南圏域	641	13.9	16.7	19.8	13.6	1.1	22.0	5.1
認定状況別	非認定者	1,266	13.2	15.6	18.1	13.3	1.1	25.7	4.7
	要支援者	62	8.1	11.3	16.1	11.3	1.6	▼ 1.6	11.3

問 12.5 で、「13」と答えた方のみ

◆問12.5-1　お住まいで困っていることはありますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「住宅が古い」が 46.9%で最も多く、次いで「耐震対策ができていない」が 40.6%、「持ち家の修繕ができない」が 27.4%となっています。



【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「耐震対策ができていない」（43.7%）が、安威川以北圏域（37.5%）と比較して 6.2 ポイント多くなっています。
【認定状況別】
○　非認定者では、「住宅が古い」が 47.6%で最も多く、次いで「耐震対策ができていない」が 41.1%、「持ち家の修繕ができない」が 28.0%となっています。
【経済状況別】
○　経済状況をふつうと感じている人では、「家賃の支払いが負担である」が 10.0%とやや苦しい人（25.0%）と比較して少なくなっています。

【お住まいで困っていること】

単位：%

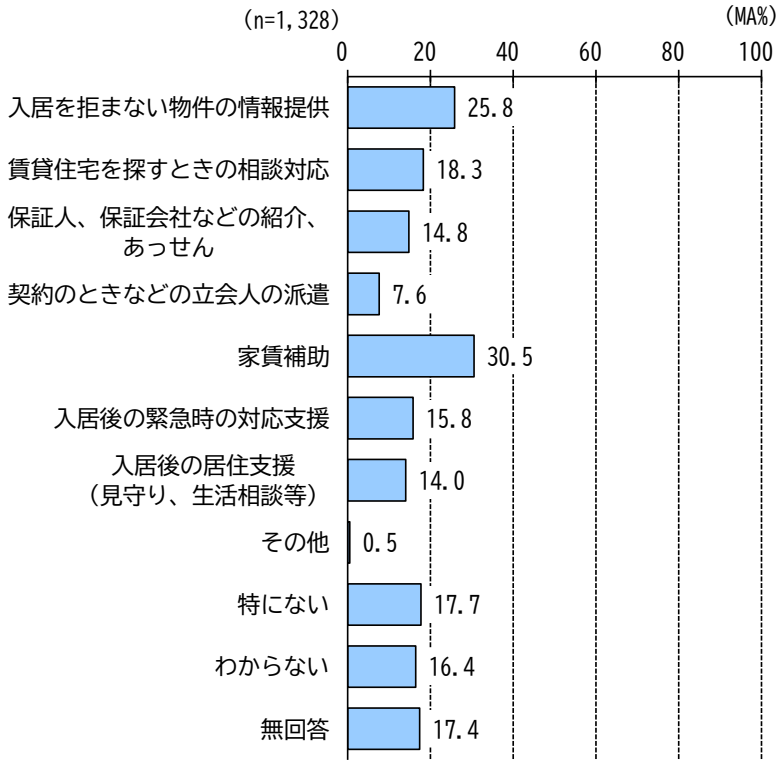
		母数（n）	段差が多い	つかまるところがない	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	洗面所にお湯が出ない	エアコンがない	エレベーターがない	耐震対策ができていない
全体		175	25.7	11.4	14.9	6.9	5.7	-	9.7	40.6
性・年齢別	男性　50～64歳	23	21.7	-	8.7	4.3	4.3	-	4.3	39.1
	65～74歳	28	28.6	14.3	10.7	△ 17.9	7.1	-	14.3	▼ 28.6
	75歳以上	30	26.7	3.3	16.7	6.7	6.7	-	3.3	36.7
	女性　50～64歳	19	21.1	△ 31.6	15.8	10.5	5.3	-	5.3	△ 52.6
	65～74歳	30	30.0	6.7	13.3	3.3	10.0	-	16.7	43.3
	75歳以上	45	24.4	15.6	20.0	2.2	2.2	-	11.1	44.4
圏域別	安威川以北圏域	88	23.9	14.8	19.3	9.1	6.8	-	14.8	37.5
	安威川以南圏域	87	27.6	8.0	10.3	4.6	4.6	-	4.6	43.7
認定状況別	非認定者	168	25.6	11.9	14.3	7.1	5.4	-	8.9	41.1
	要支援者	7	28.6	-	△ 28.6	-	14.3	-	△ 28.6	▼ 28.6
経済状況別	大変苦しい	38	28.9	13.2	18.4	13.2	5.3	-	2.6	39.5
	やや苦しい	68	26.5	11.8	16.2	7.4	10.3	-	10.3	39.7
	ふつう	60	20.0	10.0	11.7	3.3	-	-	13.3	38.3
	ややゆとりがある	4	25.0	△ 25.0	△ 25.0	-	△ 25.0	-	△ 25.0	50.0
	大変ゆとりがある	2	△ 50.0	-	-	-	-	-	-	△100.0

単位：%

		母数（n）	住宅が古い	住宅が狭い	住み替えたいが、住まいが見つからない	家賃の支払いが負担である	持ち家の修繕ができない	その他	無回答
全体		175	46.9	6.3	12.0	22.9	27.4	6.3	1.7
性・年齢別	男性　50～64歳	23	56.5	△ 17.4	13.0	△ 34.8	30.4	4.3	8.7
	65～74歳	28	46.4	3.6	21.4	21.4	32.1	10.7	-
	75歳以上	30	50.0	10.0	20.0	23.3	23.3	-	3.3
	女性　50～64歳	19	△ 57.9	5.3	10.5	15.8	31.6	15.8	-
	65～74歳	30	▼ 36.7	-	6.7	30.0	26.7	6.7	-
	75歳以上	45	42.2	4.4	4.4	15.6	24.4	4.4	-
圏域別	安威川以北圏域	88	46.6	4.5	12.5	23.9	26.1	5.7	3.4
	安威川以南圏域	87	47.1	8.0	11.5	21.8	28.7	6.9	-
認定状況別	非認定者	168	47.6	6.0	11.3	23.2	28.0	6.5	1.8
	要支援者	7	▼ 28.6	14.3	△ 28.6	14.3	▼ 14.3	-	-
経済状況別	大変苦しい	38	44.7	7.9	15.8	△ 44.7	26.3	7.9	2.6
	やや苦しい	68	42.6	4.4	13.2	25.0	32.4	7.4	1.5
	ふつう	60	50.0	6.7	10.0	▼ 10.0	21.7	5.0	1.7
	ややゆとりがある	4	△ 75.0	△ 25.0	-	-	25.0	-	-
	大変ゆとりがある	2	△100.0	-	-	-	△ 50.0	-	-

◆問12.6　希望する民間賃貸住宅に入居するために、どのような支援があればよいと思いますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「家賃補助」が 30.5%で最も多く、次いで「入居を拒まない物件の情報提供」が 25.8%、「賃貸住宅を探すときの相談対応」が 18.3%となっています。



【性・年齢別】
○　男女ともに 50～64 歳では、「家賃補助」が５割を超えています。
○　女性 50～64 歳では、「入居後の居住支援（見守り、生活相談等）」が 27.4%となっており、全体（14.0%）と比較して約２倍多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「入居を拒まない物件の情報提供」が 29.0%となっており、安威川以南圏域（22.5%）を 6.5 ポイント上回っています。
【認定状況別】
○　非認定者では、「家賃補助」（31.0%）や「情報提供」（26.5%）への回答が多くなっています。
【経済状況別】
○　経済状況を大変苦しいと感じている人では、「家賃補助」（49.3%）への回答が多くなっています。

【民間賃貸住宅に入居するために希望する支援】

単位：%

		母数（n）	入居を拒まない物件の情報提供	賃貸住宅を探すときの相談対応	保証人、保証会社などの紹介、あっせん	契約のときなどの立会人の派遣	家賃補助	入居後の緊急時の対応支援	入居後の居住支援（見守り、生活相談等）	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,328	25.8	18.3	14.8	7.6	30.5	15.8	14.0	0.5	17.7	16.4	17.4
性・年齢別	男性　50～64歳	129	33.3	26.4	△ 27.9	12.4	△ 51.2	18.6	17.8	-	16.3	10.1	3.1
	65～74歳	182	33.0	20.3	22.0	8.8	34.1	13.7	11.0	-	24.7	18.1	6.0
	75歳以上	262	17.6	11.5	9.5	5.3	▼ 17.2	10.7	10.3	0.4	23.3	18.7	22.5
	女性　50～64歳	124	△ 37.9	△ 30.6	23.4	12.1	△ 54.8	22.6	△ 27.4	0.8	9.7	15.3	2.4
	65～74歳	257	26.5	19.8	13.6	7.0	36.6	20.6	17.9	0.8	12.1	15.6	17.5
	75歳以上	374	21.1	14.2	8.6	5.9	▼ 18.7	13.9	9.6	0.8	17.4	17.1	29.1
圏域別	安威川以北圏域	687	29.0	20.2	17.0	7.6	31.3	16.2	13.8	0.3	18.0	16.6	14.4
	安威川以南圏域	641	22.5	16.2	12.5	7.6	29.6	15.4	14.2	0.8	17.3	16.2	20.6
認定状況別	非認定者	1,266	26.5	18.7	15.0	7.7	31.0	16.0	14.5	0.6	17.9	16.4	16.5
	要支援者	62	▼ 12.9	9.7	11.3	6.5	▼ 19.4	11.3	4.8	-	14.5	17.7	35.5
経済状況別	大変苦しい	142	28.2	20.4	16.2	7.0	△ 49.3	14.1	16.9	1.4	▼ 7.0	10.6	19.7
	やや苦しい	344	27.6	17.4	16.9	7.8	40.1	16.9	14.8	0.9	14.8	16.9	17.4
	ふつう	706	25.4	18.1	13.5	7.5	25.1	16.3	13.9	0.3	20.3	18.3	15.9
	ややゆとりがある	91	26.4	20.9	20.9	9.9	▼ 14.3	12.1	9.9	-	22.0	12.1	18.7
	大変ゆとりがある	22	▼ 13.6	18.2	-	4.5	▼ 13.6	9.1	9.1	-	△ 36.4	▼ 4.5	27.3

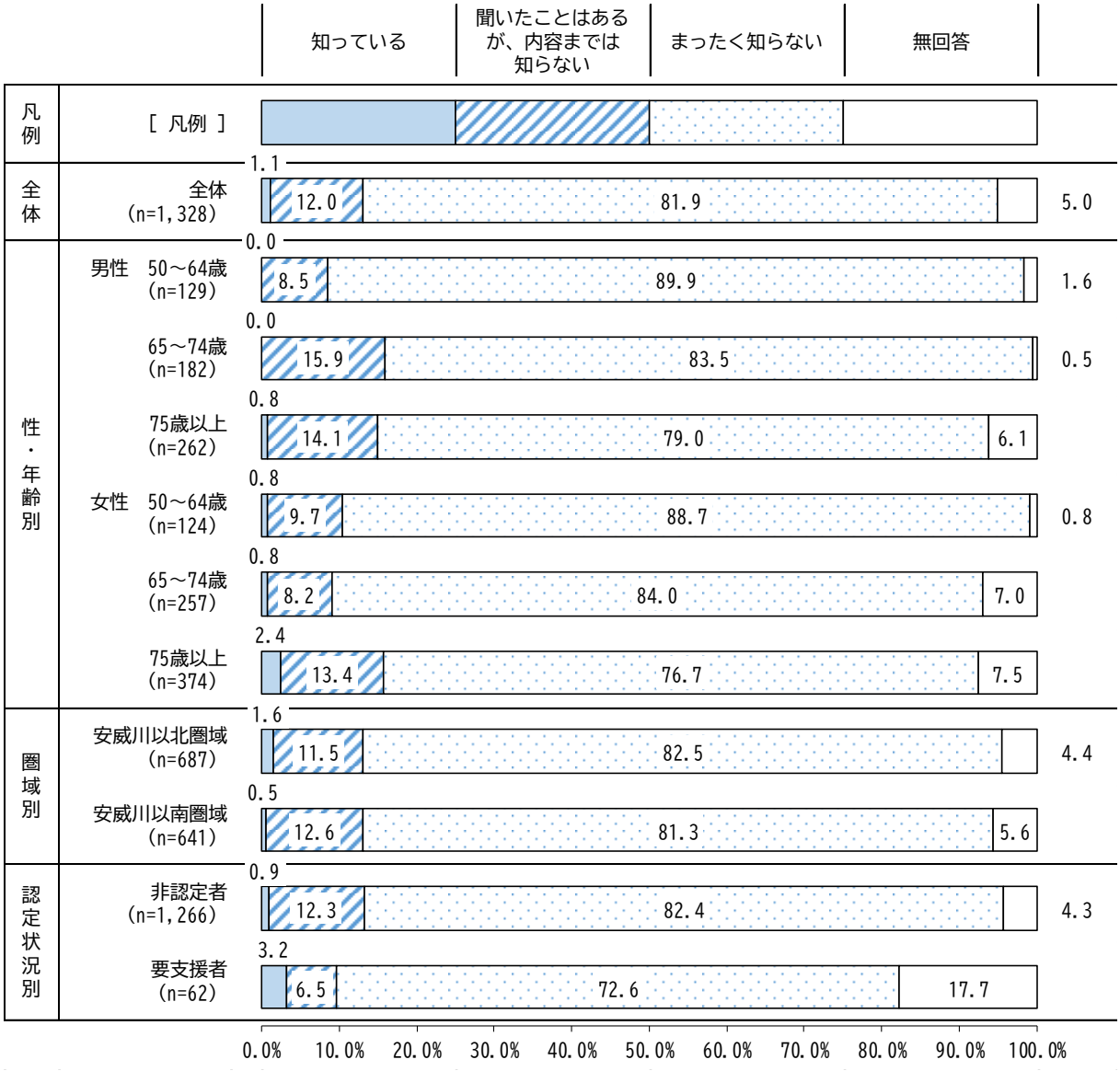
◆問12.7　あなたは「摂津市居住支援協議会」を知っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「まったく知らない」が81.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が12.0%、「知っている」が1.1%となっています。

【性・年齢別】
○　男女ともに年齢が上がるにつれて「知らない」の割合が少なくなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【認定状況別】
○　非認定者では、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 12.3%となっており、要支援者（6.5%）を 5.8 ポイント上回っています。



主な意見（一部抜粋）
■　**市への要望や意見** ・民間事業者では、運営に不安を感じているため、摂津市役所内に終身サポート事業を増設してほしい。 ・摂津市役所へ行くのが不便なので駅前等に支所や窓口を作ってほしい。 ・色々な手続きが大変なため、もっと簡単にわかりやすくなれば有難いです。 ・公的支援に頼ろうとする風潮が高まっているように感じる。まずは自助意識を高めて共助、公助にできるだけ頼らない社会を目指すべき。 ・現時点では、どの様な事があれば良いか想像がつきませんが、福祉事業や介護保険などにさらなる期待をしています。 ・高齢化社会に向けて介護職員を増やすような施策等が必要。 ・仕組み(組織や会議体)や取り組み(講演会や集会)にお金を使うのではなく、要介護者やその家族に最大限お金が使われるような行政を期待します。 ・家族・親族以外で近所に同年代の友人がいれば、もっと生活が充実すると思うので、友人を作るきっかけとなるような施策があれば嬉しい。
■　**介護保険料を含む経済状況について** ・介護保険料が高いので下げてほしい。年金だけでは支払いが困難。 ・医療保険は必要であるが、認定されるかどうか分からないものの保険料を払う事への不満がある。介護離職をなくす為に出来た制度に関わらず、離職を余儀なくされることがあるため、公共の介護施設の充実が必要。 ・介護保険料が高く、収入が年金だけになるので、病院等の治療費を安くしてほしい。 ・介護保険高すぎる。年金で支払い無理。 ・介護保険料、医療費、生活費、家賃、食費などの支払いがあり、お金がないと高齢者一人で楽しく毎日を生きていけない。
■　**自身の健康や生活について** ・介護生活にならない様、毎日、運動・食事・楽しみを基本に生きています。 ・一人でも楽しく暮らせたらいいなぁと思いますが、年をとって生きる大変さに気づきました。 ・できるだけ自分１人で暮らせるように努力し、なるべく公共の施設にお世話にならないよう考えています。
■　**アンケートに対する意見** ・今回のアンケートで色々取り組まれているんだなぁと知ることができました。毎日バタバタしてゆっくり広報等を読まないので助かりました。 ・アンケートの結果等を参考にして見直した事業計画などをわかりやすく公表してほしい。
■　**交通手段について** ・市内の公民館、体育館などへ行けるバスを作る等、公共施設への足がなく困っている方々をサポートしてほしい。 ・鳥飼地区は公共交通が不便で、駅や市役所に行くのが大変。 ・介護タクシーの利用料が高く、移動手段が無くなり、お世話になる時が来た時が不安。 ・近くに買い物が出来る所がコンビニしかないため不安。 ・自宅に風呂がなく、自転車で銭湯まで行っているため、風呂だけの受け入れや送迎があれば助かります。

■　**施設について**

・今後、高齢者が増加するため、特別養護老人ホームの拡充など、多くの人が入れるようにして欲しい。
・年金で将来自立出来なくなった時に入居できる施設が住まいの近くにあれば嬉しい。
・将来老人ホームにお世話にならざるを得ない時、年金の範囲内で入れる施設を充実してほしい。
・認知症になることが心配で、今後、どのような生活になるのか心配であるため、認知症の方が入所できる施設を増やしてほしい。

■　**情報収集について**

・沢山情報が発信されているが、受ける側が情報機器を持っていない。最近は、二次元コードやホームページへの掲載が多い為、アナログなやり方でも発信してほしい。
・認知症の検査を訪問で受けることができるのかなどの情報を発信してほしい。
・介護費用がどの程度必要か全くわからないため、参考資料がほしい。
・高齢者施設の情報を発信してほしい。
・ボランティアを含め、高齢者が働ける場所の情報を発信してほしい。

■　**緊急時の支援について**

・災害時の支援や避難場所の詳しい案内を紙媒体で配布してもらえると家族で確認しておけるので安心。
・子が遠方に住んでおり、いざと言う時は早く来ることができないため、何かあった時に連絡できるような制度等があればいいと思う。

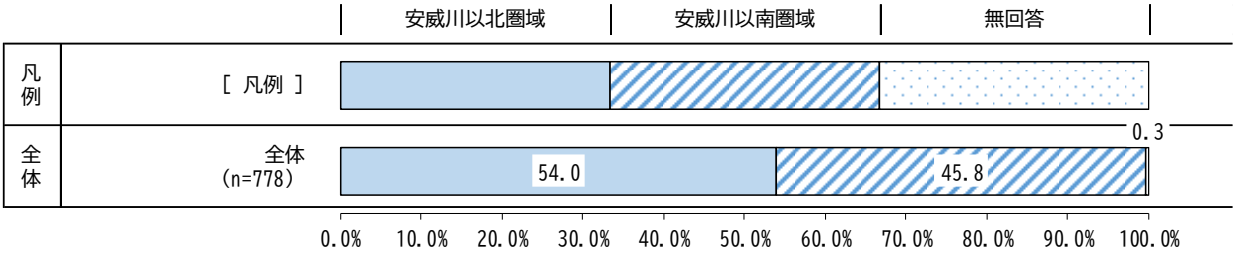
■　**その他**

・介護保険制度のおかげで、専門の知識や技術、アドバイスなど、ケアマネジャーさんのプランに沿って多くの方々の助けを受けることができました。
・高齢者福祉について考えた事が無く、一度ゆっくり考えたい。
・高槻のデパートに出かけることが楽しみで外出をしております。
・直接は関係ないのですが、高齢者の為に道路を整備して欲しい。
・高齢になり、色々体に不自由を感じており、この先を考えると不安。
・体操カーブス、歌コーラス等色々な人達と交流して体力、認知症等に気を付けながら、食事や暮らしを大切にしていこうと思います。

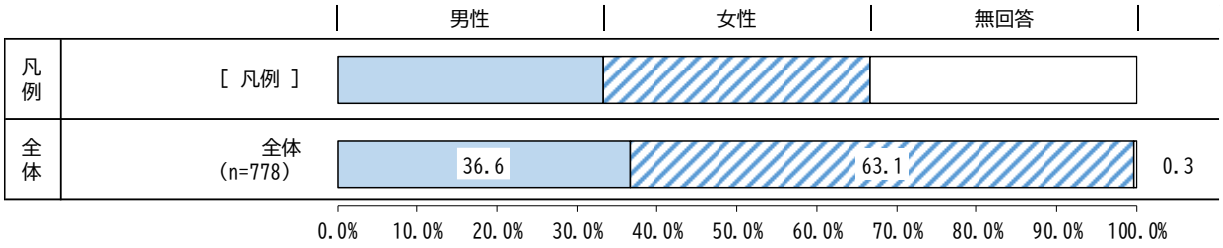
第３章　在宅介護実態調査

調査対象者の属性

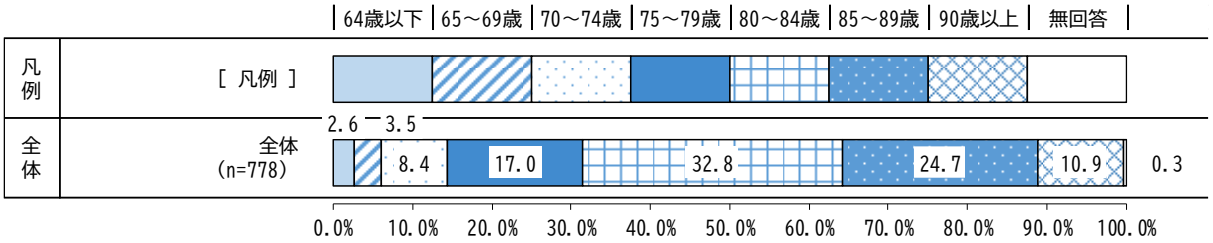
◆圏域



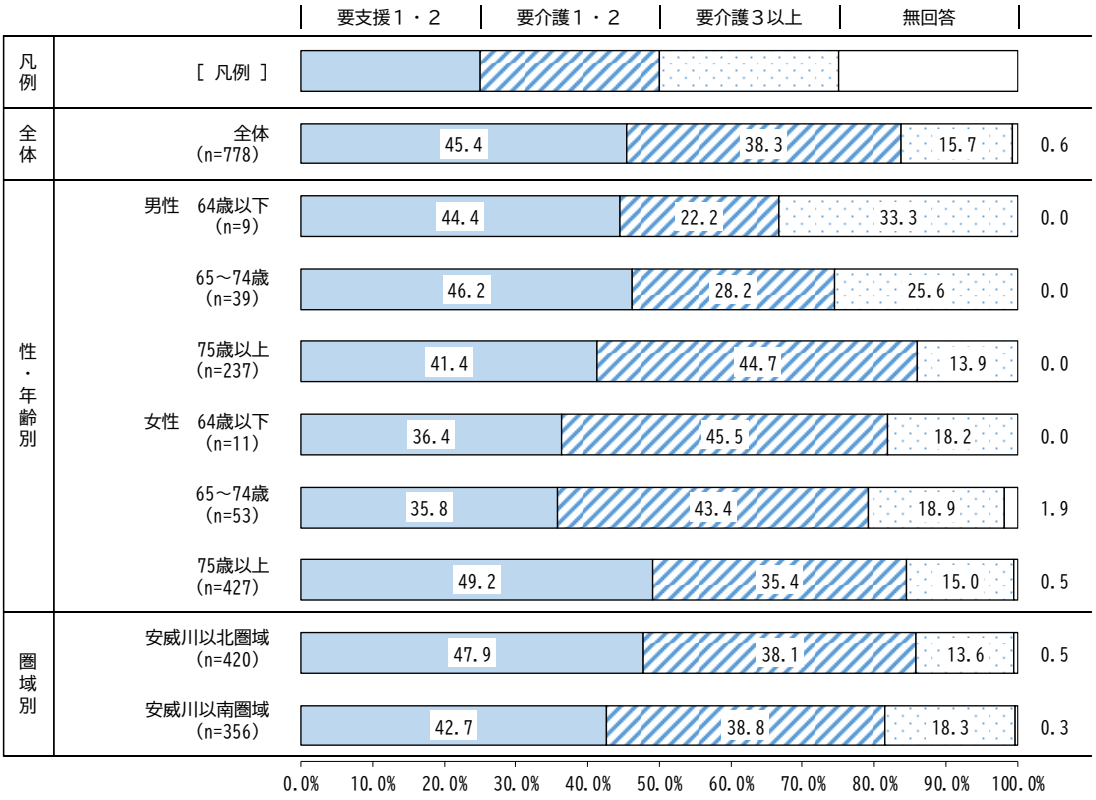
◆性別



◆年齢



◆要介護度



1. 対象者の属性

◆問１　現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。（いくつでも○）

【全体】

○　回答者について、「調査の対象者」が 56.4%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 42.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が 4.4%となっています。

○　前回調査と比較すると、「調査の対象者」は 56.4%と、前回（49.2%）から 7.2 ポイント多く、「主な介護者となっている家族・親族」は 42.3%と、前回（49.3%）から 7.0 ポイント少なくなっています。

【性・年齢別】

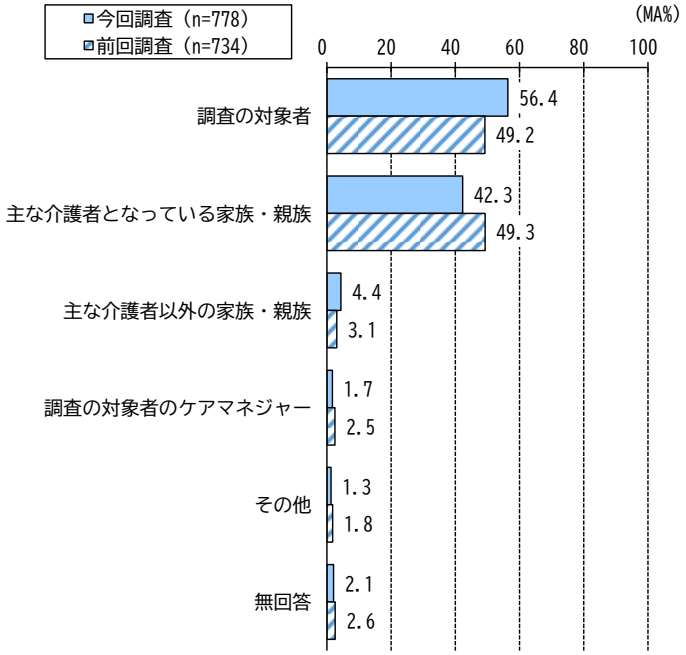
○　性・年齢別による大きな差はみられません。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「調査の対象者」は 59.0%と、安威川以南圏域（53.1%）と比較して 5.9 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

○　要支援１・２では、「調査の対象者」が８割で最も多く、要介護１～５では「主な介護者となっている家族・親族」が６割から７割となっています。



単位：%

		母数	調査の対象者	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査の対象者のケアマネジャー	その他	無回答
全体		778	56.4	42.3	4.4	1.7	1.3	2.1
性・年齢別	男性　64歳以下	9	▼ 44.4	△ 66.7	－	－	－	－
	65～74歳	39	64.1	35.9	5.1	2.6	－	2.6
	75歳以上	237	55.3	43.5	7.2	2.5	2.1	1.3
	女性　64歳以下	11	▼ 36.4	△ 63.6	－	－	－	－
	65～74歳	53	66.0	▼ 28.3	3.8	－	3.8	1.9
	75歳以上	427	55.7	43.1	3.0	1.4	0.7	2.6
圏域別	安威川以北圏域	420	59.0	40.5	4.3	1.7	1.4	1.0
	安威川以南圏域	356	53.1	44.7	4.5	1.7	1.1	3.4
要介護度別	要支援１・２	353	△ 81.9	▼ 16.7	2.5	1.4	1.1	3.1
	要介護１・２	298	▼ 39.9	△ 60.1	5.0	2.3	1.3	1.3
	要介護３～５	122	▼ 22.1	△ 73.8	8.2	0.8	1.6	0.8

◆問２　調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】

○　世帯類型について、「単身世帯」が 38.2%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が 30.8%、「その他」が 28.1%となっています。

○　前回調査と比較すると、「単身世帯」は 38.2%と、前回（32.3%）から 5.9 ポイント多く、「その他」は 28.1%と、前回（33.2%）から 5.1 ポイント少なくなっています。

【性・年齢別】

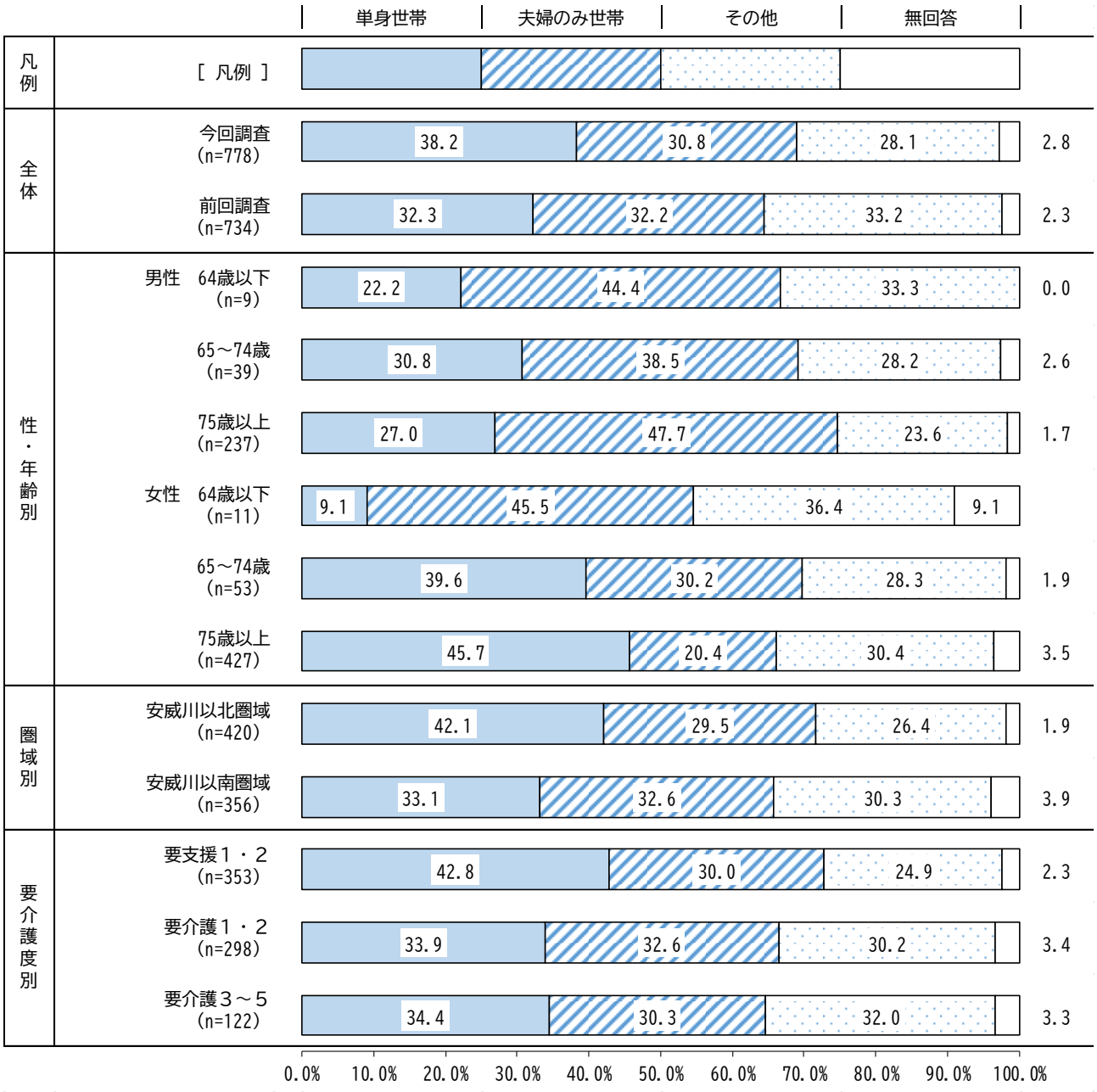
○　男性 75 歳以上では、「夫婦のみ世帯」、女性 75 歳以上では「単身世帯」が最も多くなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「単身世帯」は 42.1%と、安威川以南圏域（33.1%）と比較して 9.0 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

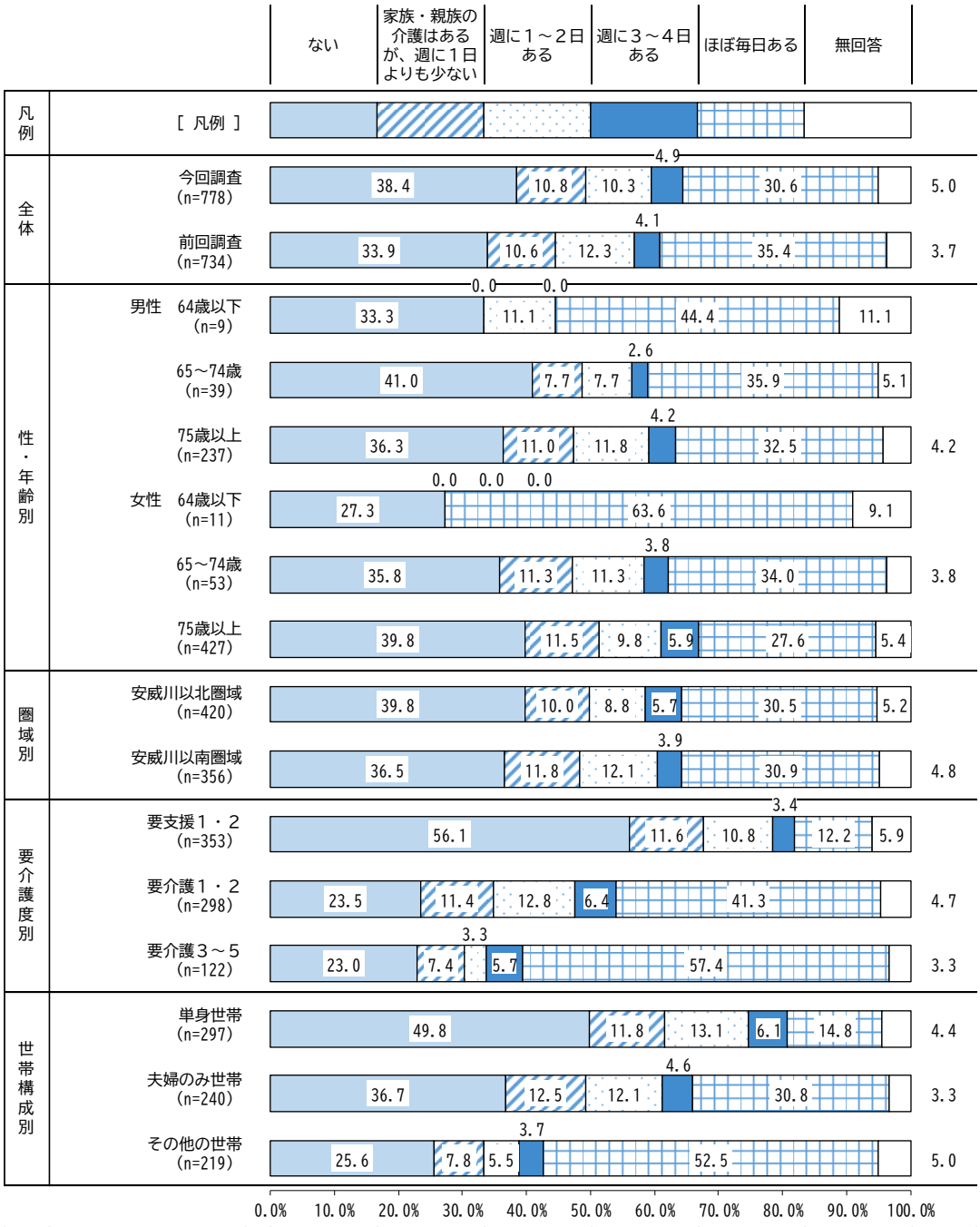
○　要支援１・２では、「単身世帯」が 42.8%と他の区分と比較して多くなっています。



2. 家族等による介護について

◆問３　調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（１つだけ○）

【全体】
○　介護の頻度について、「ない」が 38.4%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が 30.6%、「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」が 10.8%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　性・年齢別による大きな差はみられません。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要介護１～５では、「ほぼ毎日ある」が最も多く、要介護３～５では約６割となっています。
【世帯構成別】
○　単身世帯では、「ない」が約５割と、他の区分と比較して多くなっています。



◆問４　調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。（１つだけ○）

【全体】

○　主な介護者について、「子」が 51.1%で最も多く、次いで「配偶者」が 30.5%、「子の配偶者」が 5.2%となっています。

○　前回調査と比較すると、「配偶者」は 30.5%と、前回（38.9%）から 8.4 ポイント少なくなっています。

【性・年齢別】

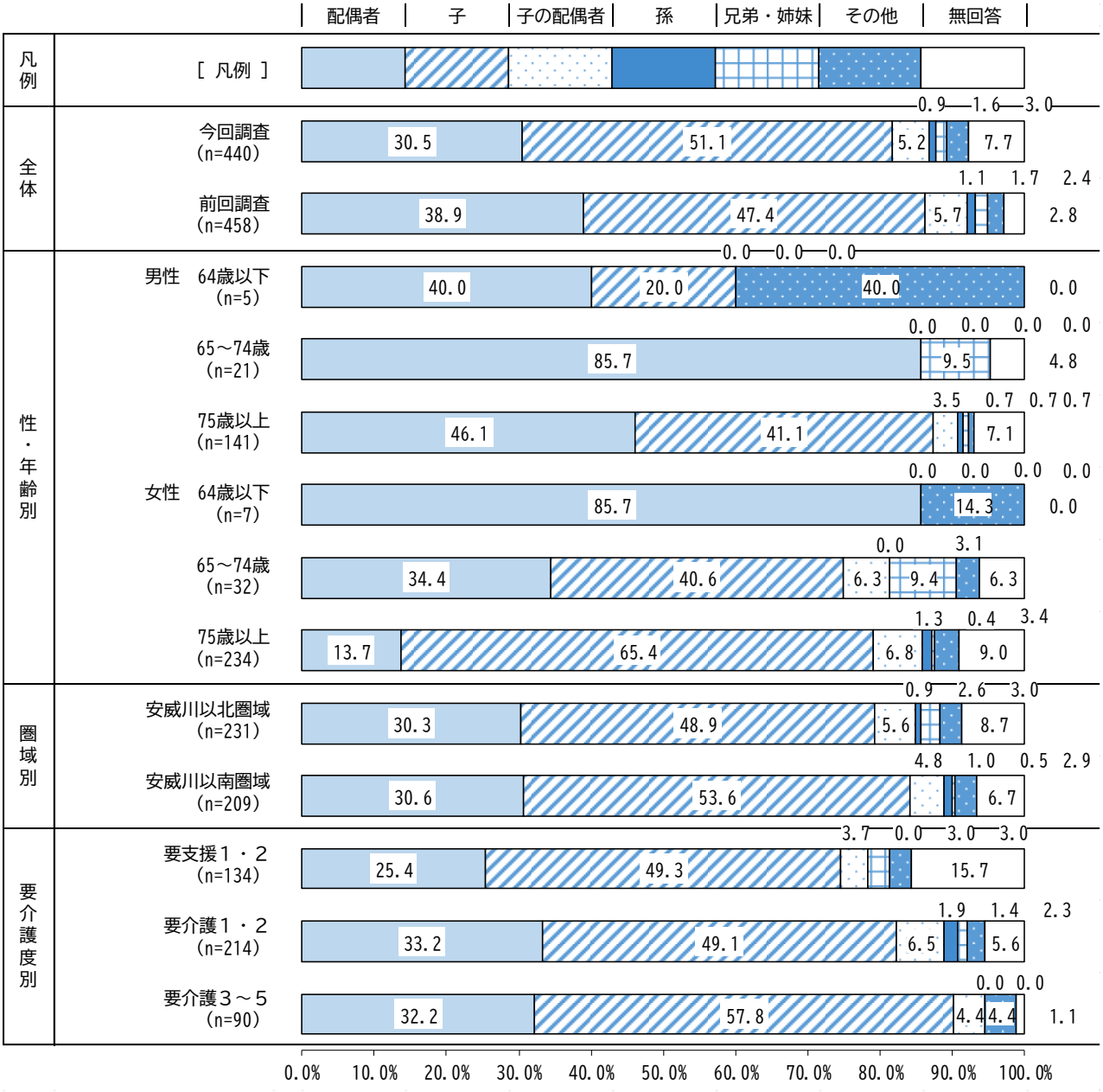
○　男性 75 歳以上では、「配偶者」、女性 75 歳以上では「子」が最も多くなっています。

【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

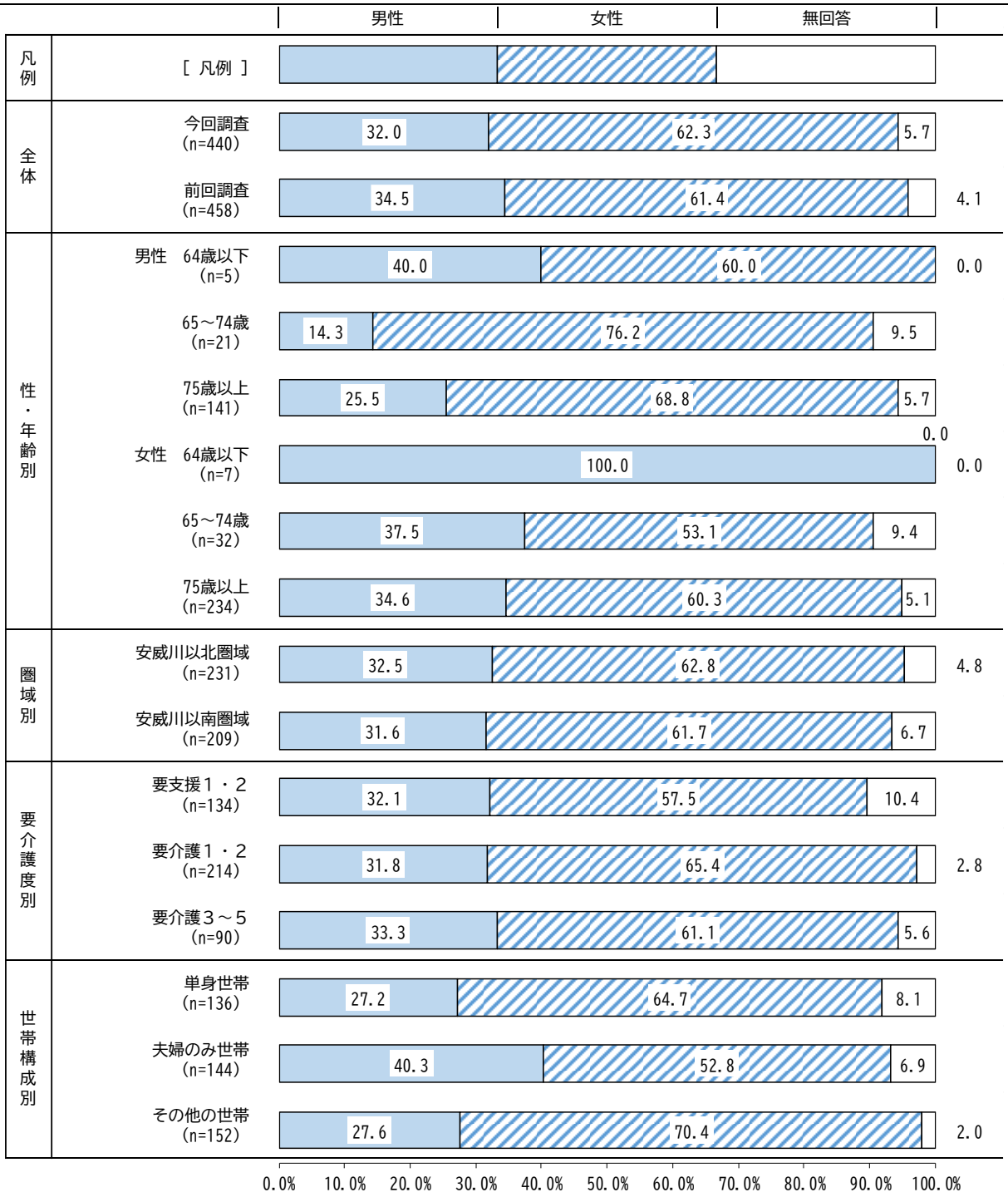
【要介護度別】

○　すべての区分で、「子」が最も多くなっています。



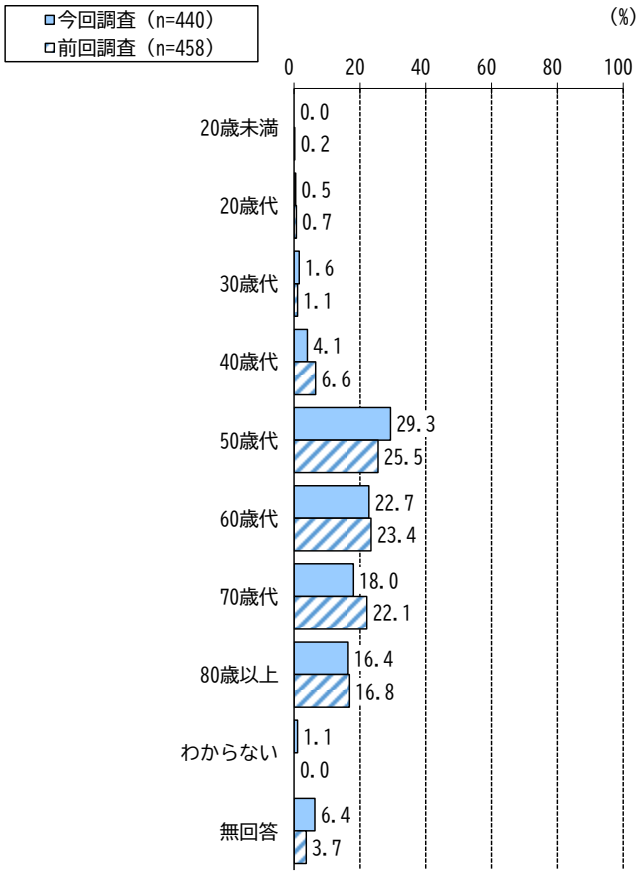
◆問５　調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　主な介護者の性別について、「男性」が 32.0%、「女性」が 62.3%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「女性」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　すべての要介護度で、「女性」が最も多くなっています。
【世帯構成別】
○　すべての世帯構成で、「女性」が最も多くなっています。



◆問６　調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　主な介護者の年齢について、「50 歳代」が 29.3%で最も多く、次いで「60 歳代」が 22.7%、「70 歳代」が 18.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　男性 75 歳以上では「80 歳以上」、女性 75 歳以上では「50 歳代」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　すべての区分で、50 歳代が最も多く、80 歳以上は１割から２割程度となっています。

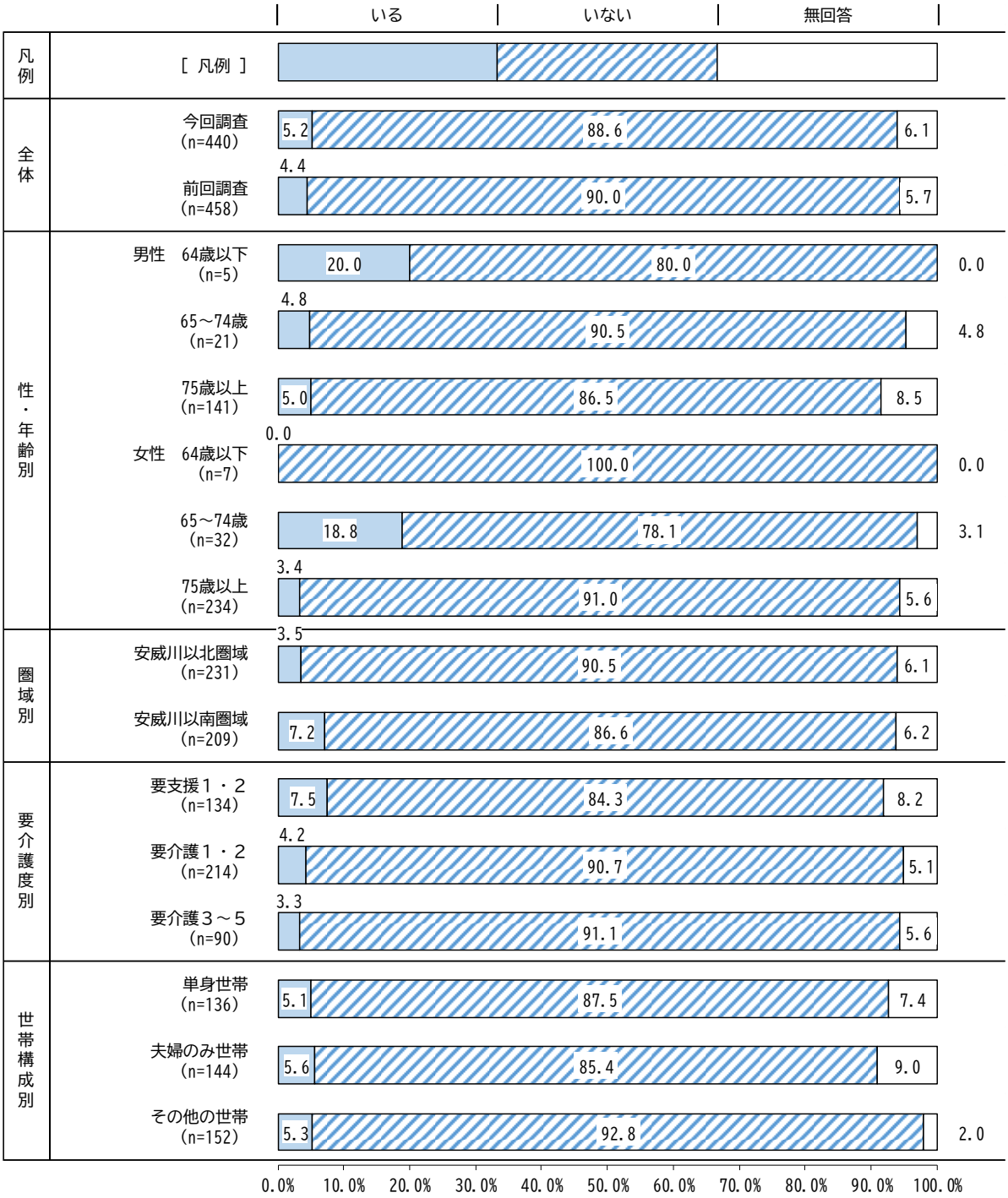


単位：%

		母数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体		440	－	0.5	1.6	4.1	29.3	22.7	18.0	16.4	1.1	6.4
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	－	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	－	20.0	－	－	－
	65～74歳	21	－	－	－	－	▼ 4.8	28.6	△ 61.9	－	－	4.8
	75歳以上	141	－	－	0.7	5.0	24.8	▼ 11.3	24.8	26.2	0.7	6.4
	女性　64歳以下	7	－	－	－	－	△ 42.9	△ 42.9	14.3	－	－	－
	65～74歳	32	－	－	9.4	△ 18.8	21.9	▼ 6.3	△ 40.6	－	－	3.1
	75歳以上	234	－	0.9	0.9	1.7	34.6	31.2	▼ 6.8	15.0	1.7	7.3
圏域別	安威川以北圏域	231	－	0.4	2.6	4.3	26.0	24.7	17.7	16.5	1.7	6.1
	安威川以南圏域	209	－	0.5	0.5	3.8	33.0	20.6	18.2	16.3	0.5	6.7
要介護度別	要支援１・２	134	－	－	2.2	6.7	34.3	16.4	11.2	16.4	－	12.7
	要介護１・２	214	－	0.9	1.9	2.3	26.2	25.7	20.6	18.2	1.4	2.8
	要介護３～５	90	－	－	－	4.4	28.9	24.4	22.2	12.2	2.2	5.6

◆問７　調査の対象者を、主に介護している方には、15歳未満の子どもはいますか。（１つだけ○）

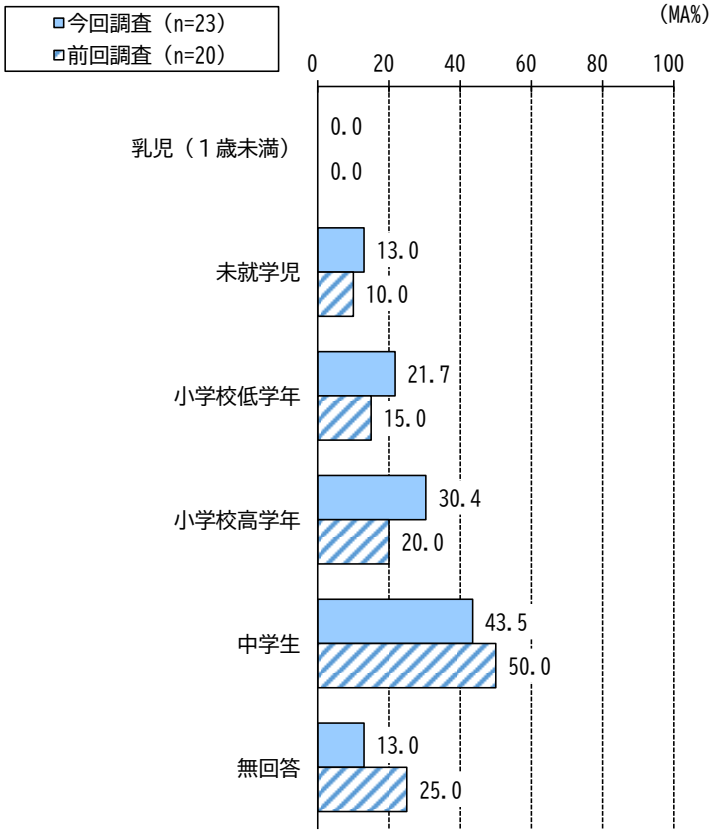
【全体】
○　主な介護者の 15 歳未満の子どもの有無について、「いる」が 5.2%、「いない」が 88.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「いない」が約９割となっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　すべての要介護度で、「いない」が最も多くなっています。
【世帯構成別】
○　すべての世帯構成で、「いない」が最も多くなっています。



◆問８　子どもの年齢はどのくらいですか。（いくつでも○）

【全体】

○　主な介護者の 15 歳未満の年齢について、「中学生」が 43.5%で最も多く、次いで「小学校高学年」が 30.4%、「小学校低学年」が 21.7%となっています。



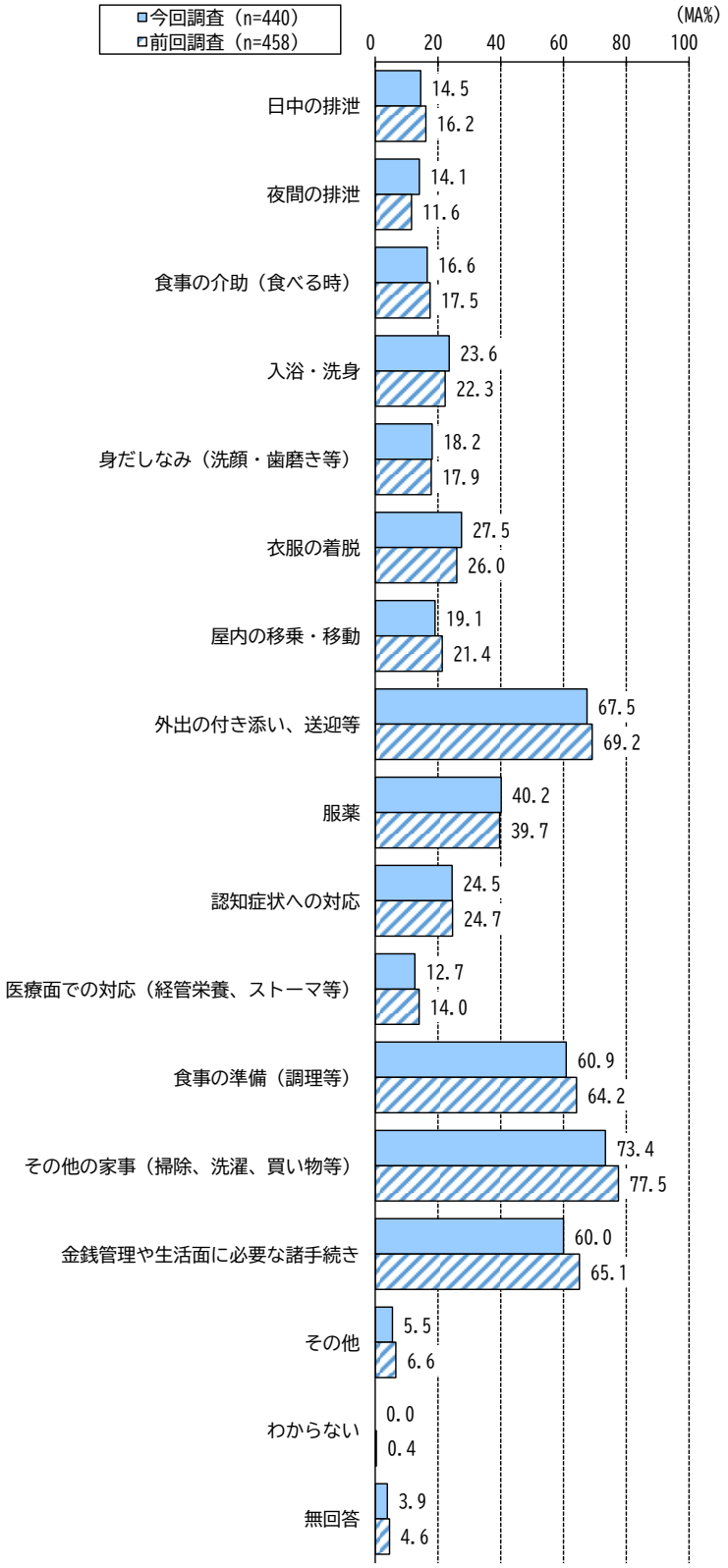
単位：%

		母数	乳児（１歳未満）	未就学児	小学校低学年	小学校高学年	中学生	無回答
全体		23	－	13.0	21.7	30.4	43.5	13.0
性・年齢別	男性　64歳以下	1	－	－	－	－	－	100.0
	65～74歳	1	－	△100.0	△100.0	－	－	－
	75歳以上	7	－	－	28.6	△ 42.9	△ 71.4	－
	女性　64歳以下	－	－	－	－	－	－	－
	65～74歳	6	－	△ 33.3	16.7	33.3	▼ 16.7	－
	75歳以上	8	－	－	12.5	25.0	50.0	25.0
圏域別	安威川以北圏域	8	－	△ 25.0	－	37.5	▼ 12.5	25.0
	安威川以南圏域	15	－	6.7	△ 33.3	26.7	△ 60.0	6.7
要介護度別	要支援１・２	10	－	－	20.0	30.0	50.0	10.0
	要介護１・２	9	－	△ 33.3	△ 33.3	▼ 11.1	44.4	22.2
	要介護３～５	3	－	－	－	△ 66.7	▼ 33.3	－

※回答数が少ないため（n<50）、属性別の詳細な比較分析は控え、参考値として掲載します。

◆問９　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 73.4%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 67.5%、「食事の準備（調理等）」が 60.9%となっています。
○　前回調査と比較すると、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は 60.0%と、前回（65.1%）から 5.1 ポイント少なくなっています。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「日中の排泄」「夜間の排泄」は、安威川以北圏域と比較して５ポイント以上多く、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は、7.7 ポイント少なくなっています。
【要介護度別】
○　ほとんどの項目で要介護度が上がるほど、主な介護者が行っている割合が多くなる傾向となっています。
○　「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は、介護度が低くても割合が多い傾向にあります。

【主な介護者が行う介護（MA）】

単位：％

		母数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		440	14.5	14.1	16.6	23.6	18.2	27.5	19.1	67.5	40.2
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	－	－	20.0	20.0	△ 40.0	－	△100.0	－
	65～74歳	21	△ 38.1	23.8	23.8	△ 47.6	△ 33.3	△ 61.9	△ 33.3	61.9	38.1
	75歳以上	141	12.1	11.3	15.6	18.4	14.9	25.5	13.5	▼ 57.4	40.4
	女性　64歳以下	7	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9	△ 57.1	△ 28.6	△ 57.1	△ 42.9	△ 85.7	42.9
	65～74歳	32	9.4	9.4	9.4	31.3	15.6	18.8	18.8	△ 87.5	37.5
	75歳以上	234	14.1	15.0	17.1	22.6	18.8	25.6	20.9	70.1	41.5
圏域別	安威川以北圏域	231	12.1	10.0	13.9	22.5	17.3	22.9	16.9	68.0	38.1
	安威川以南圏域	209	17.2	18.7	19.6	24.9	19.1	32.5	21.5	67.0	42.6
要介護度別	要支援１・２	134	▼ 0.7	▼ 1.5	8.2	14.2	▼ 2.2	▼ 7.5	▼ 3.0	60.4	▼ 11.2
	要介護１・２	214	9.3	9.3	12.6	26.6	15.9	25.7	20.1	69.6	45.8
	要介護３～５	90	△ 47.8	△ 44.4	△ 38.9	31.1	△ 47.8	△ 62.2	△ 41.1	73.3	△ 70.0

単位：％

		母数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		440	24.5	12.7	60.9	73.4	60.0	5.5	－	3.9
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	20.0	△ 80.0	80.0	▼ 40.0	－	－	－
	65～74歳	21	▼ 9.5	4.8	△ 71.4	66.7	▼ 47.6	4.8	－	4.8
	75歳以上	141	24.8	17.0	63.8	71.6	63.8	5.0	－	3.5
	女性　64歳以下	7	28.6	－	△ 85.7	△100.0	△ 85.7	－	－	－
	65～74歳	32	25.0	9.4	59.4	68.8	▼ 50.0	6.3	－	－
	75歳以上	234	26.1	11.5	57.3	74.8	59.8	6.0	－	4.7
圏域別	安威川以北圏域	231	23.8	11.7	63.2	77.1	60.2	4.8	－	2.6
	安威川以南圏域	209	25.4	13.9	58.4	69.4	59.8	6.2	－	5.3
要介護度別	要支援１・２	134	▼ 5.2	3.7	▼ 38.1	▼ 60.4	▼ 31.3	4.5	－	9.0
	要介護１・２	214	32.7	16.8	65.4	76.2	△ 70.1	5.6	－	1.4
	要介護３～５	90	34.4	16.7	△ 84.4	△ 86.7	△ 78.9	5.6	－	2.2

◆問10　ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（いくつでも○）

【全体】

○　介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 63.9%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」「わからない」が 5.7%、「主な介護者が転職した」が 1.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　75 歳以上では、男女ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっています。

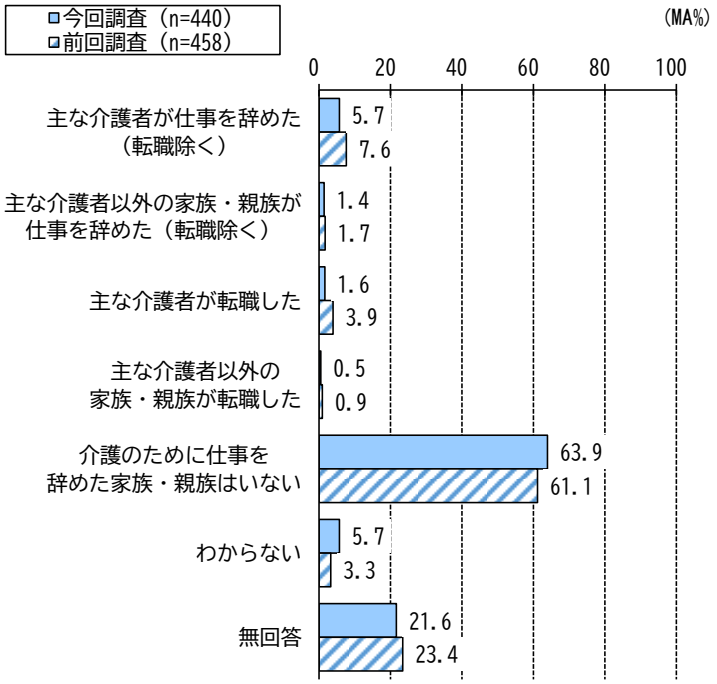
【圏域別】

○　圏域別による大きな差はみられません。

【要介護度別】

○　すべての区分で、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が多くなっています。

○　要介護３～５について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は 8.9%と他の区分と比較して多くなっています。



単位：％

		母数	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		440	5.7	1.4	1.6	0.5	63.9	5.7	21.6
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	－	－	－	60.0	△ 20.0	20.0
	65～74歳	21	－	4.8	－	－	71.4	9.5	14.3
	75歳以上	141	3.5	1.4	0.7	1.4	59.6	5.7	28.4
	女性　64歳以下	7	14.3	△ 14.3	△ 14.3	－	▼ 42.9	－	14.3
	65～74歳	32	△ 18.8	－	－	－	▼ 50.0	15.6	15.6
	75歳以上	234	5.6	0.9	2.1	－	68.4	3.8	19.2
圏域別	安威川以北圏域	231	6.1	－	1.7	0.4	65.4	5.2	21.2
	安威川以南圏域	209	5.3	2.9	1.4	0.5	62.2	6.2	22.0
要介護度別	要支援１・２	134	3.0	－	2.2	0.7	57.5	6.7	29.9
	要介護１・２	214	6.1	1.4	1.4	0.5	67.8	5.6	17.8
	要介護３～５	90	8.9	3.3	1.1	－	65.6	4.4	16.7

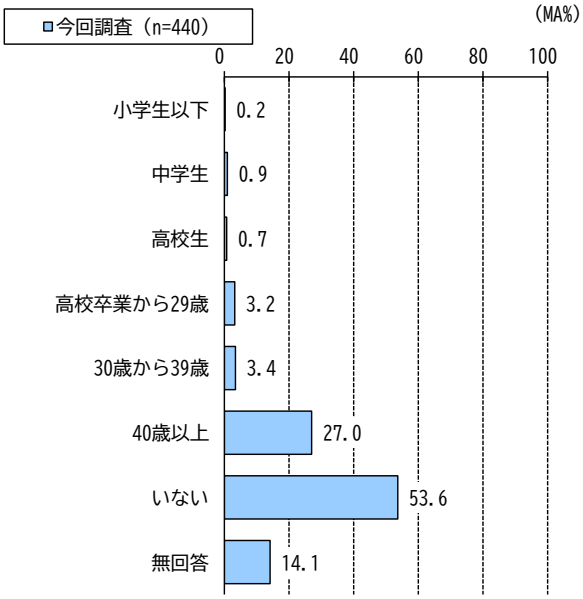
◆問11　主な介護者のほかに、調査対象者の介護をしている下記の方はいますか。（いくつでも○）

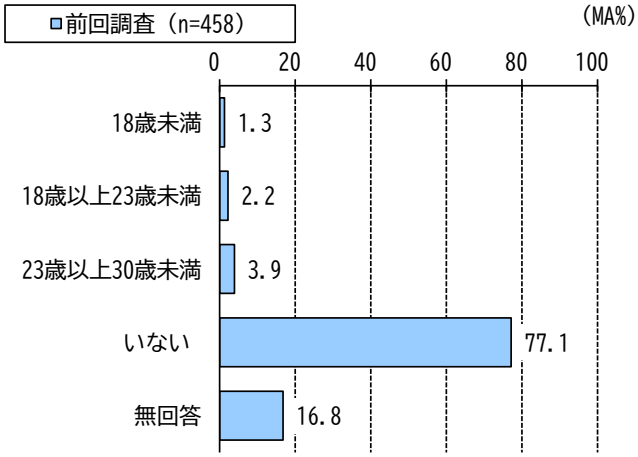
【全体】
○　主な介護者以外の介護者について、「いない」が 53.6%で最も多く、次いで「40 歳以上」が 27.0%、「30 歳から 39 歳」が 3.4%となっています。

【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「いない」が最も多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【要介護度別】
○　「高校卒業から 29 歳」は要介護１・２が 3.7%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「30 歳から 39 歳」は要支援１・２が 3.7%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「40 歳以上」は要支援１・２が 23.1%と他の区分と比較して少なくなっています。





単位：％

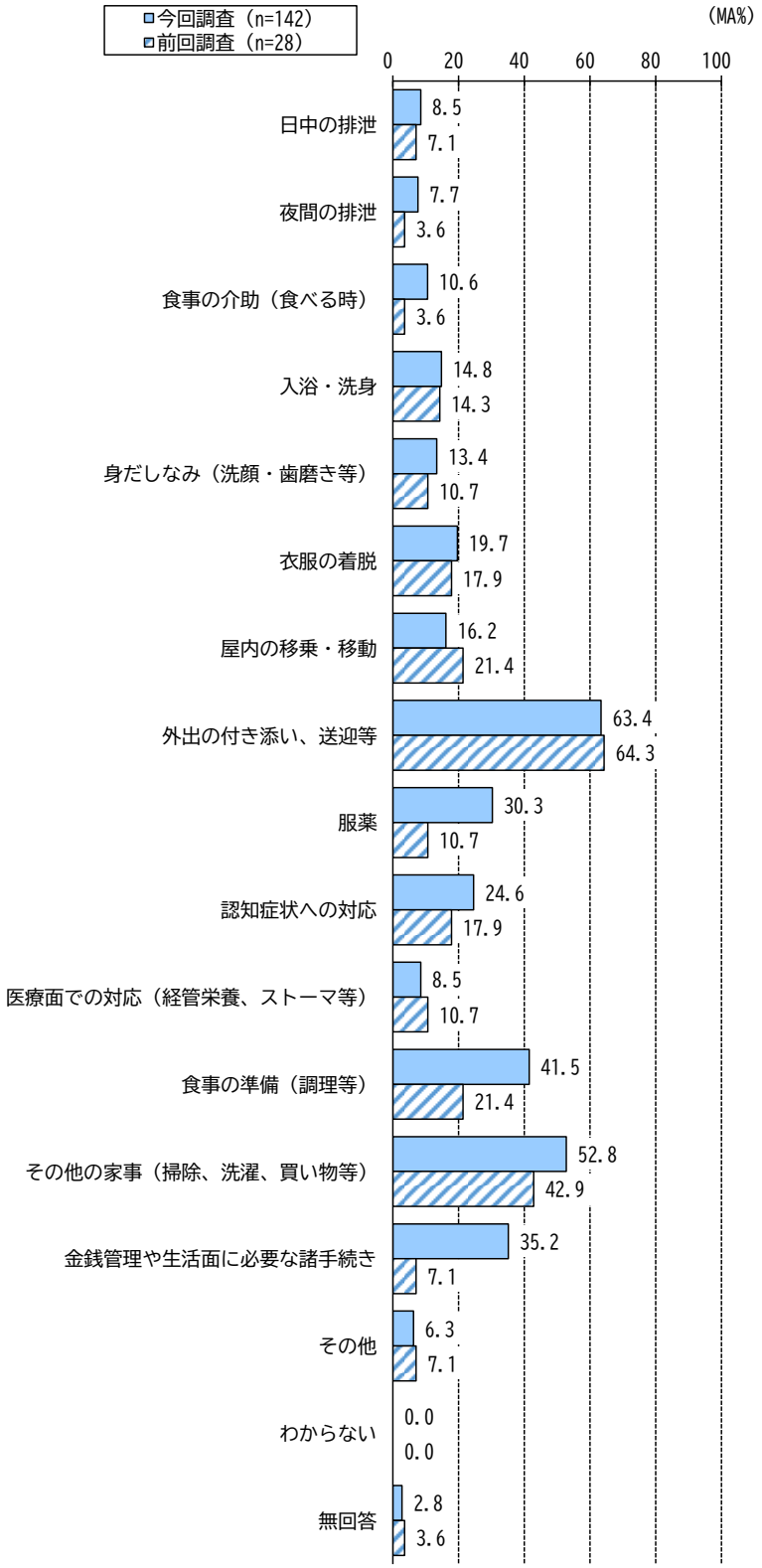
		母数	小学生以下	中学生	高校生	高校卒業から29歳	30歳から39歳	40歳以上	いない	無回答
全体		440	0.2	0.9	0.7	3.2	3.4	27.0	53.6	14.1
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	－	－	－	－	20.0	△ 80.0	－
	65～74歳	21	－	－	－	－	9.5	▼ 9.5	△ 76.2	4.8
	75歳以上	141	－	1.4	0.7	0.7	3.5	26.2	51.1	17.7
	女性　64歳以下	7	－	－	－	－	－	▼ 14.3	△ 85.7	－
	65～74歳	32	3.1	3.1	3.1	－	9.4	31.3	43.8	12.5
	75歳以上	234	－	0.4	0.4	5.6	2.1	29.1	53.0	13.7
圏域別	安威川以北圏域	231	－	0.4	0.9	2.2	3.5	28.1	54.1	13.0
	安威川以南圏域	209	0.5	1.4	0.5	4.3	3.3	25.8	53.1	15.3
要介護度別	要支援１・２	134	－	2.2	0.7	3.0	3.7	23.1	50.7	20.9
	要介護１・２	214	－	0.5	0.9	3.7	3.3	28.0	54.7	10.7
	要介護３～５	90	1.1	－	－	2.2	3.3	31.1	56.7	10.0

◆問12　その方が行っている介護などについて、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】

○　その方が行っている介護などについて、「外出の付き添い、送迎等」が 63.4%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 52.8%、「食事の準備（調理等）」が 41.5%となっています。

○　前回調査と比較すると、「食事の介助（食べる時）」「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は前回から６ポイント以上多く、「屋内の移乗・移動」は 5.2 ポイント少なくなっています。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は 63.6%と、安威川以北圏域（43.4%）と比較して 20.2 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「外出の付き添い、送迎等」について、要介護３～５は 46.7%と他の区分より少なくなっています。
○　ほとんどの項目において、要介護度が上がるにつれて、割合が多くなる傾向にあります。

【主な介護者以外の介護者が行っている介護（MA）】

単位：%

		母数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		142	8.5	7.7	10.6	14.8	13.4	19.7	16.2	63.4	30.3
性・年齢別	男性　64歳以下	1	－	－	－	－	－	△100.0	－	－	－
	65～74歳	4	－	－	－	△ 25.0	－	25.0	－	△ 75.0	25.0
	75歳以上	44	4.5	2.3	9.1	18.2	11.4	13.6	13.6	56.8	29.5
	女性　64歳以下	1	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0	－
	65～74歳	14	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	21.4	△ 35.7	△ 78.6	28.6
	75歳以上	78	10.3	9.0	10.3	11.5	12.8	20.5	14.1	64.1	32.1
圏域別	安威川以北圏域	76	6.6	2.6	10.5	10.5	9.2	15.8	14.5	64.5	26.3
	安威川以南圏域	66	10.6	13.6	10.6	19.7	18.2	24.2	18.2	62.1	34.8
要介護度別	要支援１・２	38	－	－	2.6	13.2	－	10.5	▼ 5.3	60.5	▼ 10.5
	要介護１・２	74	5.4	8.1	6.8	13.5	14.9	18.9	17.6	71.6	31.1
	要介護３～５	30	△ 26.7	16.7	△ 30.0	20.0	△ 26.7	△ 33.3	△ 26.7	▼ 46.7	△ 53.3

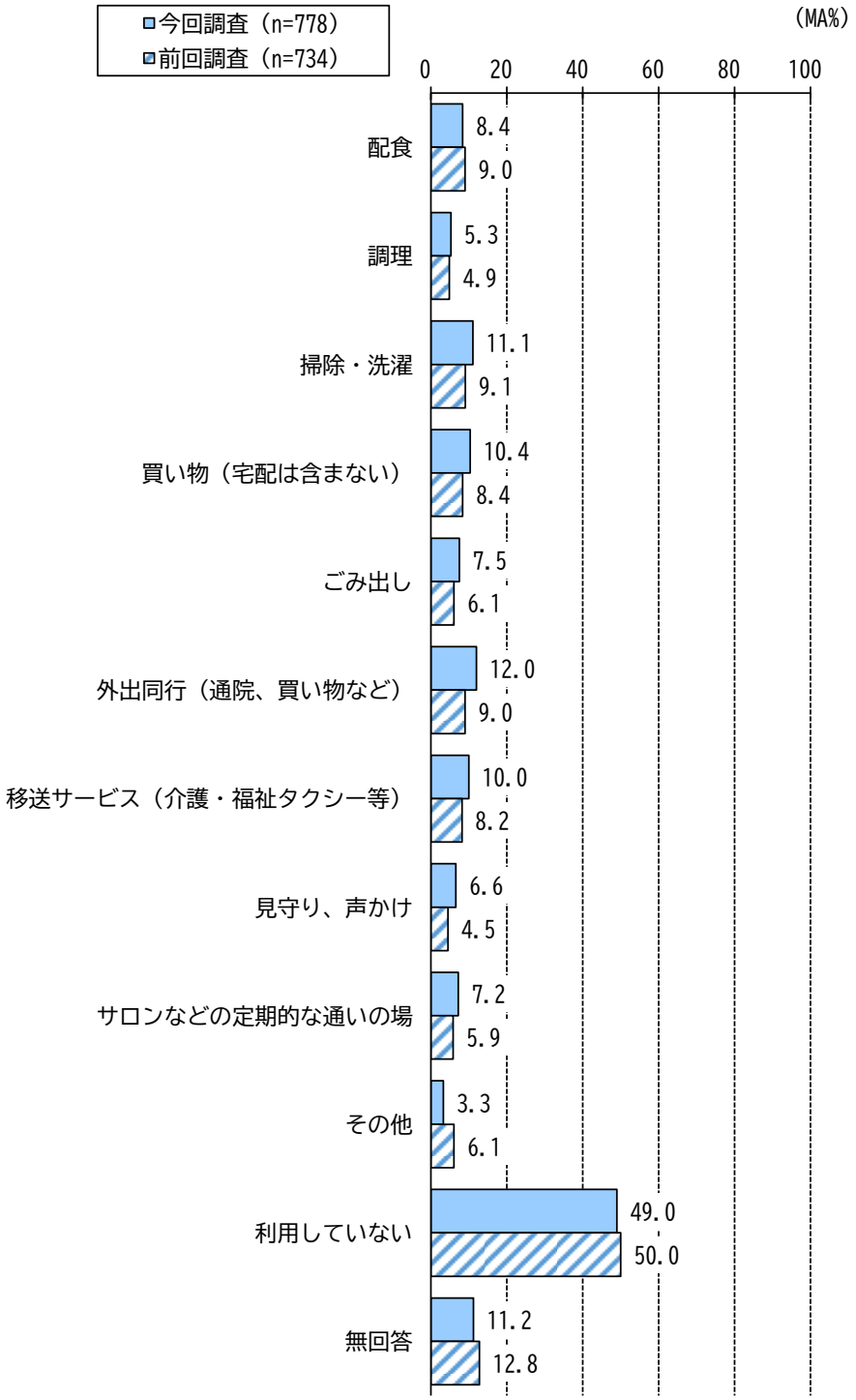
単位：%

		母数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		142	24.6	8.5	41.5	52.8	35.2	6.3	－	2.8
性・年齢別	男性　64歳以下	1	－	－	△100.0	△100.0	－	－	－	－
	65～74歳	4	25.0	－	▼ 25.0	－	－	－	－	25.0
	75歳以上	44	20.5	11.4	40.9	50.0	29.5	4.5	－	－
	女性　64歳以下	1	△100.0	－	△100.0	△100.0	－	－	－	－
	65～74歳	14	▼ 14.3	14.3	50.0	△ 71.4	35.7	－	－	7.1
	75歳以上	78	28.2	6.4	39.7	52.6	41.0	9.0	－	2.6
圏域別	安威川以北圏域	76	25.0	6.6	42.1	43.4	34.2	6.6	－	2.6
	安威川以南圏域	66	24.2	10.6	40.9	△ 63.6	36.4	6.1	－	3.0
要介護度別	要支援１・２	38	▼ 10.5	7.9	34.2	52.6	▼ 23.7	7.9	－	5.3
	要介護１・２	74	29.7	9.5	39.2	52.7	41.9	6.8	－	2.7
	要介護３～５	30	30.0	6.7	△ 56.7	53.3	33.3	3.3	－	－

3. 支援･サービスについて

◆問13　現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が 49.0%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 12.0%、「掃除・洗濯」が 11.1%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、「サロンなどの定期的な通いの場」は女性が 10.1%と、男性（4.2%）と比較して 5.9 ポイント多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要介護度が上がるにつれて、「配食」「調理」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が多くなっています。
○　「利用していない」は、すべての区分で、５割前後となっています。

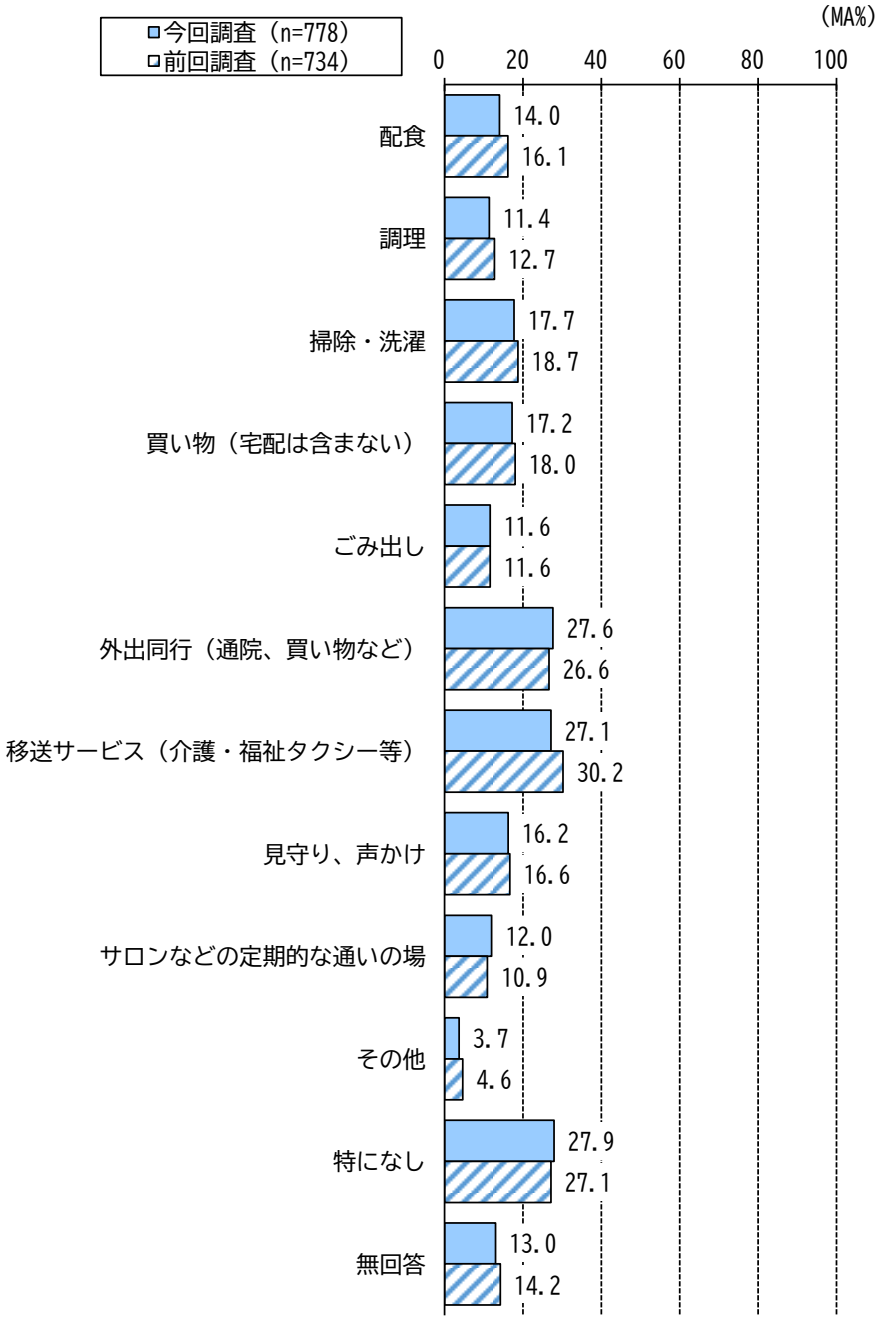
【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況（MA）】

単位：%

		母数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		778	8.4	5.3	11.1	10.4	7.5	12.0	10.0	6.6	7.2	3.3	49.0	11.2
性・年齢別	男性　64歳以下	9	-	-	11.1	-	-	-	11.1	-	-	11.1	△ 66.7	-
	65～74歳	39	7.7	-	2.6	10.3	-	5.1	15.4	2.6	-	5.1	56.4	7.7
	75歳以上	237	8.4	5.5	11.8	13.1	7.6	15.2	11.8	5.9	4.2	3.4	44.7	11.4
	女性　64歳以下	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 81.8	18.2
	65～74歳	53	3.8	7.5	3.8	11.3	11.3	18.9	7.5	3.8	5.7	9.4	58.5	7.5
	75歳以上	427	9.4	5.6	12.4	9.4	8.0	10.5	9.1	8.0	10.1	2.3	48.2	11.9
圏域別	安威川以北圏域	420	9.5	5.5	12.9	10.0	7.9	10.0	10.7	6.4	5.7	3.1	51.0	10.2
	安威川以南圏域	356	7.0	5.1	8.7	11.0	7.0	14.3	9.3	6.7	9.0	3.7	46.6	12.4
要介護度別	要支援１・２	353	6.8	4.8	10.8	10.5	5.4	12.7	6.2	7.1	8.5	3.1	49.0	11.0
	要介護１・２	298	7.7	5.7	12.1	10.4	10.1	12.8	12.1	7.0	7.4	3.4	46.6	13.1
	要介護３～５	122	14.8	5.7	9.0	10.7	7.4	8.2	16.4	4.1	3.3	4.1	53.3	7.4

◆問14　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「特になし」が 27.9%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 27.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 27.1%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　女性 75 歳以上では、「外出同行（通院、買い物など）」が他の区分と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　ほとんどの項目において、要介護１・２の回答割合が他の区分と比較して多くなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス（MA）】

単位：％

		母数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体		778	14.0	11.4	17.7	17.2	11.6	27.6	27.1	16.2	12.0	3.7	27.9	13.0
性・年齢別	男性　64歳以下	9	－	△ 22.2	－	－	－	33.3	22.2	－	－	－	△ 66.7	－
	65～74歳	39	5.1	5.1	10.3	7.7	5.1	▼ 15.4	20.5	▼ 5.1	－	2.6	△ 38.5	15.4
	75歳以上	237	11.8	8.9	13.1	15.2	7.2	23.2	24.9	14.8	8.9	4.2	30.0	13.9
	女性　64歳以下	11	9.1	－	18.2	－	－	▼ 9.1	18.2	－	－	－	△ 54.5	18.2
	65～74歳	53	15.1	20.8	22.6	22.6	20.8	26.4	28.3	24.5	△ 22.6	3.8	24.5	15.1
	75歳以上	427	16.4	12.2	20.6	19.4	14.1	31.9	29.0	17.8	14.1	3.7	24.6	12.2
圏域別	安威川以北圏域	420	14.5	11.7	18.6	17.1	11.4	28.1	26.2	16.0	12.1	4.0	27.9	12.1
	安威川以南圏域	356	13.5	11.0	16.6	17.4	11.8	27.2	28.1	16.6	11.8	3.4	27.8	14.0
要介護度別	要支援１・２	353	9.6	7.6	15.6	15.6	9.6	24.6	23.5	14.2	11.9	3.7	28.9	15.3
	要介護１・２	298	19.8	16.8	23.2	22.8	15.4	34.6	31.2	19.8	12.1	4.4	22.8	10.7
	要介護３～５	122	13.1	9.0	10.7	9.0	8.2	20.5	27.9	13.9	11.5	1.6	36.9	12.3

◆問15　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つだけ○）

【全体】

○　現在の経済状況について、「ふつう」が 50.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 26.9%、「大変苦しい」が 12.2%となっています。

【性・年齢別】

○　女性では、65～74 歳は「大変苦しい」が 18.9%と、75 歳以上（11.7%）と比較して 7.2 ポイント多くなっています。

【圏域別】

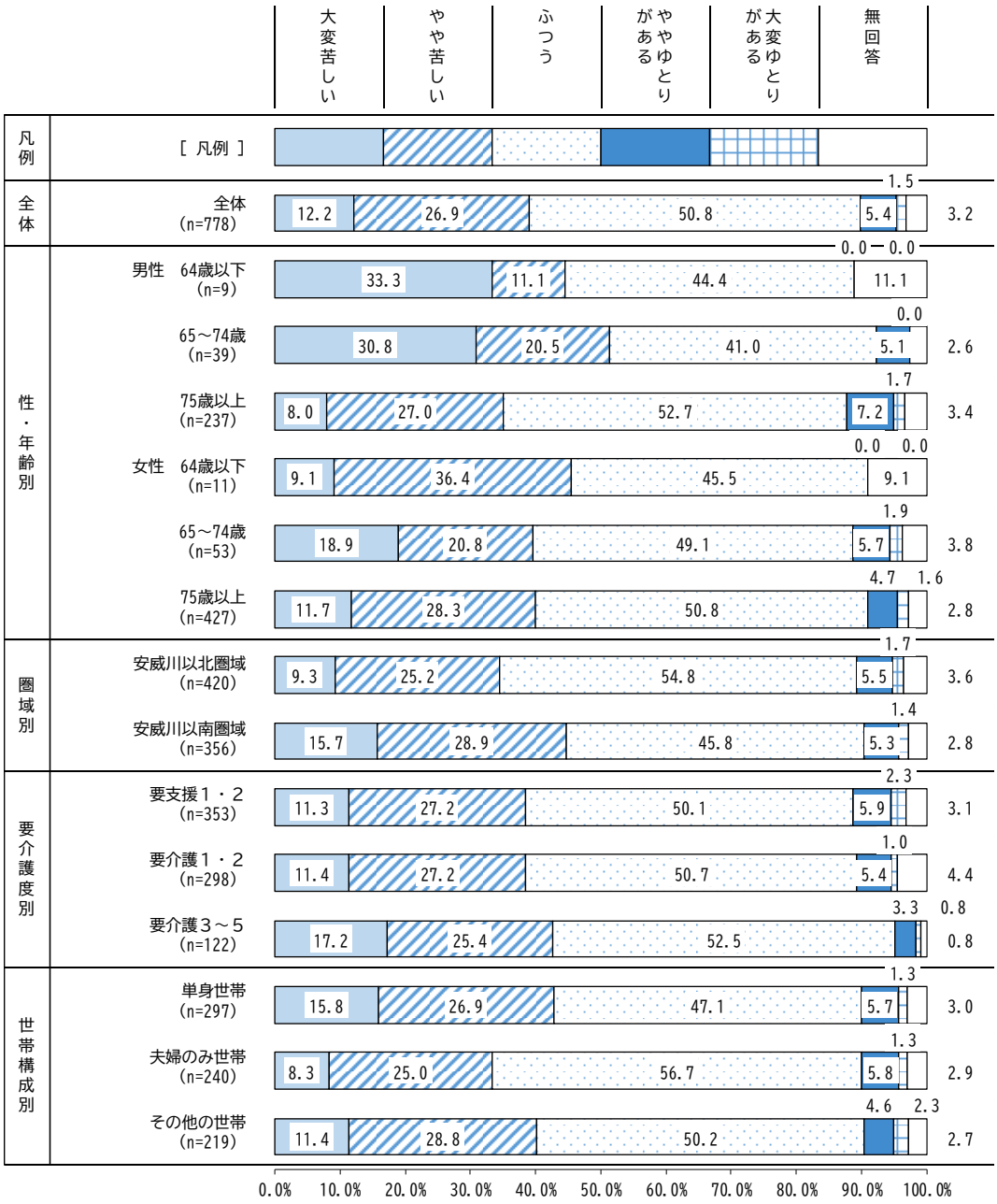
○　安威川以南圏域では、「大変苦しい」は 15.7%と、安威川以北圏域（9.3%）と比較して 6.4 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

○　「大変苦しい」は要介護３～５が 17.2%と他の区分と比較して多くなっています。

【世帯構成別】

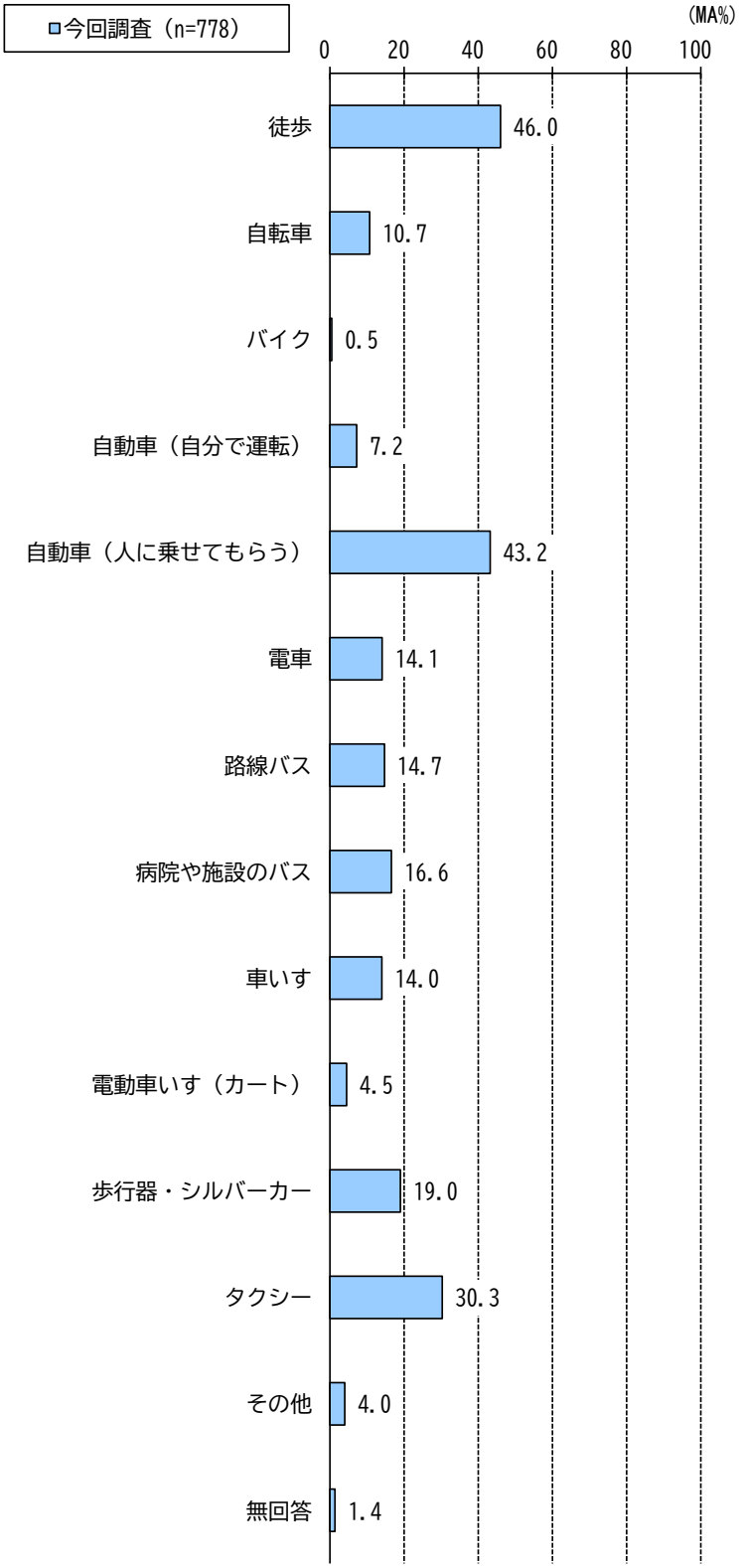
○　「ふつう」は夫婦のみ世帯が 56.7%と他の区分と比較して多くなっています。



◆問16　外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

○　外出時の移動手段について、「徒歩」が 46.0%で最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が 43.2%、「タクシー」が 30.3%となっています。



【性・年齢別】
○　女性 64 歳以下では、「車いす」が 45.5%と他の区分と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「徒歩」は 49.8%と、安威川以南圏域（41.3%）と比較して 8.5 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「車いす」は要介護３～５が 38.5%と他の区分と比較して多くなっています。

【外出時の移動手段（MA)】

単位：%

		母数	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全体		778	46.0	10.7	0.5	7.2	43.2	14.1	14.7
性・年齢別	男性　64歳以下	9	44.4	-	-	11.1	44.4	22.2	-
	65～74歳	39	41.0	12.8	-	△ 20.5	▼ 28.2	17.9	15.4
	75歳以上	237	46.0	16.0	0.4	9.7	36.7	11.4	15.6
	女性　64歳以下	11	▼ 18.2	-	-	9.1	36.4	18.2	9.1
	65～74歳	53	37.7	9.4	1.9	7.5	△ 56.6	15.1	9.4
	75歳以上	427	48.0	8.0	0.5	4.4	46.8	15.0	15.2
圏域別	安威川以北圏域	420	49.8	9.3	0.5	5.5	38.8	15.5	8.1
	安威川以南圏域	356	41.3	12.1	0.6	9.3	48.6	12.6	22.5
要介護度別	要支援１・２	353	55.5	12.5	0.8	9.1	38.5	19.5	21.2
	要介護１・２	298	44.0	10.4	0.3	5.4	49.0	10.7	9.7
	要介護３～５	122	▼ 21.3	5.7	-	5.7	42.6	5.7	7.4

単位：%

		母数	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		778	16.6	14.0	4.5	19.0	30.3	4.0	1.4
性・年齢別	男性　64歳以下	9	△ 33.3	△ 33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	-
	65～74歳	39	10.3	10.3	10.3	10.3	25.6	2.6	2.6
	75歳以上	237	17.7	8.9	5.1	9.7	32.9	2.1	2.1
	女性　64歳以下	11	-	△ 45.5	△ 18.2	-	36.4	-	-
	65～74歳	53	9.4	△ 26.4	7.5	22.6	22.6	5.7	1.9
	75歳以上	427	17.3	14.5	2.8	25.3	30.4	4.9	0.9
圏域別	安威川以北圏域	420	13.1	15.2	4.3	20.2	34.8	5.5	1.4
	安威川以南圏域	356	20.5	12.6	4.8	17.7	25.3	2.2	1.4
要介護度別	要支援１・２	353	15.9	4.2	5.1	24.9	32.9	3.1	1.1
	要介護１・２	298	15.1	15.8	3.0	15.1	28.9	4.4	1.7
	要介護３～５	122	22.1	△ 38.5	6.6	11.5	27.0	5.7	1.6

◆問17　あなたの考える「自分の生活の行動範囲」を教えてください。（１つだけ○）

【全体】

○　自分の生活の行動範囲について、「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」が44.6%で最も多く、次いで「わからない」が11.3%、「その他」が11.2%となっています。

【性・年齢別】

○　75 歳以上では、男女ともに「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」が最も多くなっています。

【圏域別】

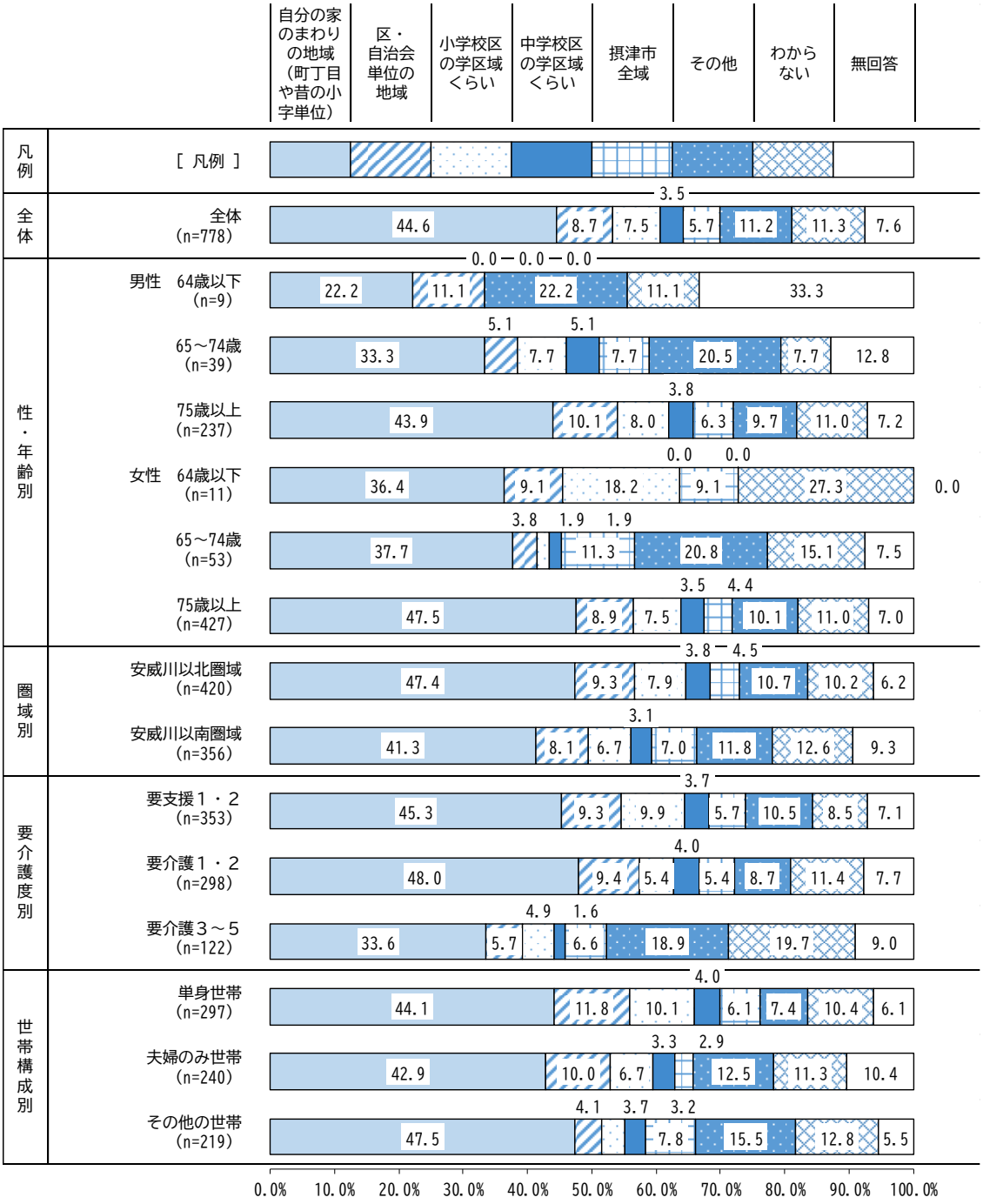
○　安威川以北圏域では、「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」は 47.4%と、安威川以南圏域（41.3%）と比較して 6.1 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

○　「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」は要介護３～５が 33.6%と他の区分と比較して少なくなっています。

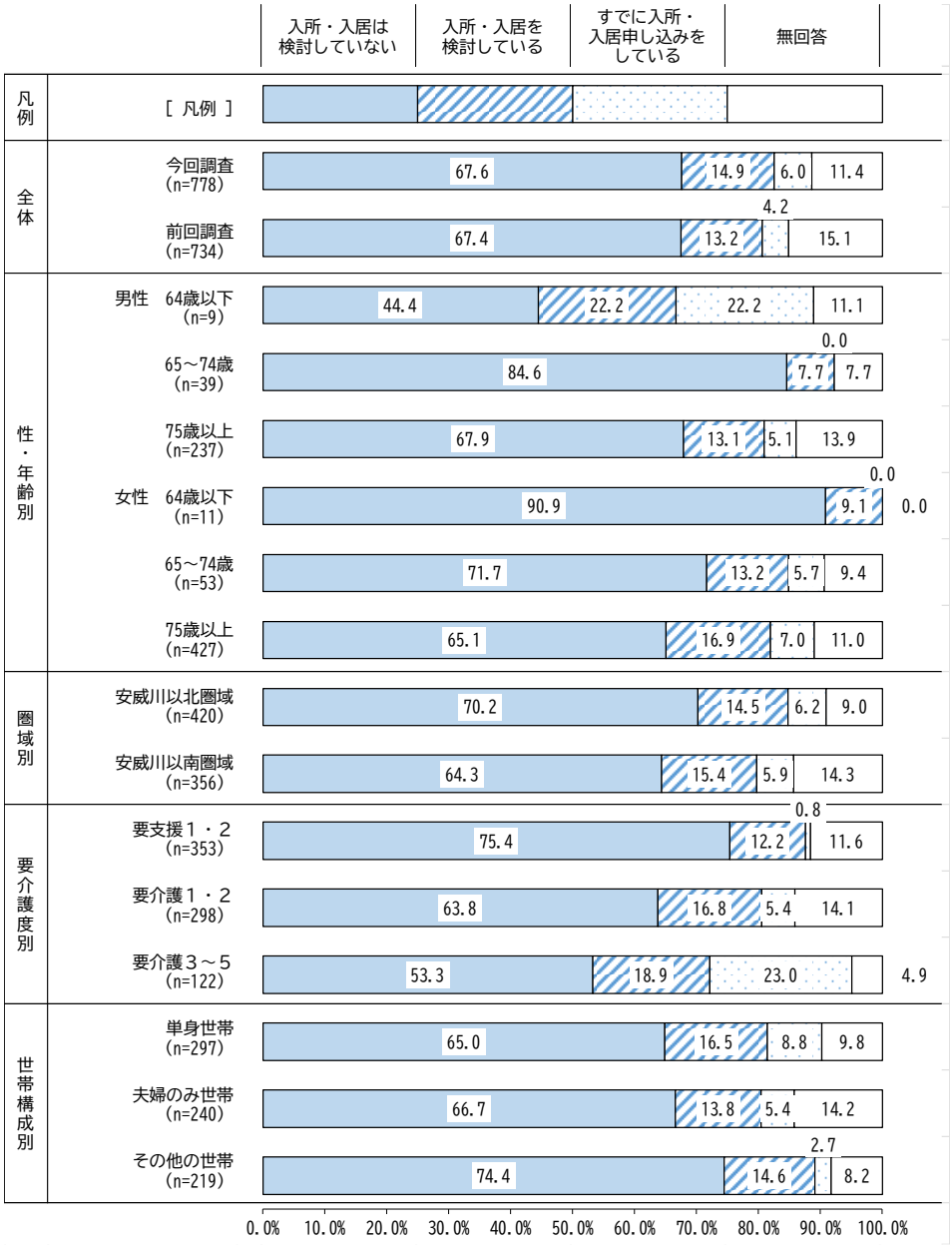
【世帯構成別】

○　「区・自治会単位の地域」は単身世帯が 11.8%と他の区分と比較して多くなっています。



◆問18　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 67.6%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　男女ともに、75 歳以上では「入所・入居は検討していない」は６割台となっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「入所・入居は検討していない」は 70.2%と、安威川以南圏域（64.3%）と比較して 5.9 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「入所・入居は検討していない」は要支援１・２が 75.4%と他の区分と比較して多くなっています。
【世帯構成別】
○　「入所・入居は検討していない」はその他の世帯が 74.4%と他の区分と比較して多くなっています。



◆問19　どのような施設を希望しますか。（いくつでも○）

【全体】

○　希望する施設について、「特別養護老人ホーム」が 46.6%で最も多く、次いで「軽費老人ホーム」が 22.1%、「サービス付き高齢者住宅」が 19.6%となっています。

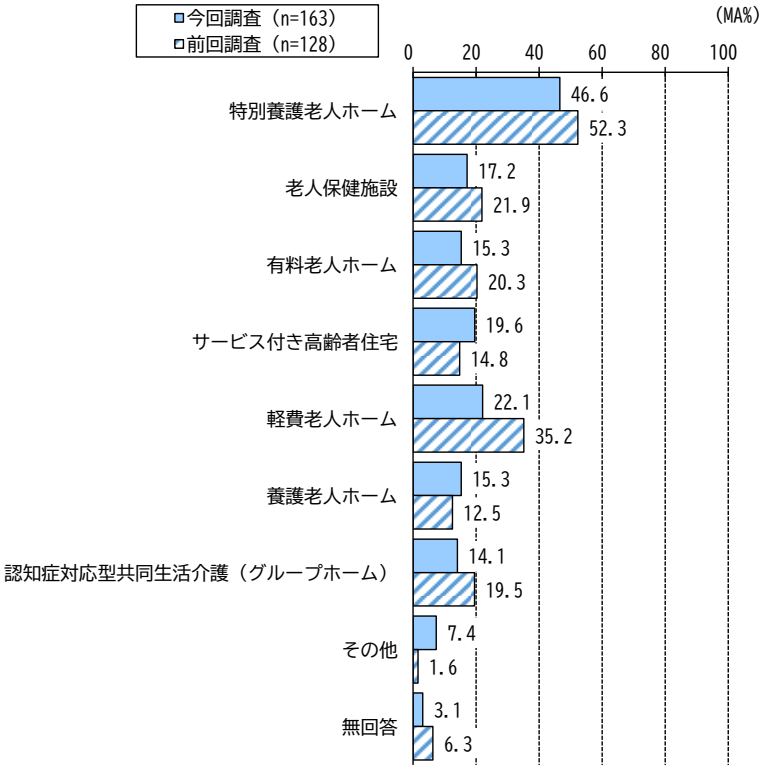
○　前回調査と比べると、「軽費老人ホーム」が 22.1%（前回 35.2%）と 13.1 ポイント少なくなっています。

【圏域別】

○　安威川以北圏域では、「サービス付き高齢者住宅」は 24.1%と、安威川以南圏域（14.5%）と比較して 9.6 ポイント多く、「軽費老人ホーム」「認知症型共同生活介護（グループホーム）」は５ポイント以上少なくなっています。

【要介護度別】

○　要介護３～５では、「特別養護老人ホーム」の割合が７割と多くなっています。

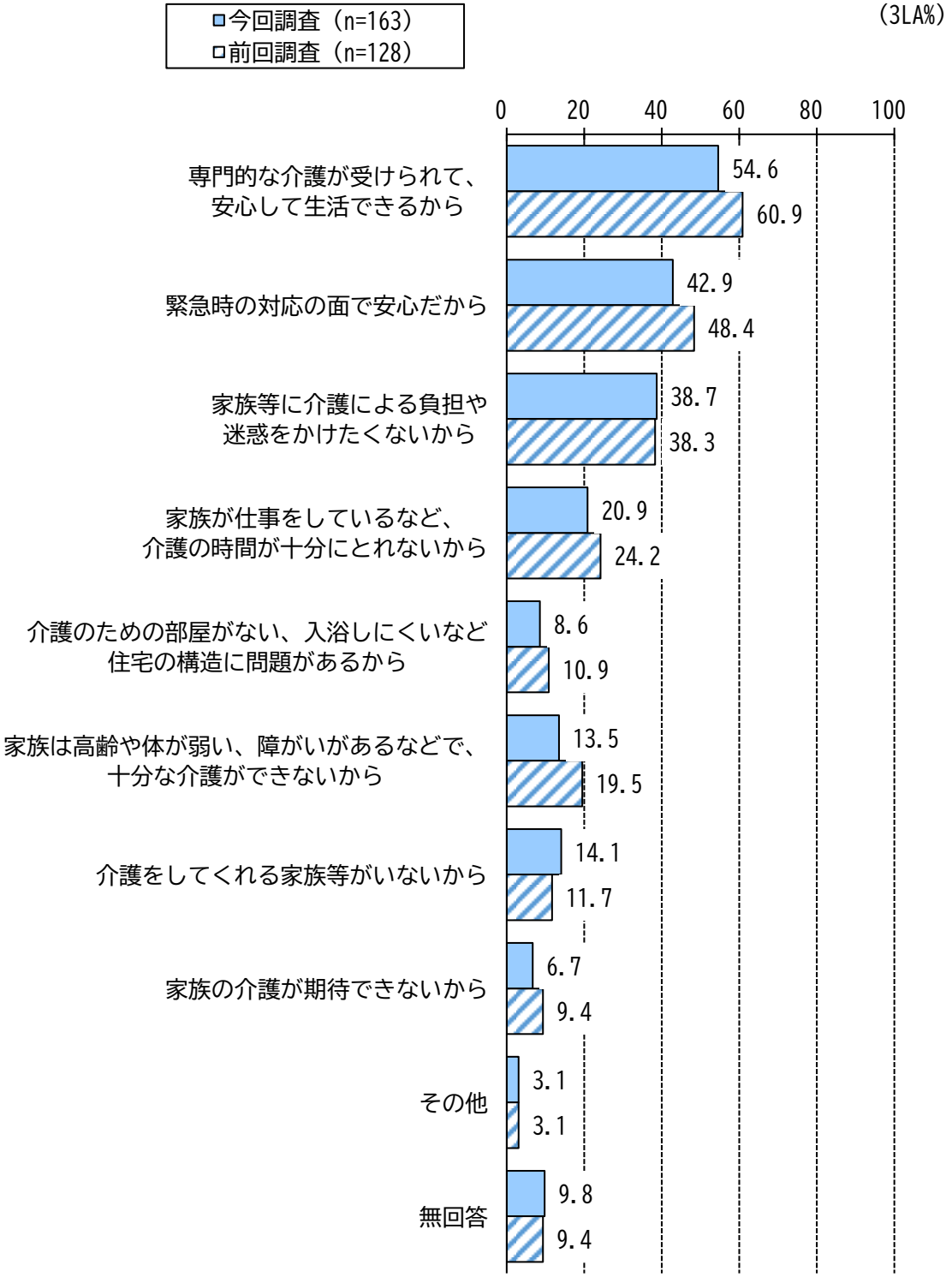


単位：%

		母数	特別養護老人ホーム	老人保健施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者住宅	軽費老人ホーム	養護老人ホーム	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	その他	無回答
全体		163	46.6	17.2	15.3	19.6	22.1	15.3	14.1	7.4	3.1
性・年齢別	男性　64歳以下	4	50.0	25.0	－	25.0	25.0	25.0	－	－	－
	65～74歳	3	△ 66.7	－	－	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	－	－
	75歳以上	43	53.5	16.3	20.9	16.3	18.6	16.3	16.3	4.7	4.7
	女性　64歳以下	1	－	－	△100.0	△100.0	－	－	－	－	－
	65～74歳	10	▼ 30.0	20.0	10.0	10.0	30.0	20.0	20.0	△ 20.0	－
	75歳以上	102	45.1	17.6	13.7	20.6	22.5	13.7	12.7	7.8	2.9
圏域別	安威川以北圏域	87	48.3	16.1	16.1	24.1	17.2	13.8	11.5	6.9	1.1
	安威川以南圏域	76	44.7	18.4	14.5	14.5	27.6	17.1	17.1	7.9	5.3
要介護度別	要支援１・２	46	▼ 26.1	13.0	10.9	19.6	△ 37.0	△ 26.1	6.5	10.9	6.5
	要介護１・２	66	40.9	24.2	16.7	21.2	21.2	13.6	△ 27.3	9.1	3.0
	要介護３～５	51	△ 72.5	11.8	17.6	17.6	▼ 9.8	7.8	▼ 3.9	2.0	－

◆問20　あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか。（３つまで○）

【全体】
○　施設での介護を希望する主な理由について、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が 54.6%で最も多く、次いで「緊急時の対応の面で安心だから」が 42.9%、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が 38.7%となっています。
○　前回調査と比べると、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が 54.6%（前回 60.9%）と 6.3 ポイント少なくなっています。



【圏域別】

○　安威川以南圏域では、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」は 43.4%と、安威川以北圏域（34.5%）と比較して 8.9 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

○　「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」は要支援１・２が 32.6%と他の区分と比較して少なくなっています。

○　「緊急時の対応の面で安心だから」は要介護３～５が 37.3%と他の区分と比較して少なくなっています。

○　「家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」は要介護１・２が 30.3%と他の区分と比較して多くなっています。

○　「介護をしてくれる家族等がいないから」は要支援１・２が 23.9%と他の区分と比較して多くなっています。

○　「家族の介護が期待できないから」は要支援１・２が 13.0%と他の区分と比較して多くなっています。

【施設での介護を希望する主な理由（3LA）】

単位：%

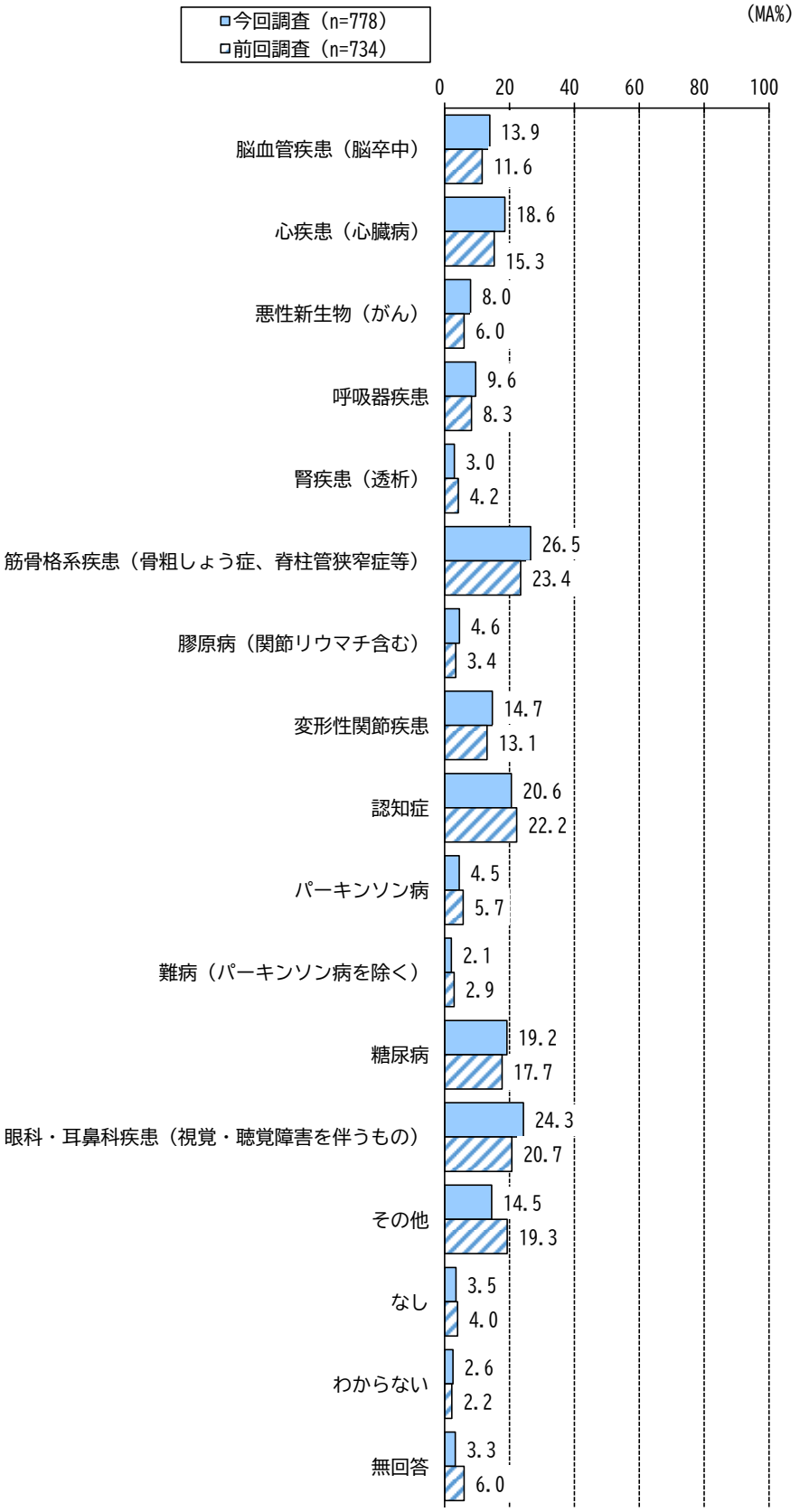
		母数	専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから	緊急時の対応の面で安心だから	家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから	家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから	介護のための部屋がない、入浴しにくいなど住宅の構造に問題があるから	家族は高齢や体が弱い、障がいがあるなどで、十分な介護ができないから	介護をしてくれる家族等がいないから	家族の介護が期待できないから	その他	無回答
全体		163	54.6	42.9	38.7	20.9	8.6	13.5	14.1	6.7	3.1	9.8
性・年齢別	男性　64歳以下	4	▼ 25.0	50.0	▼ 25.0	-	-	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	-
	65～74歳	3	▼ 33.3	-	33.3	-	-	△ 33.3	△ 33.3	-	-	33.3
	75歳以上	43	△ 67.4	41.9	37.2	18.6	16.3	20.9	14.0	2.3	2.3	4.7
	女性　64歳以下	1	△100.0	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	10	60.0	50.0	40.0	▼ 10.0	△ 20.0	20.0	△ 30.0	△ 20.0	-	-
	75歳以上	102	50.0	43.1	40.2	24.5	4.9	8.8	11.8	6.9	2.9	12.7
圏域別	安威川以北圏域	87	56.3	41.4	34.5	19.5	10.3	17.2	13.8	4.6	3.4	9.2
	安威川以南圏域	76	52.6	44.7	43.4	22.4	6.6	9.2	14.5	9.2	2.6	10.5
要介護度別	要支援１・２	46	▼ 32.6	43.5	41.3	▼ 8.7	2.2	10.9	23.9	13.0	-	15.2
	要介護１・２	66	57.6	47.0	40.9	30.3	9.1	12.1	12.1	6.1	-	10.6
	要介護３～５	51	△ 70.6	37.3	33.3	19.6	13.7	17.6	7.8	2.0	9.8	3.9

◆問21　調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】

○　現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 26.5%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 24.3%、「認知症」が 20.6%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、女性は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 35.8%と、男性（13.5%）と比較して 22.3 ポイント多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要支援１・２では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 32.6%で他の区分と比較して多くなっています。
○　「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」について、すべての区分で２割を超えています。

【現在抱えている傷病（MA）】

単位：%

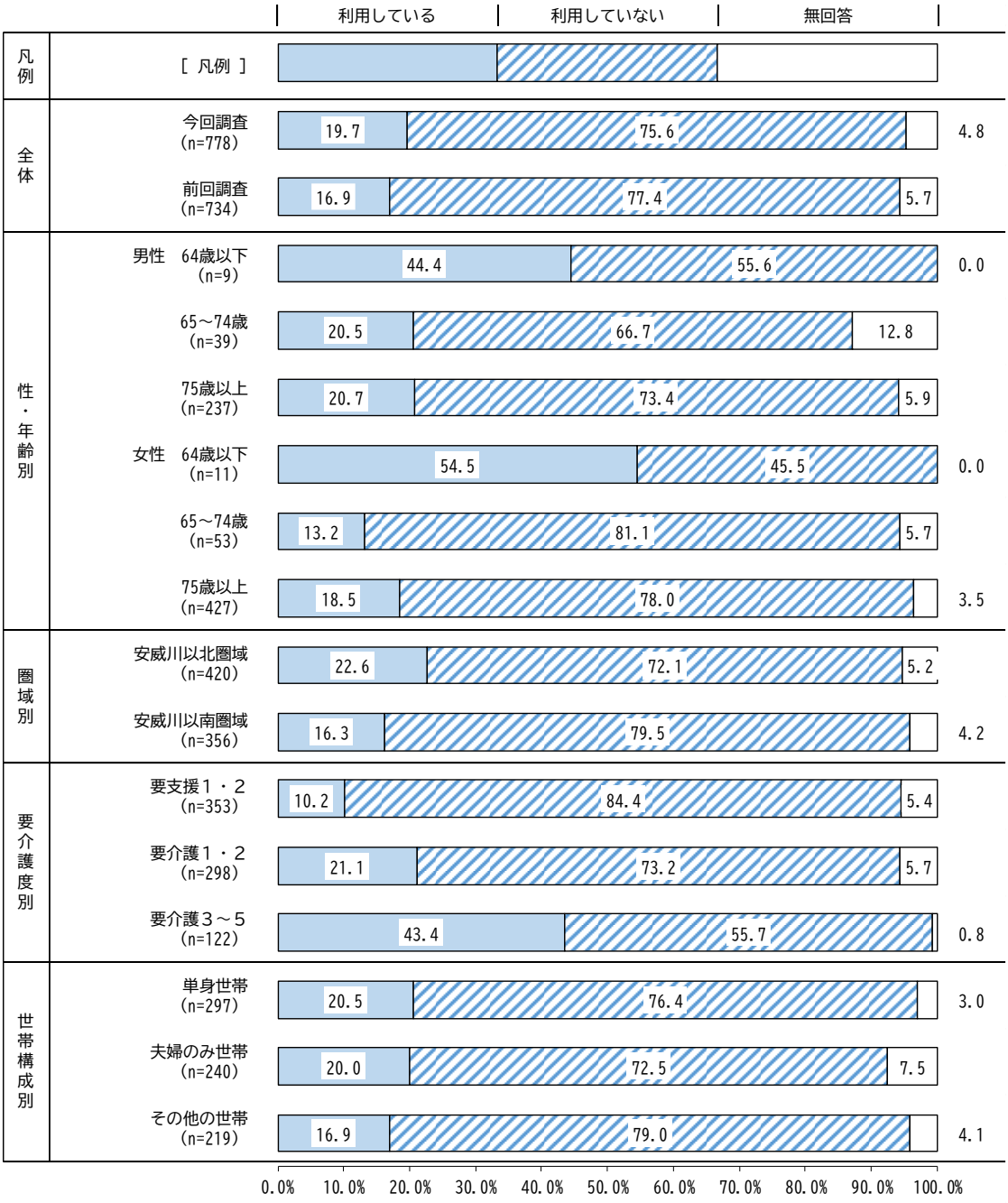
		母数	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
全体		778	13.9	18.6	8.0	9.6	3.0	26.5	4.6	14.7	20.6
性・年齢別	男性　64歳以下	9	△ 66.7	-	11.1	11.1	11.1	▼ 11.1	-	-	-
	65～74歳	39	△ 33.3	10.3	7.7	-	7.7	▼ 15.4	-	-	▼ 7.7
	75歳以上	237	14.8	24.1	12.7	14.3	3.4	▼ 13.5	2.1	5.5	22.8
	女性　64歳以下	11	△ 54.5	-	9.1	9.1	-	-	-	18.2	▼ 9.1
	65～74歳	53	17.0	▼ 3.8	3.8	1.9	1.9	24.5	9.4	15.1	15.1
	75歳以上	427	9.1	19.0	5.6	8.9	2.3	35.8	6.1	21.3	22.0
圏域別	安威川以北圏域	420	14.0	19.8	8.3	10.0	3.6	26.4	4.8	14.3	19.3
	安威川以南圏域	356	13.8	17.1	7.3	9.3	2.2	26.4	4.5	15.2	22.2
要介護度別	要支援１・２	353	10.5	18.4	9.1	9.3	3.1	32.6	6.5	21.2	▼ 7.1
	要介護１・２	298	16.4	21.1	6.4	10.7	2.3	22.5	3.7	10.1	30.2
	要介護３～５	122	18.0	13.1	8.2	7.4	4.1	17.2	1.6	7.4	△ 36.9

単位：%

		母数	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答
全体		778	4.5	2.1	19.2	24.3	14.5	3.5	2.6	3.3
性・年齢別	男性　64歳以下	9	11.1	-	11.1	▼ 11.1	22.2	-	-	-
	65～74歳	39	12.8	2.6	25.6	17.9	20.5	-	2.6	-
	75歳以上	237	4.6	1.7	18.1	23.2	12.2	5.1	3.4	3.8
	女性　64歳以下	11	-	9.1	▼ 9.1	-	-	9.1	-	-
	65～74歳	53	7.5	5.7	18.9	17.0	20.8	-	1.9	9.4
	75歳以上	427	3.3	1.6	19.2	27.4	14.8	3.3	2.3	2.8
圏域別	安威川以北圏域	420	5.0	2.1	18.8	24.8	15.0	4.3	2.4	2.6
	安威川以南圏域	356	3.9	2.0	19.1	23.9	14.0	2.5	2.8	4.2
要介護度別	要支援１・２	353	2.3	1.4	20.1	27.8	16.1	3.1	2.0	2.8
	要介護１・２	298	6.7	2.3	17.8	21.8	12.4	4.0	2.3	4.7
	要介護３～５	122	5.7	3.3	18.9	20.5	15.6	3.3	4.1	1.6

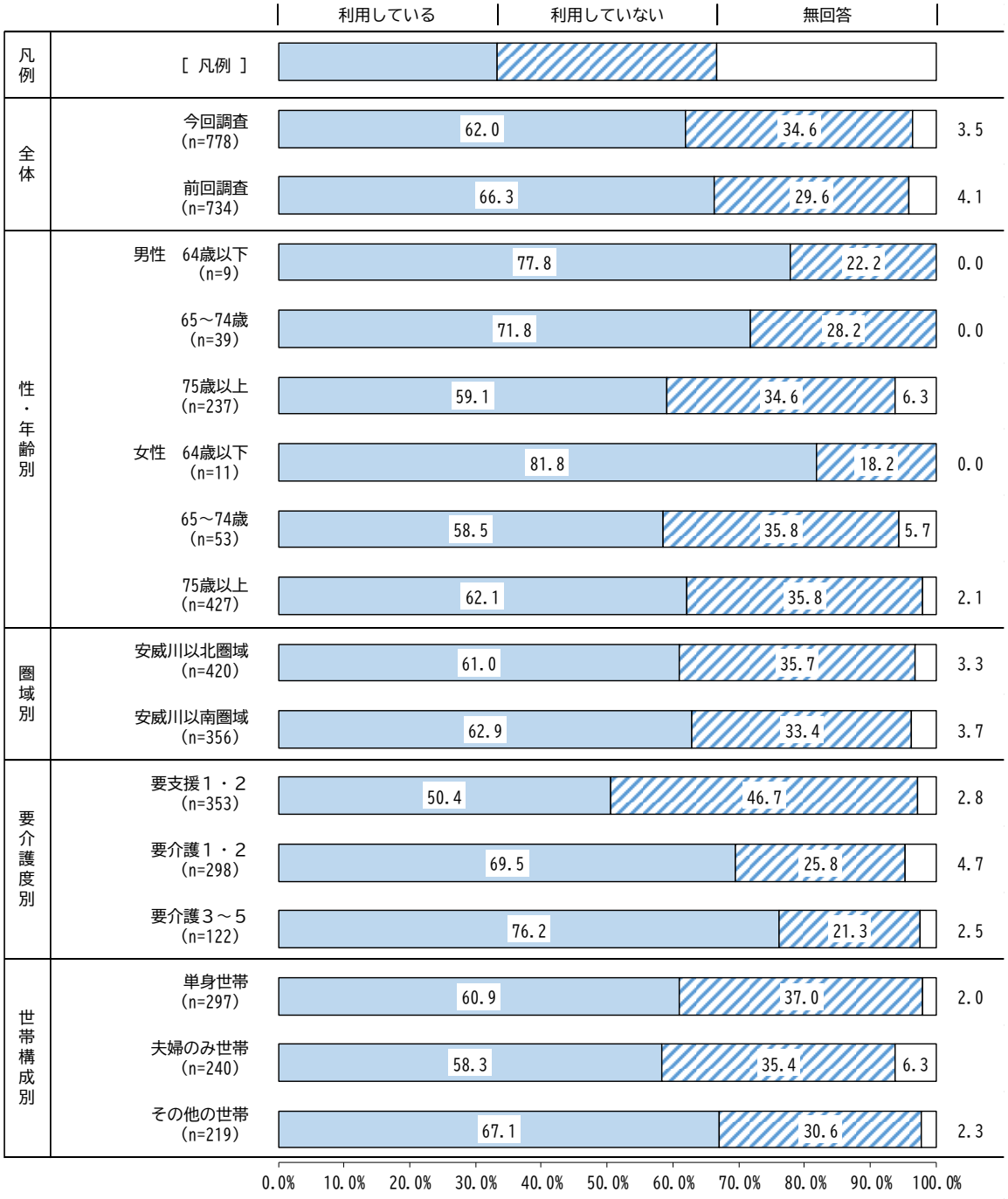
◆問22　調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　訪問診療の利用状況について、「利用している」が 19.7%、「利用していない」が 75.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　64 歳以下では、男女ともに「利用している」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「利用している」は 22.6%と、安威川以南圏域（16.3%）と比較して 6.3 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　要介護度が上がるにつれて「利用している」が多くなっています。
【世帯構成別】
○　世帯構成別による大きな差はみられません。



◆問23　調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（１つだけ○）

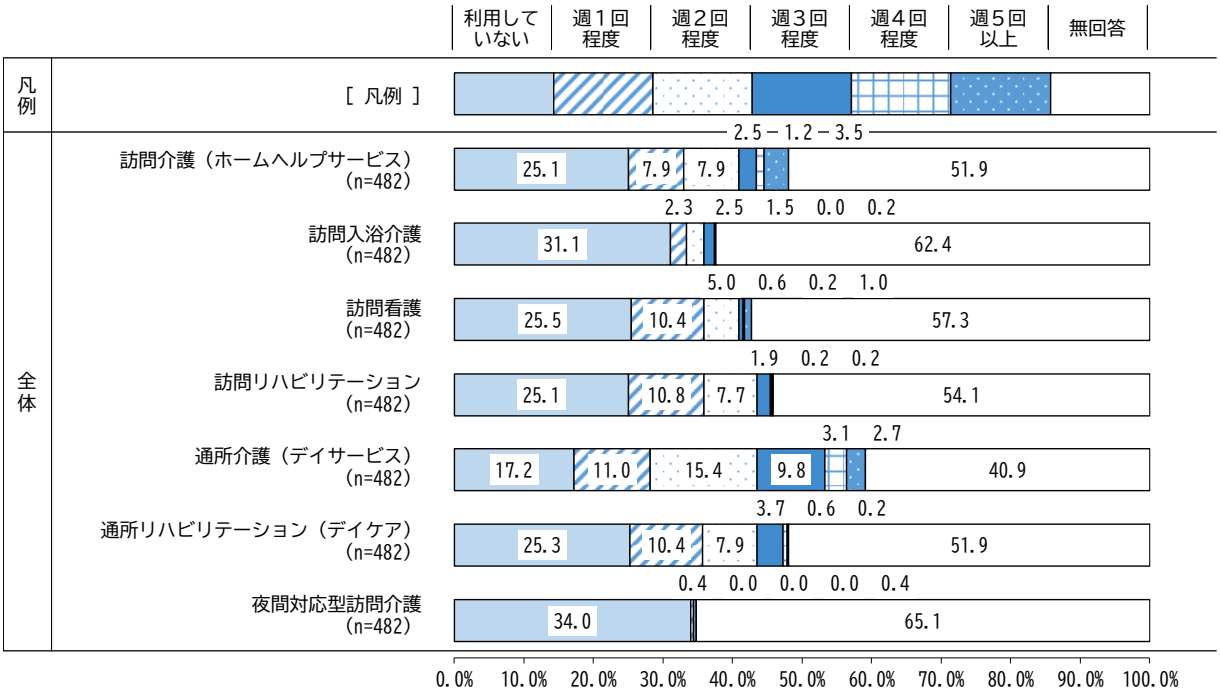
【全体】
○　住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が 62.0%、「利用していない」が 34.6%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【性・年齢別】
○　64 歳以下では、男女ともに「利用している」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　「利用している」は要支援１・２が 50.4%と他の区分と比較して少なくなっています。
【世帯構成別】
○　世帯構成別による大きな差はみられません。

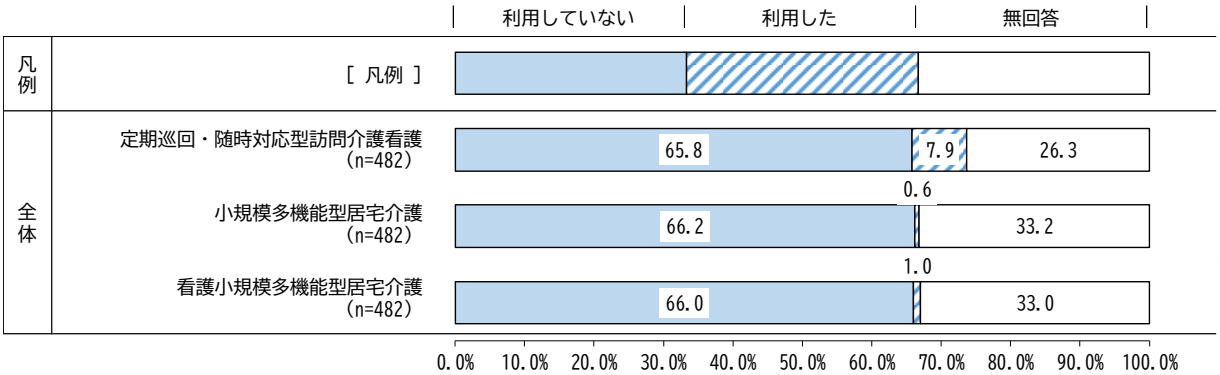


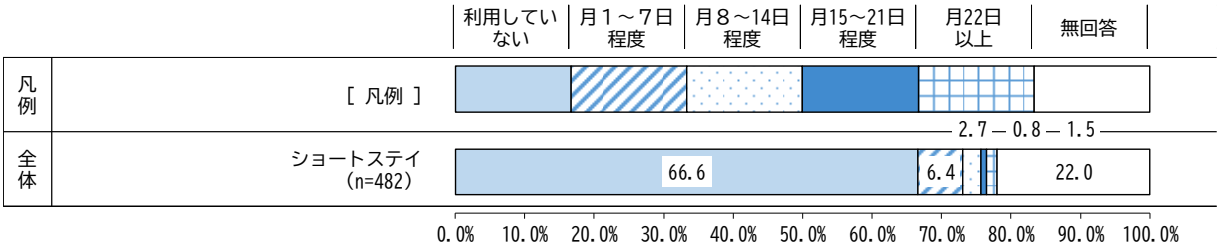
◆問24　以下の介護保険サービスについて、利用状況をご回答ください。

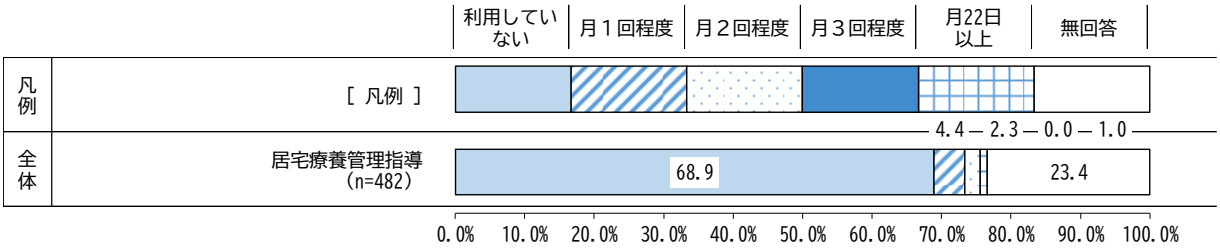
【全体】

○　介護保険サービスの利用状況について、「週１回程度」「週２回程度」「週３回程度」「週４回程度」「週５回以上」を合わせた週１回以上利用したサービスは、「通所介護（デイサービス）」が 42.0%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 23.0%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が 22.8%となっています。

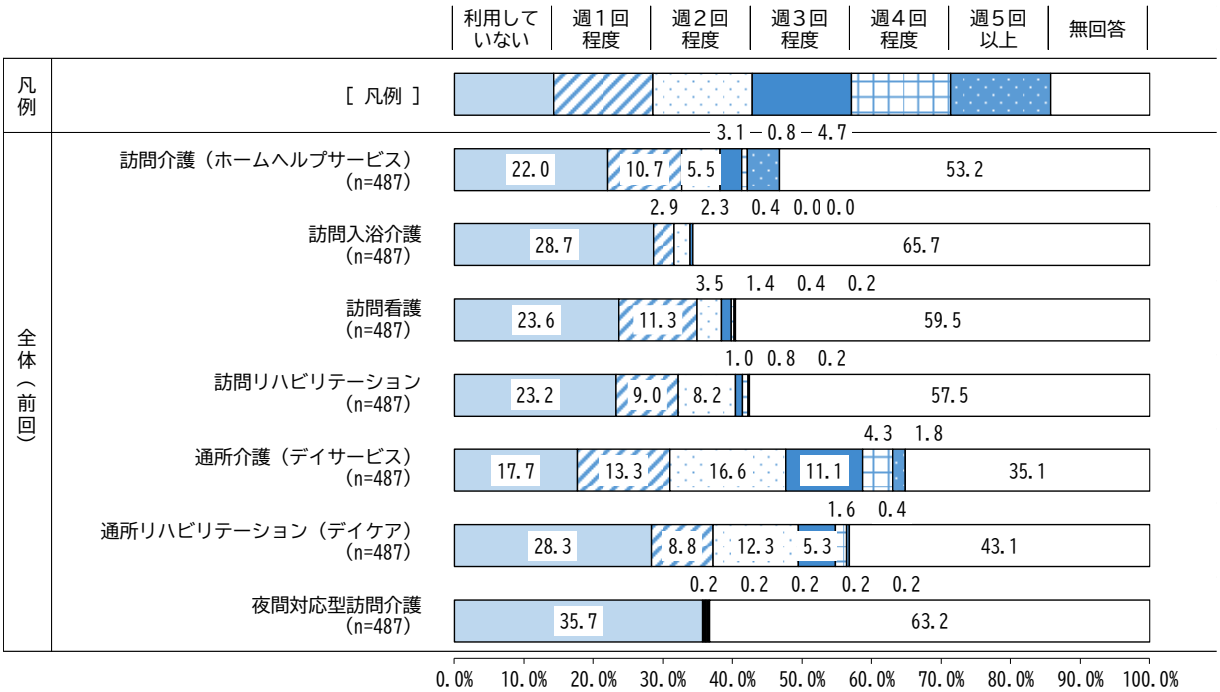


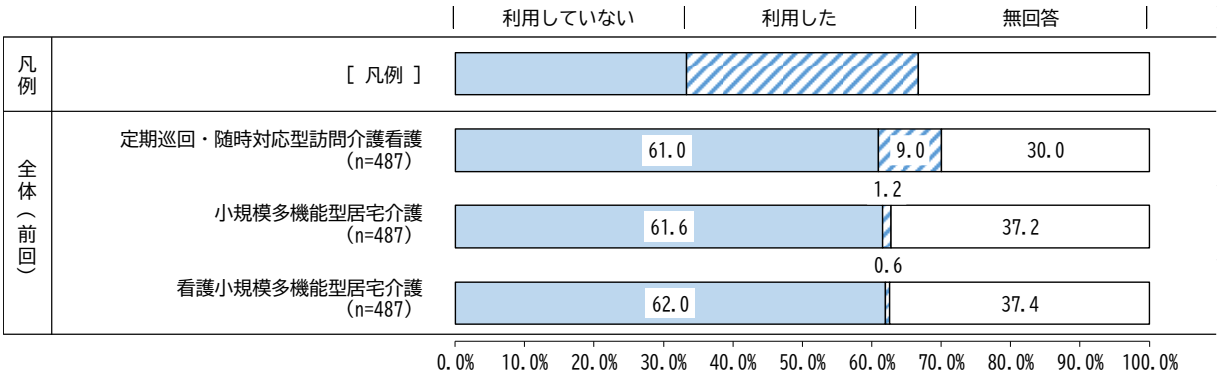


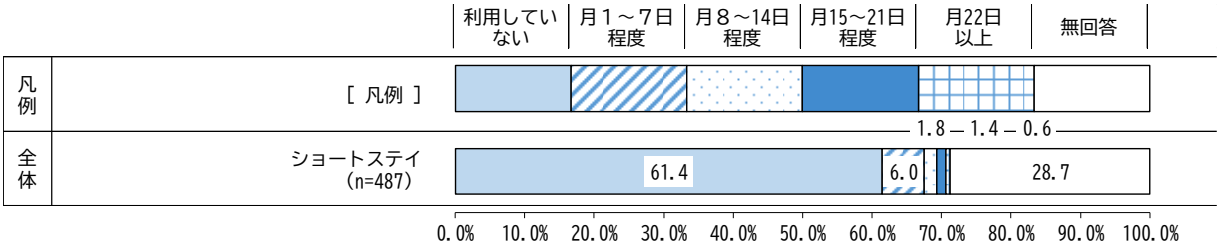


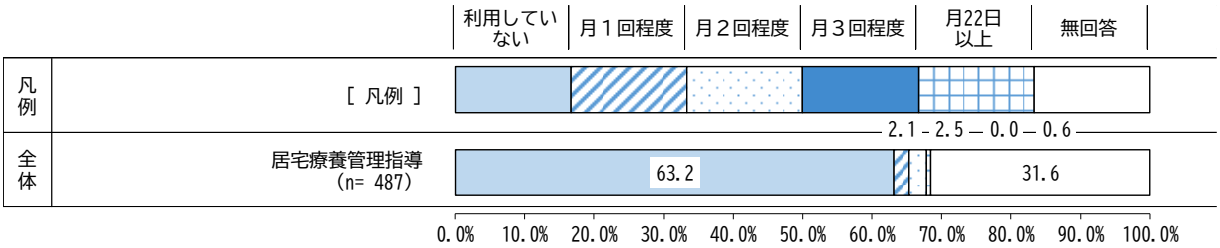


【介護保険サービスの利用状況（前回調査結果）】









【性・年齢別】
○　女性 64 歳以下では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 33.3%、「訪問リハビリテーション」が 77.8%と他の区分と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」は 26.6%と、安威川以南圏域（18.3%）と比較して 8.3 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　要支援１・２では、「通所リハビリテーション（デイケア）」が最も多いのに対し、要介護１～５では「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっています。また、要介護３～５では、次いで「訪問看護」「ショートステイ」が 33.3%と多くなっています。

【介護保険サービスの利用状況（週１回以上）】

単位：%

		母数(n)	”１回以上利用した”						
			訪問介護（ホームヘルプサービス）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	夜間対応型訪問介護
全体		482	23.0	6.4	17.2	20.7	41.9	22.8	0.8
性・年齢別	男性 64歳以下	7	-	14.3	△ 28.6	△ 71.4	▼ 28.6	14.3	-
	65～74歳	28	17.9	7.1	10.7	△ 32.1	32.1	17.9	-
	75歳以上	140	22.9	6.4	15.7	20.0	42.9	18.6	0.7
	女性 64歳以下	9	△ 33.3	-	22.2	△ 77.8	33.3	▼ 11.1	-
	65～74歳	31	22.6	3.2	19.4	16.1	38.7	29.0	-
	75歳以上	265	23.4	6.8	17.7	17.0	43.8	25.7	1.1
圏域別	安威川以北圏域	256	26.6	7.0	19.5	23.0	39.8	22.7	0.4
	安威川以南圏域	224	18.3	5.8	14.3	17.9	44.6	23.2	1.3
要介護度別	要支援１・２	178	21.3	1.7	▼ 6.7	14.0	▼ 22.5	27.5	0.6
	要介護１・２	207	21.7	5.8	18.4	21.3	△ 53.6	22.2	-
	要介護３～５	93	28.0	△ 17.2	△ 33.3	△ 32.3	△ 53.8	15.1	3.2

単位：%

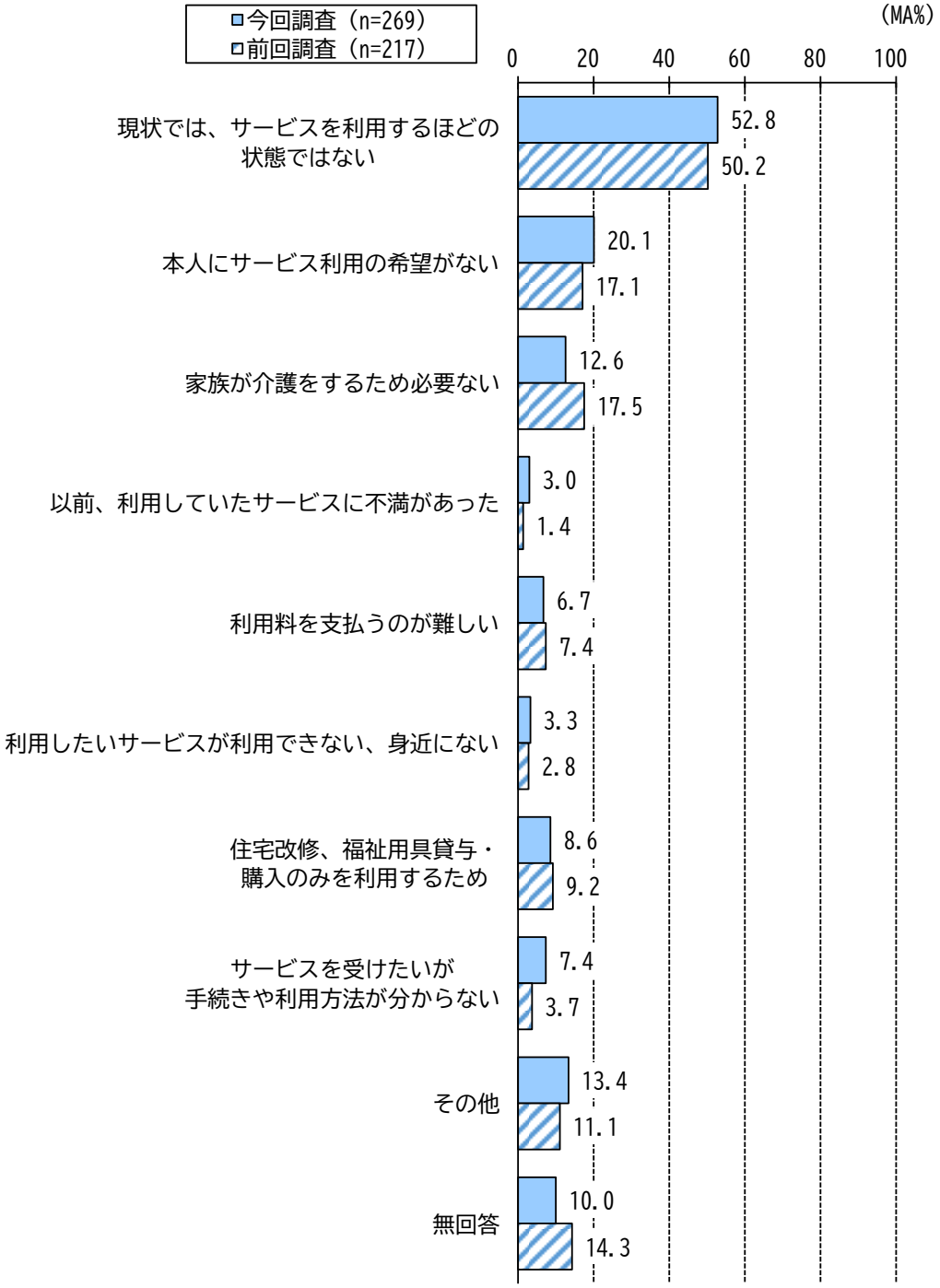
		母数(n)	”１回以上利用した”					
			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	ショートステイ	居宅療養管理指導	無回答
全体		482	7.9	0.6	1.0	11.4	7.7	12.7
性・年齢別	男性 64歳以下	7	△ 28.6	-	-	14.3	14.3	14.3
	65～74歳	28	3.6	-	-	3.6	10.7	7.1
	75歳以上	140	6.4	-	2.1	15.0	10.0	13.6
	女性 64歳以下	9	-	-	-	11.1	11.1	11.1
	65～74歳	31	9.7	3.2	3.2	6.5	6.5	16.1
	75歳以上	265	8.7	0.8	0.4	10.9	6.0	12.5
圏域別	安威川以北圏域	256	8.6	0.8	1.2	10.9	8.6	13.7
	安威川以南圏域	224	7.1	0.4	0.9	12.1	6.7	11.6
要介護度別	要支援１・２	178	4.5	-	-	3.4	7.9	23.0
	要介護１・２	207	8.7	1.4	1.9	8.7	7.7	7.2
	要介護３～５	93	12.9	-	1.1	△ 33.3	7.5	5.4

◆問25　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

○　介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 52.8%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 20.1%、「その他」が 13.4%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。



【性別】
○　性別による大きな差はみられません。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「利用料を支払うのが難しい」は 12.6%と、安威川以北圏域（2.0%）と比較して 10.6 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「本人にサービス利用の希望がない」は要介護１・２が 29.9%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「家族が介護をするため必要ない」は要介護３～５が 30.8%と他の区分と比較して多くなっています。
【世帯構成別】
○　単身世帯では、他の世帯類型と比較して「家族が介護するため必要ない」が少なくなっています。

【介護保険サービスを利用していない理由（MA）】

単位：%

		母数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		269	52.8	20.1	12.6	3.0	6.7	3.3	8.6	7.4	13.4	10.0
性・年齢別	男性　64歳以下	2	-	-	△ 50.0	-	-	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-
	65～74歳	11	45.5	27.3	18.2	9.1	-	-	18.2	9.1	-	18.2
	75歳以上	82	53.7	18.3	13.4	1.2	6.1	1.2	7.3	7.3	14.6	11.0
	女性　64歳以下	2	-	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	-	-
	65～74歳	19	52.6	10.5	15.8	-	5.3	5.3	15.8	5.3	10.5	21.1
	75歳以上	153	54.2	22.2	10.5	3.3	7.8	4.6	6.5	7.2	14.4	7.8
圏域別	安威川以北圏域	150	53.3	19.3	14.0	4.0	2.0	2.7	8.0	5.3	12.0	11.3
	安威川以南圏域	119	52.1	21.0	10.9	1.7	12.6	4.2	9.2	10.1	15.1	8.4
要介護度別	要支援１・２	165	61.8	16.4	7.3	3.0	7.9	3.0	7.3	9.1	9.7	10.9
	要介護１・２	77	42.9	29.9	18.2	3.9	2.6	1.3	10.4	6.5	15.6	9.1
	要介護３～５	26	▼ 23.1	15.4	△ 30.8	-	11.5	7.7	11.5	-	△ 26.9	7.7
世帯構成別	単身世帯	110	59.1	17.3	6.4	3.6	9.1	0.9	8.2	9.1	16.4	5.5
	夫婦のみ世帯	85	52.9	23.5	22.4	2.4	4.7	2.4	10.6	7.1	9.4	10.6
	その他の世帯	67	43.3	22.4	11.9	3.0	6.0	9.0	7.5	6.0	14.9	11.9

4. 人生会議について

◆問26　あなたは、今後の医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。（１つだけ○）

【全体】

○　今後の医療・療養についての話し合いの有無について、「一応話し合っている」が 45.0%で最も多く、次いで「話し合ったことはない」が 32.3%、「詳しく話し合っている」が 14.4%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。

【性・年齢別】

○　男性 64 歳以下では、「詳しく話し合っている」が 33.3%と他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

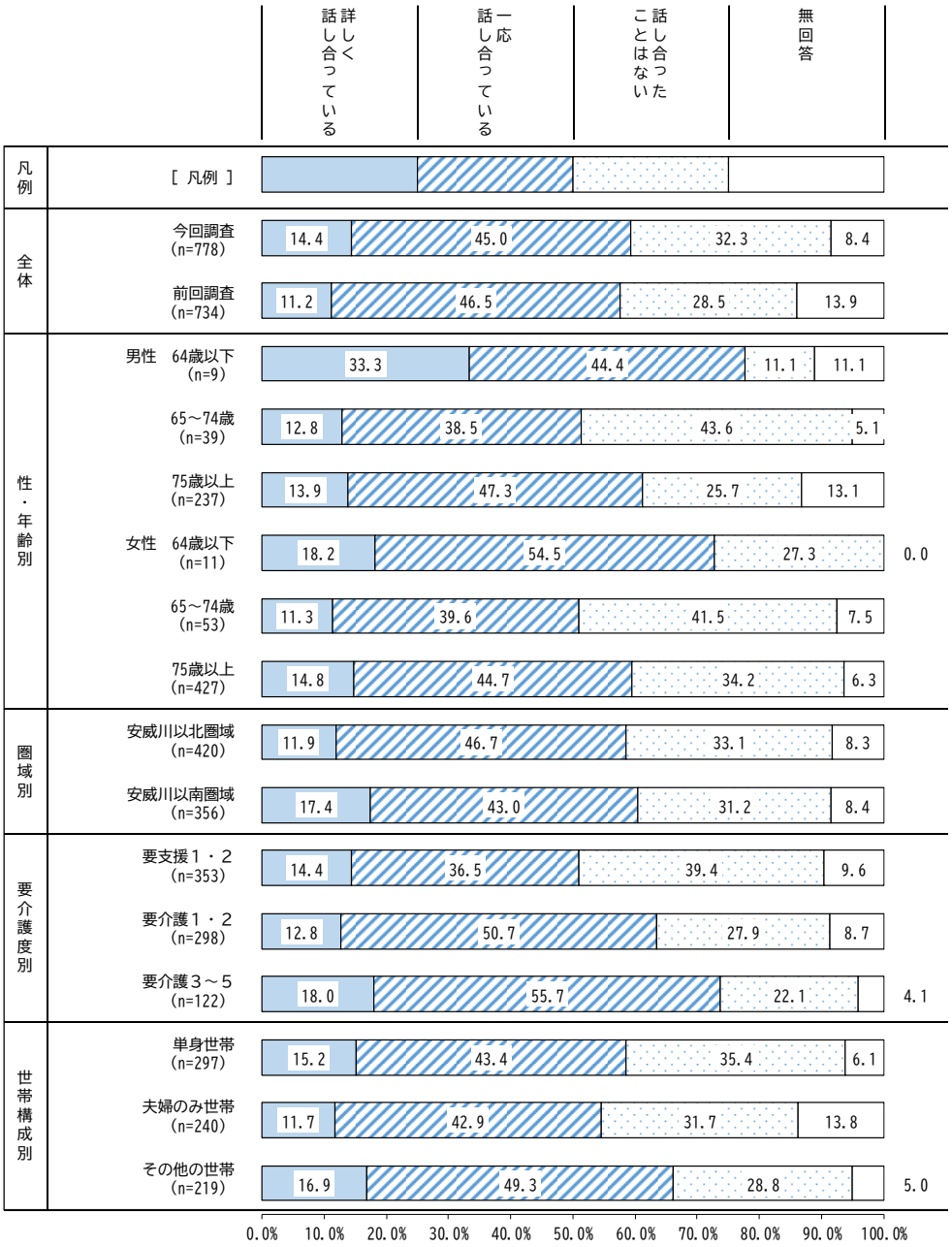
○　安威川以南圏域では、「詳しく話し合っている」は 17.4%と、安威川以北圏域（11.9%）と比較して 5.5 ポイント多くなっています。

【要介護度別】

○　「一応話し合っている」は要支援１・２が 36.5%と他の区分と比較して少なくなっています。

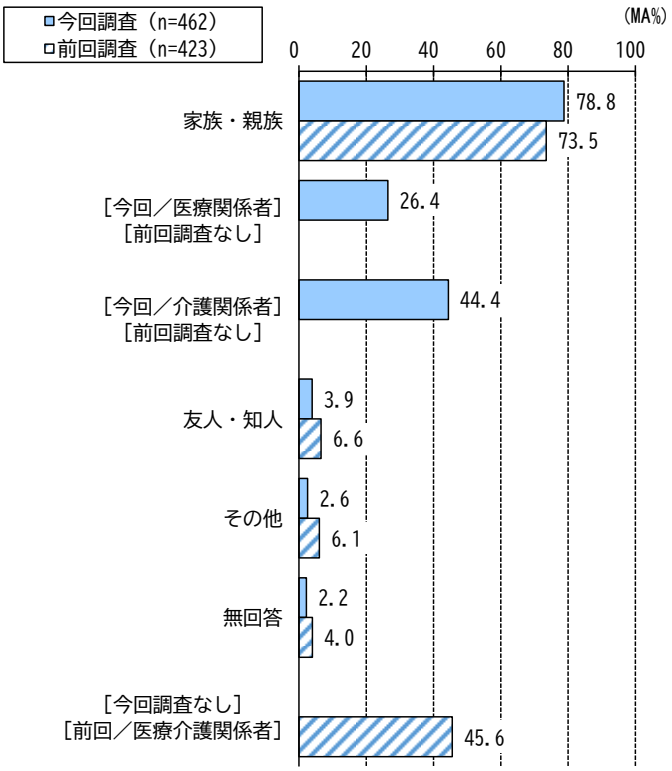
【世帯構成別】

○　世帯構成別による大きな差はみられません。



◆問27　問26で「１」「２」と回答した方にお伺いします。どなたと話し合いましたか。（いくつでも○）

【全体】
○　話し合った相手について、「家族・親族」が 78.8%で最も多く、次いで「介護関係者」が 44.4%、「医療関係者」が 26.4%となっています。
○　前回調査と比べると、「家族・親族」が 78.8%（前回 73.5%）と 5.3 ポイント多くなっています。
【性・年齢別】
○　女性 65～74 歳では、「医療関係者」が 51.9%と他の区分と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「介護関係者」は 49.8%と、安威川以北圏域（39.8%）と比較して 10.0 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「介護関係者」は要介護３～５が 62.2%と他の区分と比較して多くなっています。



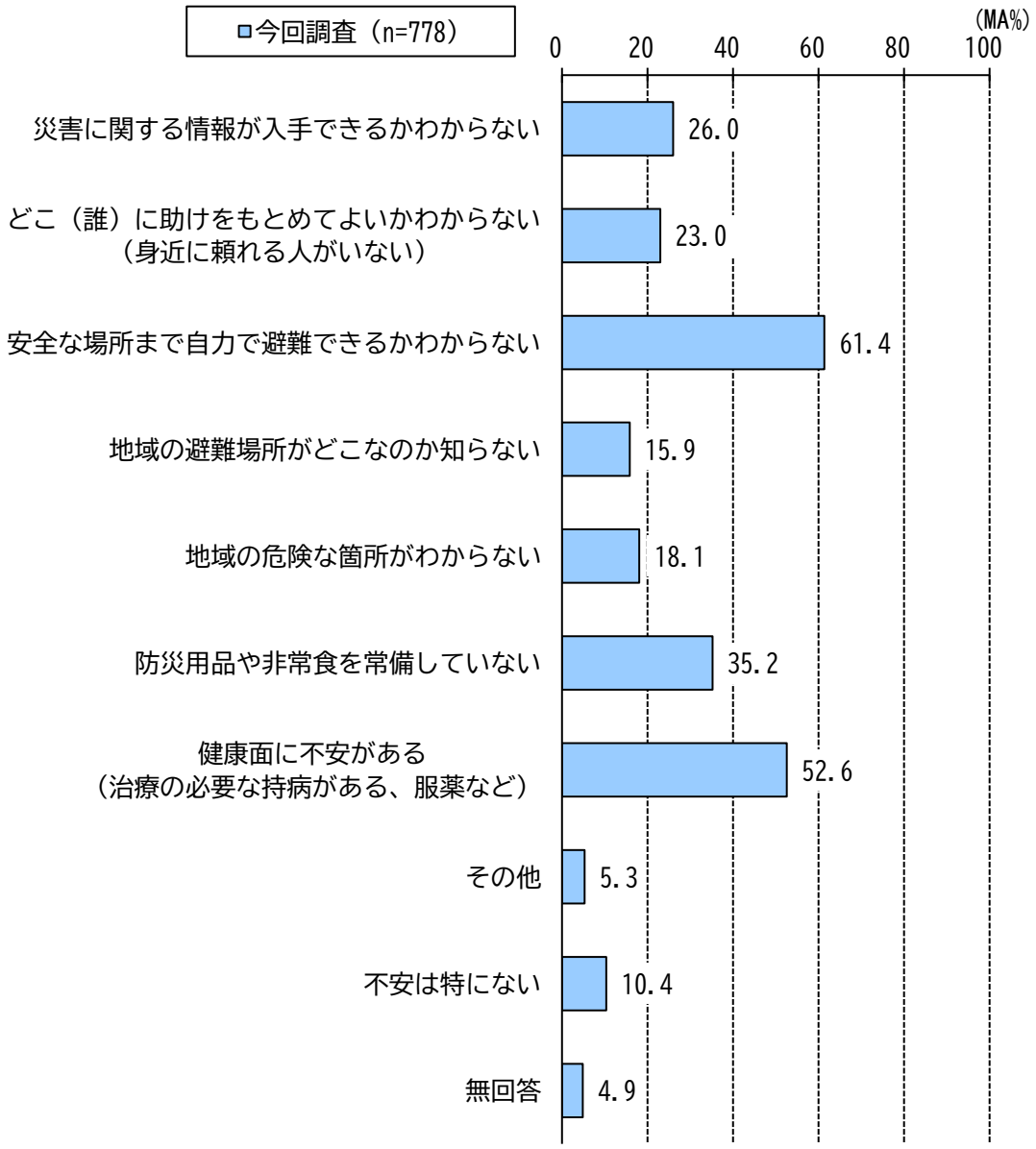
単位：%

		母数	家族・親族	医療関係者	介護関係者	友人・知人	その他	無回答
全体		462	78.8	26.4	44.4	3.9	2.6	2.2
性・年齢別	男性　64歳以下	7	△100.0	△ 42.9	△ 85.7	－	－	－
	65～74歳	20	80.0	30.0	40.0	－	－	－
	75歳以上	145	75.9	26.2	47.6	4.1	3.4	1.4
	女性　64歳以下	8	▼ 50.0	25.0	50.0	－	－	△ 12.5
	65～74歳	27	81.5	△ 51.9	44.4	11.1	3.7	3.7
	75歳以上	254	80.3	23.2	41.7	3.5	2.4	2.4
圏域別	安威川以北圏域	246	78.5	24.8	39.8	4.9	2.0	2.0
	安威川以南圏域	215	79.1	28.4	49.8	2.8	3.3	2.3
要介護度別	要支援１・２	180	78.3	23.9	▼ 30.6	5.6	2.8	2.8
	要介護１・２	189	76.2	27.0	49.2	2.1	2.6	2.1
	要介護３～５	90	85.6	30.0	△ 62.2	3.3	2.2	1.1

◆問28　地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。（いくつでも○）

【全体】

○　災害時に不安に思うことについて、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が61.4%で最も多く、次いで「健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が52.6%、「防災用品や非常食を常備していない」が35.2%となっています。



【性・年齢別】
○　64 歳以下では、男女ともに「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」は 65.4%と、安威川以北圏域（58.3%）と比較して 7.1 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　要介護３～５では、「健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が 47.5%と、他の区分と比較して少なくなっています。

【災害時に不安に思うこと（MA）】

単位：%

		母数	災害に関する情報が入手できるかわからない	どこ（誰）にもとめてよいかわからない（身近に頼れる人がいない）	安全な場所まで自力で避難できるかわからない	地域の避難場所がどこなのか知らない	地域の危険な箇所がわからない	防災用品や非常食を常備していない	健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）	その他	不安は特にない	無回答
全体		778	26.0	23.0	61.4	15.9	18.1	35.2	52.6	5.3	10.4	4.9
性・年齢別	男性　64歳以下	9	▼ 11.1	▼ 11.1	66.7	11.1	11.1	44.4	△ 66.7	11.1	－	11.1
	65～74歳	39	23.1	28.2	53.8	12.8	20.5	35.9	▼ 35.9	2.6	10.3	2.6
	75歳以上	237	25.3	21.5	57.4	13.1	15.2	35.4	50.6	6.3	11.0	7.6
	女性　64歳以下	11	▼ 9.1	18.2	△ 72.7	18.2	9.1	▼ 9.1	45.5	－	－	－
	65～74歳	53	24.5	24.5	58.5	△ 28.3	20.8	35.8	60.4	5.7	7.5	1.9
	75歳以上	427	27.6	23.7	64.6	16.4	19.7	35.6	54.3	4.9	10.5	4.0
圏域別	安威川以北圏域	420	21.0	21.2	58.3	16.9	18.1	36.0	53.3	5.5	12.1	5.2
	安威川以南圏域	356	32.0	25.3	65.4	14.9	18.3	34.6	52.0	5.1	7.9	4.5
要介護度別	要支援１・２	353	26.9	24.4	62.3	14.4	20.7	37.1	54.7	4.5	8.8	4.5
	要介護１・２	298	26.2	22.8	60.4	19.1	16.4	35.9	52.7	6.0	10.4	5.4
	要介護３～５	122	23.8	20.5	63.1	12.3	14.8	27.9	47.5	4.9	13.9	4.9

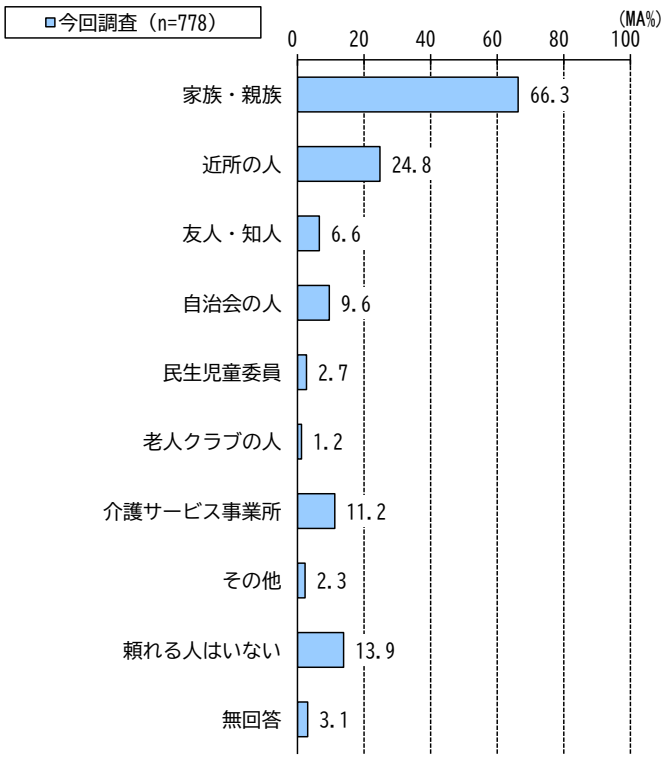
◆問29　災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。（いくつでも○）

【全体】
○　災害時に頼れる相手について、「家族・親族」が 66.3%で最も多く、次いで「近所の人」が 24.8%、「頼れる人はいない」が 13.9%となっています。

【性・年齢別】
○　「家族・親族」は男性 64 歳以下が 88.9%と他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「近所の人」は 27.8%と、安威川以北圏域（22.1%）と比較して 5.7 ポイント多くなっています。

【要介護度別】
○　「介護サービス事業所」は要介護３～５が 19.7%と他の区分と比較して多くなっています。



単位：%

		母数	家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	老人クラブの人	介護サービス事業所	その他	頼れる人はいない	無回答
全体		778	66.3	24.8	6.6	9.6	2.7	1.2	11.2	2.3	13.9	3.1
性・年齢別	男性　64歳以下	9	△ 88.9	▼ 11.1	－	11.1	－	－	11.1	－	－	－
	65～74歳	39	64.1	▼ 10.3	7.7	7.7	－	2.6	10.3	－	20.5	5.1
	75歳以上	237	66.2	23.2	8.0	10.5	2.5	1.3	11.0	2.1	12.7	4.6
	女性　64歳以下	11	72.7	27.3	－	－	－	－	9.1	－	18.2	－
	65～74歳	53	67.9	20.8	3.8	5.7	－	－	9.4	5.7	15.1	1.9
	75歳以上	427	65.8	27.6	6.3	10.1	3.5	1.2	11.5	2.3	14.1	2.3
圏域別	安威川以北圏域	420	66.4	22.1	6.2	8.1	3.1	1.2	12.1	2.9	14.3	2.9
	安威川以南圏域	356	66.3	27.8	7.0	11.5	2.2	1.1	9.8	1.7	13.5	3.4
要介護度別	要支援１・２	353	63.5	26.9	6.2	11.6	2.0	2.0	5.9	2.5	16.4	2.5
	要介護１・２	298	69.8	26.2	9.4	9.4	3.4	0.7	13.4	2.3	10.1	3.7
	要介護３～５	122	66.4	15.6	0.8	4.9	3.3	－	19.7	1.6	16.4	3.3

◆問30　あなたは、認知症を自分ごととして思いますか。（１つだけ○）

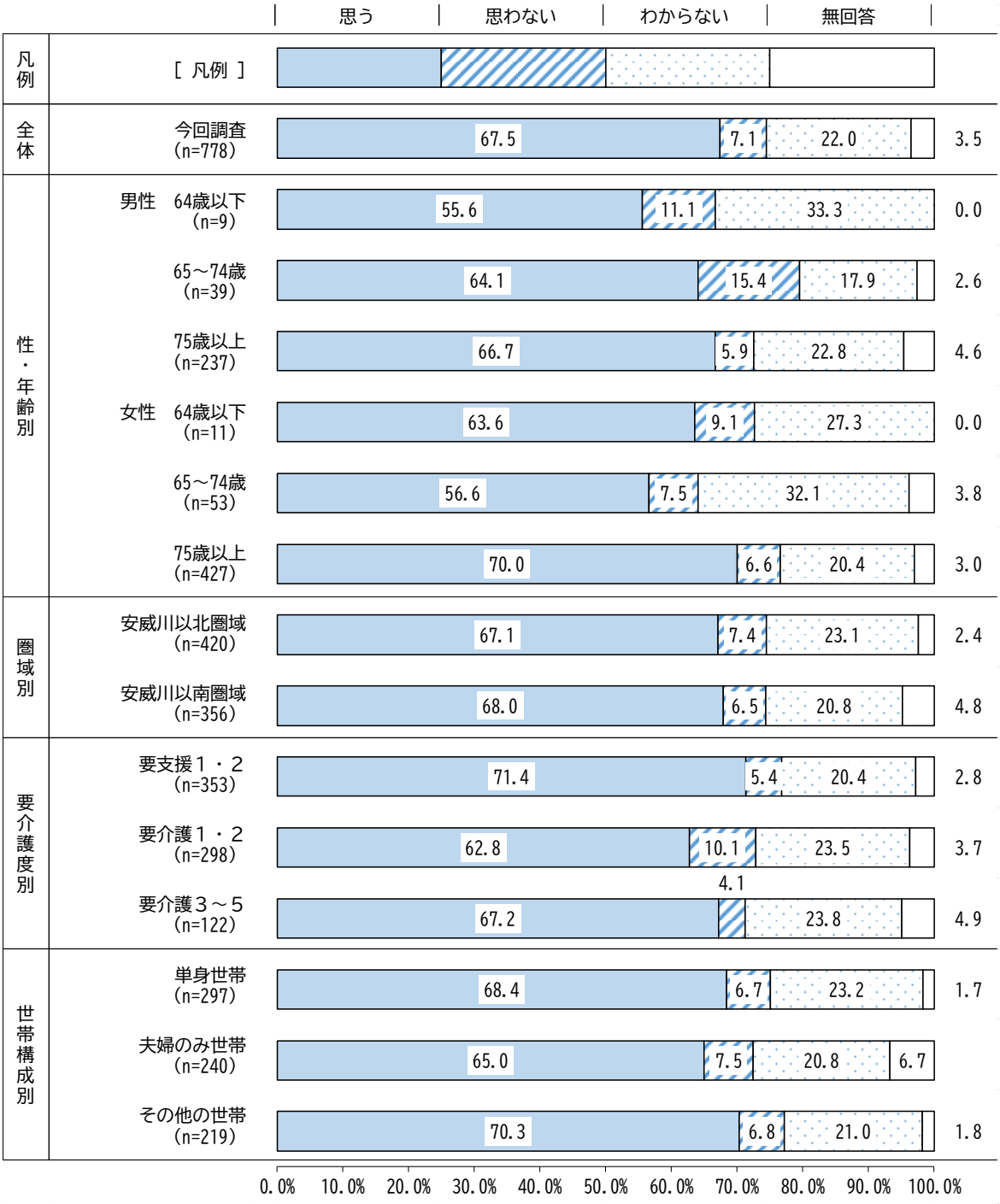
【全体】
○　認知症を自分ごとと思うかについて、「思う」が 67.5%で最も多く、次いで「わからない」が 22.0%、「思わない」が 7.1%となっています。

【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「思う」が最も多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【要介護度別】
○　要介護１・２では、「思わない」が 10.1%と全体（7.1%）を上回っています。

【世帯構成別】
○　世帯構成別による大きな差はみられません。



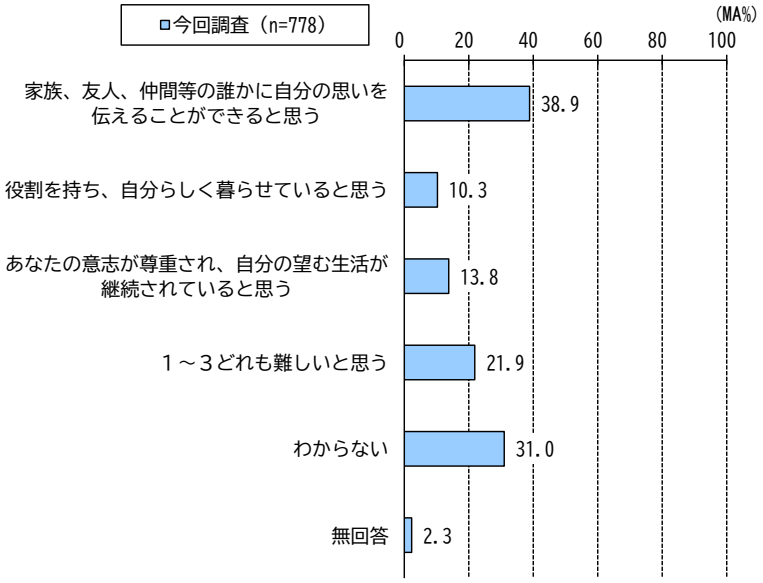
◆問31　もしあなたが認知症になった場合、次の日常生活のさまざまな場面において、あてはまるものを選んでください。（いくつでも○）

【全体】
○　認知症になった場合の日常生活について、「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」が 38.9%で最も多く、次いで「わからない」が 31.0%、「１～３どれも難しいと思う」が 21.9%となっています。

【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」が最も多くなっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【要介護度別】
○　「家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う」は要支援１・２が 43.1%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「わからない」は要介護３～５が 35.2%と他の区分と比較して多くなっています。



単位：%

		母数	家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う	役割を持ち、自分らしく暮らせていると思う	あなたの意志が尊重され、自分の望む生活が継続されていると思う	１～３どれも難しいと思う	わからない	無回答
全体		778	38.9	10.3	13.8	21.9	31.0	2.3
性・年齢別	男性　64歳以下	9	33.3	－	－	22.2	△ 44.4	－
	65～74歳	39	33.3	10.3	12.8	20.5	30.8	2.6
	75歳以上	237	44.7	10.5	16.0	21.1	25.7	3.4
	女性　64歳以下	11	36.4	18.2	18.2	▼ 9.1	△ 54.5	－
	65～74歳	53	30.2	1.9	9.4	△ 35.8	26.4	3.8
	75歳以上	427	37.5	11.0	13.1	21.1	33.5	1.6
圏域別	安威川以北圏域	420	37.9	11.2	14.8	22.9	30.7	2.4
	安威川以南圏域	356	40.2	9.0	12.4	20.8	31.2	2.2
要介護度別	要支援１・２	353	43.1	12.2	12.5	19.3	30.6	1.7
	要介護１・２	298	36.9	9.4	14.4	24.5	29.9	3.0
	要介護３～５	122	32.0	6.6	15.6	22.1	35.2	2.5

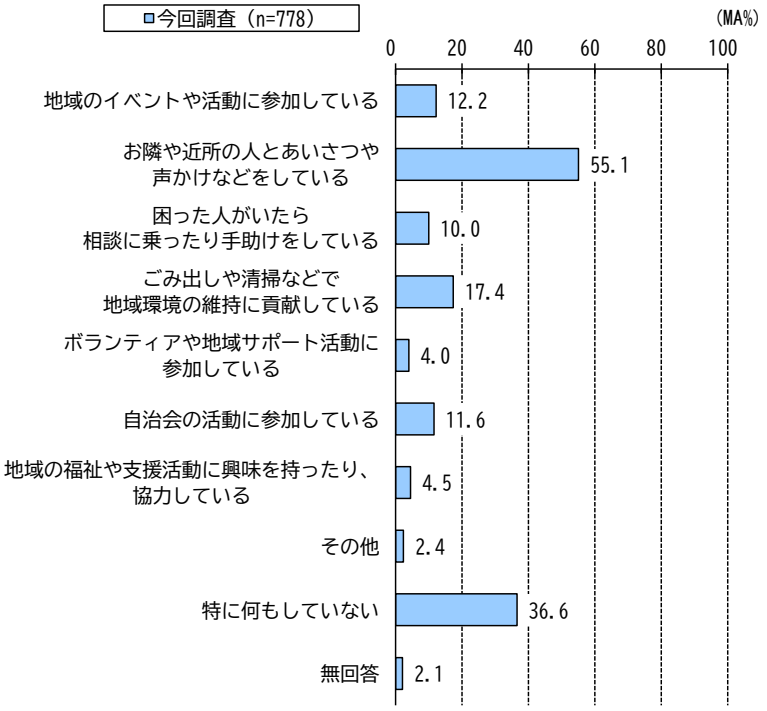
◆問32　あなたは、地域の中で以下のような活動や役割を果たしていると思いますか。（いくつでも○）

【全体】
○　地域での活動や役割について、「お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている」が55.1%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が 36.6%、「ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している」が17.4%となっています。

【性・年齢別】
○　「特に何もしていない」は男性64歳以下が77.8%と他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている」は 59.6%と、安威川以北圏域（51.2%）と比較して8.4ポイント多くなっています。

【要介護度別】
○　「お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている」は要支援１・２が64.9%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「特に何もしていない」は要介護３～５が52.5%と他の区分と比較して多くなっています。



単位：%

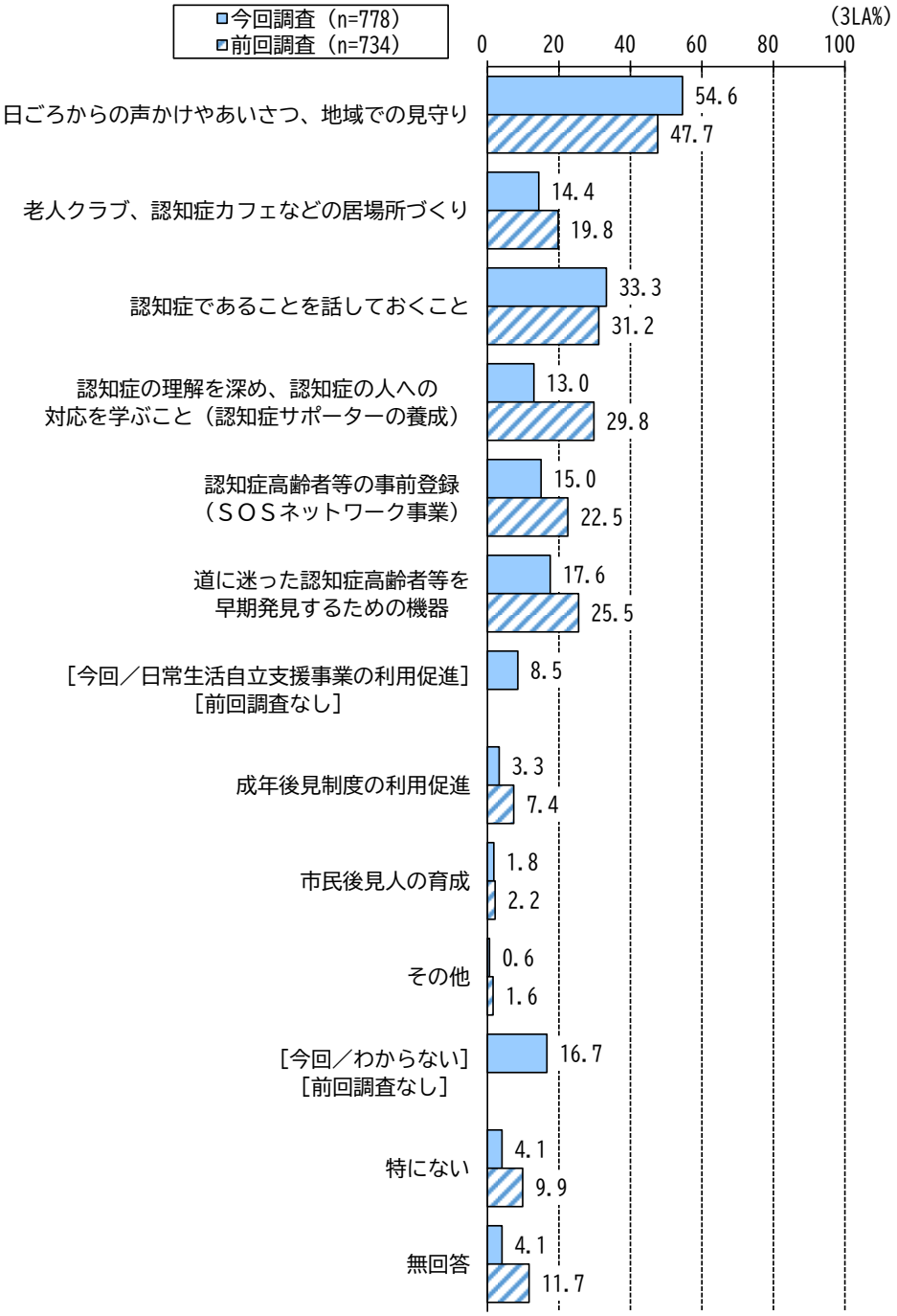
		母数	地域のイベントや活動に参加している	お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている	困った人がいたら相談に乗ったり手助けをしている	ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している	ボランティアや地域サポート活動に参加している	自治会の活動に参加している	地域の福祉や支援活動に興味を持ったり、協力している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		778	12.2	55.1	10.0	17.4	4.0	11.6	4.5	2.4	36.6	2.1
性・年齢別	男性　64歳以下	9	－	▼ 22.2	－	－	－	－	－	－	△ 77.8	－
	65～74歳	39	2.6	▼ 41.0	2.6	10.3	－	5.1	2.6	－	△ 53.8	2.6
	75歳以上	237	10.5	55.3	8.4	18.1	5.1	9.7	3.4	4.6	34.2	3.0
	女性　64歳以下	11	－	63.6	－	18.2	9.1	9.1	－	－	27.3	－
	65～74歳	53	9.4	▼ 41.5	9.4	7.5	1.9	7.5	－	1.9	△ 52.8	1.9
	75歳以上	427	14.8	58.3	12.2	19.0	4.0	13.8	6.1	1.6	34.0	1.6
圏域別	安威川以北圏域	420	10.0	51.2	9.5	16.0	3.3	10.2	4.3	2.4	41.2	1.7
	安威川以南圏域	356	14.6	59.6	10.7	18.8	4.8	12.9	4.8	2.5	31.5	2.5
要介護度別	要支援１・２	353	16.7	64.9	11.9	21.0	4.8	14.4	6.5	3.1	28.3	1.1
	要介護１・２	298	10.1	49.0	8.7	14.8	3.7	9.7	3.4	2.0	39.9	3.0
	要介護３～５	122	4.1	▼ 42.6	7.4	12.3	2.5	7.4	1.6	1.6	△ 52.5	2.5

◆問33　認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために、どのようなことが大切だと思いますか。（３つまで○）

【全体】

○　認知症であっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために大切だと思うことについて、「日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り」が 54.6%で最も多く、次いで「認知症であることを話しておくこと」が 33.3%、「道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器」が 17.6%となっています。

○　前回調査と比較して、「認知症の理解を深め、認知症の人への対応を学ぶこと（認知症サポーターの養成）」、「認知症高齢者等の事前登録（SOS ネットワーク事業）」、「道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器」が 7.5 ポイント以上多くなっています。



【性・年齢別】
○　女性 75 歳以上では、「老人クラブ、認知症カフェなどの居場所づくり」が 18.0%と他の区分と比較して多くなっています。
【圏域別】
○　安威川以南圏域では、「日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り」は 57.9%と、安威川以北圏域（51.9%）と比較して 6.0 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「認知症であることを話しておくこと」は要介護３～５が 29.5%と他の区分と比較して少なくなっています。

【認知症であっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために大切だと思うこと（3LA)】

単位：%

		母数	日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り	老人クラブ、認知症カフェなどの居場所づくり	認知症であることを話しておくこと	認知症の理解を深め、認知症の人への対応を学ぶこと（認知症サポーターの養成）	認知症高齢者等の事前登録（SOSネットワーク事業）	道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器	日常生活自立支援事業の利用促進
全体		778	54.6	14.4	33.3	13.0	15.0	17.6	8.5
性・年齢別	男性　64歳以下	9	▼ 33.3	11.1	33.3	－	△ 33.3	22.2	－
	65～74歳	39	48.7	7.7	35.9	7.7	12.8	15.4	5.1
	75歳以上	237	56.1	11.0	31.2	11.8	13.5	15.6	6.3
	女性　64歳以下	11	63.6	－	36.4	－	18.2	27.3	9.1
	65～74歳	53	47.2	9.4	34.0	11.3	11.3	11.3	15.1
	75歳以上	427	55.5	18.0	34.0	15.0	16.2	19.4	9.1
圏域別	安威川以北圏域	420	51.9	14.8	30.2	14.3	14.3	17.1	10.2
	安威川以南圏域	356	57.9	14.0	36.8	11.5	16.0	18.3	6.2
要介護度別	要支援１・２	353	55.5	14.7	33.1	12.5	15.3	16.7	8.5
	要介護１・２	298	55.4	12.4	35.2	13.4	15.1	19.8	7.4
	要介護３～５	122	50.0	18.0	29.5	12.3	14.8	15.6	10.7

単位：%

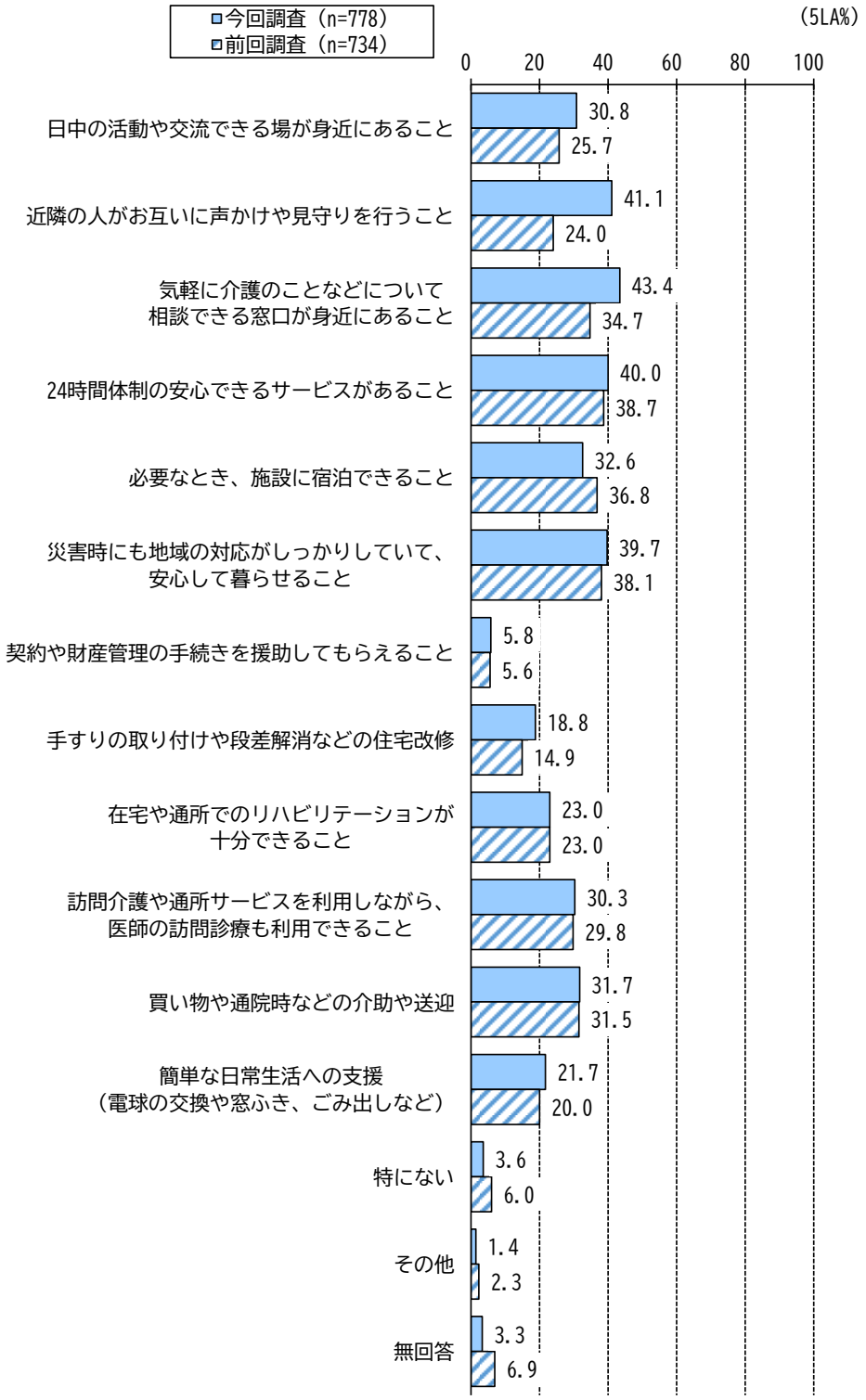
		母数	成年後見制度の利用促進	市民後見人の育成	その他	わからない	特にない	無回答
全体		778	3.3	1.8	0.6	16.7	4.1	4.1
性・年齢別	男性　64歳以下	9	－	11.1	－	△ 44.4	－	－
	65～74歳	39	5.1	－	－	△ 33.3	2.6	－
	75歳以上	237	3.0	1.7	0.4	16.5	5.9	4.2
	女性　64歳以下	11	△ 18.2	－	－	9.1	－	9.1
	65～74歳	53	5.7	1.9	1.9	22.6	7.5	3.8
	75歳以上	427	2.8	1.9	0.7	14.1	3.0	4.4
圏域別	安威川以北圏域	420	4.3	1.9	0.7	18.6	3.3	3.8
	安威川以南圏域	356	2.2	1.7	0.6	14.3	5.1	4.5
要介護度別	要支援１・２	353	2.8	2.3	0.8	16.1	4.0	3.4
	要介護１・２	298	3.7	1.7	0.3	15.8	4.4	4.7
	要介護３～５	122	4.1	0.8	0.8	20.5	4.1	4.1

◆問34　高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。（５つまで○）

【全体】

○　身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援について、「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」が 43.4%で最も多く、次いで「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」が 41.1%、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 40.0%となっています。

○　前回調査と比べると、「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」が 41.1%（前回 24.0%）と 17.1 ポイント多くなっています。



【性・年齢別】

○　女性 64 歳以下では、「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」が 81.8%と他の区分と比較して多くなっています。

【圏域別】

○　「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」は安威川以南圏域が 44.1%と安威川以北圏域の 38.8%と比較して多くなっています。

○　「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」は安威川以北圏域が 47.4%と安威川以南圏域の 39.0%と比較して多くなっています。

○　「簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ごみ出しなど)」は安威川以北圏域が 25.2%と安威川以南圏域の 17.7%と比較して多くなっています。

【中学校区別】

○　「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」は第二中学校が 47.7%と他の区分と比較して多くなっています。

【要介護度別】

○　要支援１・２では、「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」が 43.1%と他の区分と比較して多くなっています。

○　要介護１～５では、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が４割を超えており、全体を上回っています。

【身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援（5LA)】

単位：％

		母数	日中の活動や交流できる場が身近にあること	近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	24時間体制の安心できるサービスがあること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修
全体		778	30.8	41.1	43.4	40.0	32.6	39.7	5.8	18.8
性・年齢別	男性　64歳以下	9	▼ 11.1	▼ 11.1	44.4	33.3	△ 44.4	33.3	－	△ 33.3
	65～74歳	39	▼ 17.9	38.5	35.9	▼ 28.2	35.9	▼ 28.2	2.6	15.4
	75歳以上	237	30.8	42.6	39.7	36.3	30.8	41.4	5.5	18.6
	女性　64歳以下	11	△ 45.5	△ 81.8	△ 63.6	△ 54.5	36.4	36.4	△ 18.2	9.1
	65～74歳	53	34.0	34.0	45.3	43.4	26.4	35.8	5.7	17.0
	75歳以上	427	31.6	41.2	45.7	42.4	34.0	40.7	6.1	19.2
圏域別	安威川以北圏域	420	30.2	38.8	47.4	41.2	33.8	39.0	7.1	17.4
	安威川以南圏域	356	31.5	44.1	39.0	38.5	31.5	40.7	4.2	20.2
中学校区別	第一中学校	233	31.3	40.3	51.5	43.3	32.6	36.5	6.9	18.0
	第二中学校	128	35.2	47.7	38.3	37.5	29.7	43.0	5.5	16.4
	第三中学校	187	28.9	36.9	42.2	38.5	35.3	42.2	7.5	16.6
	第四中学校	147	33.3	44.2	42.9	39.5	34.7	43.5	4.1	21.1
	第五中学校	81	22.2	38.3	▼ 33.3	38.3	28.4	32.1	2.5	24.7
要介護度別	要支援１・２	353	30.6	42.8	43.1	30.9	28.3	42.5	4.5	18.4
	要介護１・２	298	31.2	41.9	46.0	46.3	35.9	37.2	6.7	19.5
	要介護３～５	122	29.5	35.2	39.3	△ 50.0	37.7	37.7	7.4	18.0

単位：％

		母数	在宅や通所でのリハビリテーションが十分できること	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	買い物や通院時などの介助や送迎	簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ごみ出しなど）	特にない	その他	無回答
全体		778	23.0	30.3	31.7	21.7	3.6	1.4	3.3
性・年齢別	男性　64歳以下	9	△ 33.3	△ 44.4	33.3	22.2	－	△ 22.2	－
	65～74歳	39	28.2	35.9	30.8	20.5	7.7	－	－
	75歳以上	237	18.6	30.4	29.1	16.5	4.6	1.3	4.6
	女性　64歳以下	11	18.2	▼ 18.2	27.3	27.3	－	－	－
	65～74歳	53	26.4	▼ 13.2	39.6	20.8	7.5	－	1.9
	75歳以上	427	24.4	31.9	32.6	24.8	2.1	1.4	3.3
圏域別	安威川以北圏域	420	24.8	30.7	31.9	25.2	3.1	2.1	2.6
	安威川以南圏域	356	20.8	29.8	31.7	17.7	3.9	0.6	4.2
中学校区別	第一中学校	233	27.0	30.0	29.6	24.9	3.0	2.1	1.3
	第二中学校	128	18.0	23.4	28.9	21.1	5.5	－	3.9
	第三中学校	187	21.9	31.6	34.8	25.7	3.2	2.1	4.3
	第四中学校	147	20.4	35.4	33.3	18.4	2.7	0.7	3.4
	第五中学校	81	25.9	29.6	33.3	▼ 11.1	3.7	1.2	6.2
要介護度別	要支援１・２	353	25.2	28.0	31.7	24.6	3.7	2.3	2.8
	要介護１・２	298	22.5	30.5	32.9	19.1	3.0	0.7	4.0
	要介護３～５	122	17.2	35.2	29.5	19.7	4.1	0.8	3.3

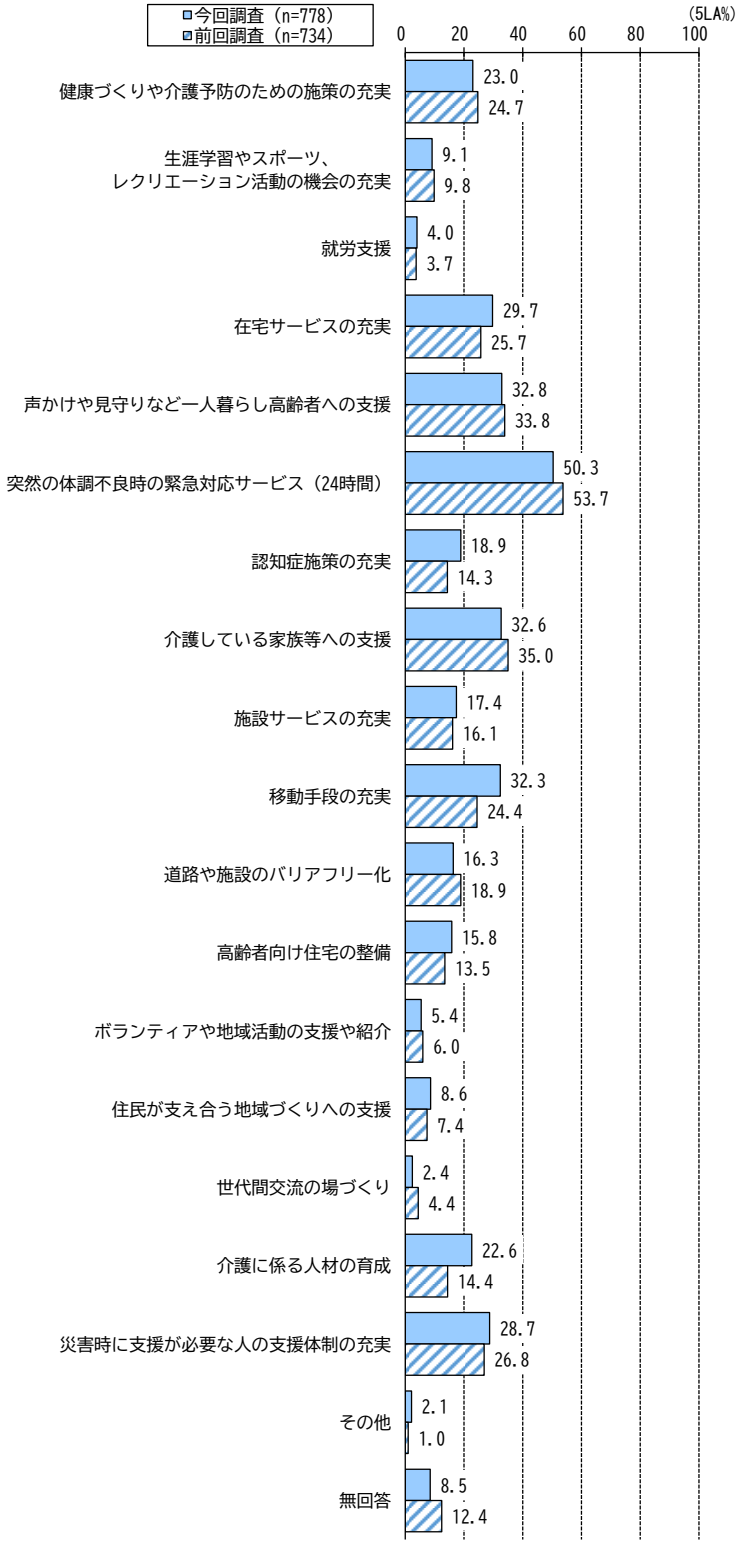
5. その他について

◆問35　高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。（５つまで○）

【全体】

○　高齢者福祉の施策の拡充について、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」が 50.3%で最も多く、次いで「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」が 32.8%、「介護している家族等への支援」が 32.6%となっています。

○　前回調査と比較すると、「移動手段の充実」「介護に係る人材の育成」は前回から７ポイント以上多くなっています。



【性・年齢別】
○　女性 75 歳以上では、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」が最も多く、次いで「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」となっています。
【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」は 54.3%と、安威川以南圏域（45.8%）と比較して 8.5 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「介護している家族等への支援」は要介護３～５が 48.4%と他の区分と比較して多くなっています。

【高齢者福祉の施策の拡充（5LA）】

単位：%

		母数	健康づくりや介護予防のための施策の充実	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	就労支援	在宅サービスの充実	声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	認知症施策の充実	介護している家族等への支援	施設サービスの充実	移動手段の充実
全体		778	23.0	9.1	4.0	29.7	32.8	50.3	18.9	32.6	17.4	32.3
性・年齢別	男性　64歳以下	9	△ 44.4	11.1	－	33.3	33.3	▼ 33.3	22.2	△ 66.7	22.2	33.3
	65～74歳	39	20.5	7.7	5.1	35.9	25.6	46.2	▼ 5.1	33.3	15.4	28.2
	75歳以上	237	24.9	8.9	3.4	24.5	30.4	46.0	20.3	32.5	20.7	33.3
	女性　64歳以下	11	－	－	△ 18.2	△ 72.7	27.3	54.5	9.1	△ 45.5	9.1	27.3
	65～74歳	53	22.6	11.3	3.8	30.2	▼ 20.8	50.9	18.9	32.1	22.6	30.2
	75歳以上	427	22.2	9.1	3.7	30.7	36.5	53.4	19.7	31.6	15.2	32.6
圏域別	安威川以北圏域	420	22.4	8.1	4.0	30.7	33.1	54.3	20.5	34.0	19.3	30.5
	安威川以南圏域	356	23.6	10.1	3.7	28.4	32.6	45.8	17.1	30.9	15.2	34.6
要介護度別	要支援１・２	353	28.0	10.5	3.4	26.6	34.6	49.6	12.2	25.2	15.6	32.0
	要介護１・２	298	20.8	8.4	4.7	33.6	30.9	50.3	24.2	34.6	20.1	31.5
	要介護３～５	122	▼ 12.3	4.9	3.3	29.5	32.8	52.5	25.4	△ 48.4	16.4	34.4

単位：%

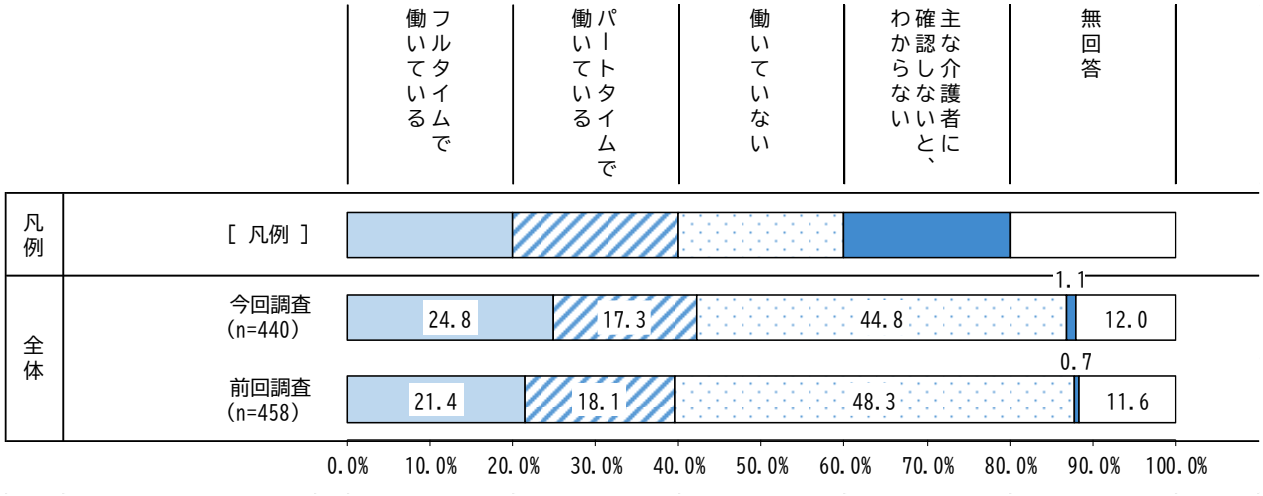
		母数	道路や施設のバリアフリー化	高齢者向け住宅の整備	ボランティアや地域活動の支援や紹介	住民が支え合う地域づくりへの支援	世代間交流の場づくり	介護に係る人材の育成	災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	その他	無回答
全体		778	16.3	15.8	5.4	8.6	2.4	22.6	28.7	2.1	8.5
性・年齢別	男性　64歳以下	9	11.1	△ 44.4	－	11.1	－	－	22.2	－	11.1
	65～74歳	39	23.1	7.7	5.1	7.7	－	20.5	28.2	2.6	7.7
	75歳以上	237	13.1	13.9	5.5	8.0	1.7	22.4	27.0	1.3	11.8
	女性　64歳以下	11	△ 45.5	△ 36.4	9.1	－	－	▼ 9.1	27.3	－	－
	65～74歳	53	15.1	13.2	1.9	5.7	－	22.6	32.1	7.5	9.4
	75歳以上	427	17.1	16.9	5.9	9.6	3.5	23.7	29.5	1.9	6.8
圏域別	安威川以北圏域	420	17.4	17.9	5.2	8.8	3.3	25.0	26.2	2.4	6.9
	安威川以南圏域	356	15.2	13.5	5.6	8.4	1.4	19.7	31.7	1.7	10.4
要介護度別	要支援１・２	353	17.3	17.0	5.4	8.5	2.3	19.8	30.3	2.3	7.9
	要介護１・２	298	15.8	16.8	4.7	10.1	3.4	27.9	27.5	2.3	8.4
	要介護３～５	122	15.6	10.7	7.4	4.9	0.8	18.0	27.9	0.8	10.7

◆問36　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】

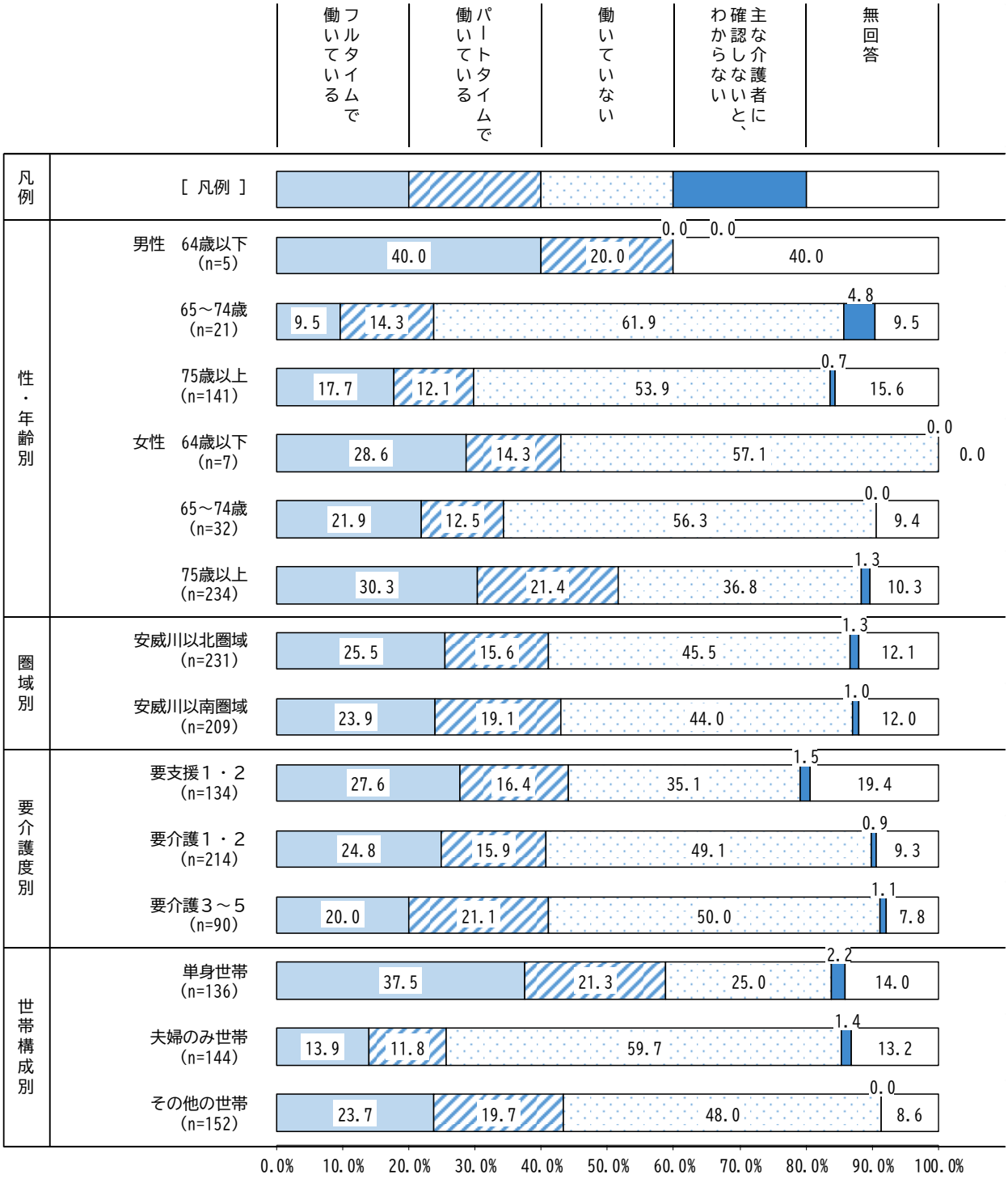
○　主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 44.8%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 24.8%、「パートタイムで働いている」が 17.3%となっています。

○　前回調査との大きな差はみられません。



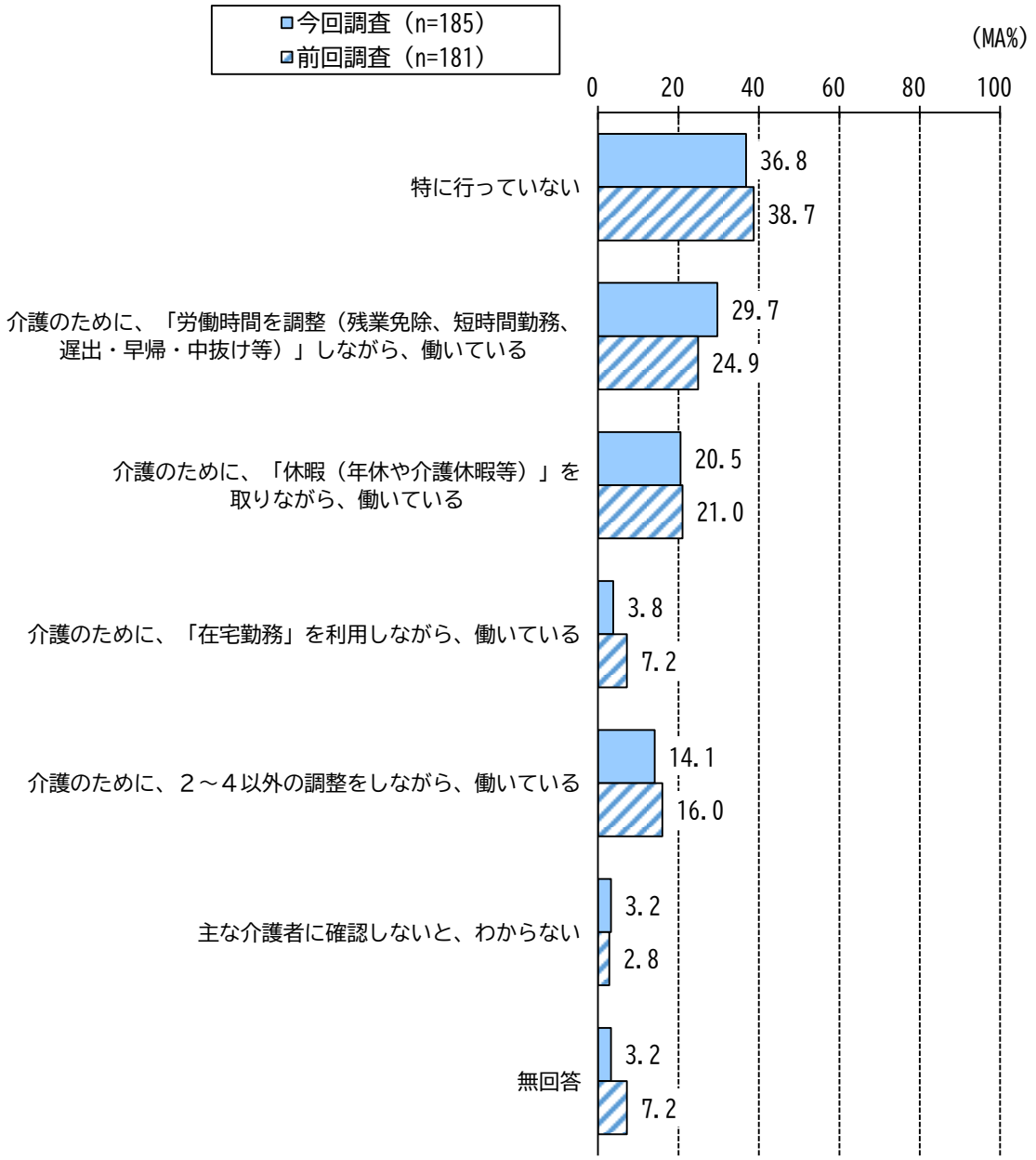
【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「働いていない」が４割から５割台と最も多くなっています。
○　男性 75 歳以上では、「フルタイムで働いている」が 17.7%、女性 75 歳以上では、30.3%と 12.6 ポイントの差がみられます。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要介護度が上がるにつれて、「パートタイムで働いている」「働いていない」割合が多くなる傾向にあります。
【世帯構成別】
○　「フルタイムで働いている」は単身世帯が 37.5%と他の区分と比較して多くなっています。

【主な介護者の勤務形態】



◆問37　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（いくつでも○）

【全体】
○　働き方の調整について、「特に行っていない」が 36.8%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 29.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 20.5%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要介護度が上がるにつれて、「特に行っていない」割合が少なくなる傾向にあります。
○　要介護３～５では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 43.2%と全体を大きく上回っています。

【働き方の調整（MA）】

単位：%

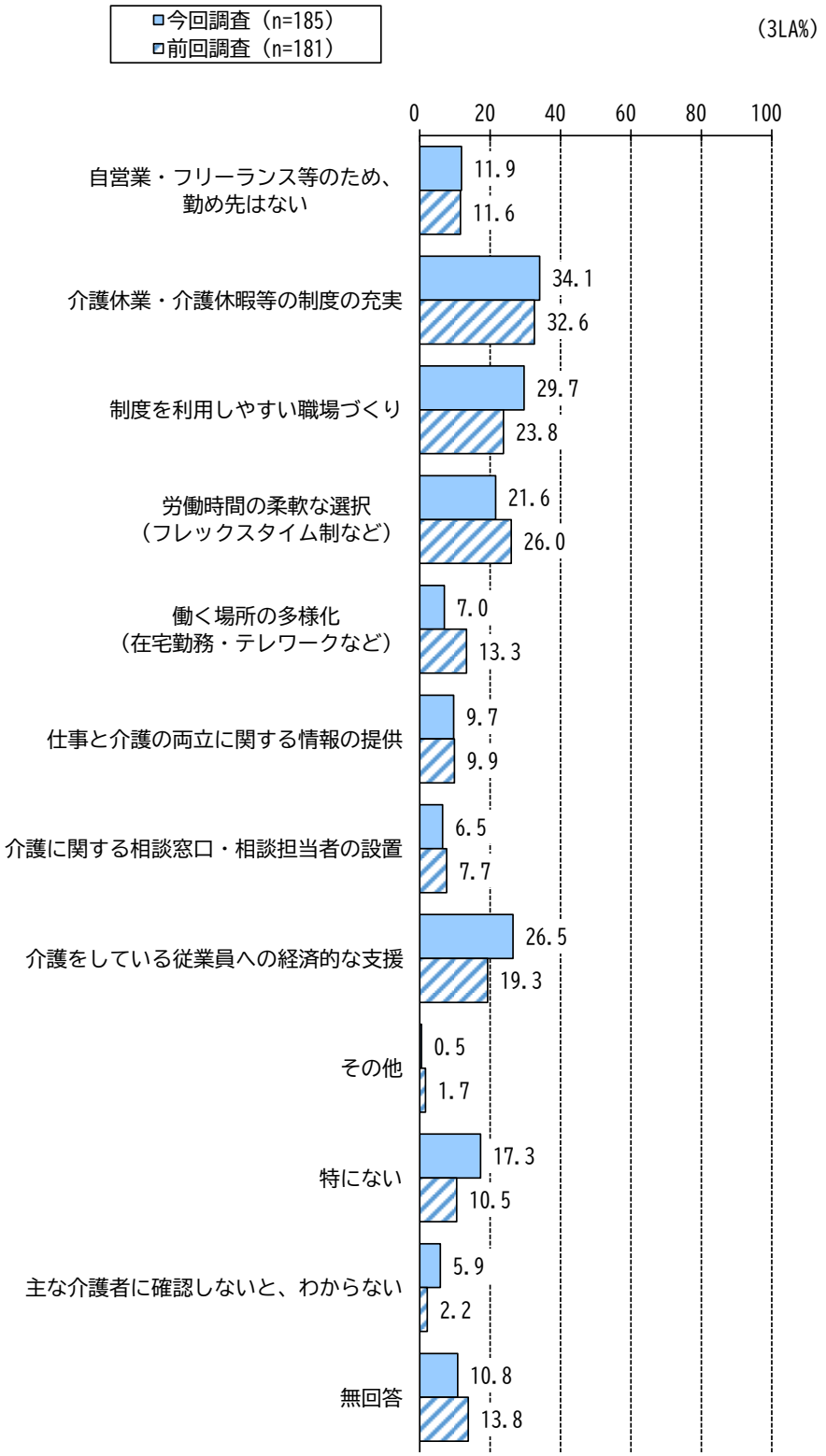
		母数	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		185	36.8	29.7	20.5	3.8	14.1	3.2	3.2
性・年齢別	男性　64歳以下	3	33.3	-	△ 66.7	-	-	-	-
	65～74歳	5	△ 60.0	△ 40.0	-	-	-	-	-
	75歳以上	42	45.2	26.2	14.3	2.4	21.4	2.4	-
	女性　64歳以下	3	-	△100.0	-	-	-	-	-
	65～74歳	11	△ 54.5	▼ 18.2	27.3	△ 18.2	-	-	-
	75歳以上	121	32.2	30.6	22.3	3.3	14.0	4.1	5.0
圏域別	安威川以北圏域	95	40.0	30.5	20.0	3.2	12.6	2.1	2.1
	安威川以南圏域	90	33.3	28.9	21.1	4.4	15.6	4.4	4.4
要介護度別	要支援１・２	59	△ 50.8	22.0	13.6	1.7	8.5	5.1	5.1
	要介護１・２	87	35.6	29.9	24.1	2.3	17.2	2.3	1.1
	要介護３～５	37	▼ 13.5	△ 43.2	24.3	10.8	16.2	2.7	5.4

◆問38　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（３つまで○）

【全体】

○　仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 34.1％で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 29.7%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 26.5%となっています。

○　前回調査と比較すると、「介護をしている従業員への経済的な支援」は 26.5%と、前回（19.3%）から 7.2 ポイント増加しています。



【圏域別】
○　安威川以北圏域では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」は 25.3%と、安威川以南圏域（17.8%）と比較して 7.5 ポイント多くなっています。
【要介護度別】
○　「介護休業・介護休暇等の制度の充実」は要支援１・２が 27.1%と他の区分と比較して少なくなっています。
○　「制度を利用しやすい職場づくり」は要介護１・２が 32.2%と他の区分と比較して多くなっています。
○　「仕事と介護の両立に関する情報の提供」は要介護１・２が 14.9%と他の区分と比較して多くなっています。

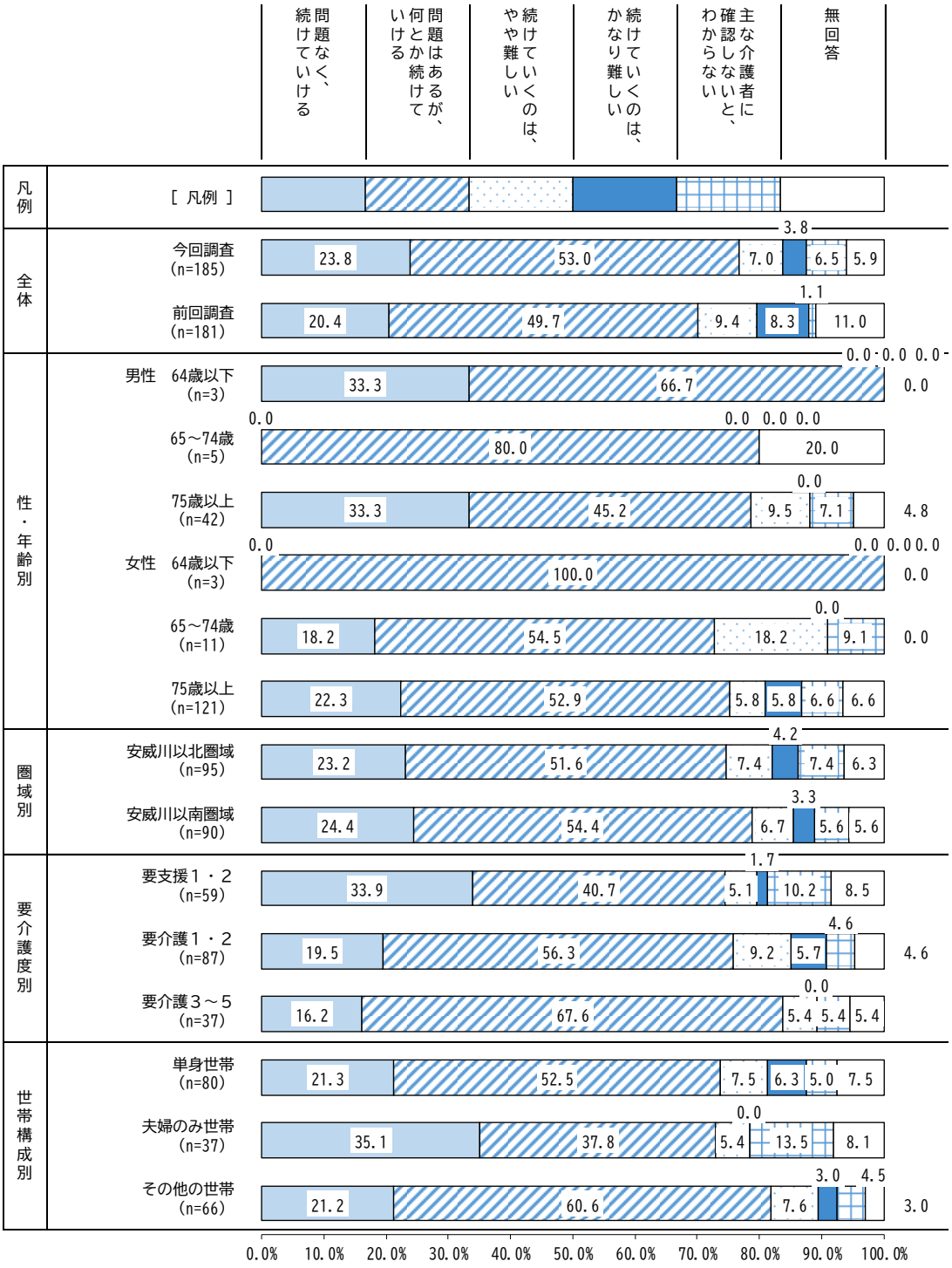
【仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援（3LA）】

単位：%

		母数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		185	11.9	34.1	29.7	21.6	7.0	9.7	6.5	26.5	0.5	17.3	5.9	10.8
性・年齢別	男性　64歳以下	3	-	33.3	△ 66.7	△ 33.3	△ 33.3	-	-	33.3	-	-	△ 33.3	-
	65～74歳	5	20.0	-	20.0	△ 40.0	-	-	-	△ 40.0	-	20.0	-	-
	75歳以上	42	7.1	26.2	31.0	14.3	4.8	9.5	11.9	16.7	2.4	26.2	11.9	7.1
	女性　64歳以下	3	△ 66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
	65～74歳	11	9.1	△ 45.5	36.4	18.2	9.1	-	△ 36.4	36.4	-	9.1	-	-
	75歳以上	121	12.4	37.2	28.1	24.0	7.4	11.6	2.5	28.1	-	15.7	4.1	14.0
圏域別	安威川以北圏域	95	10.5	30.5	29.5	25.3	6.3	9.5	5.3	27.4	-	18.9	5.3	11.6
	安威川以南圏域	90	13.3	37.8	30.0	17.8	7.8	10.0	7.8	25.6	1.1	15.6	6.7	10.0
要介護度別	要支援１・２	59	5.1	27.1	28.8	23.7	6.8	5.1	5.1	20.3	-	16.9	10.2	16.9
	要介護１・２	87	14.9	35.6	32.2	21.8	8.0	14.9	4.6	24.1	1.1	18.4	5.7	5.7
	要介護３～５	37	16.2	40.5	27.0	18.9	2.7	5.4	13.5	△ 40.5	-	13.5	-	13.5

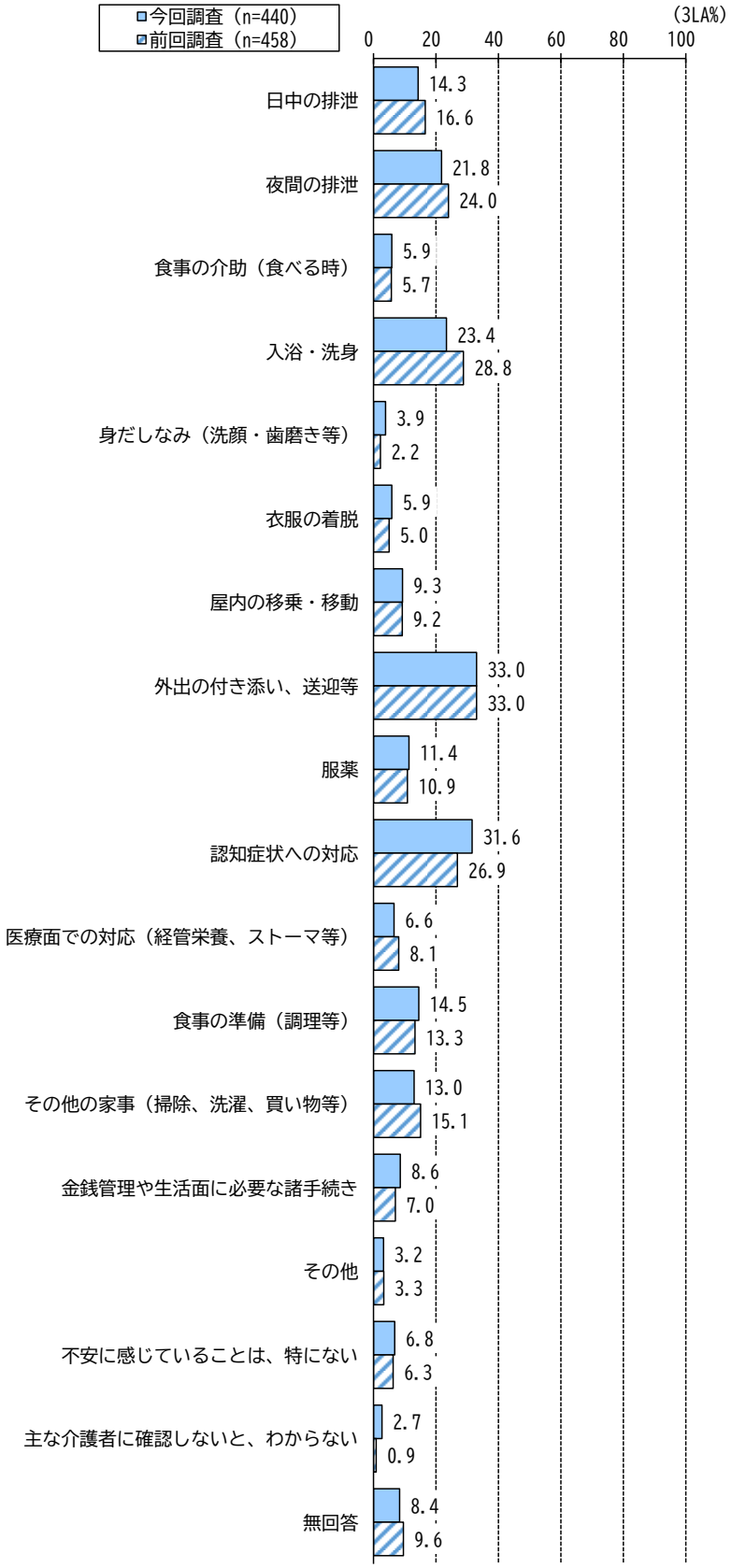
◆問39　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つだけ○）

【全体】
○　今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.0%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 23.8%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.0%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要支援１・２では、「問題なく、続けていける」が最も多く、介護度が上がるにつれて少なくなる傾向にあります。
【世帯構成別】
○　「問題なく、続けていける」は夫婦のみ世帯が 35.1%と他の区分と比較して多くなっています。



◆問40　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（３つまで○）

【全体】
○　主な介護者が不安に感じる介護等について、「外出の付き添い、送迎等」が 33.0%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が 31.6%、「入浴・洗身」が 23.4%となっています。
○　前回調査との大きな差はみられません。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「認知症状への対応」が最も多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【要介護度別】
○　要支援１・２では、「外出の付き添い、送迎等」、要介護１・２では「認知症状への対応」、要介護３～５では、「夜間の排泄」が他の要介護度区分と比較して多くなっています。
○　「入浴・洗身」は要支援１・２が 17.9%と他の区分と比較して少なくなっています。
○　「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は要支援１・２が 20.1%と他の区分と比較して多くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等（3LA）】

単位：%

		母数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		440	14.3	21.8	5.9	23.4	3.9	5.9	9.3	33.0	11.4
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	20.0	－	△ 80.0	－	－	－	40.0	－
	65～74歳	21	△ 47.6	△ 38.1	14.3	△ 38.1	4.8	－	14.3	28.6	－
	75歳以上	141	9.9	19.1	5.0	19.1	8.5	7.8	7.1	31.9	19.1
	女性　64歳以下	7	14.3	－	14.3	△ 42.9	－	14.3	14.3	▼ 14.3	－
	65～74歳	32	▼ 3.1	21.9	3.1	25.0	3.1	3.1	9.4	△ 50.0	15.6
	75歳以上	234	15.8	22.6	6.0	22.6	1.3	5.6	10.3	32.1	7.7
圏域別	安威川以北圏域	231	13.9	22.9	6.5	22.5	4.8	6.5	8.7	32.0	9.5
	安威川以南圏域	209	14.8	20.6	5.3	24.4	2.9	5.3	10.0	34.0	13.4
要介護度別	要支援１・２	134	6.0	11.9	6.0	17.9	0.7	2.2	4.5	38.1	6.7
	要介護１・２	214	14.5	22.0	4.7	26.6	5.6	9.3	10.7	31.3	15.4
	要介護３～５	90	△ 26.7	△ 36.7	8.9	23.3	4.4	3.3	13.3	30.0	7.8

単位：%

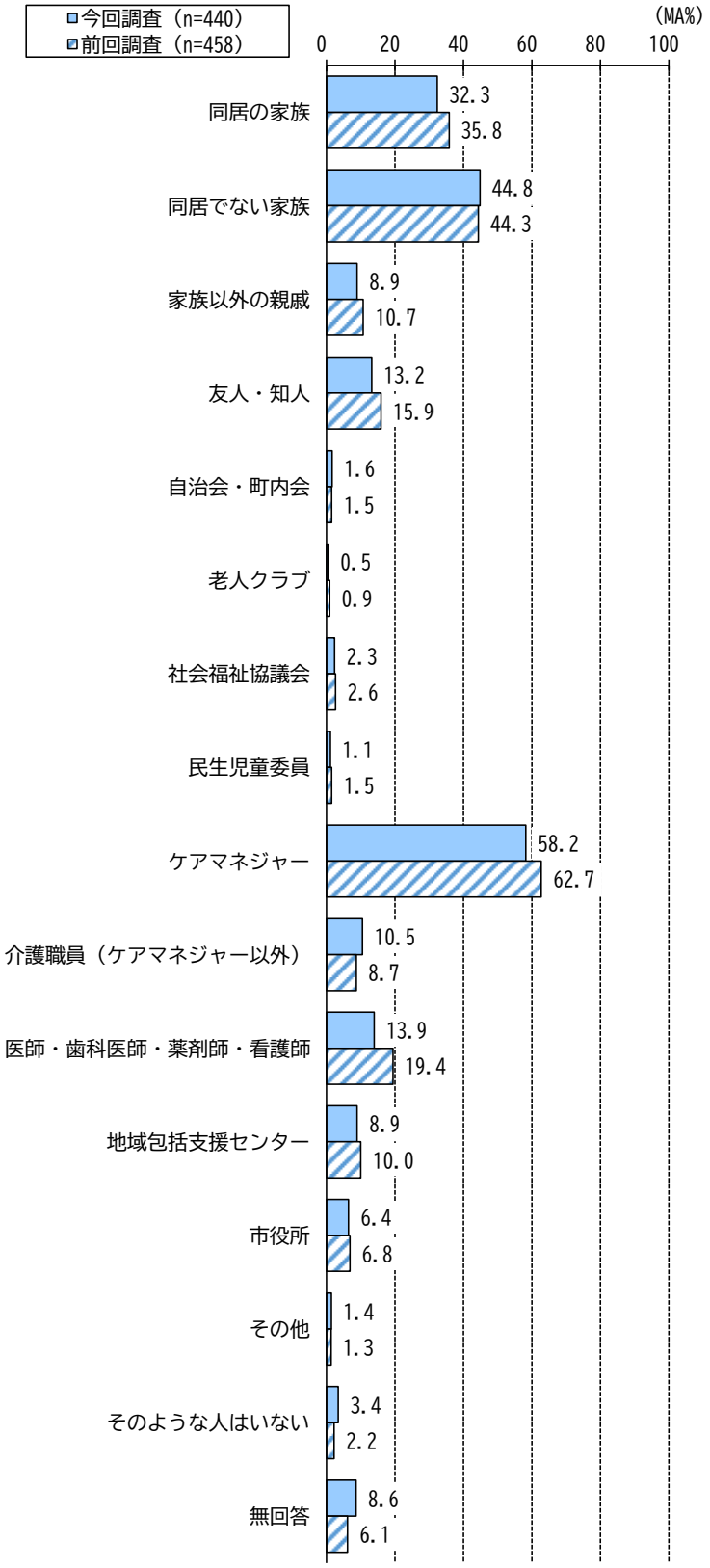
		母数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		440	31.6	6.6	14.5	13.0	8.6	3.2	6.8	2.7	8.4
性・年齢別	男性　64歳以下	5	－	△ 20.0	△ 40.0	20.0	－	－	－	－	20.0
	65～74歳	21	▼ 19.0	－	4.8	14.3	－	－	－	－	4.8
	75歳以上	141	33.3	11.3	17.0	11.3	9.2	3.5	6.4	2.1	8.5
	女性　64歳以下	7	28.6	－	－	14.3	－	－	14.3	△ 14.3	－
	65～74歳	32	21.9	6.3	9.4	9.4	6.3	3.1	6.3	6.3	9.4
	75歳以上	234	33.8	4.3	14.5	14.1	9.8	3.4	7.7	2.6	8.5
圏域別	安威川以北圏域	231	30.3	8.2	16.9	14.3	7.4	3.9	6.9	3.9	8.2
	安威川以南圏域	209	33.0	4.8	12.0	11.5	10.0	2.4	6.7	1.4	8.6
要介護度別	要支援１・２	134	▼ 20.1	6.0	18.7	20.1	5.2	2.2	9.7	4.5	14.9
	要介護１・２	214	39.3	7.5	13.1	11.7	9.8	3.3	6.5	2.8	5.6
	要介護３～５	90	31.1	5.6	11.1	5.6	11.1	4.4	3.3	－	4.4

◆問41　主な介護者の方が、介護に悩んだときに相談する人はいますか。（いくつでも○）

【全体】

○　介護に悩んだときに相談する人について、「ケアマネジャー」が 58.2%で最も多く、次いで「同居でない家族」が 44.8%、「同居の家族」が 32.3%となっています。

○　前回調査と比較すると、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」は 13.9%と、前回（19.4%）から 5.5 ポイント少なくなっています。



【性・年齢別】
○　75 歳以上では、「同居でない家族」が男性（51.1%）は女性（41.5%）と比べて、9.6 ポイント多くなっています。
【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。
【中学校区別】
○　「そのような人はいない」について、第一、第三、第四中学校区は、全体と比較して多くなっています。
【要介護度別】
○　要介護度が上がるにつれて、「ケアマネジャー」の割合が多くなっています。

【介護に悩んだときに相談する人（MA）】

単位：%

		母数	同居の家族	同居でない家族	家族以外の親戚	友人・知人	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	民生児童委員
全体		440	32.3	44.8	8.9	13.2	1.6	0.5	2.3	1.1
性・年齢別	男性　64歳以下	5	▼ 20.0	40.0	△ 20.0	-	-	-	-	-
	65～74歳	21	28.6	38.1	9.5	14.3	-	-	-	-
	75歳以上	141	28.4	51.1	8.5	14.9	2.1	-	2.8	1.4
	女性　64歳以下	7	▼ 14.3	42.9	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	32	34.4	46.9	3.1	15.6	-	-	3.1	-
	75歳以上	234	35.5	41.5	9.8	12.4	1.7	0.9	2.1	1.3
圏域別	安威川以北圏域	231	29.4	42.0	7.4	12.1	1.3	0.4	2.6	1.3
	安威川以南圏域	209	35.4	47.8	10.5	14.4	1.9	0.5	1.9	1.0
中学校区別	第一中学校	122	32.0	41.8	9.8	13.9	1.6	-	3.3	2.5
	第二中学校	74	28.4	37.8	12.2	17.6	1.4	-	1.4	-
	第三中学校	109	26.6	42.2	4.6	10.1	0.9	0.9	1.8	-
	第四中学校	82	36.6	△ 57.3	8.5	11.0	2.4	1.2	1.2	1.2
	第五中学校	53	△ 43.4	47.2	11.3	15.1	1.9	-	3.8	1.9
要介護度別	要支援１・２	134	26.1	44.0	11.2	10.4	1.5	0.7	3.7	1.5
	要介護１・２	214	35.0	43.0	7.0	14.0	1.9	0.5	2.3	0.9
	要介護３～５	90	35.6	48.9	8.9	15.6	1.1	-	-	1.1

単位：%

		母数	ケアマネジャー	介護職員（ケアマネジャー以外）	医師・歯科医師・薬剤師・看護師	地域包括支援センター	市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		440	58.2	10.5	13.9	8.9	6.4	1.4	3.4	8.6
性・年齢別	男性　64歳以下	5	60.0	20.0	-	△ 40.0	△ 20.0	-	-	20.0
	65～74歳	21	△ 81.0	19.0	△ 28.6	9.5	14.3	-	-	4.8
	75歳以上	141	58.2	8.5	13.5	8.5	7.8	0.7	3.5	8.5
	女性　64歳以下	7	▼ 42.9	14.3	14.3	-	-	-	△ 14.3	-
	65～74歳	32	50.0	6.3	18.8	-	3.1	3.1	6.3	15.6
	75歳以上	234	57.7	11.1	12.4	9.8	5.1	1.7	3.0	8.1
圏域別	安威川以北圏域	231	57.6	10.0	16.5	8.7	8.2	1.7	4.3	9.1
	安威川以南圏域	209	58.9	11.0	11.0	9.1	4.3	1.0	2.4	8.1
中学校区別	第一中学校	122	58.2	11.5	12.3	11.5	6.6	1.6	4.1	7.4
	第二中学校	74	51.4	10.8	8.1	4.1	6.8	1.4	1.4	9.5
	第三中学校	109	56.9	8.3	21.1	5.5	10.1	1.8	4.6	11.0
	第四中学校	82	65.9	9.8	12.2	12.2	4.9	-	3.7	4.9
	第五中学校	53	58.5	13.2	13.2	11.3	-	1.9	1.9	11.3
要介護度別	要支援１・２	134	▼ 41.0	5.2	11.9	13.4	6.7	0.7	4.5	14.9
	要介護１・２	214	63.6	9.3	15.0	6.1	7.5	1.4	3.3	6.5
	要介護３～５	90	△ 72.2	20.0	13.3	7.8	3.3	2.2	2.2	4.4

◆問42　主な介護者の方は、本人と今後の医療・療養について話し合ったことがありますか。（１つだけ○）

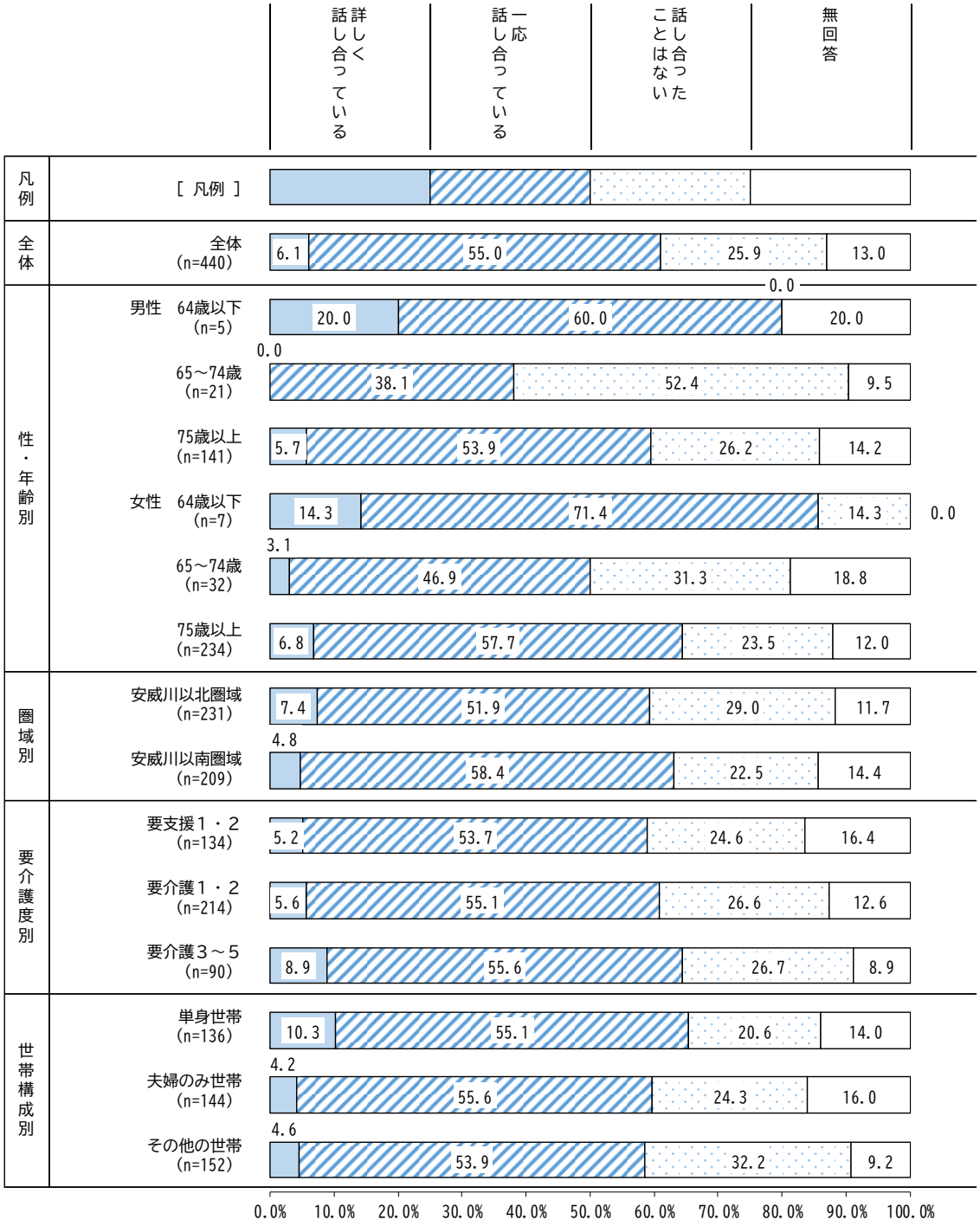
【全体】
○　医療・療養について話し合ったことの有無について、「一応話し合っている」が 55.0%で最も多く、次いで「話し合ったことはない」が 25.9%、「詳しく話し合っている」が 6.1%となっています。

【性・年齢別】
○　75 歳以上では、男女ともに「詳しく話し合っている」は１割以下となっています。

【圏域別】
○　圏域別による大きな差はみられません。

【要介護度別】
○　要介護度別による大きな差はみられません。

【世帯構成別】
○　「詳しく話し合っている」は単身世帯が 10.3%と他の区分と比較して多くなっています。



主な意見（一部抜粋）
■ 在宅介護の継続について ・現時点では、自分で出来ており元気に過ごしていますが、これから先が不安です。 ・手足以外に動かしにくい部位がでてきた時に外出(通院や買い物)することが出来るのか不安。屋外の移動となると転倒など心配になることがある。現時点では出来ているが、これから先のことを考えると色々と不安。 ・訪問介護、看護などを利用しながら、独居生活を継続していますが、自分の事が自分で出来なくなった時にどうするか、家族と話し合って決めたいと思います。 ・足や腰等、色々の所が痛いが、夫婦二人で出来るかぎり頑張ります。 ・在宅介護の支援について、適切なアドバイスや情報がほしい。 ・介護が必要な高齢者は増加していく一方で、在宅介護では限界があると思います。 ・認知症による徘徊や転倒があり身の危険を感じていますが、対面での会話はしっかりできるため、認定調査の面談で日常の困りごとを理解してもらうのが難しい。介護サービスをもっと利用したいですが、点数が足りず、自費負担も生じているため今後に不安を感じる。 ・色々迷惑を掛けてしまうと思いますが、在宅で過ごしたい。 ・寝たきりになれば施設などを考えるが、出来るだけ在宅介護を継続したい。 ・本人が希望する在宅介護を継続するためには、複数の親族とケアマネジャー等必要。 ・働きながら在宅介護は難しく、介護離職を最終的に選択した。 ・リハビリテーションを受けさせようとしたが、本人が拒否するので今は何もできない。
■ 介護保険料を含む経済状況について ・施設入所等が必要であっても、毎月の料金等考えると難しい人も多いと思う。介護度が上がると利用料が高くなるため、介護を受けない人もいると思う。 ・親の認知症の検査が必要な状態になり、今後の金銭面や実際の介助をどのように行っていけばよいか不安。
■ ケアマネジャー等への意見・要望 ・ヘルパーを利用し、居室清掃を利用していますが、精神的な面で安らぎやゆとりが出来、労力を他に使えるので助かる。 ・ケアマネジャーさんや子どもに何かあった時に相談できるので心強く思っています。 ・ケアマネジャーさんや地域包括支援センターの方をいつも頼りにしており、心の安心につながります。
■ 施設について ・介護者も高齢の為いつまで介護出来るかが不安。特別養護老人ホームも満室でいつ入所できるかわからないため、施設の充実を希望。 ・まる一日ショートステイだけでなく、夜中だけ預かってくれる施設があると助かります。 ・高齢者二人で生活しているが、今後、老々介護になると生活が難しいため、困った時にすぐに入所できる施設があればいい。
■ 家族ケア・介護者ケアについて ・要介護者だけでなく、介護者が要介護者の症状について気軽に相談できる窓口の充実等、介護者に対しての支援を充実してほしい。 ・自費でカウンセリングに通っていますが、介護者のメンタルケアについて、援助があればいいなと思います。 ・介護する側も年を取り、いつまで老老介護が続くのか不安。 ・医療行為が必要だが、夜間に対応できる施設が少なく、ショートステイの利用が難しいため、介護者が休むことができず、疲弊しつつある。レスパイト入院をもっと普及させてほしい。

■ **緊急時の対応について** ・ヘルパー等の不在時に転倒した際など、緊急時にボタン一つで駆けつけてくれるような対応があれば安心だと思います。
■ **その他** ・家の近くで気楽に集まり、体のこと等の話しが出来る場所がほしい。 ・摂津市にはどの様なサービスがあるのかわからないため、簡単に情報を得る事が出来るようにしてほしい。 ・往診ができる病院がわからず困ることがある為、情報の発信や往診できる病院の充実を希望。 ・医療行為の項目により訪問看護を断られていたことがあるため、断らない体制を確立していただきたいです。 ・ケアマネジャーが不足しているため、早急に解決していただきたいです。

資料編

【調査票】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

摂津市高齢者の保健福祉に関するアンケート調査

【令和７年度　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

は　じ　め　に

市民の皆さまには、日頃から市政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、摂津市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

そこで、50 歳以上の市民の方に対し、心身の状態や自立した生活を送る上での課題、今後の意向等をより的確に把握するため、「高齢者の保健福祉に関するアンケート」を実施します。

この調査は、今後の高齢者を取り巻く様々な環境に柔軟に対応し、また介護予防の情報を正確に整理するために、多くの質問項目を設けております。身近な内容となっていますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和７年１２月

本調査票記入後は、調査票を三つ折りにして同封の返送用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までに投函してください。
また、この調査はインターネットでの回答も可能です。
右の二次元コードを読み取り、回答を進めてください。
「調査票番号」は、この表紙の右上にある数字のことです。

【二次元コード】

【 お 問 い 合 わ せ 先 】

摂津市役所　保健福祉部　高齢介護課

電 話　06-6170-1561(直通) または 072-638-0007(内線 2546)

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護および活用目的は以下の通りですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

■個人情報の保護及び調査目的について

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市の高齢者保健福祉計画策定及び介護保険事業計画策定の目的以外には使用いたしません。また、当該情報については、摂津市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、市で適切に管理いたします。ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。（お名前などの個人情報は登録されません。）

記入に際してのお願い

1．この調査の対象者は、令和７年11月１日現在、50歳以上65歳未満の方から500人、65歳以上の方から1,500人（要介護１～５の方を除く）を無作為抽出しています。

2．ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。

3．この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。

介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。　(1.)はい　2．いいえ

数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。　| | 4 | 5 | kg

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1．あて名のご本人が記入

2．ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

3．その他（　　）

※以下は**あて名のご本人の情報**を記入してください。

年齢	（　　）歳				
性別	男　・　女　・　わからない、回答したくない				
介護度	要介護度なし	要支援１	要支援２	わからない	
お住まいの地域	1．千里丘	2．千里丘新町	3．千里丘東	4．庄屋	5．阪急正雀
	6．南千里丘	7．三島	8．正雀	9．正雀本町	10．東正雀
	11．昭和園	12．桜町	13．学園町	14．香露園	15．鶴野
	16．北別府町	17．東別府	18．一津屋	19．西一津屋	20．南別府町
	21．別府	22．浜町	23．安威川南町	24．鳥飼本町	25．鳥飼野々
	26．鳥飼八防	27．新在家	28．鳥飼八町	29．鳥飼上	30．鳥飼銘木町
	31．鳥飼中	32．鳥飼新町	33．鳥飼下	34．鳥飼西	35．鳥飼和道
	36．東一津屋	37．その他（町名・丁:＿＿＿＿町　＿＿＿丁目）			

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問1　あなたのご家族や生活状況について

1　家族構成を教えてください。（１つだけ○）

1．一人暮らし　　2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）　　4．息子・娘との２世帯
5．その他（　　）

2　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ○）

1．介護・介助は必要ない　⇒3へ
2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない　⇒2-1へ
3．現在、何らかの介護を受けている　⇒2-1～2-2へ
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

2で、「2」または「3」と答えた方のみお答えください。

2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも○）

1．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）　　2．心臓病
3．がん（悪性新生物）　　4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5．関節の病気（リウマチ等）　　6．認知症（アルツハイマー病等）
7．パーキンソン病　　8．糖尿病
9．腎疾患（透析）　　10．視覚・聴覚障害
11．骨折・転倒　　12．脊椎損傷
13．高齢による衰弱　　14．その他（　　）
15．不明

2で、「3」と答えた方のみお答えください。

2-2　主にどなたの介護・介助を受けていますか。（いくつでも○）

1．配偶者（夫・妻）　　2．息子　　3．娘
4．子の配偶者　　5．孫　　6．兄弟・姉妹
7．介護サービスのヘルパー　　8．その他（　　）

3　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つだけ○）

1．大変苦しい　　2．やや苦しい　　3．ふつう
4．ややゆとりがある　　5．大変ゆとりがある

4	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（１つだけ○）
	１．持家（一戸建て）　２．持家（集合住宅） ３．公営賃貸住宅　４．民間賃貸住宅（一戸建て） ５．民間賃貸住宅（集合住宅）　６．サービス付き高齢者住宅 ７．住宅型有料老人ホーム　８．借家 ９．その他（　　）

※分譲マンションは「２．持家（集合住宅）」、市営住宅、府営住宅は「３．公営賃貸住宅」、賃貸マンション、アパートは「５．民間賃貸住宅（集合住宅）」に○をつけてください。文化住宅、長屋は「集合住宅」となります。
※一般的な賃貸借契約がない場合は「８．借家」に○をつけてください。

5	ご自宅にお風呂はありますか。（１つだけ○）
	１．ある　⇒6へ　２．あるが利用していない　⇒5-1へ ３．ない　⇒6へ

5で、「２」と答えた方のみお答えください。

5-1	お風呂を利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）
	１．公衆浴場やデイサービス等別の場所で入浴している ２．友人や家族などにお風呂を借りている ３．お風呂が狭い ４．お風呂が壊れている ５．入浴事故（転倒やヒートショック等）が怖い ６．入浴動作が大変 ７．シャワーのみ利用している ８．その他（　　）

6	自分の聴力（聞こえ）についてどのように感じますか。（1 つだけ○）
	１．よく聞こえる ２．やや聞こえにくい ３．かなり聞こえにくい（会話が聞き取りにくいことが多い） ４．ほとんど聞こえない ５．自覚はないが、「耳が遠い」と言われたことがある

7	自分の聴力（聞こえ）について、何か対応していますか。（1 つだけ○）
	１．医療機関を受診している　２．補聴器を使用している ３．補聴器を持っているが使用していない　４．補聴器の購入を検討している ５．その他（　　）　６．特に何もしていない

8	現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）
	1．職に就いたことがない　2．引退した　3．常勤（フルタイム）⇒8-1 4．非常勤（パート・アルバイト等）⇒8-1　5．自営業⇒8-1 6．求職中　7．その他（　　）
	8で、「3」、「4」、「5」と答えた方のみお答えください。
8-1	働いている理由は何ですか。（いくつでも○）
	1．経済上の理由　2．健康上の理由 3．生きがい、社会参加のため　4．時間に余裕があるから 5．専門知識や技術を活かしたい　6．その他（　　）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。

問2　からだを動かすことについて

1	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（1つだけ○）
	1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない
2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つだけ○）
	1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない
3	15分位続けて歩いていますか。（1つだけ○）
	1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない
4	過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つだけ○）
	1．何度もある　2．1度ある　3．ない
5	転倒に対する不安は大きいですか。（1つだけ○）
	1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安ではない　4．不安ではない
6	週に1回以上は外出していますか。（1つだけ○）
	1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上
7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つだけ○）
	1．とても減っている　2．減っている 3．あまり減っていない　4．減っていない
8	外出を控えていますか。（1つだけ○）
	1．はい　⇒8-1へ　2．いいえ　⇒9へ

8で、「1」と答えた方のみお答えください。

8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも○）

1．病気（感染症以外）　2．感染症の予防
3．障害（脳卒中の後遺症など）　4．足腰などの痛み
5．トイレの心配（失禁など）　6．耳が聞こえにくい
7．目が見えにくい　8．外での楽しみがない
9．経済的に出られない　10．交通手段がない
11．その他（　　）

9 外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも○）

1．徒歩　2．自転車　3．バイク
4．自動車（自分で運転）　5．自動車（人に乗せてもらう）　6．電車
7．路線バス　8．病院や施設のバス　9．車いす
10．電動車いす（カート）　11．歩行器・シルバーカー　12．タクシー
13．その他（　　）

10 あなたの考える「自分の生活の行動範囲」を教えてください。（1つだけ○）

1．自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）　2．区・自治会単位の地域
3．小学校区の学区域くらい　4．中学校区の学区域くらい
5．摂津市全域　6．その他
7．わからない

問3　食べることについて

1 身長・体重を教えてください。（小数点以下は記入不要）

身長 □□□ cm（百の位／十の位／一の位）　体重 □□□ kg（百の位／十の位／一の位）

2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（1つだけ○）

1．はい　2．いいえ

3 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1つだけ○）

1．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　2．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　4．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

4	どなたかと食事をともにする機会はありますか。（１つだけ○）
	1. 毎日ある　2. 週に何度かある　3. 月に何度かある 4. 年に何度かある　5. ほとんどない

問4　毎日の生活について

1	物忘れが多いと感じますか。（１つだけ○）
	１．はい　２．いいえ
2	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（１つだけ○）
	１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない
3	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つだけ○）
	１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない
4	自分で食事の用意をしていますか。（１つだけ○）
	１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない
5	自分で請求書の支払いをしていますか。（１つだけ○）
	１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない
6	自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つだけ○）
	１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない
7	趣味はありますか。（１つだけ○）
	１．趣味あり（　　）　２．思いつかない
8	生きがいはありますか。（１つだけ○）
	１．生きがいあり（　　）　２．思いつかない
9	あなたは、健康や日常生活または、市に関する情報を、主に何（誰）から得ていますか。（いくつでも○）
	１．家族・親族　２．友人・近所の人　３．病院・医院・薬局 ４．整骨院・鍼灸院　５．市役所　６．保健センター ７．民生児童委員・校区福祉委員　８．地域包括支援センター ９．社会福祉協議会　10．コミュニティソーシャルワーカー 11．生活支援コーディネーター　12．介護保険事業所（ケアマネジャーなど） 13．老人介護者（家族）の会　14．市の広報紙 15．市のホームページ　16．市の公式 LINE 等の SNS 17．新聞・本・雑誌　18．テレビ・ラジオ 19．インターネット（パソコン）　20．インターネット（スマートフォン） 21．その他（　　）　22．特にない

問5 地域での活動について

1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
①～⑧のそれぞれに回答してください。（それぞれ１つだけ○）

	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
【記入例】③趣味関係のグループ	1	2	③	4	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤（つどい場、サロン、地域での体操活動など）介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6 ⇒1-1へ
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

1－⑤で、「６」（通いの場に参加していない）と答えた方のみお答えください。

1-1 参加していない理由を教えてください。
（いくつでも○）

1．そのような場があることが知らなかった　2．実施場所がわからない
3．自宅に近い場所で行われていない　4．料金がかかる
5．一緒に参加する仲間や友人がいない　6．参加しても効果があると思えない
7．他人と活動するのが好きでない　8．日時が合わない
9．参加したことがあるが合わなかった　10．そもそも通う必要がない
11．その他（　　）　12．特に理由はない

2 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（１つだけ○）

1．是非参加したい　2．参加してもよい
3．参加したくない　4．すでに参加している

3 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営（お世話役）として**参加してみたいと思いますか。（１つだけ○）

1．是非参加したい　2．参加してもよい
3．参加したくない　4．すでに参加している

4	今後、あなたが社会的活動に参加する場合、どのような条件や環境があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも○）
	1．時間や期間にあまりしばられないこと　2．身近なところで活動できること
	3．気軽に参加できそうな活動があること　4．友人や知り合いと一緒に参加できること
	5．活動内容や団体の情報が豊富に提供されること　6．活動団体の人達と知り合う機会があること
	7．活動拠点となる場所があること　8．活動の雰囲気が動画でわかること
	9．日付毎に活動がわかること　10. その他（　　）
5	あなたは、地域の中で以下のような活動や役割を果たしていると思いますか。（いくつでも○）
	1．地域のイベントや活動に参加している
	2．お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている
	3．困った人がいたら相談に乗ったり手助けをしている
	4．ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している
	5．ボランティアや地域サポート活動に参加している
	6．自治会の活動に参加している
	7．地域の福祉や支援活動に興味を持ったり、協力している
	8．その他（　　）
	9．特に何もしていない

問6　たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」について）

1	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。		
	（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）		
	1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
	7．その他（　　）		8．そのような人はいない
	（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）		
	1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
	7．その他（　　）		8．そのような人はいない
	（3）あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）		
	1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
	7．その他（　　）		8．そのような人はいない

	（4）反対に、看病や世話をしてあげる人　（いくつでも○）
	1．配偶者　2．同居の子ども　3．別居の子ども 4．兄弟姉妹・親戚・親・孫　5．近隣　6．友人 7．その他（　　）　8．そのような人はいない
2	あなたはまわりの人（家族を含む）と、どの程度つながっていると感じますか。（１つだけ○）（「まったくつながっていない」を０点、「とてもつながっている」を 10 点として、ご記入ください。）
	まったくつながっていない　0点　1点　2点　3点　4点　5点　6点　7点　8点　9点　10点　とてもつながっている
3	介護保険制度外の支援（※）について、今後どのようなものがあれば、利用したいと思いますか。（５つまで○）
	1．食事の準備・後片付け　2．食事の配達 3．買い物の代行　4．外出の際の車両による送迎 5．病院予約・連絡、薬の受け取り 6．預貯金の預け入れ・公共料金の支払いなどの代行 7．市役所など公共機関での手続きの代行 8．掃除　9．洗濯 10．ごみ出し・分別　11．庭木の手入れ・草むしり 12．家電やパソコン、携帯電話の使い方　13．ストーブへの給油 14．郵便物の確認、広報紙等の代読、書類の代筆 15．ペットの世話や預かり　16．墓の掃除や管理 17．電球や蛍光灯などの交換　18．住居の軽微な修繕 19．買い物への付き添い　20．公共機関・通院・金融機関への付き添い 21．話し相手、相談相手　22．見守りや声かけ 23．季節ものの入れ替え（衣替えなど）　24．その他（　　）

※行政による支援だけでなく、民間企業や地域の支え合いによる支援を含む。

問7　健康について

1	現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つだけ○）
	1．とてもよい　2．まあよい　3．あまりよくない　4．よくない
2	あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ○） （「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。）
	とても不幸　0点　1点　2点　3点　4点　5点　6点　7点　8点　9点　10点　とても幸せ

3	この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（１つだけ○）
	１．はい　　２．いいえ
4	この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（１つだけ○）
	１．はい　　２．いいえ
5	タバコは吸っていますか。（１つだけ○）
	１．ほぼ毎日吸っている　　２．時々吸っている ３．吸っていたが、やめた　　４．もともと吸っていない
6	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも○）
	１．ない　　２．高血圧 ３．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）　　４．心臓病 ５．糖尿病　　６．高脂血症（脂質異常） ７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　　８．胃腸・肝臓・胆のうの病気 ９．腎臓・前立腺の病気　　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） 11．外傷（転倒・骨折等）　　12．がん（悪性新生物） 13．血液・免疫の病気　　14．うつ病 15．認知症（アルツハイマー病等）　　16．パーキンソン病 17．目の病気　　18．耳の病気 19．その他（　　）
7	かかりつけ医（かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師）がいますか。 （１）～（３）のそれぞれについてお答えください。（それぞれ１つだけ○）
	（１）かかりつけ医　　１．いる　　２．いない （２）かかりつけ歯科医　　１．いる　　２．いない （３）かかりつけ薬剤師　　１．いる　　２．いない
8	お薬手帳を使っていますか。（１つだけ○）
	１．紙のお薬手帳を使っている　　２．電子お薬手帳を使っている ３．使っていない
9	受けている定期健診・検診の種類をお答えください。（受けたものすべてに○）
	過去１年間　１．特定健診　２．後期高齢者健診　３．職場の健診 ４．人間ドック　５．肺がん検診　６．胃がん検診 ７．大腸がん検診　８．前立腺がん検診　９．歯科健診 過去２年間　10．乳がん検診　11．子宮がん検診　12．受けていない

10	「せっつみんなで体操四部作」で活用しているものはどれですか。（いくつでも○）
	1．わくわくやる気体操　　2．もりもり本気体操 3．のびのび元気体操　　4．いきいきロコモ体操 5．活用していない　　6．知らない

※「せっつみんなで体操四部作」：摂津市で暮らす誰もがいつまでも元気でいきいきと過ごせるように、「せっつみんなで体操四部作」を作っています。筋力、ストレッチ（柔軟運動）、バランス調整力、有酸素運動などの運動機能を向上させるための四つの体操で、摂津市のホームページで動画を配信しています。

問8　認知症支援について

1	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和6年1月施行され、基本的な考え方の一つとして「誰もが認知症になり得ることを前提に、国民一人一人が自分ごととして理解する」と示されています。 あなたは、認知症を自分ごととして思いますか。（1つだけ○）
	1．思う　　2．思わない　　3．わからない
2	もしあなたが認知症になった場合、次の日常生活のさまざまな場面において、あてはまるものを選んでください。（いくつでも○）
	1．家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う 2．役割を持ち、自分らしく暮らせていると思う 3．あなたの意志が尊重され、自分の望む生活が継続されていると思う 4．１～３どれも難しいと思う 5．わからない
3	あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（いくつでも○）
	1．認知症になっても、医療・介護・周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける 2．認知症になると、周囲に迷惑をかけてしまい、地域で生活することが難しくなる 3．認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう 4．その他（　　） 5．わからない（イメージできない）
4	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（1つだけ○）
	1．はい　　2．いいえ
5	認知症に関する相談窓口を知っていますか。（１つだけ○）
	1．はい　⇒5-1へ　　2．いいえ　⇒6へ

5で、「1」と答えた方のみお答えください。

5-1 それはどちらですか。（いくつでも○）

1．地域包括支援センター　　2．かかりつけ医
3．認知症専門の医療機関　　4．認知症疾患医療センター
5．摂津市老人介護者（家族）の会　　6．若年性認知症コールセンター
7．認知症初期集中支援チーム　　8．市役所（高齢介護課）
9．その他（　　）

6 認知症予防の方法として重要なものは次のうちどれだと思いますか。（いくつでも○）

1．家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる
2．運動をする　　3．定期健診・検診を受ける
4．単調な生活を送らないよう努める
5．糖尿病、高血圧など（生活習慣病）の予防や悪化しないようにする
6．仕事をする

7 認知症の人への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。（いくつでも○）

1．認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催
2．認知症についての正しい知識を持った支援者の養成
3．認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動
4．若年性認知症の人への相談支援　　5．近隣住民による見守り
6．道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器
7．日常生活自立支援事業の利用促進※1　　8．成年後見制度の利用促進※2
9．市民後見人の育成　　10．その他（　　）
11．わからない　　12．特にない

※1「日常生活自立支援事業」とは、認知症や知的障害、精神障害などにより、日常生活において判断能力に不安のある方が地域において自立した生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの手続きや、日常の金銭管理などのサポートを生活支援員等が行うものです。

※2「成年後見制度」とは、判断能力が十分でない方に対し、本人の同意を得て契約の締結等を代わりに行う代理人等を選任し、本人の権利を守る制度です。

8	「せっつはつらつ脳トレ体操」をご存知ですか。（１つだけ○）
	１．定期的に活用している　　２．知っているが、活用していない
	３．知らない

※**「せっつはつらつ脳トレ体操」**：認知症予防に向けて、脳を鍛える「せっつはつらつ脳トレ体操」を作っています。頭と体を同時に動かし、徐々に動きのパターンを増やしていく体操で、摂津市のホームページで動画を配信しています。

9	摂津市の認知症に関する取組をご存知ですか。（いくつでも○）
	１．認知症サポーター養成講座　　２．認知症サポーターステップアップ講座
	３．認知症キッズサポーター養成講座　　４．認知症本人交流会（にっこりカフェ）
	５．認知症プロジェクトチーム　　６．認知症カフェ
	７．認知症高齢者等ひとり歩き SOS ネットワーク　　８．認知症高齢者等ひとり歩き見守り支援シール（QR コードシール）
	９．認知症地域支援推進員　　10．認知症市民公開講座
	11．脳トレ体操リーダー養成講座　　12．その他（　　）

問9　人生会議について

※人生会議（ＡＣＰ：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

1	あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）」のことを知っていますか。（１つだけ○）
	１．よく知っている　　２．ある程度知っている
	３．聞いたことはあるがあまり知らない　　４．知らない

2	あなたは医療や介護が必要になったときの生活について考えることがありますか。（１つだけ○）
	１．家族や医療関係者と話し合い、記録をしている　⇒2-1、2-2へ
	２．話し合っていないが、エンディングノート（または人生会議に関するノート）をつけている　⇒2-2へ
	３．考えているが記録はしていない
	４．まだ考えていない

2で、「1」（話し合っている）と答えた方のみお答えください。

2-1 それはどなたと話し合いましたか。（いくつでも○）

1．家族・親族　　2．医療関係者　　3．介護関係者
4．友人・知人　　5．その他（　　）

2で、「1」「2」（記録している）と答えた方のみお答えください。

2-2 どのような記録ツールを使用していますか。（いくつでも○）

1．摂津市独自の「エンディングノート」
2．摂津市独自の「気持ちノート」
3．大阪府の「人生会議の記録」
4．市販のエンディングノートや人生会議の記録等
5．自身で準備したノート
6．その他（　　）

3 病気やケガによって回復が難しい状態となり、いわゆる「人生の最終段階」を迎える時、あなたはどこで過ごしたいですか。（1つだけ○）

1．自宅　　2．病院　⇒3-1へ
3．介護施設　⇒3-1へ　　4．その他（　　）

3で、「2」「3」と答えた方のみお答えください。

3-1 病院あるいは施設を選んだ主な理由をお教えください。（1つだけ○）

1．家族に負担がかかる　　2．往診してもらえるかかりつけ医がいない
3．介護してくれる家族がいない　　4．急に悪くなった時の対応に困る
5．家の環境が整っていない　　6．経済的負担が大きい
7．その他（　　）

問10　災害時の対応について

1 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（いくつでも○）

1．災害に関する情報が入手できるかわからない
2．どこ（誰）に助けをもとめてよいかわからない（身近に頼れる人がいない）
3．安全な場所まで自力で避難できるかわからない
4．地域の避難場所がどこなのか知らない
5．地域の危険な箇所がわからない
6．防災用品や非常食を常備していない
7．健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）
8．その他（　　）
9．不安は特にない

2	災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。（いくつでも○）
	1．家族・親族　2．近所の人　3．友人・知人 4．自治会の人　5．民生児童委員　6．老人クラブの人 7．介護サービス事業所　8．その他（　　）　9．頼れる人はいない
3	市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方（災害時要援護者）を対象に市への登録申請を受け付けています（摂津市災害時要援護者支援制度※）。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか（１つだけ○）
	1．登録したい（検討したい）　2．すでに登録している 3．登録したいとは思わない

※**「摂津市災害時要援護者支援制度」**とは、災害時に高齢者や障がいのある人などの、自力で避難が難しい方（避難行動要支援者）が迅速かつ安全に避難することができるよう、災害時に支援を必要とされる方から申請（災害時要援護者登録）を受付し、地域の支援者にその情報を提供・共有することで、日頃からの防災訓練に役立て、地域での連携を強化し、災害時に備えるための制度のことをいいます。

問 11　ICT の活用について

※ＩＣＴとは、Information and communication Technology の略で、デジタル化された情報の通信技術です。

1	あなたは、情報機器（スマートフォン、タブレット、パソコン）を使用し、どのようなことをされていますか。（いくつでも○）
	1．電話や LINE、メール等を使用して、家族・友人などと連絡をとる 2．市など行政の手続きをインターネットで行う（電子申請など） 3．インターネットで情報を集めたり、買い物をしたりする 4．SNS（X（旧 Twitter）、Instagram、Facebook など）を利用する 5．ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引など）をする 6．写真や動画の撮影　7．ビデオ通話（LINE、zoom など）を行う 8．ゲームや YouTube などのアプリを使用する　9．キャッシュレス決済（電子マネーや QR コード決済） 10．いずれも使わない　⇒1-1へ　11．情報機器を持っていない　⇒1-1へ 12．その他（　　）

1で、「10」か「11」と答えた方のみお答えください。

1－1	情報機器（スマートフォン、タブレット、パソコン）を使用しない理由を教えてください。（いくつでも○）
	1．使い方がわからない 2．興味があるが購入場所、購入方法などがわからない 3．使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいない 4．文字が見えにくい　5．音声が聞こえづらい 6．指先が動きづらく操作しづらい　7．その他（　　）

問12　その他について

1	新型コロナウイルスの流行前から現在に至るまでの間で、あなたの外出や人との交流、通いの場などへの参加、健康への意識などにどのような変化がありましたか。（１つだけ○）
	１．外出や交流が減った時期はあったが、今は元に戻っている ２．外出や交流は減ったままで、あまり戻っていない ３．健康や運動への関心が高まり、以前より意識して行動している ４．特に大きな変化はない ５．その他（　　）
2	地域包括支援センターについてご存知ですか。（１つだけ○）
	１．知っている　⇒2-1へ　２．聞いたことはあるが、内容までは知らない ３．まったく知らない

※**「地域包括支援センター」**は、高齢者のための総合相談窓口です。健康や医療、福祉や生活に関すること、介護保険サービスに関すること、高齢者の人権や財産を守るための制度に関すること、虐待の防止に関することなどの相談を受け付けています。
詳しくは、右の QR コードを読み取って確認してください。

2で、「１」と答えた方のみお答えください。	
2－1	知っている地域包括支援センターの役割や機能をお答えください。（いくつでも○）
	１．介護や生活の困りごとの相談にのってくれる（総合相談） ２．認知症やもの忘れに関する相談ができる（認知症支援） ３．高齢者の権利を守ってくれる（高齢者虐待の対応、成年後見制度の活用支援） ４．ケアマネジャー（介護支援専門員）の支援をしている
3	新鳥飼公民館内に「地域包括支援センター鳥飼分室」があることを知っていますか。（１つだけ○）
	１．知っている　　２．知らない

4 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実してほしいことは何ですか。（５つまで○）

1．健康づくりや介護予防のための施策の充実
2．生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実
3．就労支援
4．在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実
5．声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援
6．突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）
7．認知症高齢者への支援
8．高齢者を介護している家族等への支援
9．特別養護老人ホームや老人保健施設の整備
10．移動手段の充実
11．道路や施設のバリアフリー化
12．高齢者向け住宅の整備
13．ボランティアや地域活動の支援や紹介
14．住民が支え合う地域づくりへの支援
15．世代間交流の場づくり
16．介護に係る人材の育成
17．災害時に支援が必要な人の支援体制の充実
18．その他（　　）

5 現在困っていることや、不安なことはありますか。（いくつでも○）

1．自分の健康に関すること
2．自分の介護に関すること
3．家族の健康や介護に関すること
4．仕事に関すること
5．人間関係に関すること
6．生きがいに関すること
7．買い物や通院時の交通手段のこと
8．収入や家計に関すること
9．食事作りやごみ出し等の家事に関すること
10．自分の子どもや孫の将来のこと
11．災害に関すること
12．終活に関すること
13．住まいに関すること　⇒5-1へ
14．その他（　　）
15．不安は特にない

5で、「13」と答えた方のみお答えください。

5－1 お住まいで困っていることはありますか。（いくつでも○）」

1．段差が多い
2．つかまるところがない
3．風呂が使いにくい
4．トイレが使いにくい
5．洗面所にお湯が出ない
6．エアコンがない
7．エレベーターがない
8．耐震対策ができていない
9．住宅が古い
10．住宅が狭い
11．住み替えたいが、住まいが見つからない
12．家賃の支払いが負担である
13．持ち家の修繕ができない
14．その他（　　）

6	希望する民間賃貸住宅に入居するために、どのような支援があればよいと思いますが。（いくつでも○）

1．入居を拒まない物件の情報提供
2．賃貸住宅を探すときの相談対応
3．保証人、保証会社などの紹介、あっせん
4．契約のときなどの立会人の派遣
5．家賃補助
6．入居後の緊急時の対応支援
7．入居後の居住支援（見守り、生活相談等）
8．その他（　　）
9．特にない
10．わからない

7	あなたは「摂津市居住支援協議会」を知っていますか。（１つだけ○）

1．知っている
2．聞いたことはあるが、内容までは知らない
3．まったく知らない

※**「摂津市居住支援協議会」**は、賃貸住宅を確保することに困っている方に対し、入居のための住宅情報の提供、相談あるいは入居後の生活支援や見守りなどを通して、誰もが安心して、住まいに困ることなく、自立した生活を送れるようサポートしています。

8	高齢者福祉施策や介護保険事業について、記載したいことがあれば、ご記入ください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票は全て（表紙も含みます）を同封した返信用封筒に入れ

令和８年１月２３日（金）までに

切手を貼らずに投函してください。

【調査票】在宅介護実態調査

摂津市高齢者の在宅介護に関するアンケート調査
【令和７年度在宅介護実態調査】

調査へのご協力のお願い

日頃から、市政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

摂津市では、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに向けて、摂津市にお住まいの要支援・要介護認定を受けている方々を対象にアンケート調査を実施することとなりました。

本調査は、摂津市において「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施させていただきます。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和７年１２月

本調査票記入後は、調査票を三つ折りにして同封の返送用封筒に入れ、
令和８年１月２３日（金）までに投函してください。
また、この調査はインターネットでの回答も可能です。
右の二次元コードを読み取り、回答を進めてください。
「調査票番号」は、この表紙の右上にある数字のことです。

【二次元コード】

【 お 問 い 合 わ せ 先 】

摂津市役所　保健福祉部　高齢介護課

電　話　06-6170-1561（直通）または 072-638-0007（内線 2546）

本調査に係る要介護認定データ等個人情報の取扱いについて

本調査票のご返送をもちまして、下記「個人情報の保護及び活用目的」にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

個人情報の保護及び活用目的

- この調査は、地域における課題や効果的な高齢者施策・介護保険施策等の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市が保有する要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）と紐づけし、本市における高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の検討の際の基礎資料として活用させていただきます。
- 当該情報については、摂津市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、市で適切に管理いたします。
- ただし、個人が識別されない形で、厚生労働省が管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析などで利用することがあります。

記入に際してのお願い

1．この調査の対象者は、令和７年11月１日現在、要支援・要介護認定を受けられている方から1,200人を無作為に抽出しています。
2．ご回答にあたっては調査の対象者についてお答えいただきますが、ご家族の方やご本人を担当しているケアマネジャーがご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。
3．この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
　介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
　介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、
該当する番号を○で囲んでください。

①．はい　　２．いいえ

A票：基本事項について

問1	現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。（いくつでも○）
	１．調査の対象者 ２．主な介護者となっている家族・親族 ３．主な介護者以外の家族・親族 ４．調査の対象者のケアマネジャー ５．その他（　　）
問2	調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。（１つだけ○）
	１．単身世帯　　２．夫婦のみ世帯　　３．その他（　　）
問3	調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つだけ○）
	１．ない　→　５ページ、問13に進んでください。 ２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない ３．週に１～２日ある ４．週に３～４日ある ５．ほぼ毎日ある

問4	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。（１つだけ○）

1．配偶者　2．子　3．子の配偶者
4．孫　5．兄弟・姉妹　6．その他（　　）

問5	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。（１つだけ○）

1．男性　2．女性

問6	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。（１つだけ○）

1．20 歳未満　2．20 歳代　3．30 歳代
4．40 歳代　5．50 歳代　6．60 歳代
7．70 歳代　8．80 歳以上　9．わからない

問7	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方には、15 歳未満の子どもはいますか。（１つだけ○）

1．いる　⇒問８へ　2．いない　⇒問９へ

問8	問７で「１」と回答した方にお伺いします。子どもの年齢はどのくらいですか。（複数いる場合はいくつでも○）

1．乳児（１歳未満）　2．未就学児　3．小学校低学年
4．小学校高学年　5．中学生

問9	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（いくつでも○）

【身体介護】

1．日中の排泄　2．夜間の排泄
3．食事の介助（食べる時）　4．入浴・洗身
5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　6．衣服の着脱
7．屋内の移乗・移動　8．外出の付き添い、送迎等
9．服薬　10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

【生活援助】

12．食事の準備（調理等）　13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15．その他（　　）　16．わからない

問 10	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも○）

１．主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）

２．主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）

３．主な介護者が転職した

４．主な介護者以外の家族・親族が転職した

５．介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない

６．わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 11	問３で「２」～「５」と回答した方にお伺いします。主な介護者のほかに、調査対象者の介護をしている下記の方はいますか。（いくつでも○）

１．小学生以下　⇒問 12へ　　２．中学生　⇒問 12へ

３．高校生　⇒問 12へ　　４．高校卒業から 29 歳　⇒問 12へ

５．30 歳から 39 歳　⇒問 12へ　　６．40 歳以上　⇒問 12へ

７．いない

問 12	問 11 で「１」～「６」と回答した方にお伺いします。 その方が行っている介護などについて、ご回答ください。（いくつでも○）

【身体介護】

１．日中の排泄　　２．夜間の排泄

３．食事の介助（食べる時）　　４．入浴・洗身

５．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　６．衣服の着脱

７．屋内の移乗・移動　　８．外出の付き添い、送迎等

９．服薬　　10．認知症状への対応

11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

【生活援助】

12．食事の準備（調理等）　　13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）

14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15．その他（　　）　　16．わからない

●問 13 からは再び、全員が回答してください。

問 13	現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（いくつでも○）
	1．配食　2．調理 3．掃除・洗濯　4．買い物（宅配は含まない） 5．ごみ出し　6．外出同行（通院・買い物など） 7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8．見守り、声かけ 9．サロンなどの定期的な通いの場　10．その他（　　） 11．利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 14	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも○）
	1．配食　2．調理 3．掃除・洗濯　4．買い物（宅配は含まない） 5．ごみ出し　6．外出同行（通院・買い物など） 7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8．見守り、声かけ 9．サロンなどの定期的な通いの場　10．その他（　　） 11．特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 15	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つだけ○）
	1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう 4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある
問 16	外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも○）
	1．徒歩　2．自転車　3．バイク 4．自動車（自分で運転）　5．自動車（人に乗せてもらう）　6．電車 7．路線バス　8．病院や施設のバス　9．車いす 10．電動車いす（カート）　11．歩行器・シルバーカー　12．タクシー 13．その他（　　）

問 17	あなたの考える「自分の生活の行動範囲」を教えてください。（１つだけ○）

１．自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）　２．区・自治会単位の地域
３．小学校区の学区域くらい　４．中学校区の学区域くらい
５．摂津市全域　６．その他
７．わからない

問 18	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（１つだけ○）

１．入所・入居は検討していない ⟶ **７ページ、問 21 に進んでください。**
２．入所・入居を検討している　⇒問 19 へ
３．すでに入所・入居申し込みをしている　⇒問 19 へ

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 19	問 18 で「２」「３」と回答した方にお伺いします。 どのような施設を希望しますか。（いくつでも○）

１．特別養護老人ホーム※1　２．老人保健施設※2
３．有料老人ホーム※3　４．サービス付き高齢者住宅※4
５．軽費老人ホーム※5　６．養護老人ホーム※6
７．認知症対応型共同生活介護（グループホーム）※7
８．その他（　　）

施設種類	概　要
※1 特別養護老人ホーム（特養）	常時の介護が必要な要介護者が入所し、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
※2 老人保健施設（老健）	症状が安定期にある要介護者が入所し、在宅復帰に向けて医療、看護、医学的な管理のもとで介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
※3 有料老人ホーム	特養や軽費老人ホーム以外で、高齢者が入居し、食事などの介護や日常生活上必要なサービスを受けられる施設
※4 サービス付き高齢者住宅	生活相談サービスや緊急時対応サービス、安否確認サービスがついた賃貸住宅。介護が必要になった場合は外部の介護サービスを入居者が個別に契約して受ける住宅
※5 軽費老人ホーム（ケアハウス）	低額な料金で施設に入居し、生活支援や介護など日常生活上必要な便宜が受けられる施設
※6 養護老人ホーム	環境や経済的理由により、居宅で生活することが困難になった人が自立した日常生活が送れるように、必要な生活支援・健康管理・訓練等を行う市町村の措置で入居する公的な施設
※7 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域の中で、認知症の高齢者が少人数の家庭的な環境の中で暮らし、食事などの介護が受けられる施設

問 20	問 18 で「2」「3」と回答した方にお伺いします。 あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか。（3つまで○）

1．専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから
2．緊急時の対応の面で安心だから
3．家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから
4．家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
5．介護のための部屋がない、入浴しにくいなど住宅の構造に問題があるから
6．家族は高齢や体が弱い、障がいがあるなどで、十分な介護ができないから
7．介護をしてくれる家族等がいないから
8．家族の介護が期待できないから
9．その他（　　）

●問 21 からは再び、全員が回答してください。

問 21	調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも○）

1．脳血管疾患（脳卒中）　2．心疾患（心臓病）
3．悪性新生物（がん）　4．呼吸器疾患
5．腎疾患（透析）　6．筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7．膠原病（こうげんびょう）（関節リウマチ含む）　8．変形性関節疾患
9．認知症　10．パーキンソン病
11．難病（パーキンソン病を除く）　12．糖尿病
13．眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14．その他（　　）　15．なし　16．わからない

問 22	調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つだけ○）

1．利用している　2．利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 23	調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つだけ○）

1．利用している　⇒問 24 へ
2．利用していない ⟶ 9ページ、問 25 に進んでください。

問 24	問 23 で「1」と回答した方にお伺いします。 以下の介護保険サービスについて、令和７年 11 月の１か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（０回、１．利用していない）」を選択してください。（それぞれ１つに○）

	１週間あたりの利用回数（それぞれ１つに○）					
	利用していない	週１回程度	週２回程度	週３回程度	週４回程度	週５回以上
（※回答例）●●●サービス	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
B. 訪問入浴介護	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
C. 訪問看護	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
D. 訪問リハビリテーション	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
E. 通所介護（デイサービス）	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	０回	週１回	週２回	週３回	週４回	週5回以上
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上

	利用の有無（１つに○）	
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	１．利用していない	２．利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	１．利用していない	２．利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	１．利用していない	２．利用した

	１か月あたりの利用日数（１つに○）				
	利用していない	月１～７日程度	月８～14日程度	月 15～21日程度	月 22 日以上
K. ショートステイ	０回	月１～７日	月８～14日	月 15～21 日	月 22 日以上

	１か月あたりの利用回数（１つに○）				
	利用していない	月１回程度	月２回程度	月３回程度	月４回程度
L. 居宅療養管理指導	０回	月１回	月２回	月３回	月４回

問 25	問 23 で「2」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）
	1．現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2．本人にサービス利用の希望がない 3．家族が介護をするため必要ない 4．以前、利用していたサービスに不満があった 5．利用料を支払うのが難しい 6．利用したいサービスが利用できない、身近にない 7．住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8．サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9．その他（　　）

●問 26 からは再び、全員が回答してください。

問 26	あなたは、今後の医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。（1 つだけ○）
	1．詳しく話し合っている　⇒問 27 へ　2．一応話し合っている　⇒問 27 へ 3．話し合ったことはない ⟶ 問 28 に進んでください。
問 27	問 26 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。どなたと話し合いましたか。（いくつでも○）
	1．家族・親族　2．医療関係者　3．介護関係者 4．友人・知人　5．その他（　　）

●問 28 からは再び、全員が回答してください。

問 28	地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（いくつでも○）
	1．災害に関する情報が入手できるかわからない 2．どこ（誰）に助けをもとめてよいかわからない（身近に頼れる人がいない） 3．安全な場所まで自力で避難できるかわからない 4．地域の避難場所がどこなのか知らない 5．地域の危険な箇所がわからない 6．防災用品や非常食を常備していない 7．健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など） 8．その他（　　） 9．不安は特にない

問 29	災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。（いくつでも○）
	１．家族・親族　２．近所の人　３．友人・知人 ４．自治会の人　５．民生児童委員　６．老人クラブの人 ７．介護サービス事業所　８．その他（　　）　９．頼れる人はいない
問 30	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和６年１月施行され、基本的な考え方の一つとして「誰もが認知症になり得ることを前提に、国民一人一人が自分ごととして理解する」と示されています。 あなたは、認知症を自分ごととして思いますか。（１つだけ○）
	１．思う　２．思わない　３．わからない
問 31	もしあなたが認知症になった場合、次の日常生活のさまざまな場面において、あてはまるものを選んでください。（いくつでも○）
	１．家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思う ２．役割を持ち、自分らしく暮らせていると思う ３．あなたの意志が尊重され、自分の望む生活が継続されていると思う ４．１～３どれも難しいと思う ５．わからない
問 32	あなたは、地域の中で以下のような活動や役割を果たしていると思いますか。（いくつでも○）
	１．地域のイベントや活動に参加している ２．お隣や近所の人とあいさつや声かけなどをしている ３．困った人がいたら相談に乗ったり手助けをしている ４．ごみ出しや清掃などで地域環境の維持に貢献している ５．ボランティアや地域サポート活動に参加している ６．自治会の活動に参加している ７．地域の福祉や支援活動に興味を持ったり、協力している ８．その他（　　） ９．特に何もしていない

問 33	認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために、どのようなことが大切だと思いますか。（３つまで○）

1．日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り

2．老人クラブ、認知症カフェなどの居場所づくり

3．認知症であることを話しておくこと

4．認知症の理解を深め、認知症の人への対応を学ぶこと（認知症サポーターの養成）

5．認知症高齢者等の事前登録（ＳＯＳネットワーク事業）

6．道に迷った認知症高齢者等を早期発見するための機器

7．日常生活自立支援事業の利用促進※1　　8．成年後見制度の利用促進※2

9．市民後見人の育成　　10．その他（　　）

11．わからない　　12．特にない

※1「日常生活自立支援事業」とは、認知症や知的障害、精神障害などにより、日常生活において判断能力に不安のある方が地域において自立した生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの手続きや、日常の金銭管理などのサポートを生活支援員等が行うものです。

※2「成年後見制度」とは、判断能力が十分でない方に対し、本人の同意を得て契約の締結等を代わりに行う代理人等を選任し、本人の権利を守る制度です。

問 34	高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。（５つまで○）

1．日中の活動や交流できる場が身近にあること

2．近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと

3．気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること

4．24 時間体制の安心できるサービスがあること

5．必要なとき、施設に宿泊できること

6．災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること

7．契約や財産管理の手続きを援助してもらえること

8．手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

9．在宅や通所でのリハビリテーションが十分できること

10．訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること

11．買い物や通院時などの介助や送迎

12．簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ごみ出しなど）

13．特にない

14．その他（　　）

問 35	高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。（５つまで○）

1．健康づくりや介護予防のための施策の充実
2．生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実
3．就労支援
4．在宅サービスの充実
5．声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援
6．突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）
7．認知症施策の充実
8．介護している家族等の支援
9．施設サービスの充実
10．移動手段の充実
11．道路や施設のバリアフリー化
12．高齢者向け住宅の整備
13．ボランティアや地域活動の支援や紹介
14．住民が支え合う地域づくりへの支援
15．世代間交流の場づくり
16．介護に係る人材の育成
17．災害時に支援が必要な人の支援体制の充実
18．その他（具体的に　　）

●ここからは、以下の指示に従って進んでください。

２ページ、問３で「１」を選択された方（ご家族などから介護を受けていない方）	➡	質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
２ページ、問３で「２」～「５」を選択された方（ご家族などから介護を受けている方）	➡	13 ページ、B票に進んでください。

B票：主な介護者の方について

問 36	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つだけ○）

1．フルタイムで働いている　⇒問 37 へ

2．パートタイムで働いている　⇒問 37 へ

3．働いていない

4．主な介護者に確認しないと、わからない

14 ページ、
問 40 に進んでください。

※「パートタイム」とは、「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 37	問 36 で「１」「２」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（いくつでも○）

1．特に行っていない

2．介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている

3．介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている

4．介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

5．介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている

6．主な介護者に確認しないと、わからない

問 38	問 36 で「１」「２」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（３つまで○）

1．自営業・フリーランス等のため、勤め先はない

2．介護休業・介護休暇等の制度の充実

3．制度を利用しやすい職場づくり

4．労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）

5．働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）

6．仕事と介護の両立に関する情報の提供

7．介護に関する相談窓口・相談担当者の設置

8．介護をしている従業員への経済的な支援

9．その他（　　）

10．特にない

11．主な介護者に確認しないと、わからない

問 39	問 36 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つだけ○）

1．問題なく、続けていける　　2．問題はあるが、何とか続けていける

3．続けていくのは、やや難しい　　4．続けていくのは、かなり難しい

5．主な介護者に確認しないと、わからない

●問 40 からは再び、全員が回答してください。

問 40	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）

【身体介護】

1．日中の排泄

2．夜間の排泄

3．食事の介助（食べる時）

4．入浴・洗身

5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）

6．衣服の着脱

7．屋内の移乗・移動

8．外出の付き添い、送迎等

9．服薬

10．認知症状への対応

11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

【生活援助】

12．食事の準備（調理等）

13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）

14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15．その他（　　）

16．不安に感じていることは、特にない

17．主な介護者に確認しないと、わからない

問 41	主な介護者の方が、介護に悩んだときに相談する人はいますか。（いくつでも○）
	1．同居の家族　2．同居でない家族 3．家族以外の親戚　4．友人・知人 5．自治会・町内会　6．老人クラブ 7．社会福祉協議会　8．民生児童委員 9．ケアマネジャー　10．介護職員（ケアマネジャー以外） 11．医師・歯科医師・薬剤師・看護師　12．地域包括支援センター 13．市役所　14．その他（　　） 15．そのような人はいない
問 42	主な介護者の方は、本人と今後の医療・療養について話し合ったことがありますか。（１つだけ○）
	1．詳しく話し合っている　2．一応話し合っている　3．話し合ったことはない
問 43	在宅介護について、記載したいことがあればご記入ください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票は全て（表紙も含みます）を同封した返信用封筒に入れ

令和８年１月２３日（金）までに

切手を貼らずに投函してください。

第10期せっつ高齢者かがやきプラン

（摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）

策定にかかるアンケート調査

報　告　書

編集・発行／摂津市　保健福祉部　高齢介護課

住　所　〒566-8555 摂津市三島一丁目1番1号

電　話　　06-6383-1111（大代表）

　　072-638-0007（代表）

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.city.settsu.osaka.jp/

令和８年３月